

平成 1 9 年 度

埼 玉 県 政 世 論 調 査

報 告 書

彩の国

埼 玉 県

は じ め に

この冊子は、平成１９年７月から８月にかけて実施した県政世論調査^{よろん}の結果をまとめたものです。

本県では、県民参加の行政を一層推進するため、昭和４３年度から毎年度「埼玉県政世論調査」を実施してまいりました。

今年度は、「消費生活」、「子どもの安全対策」、「県民のスポーツ振興」の３つのテーマと、時系列項目である「生活意識」、「日常生活」、「県政への要望」について調査を行いました。

この調査結果が、県及び市町村の施策立案や諸事業の実施に有効に利用されるとともに、県内外の方にも幅広く活用されることを願ってやみません。

終わりに、このたび調査にご協力いただきました県民の皆様をはじめ、ご支援いただきました関係市町村の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成１９年１１月

埼玉県総務部長 塩川 修

目 次

I	調査の方法	1
1	調査のあらまし	3
2	標本抽出方法	4
3	標 本 構 成	6
4	調査結果の見方	9
II	調査結果の解説	11
1	生活意識	13
	（1）昨年と比べた暮らし向き	14
	（2）生活程度	20
	（3）生活全体の満足度	26
	（4）生活各面の満足度	32
2	日常生活	55
	（1）地域社会活動への参加経験	56
	（2）芸術・文化活動の経験	59
	（3）子育ての楽しさについて	63
	（4）子育てに負担を感じる内容	66
	（5）子どもがいる幸せを実感できる社会を実現する方策	70
	（6）食品の安全性に対する意識	75
	（7）外国人増加に対する感想	78
	（7－1）よいと思わない理由	81
	課題調査	85
3	消費生活	86
	（1）商品等の販売で困ったり、嫌な思いをした経験	86
	（1－1）困ったり、嫌な思いをした理由	91
	（1－2）困ったときの対処法	95
	（2）通信機器を通じたトラブルの経験	99
	（3）商品・サービスの広告や表示で、虚偽・誇大だと思ったもの	103
	（4）消費者のために必要な取組	107
	（5）情報提供・学習活動の分野で力を入れる必要があるもの	111

4	子どもの安全対策	116
	(1) 地域の子どもが犯罪に巻き込まれる不安	116
	(2) 不審者等の情報を受けた経験	119
	(3) 自主防犯グループの認知度	122
	(4) 子どもが犯罪から身を守る力を身に付けているか	125
	(5) 子どもの安全を脅かしていること	129
	(6) 子どもが見知らぬ人に声を掛けられていた時の対応	133
	(7) 子どもを犯罪から守るために効果的な取組	136
	(8) 子どもの安全のために行政に取り組んでほしいこと	141
5	県民のスポーツ振興	145
	(1) 健康や体力への気遣い	145
	(2) スポーツをする機会	149
	(3) スポーツ・レクリエーション活動へ参加する理由	153
	(4) スポーツ・レクリエーション活動時の苦労や問題	157
	(5) 総合型地域スポーツクラブへの入会意向	161
	(6) スポーツ・レクリエーション活動をする際の利用施設	164
	(7) スポーツ・レクリエーション活動をする際に利用したい施設	170
	(課題調査 ここまで)	
6	県政への要望	177
Ⅲ	調査票・単純集計結果	193
	(参考資料) 世論調査実施状況	207

I 調査の方法

1 調査のあらまし

(1) 調査の目的

県民の県政に対する要望、意見及び県民の生活意識などを把握し、県政推進の資料とする。

(2) 調査の項目

この調査の項目は次のとおりである。

- (ア) 生活意識（昨年と比べた暮らし向き、生活程度、生活全体の満足度、生活各面の満足度）
- (イ) 日常生活
- (ウ) 消費生活
- (エ) 子どもの安全対策
- (オ) 県民のスポーツ振興
- (カ) 県政への要望

(3) 調査の設計

この調査は次のように設計した。

- | | |
|--------------|---------------------|
| (ア) 調査地域 | 埼玉県全域 |
| (イ) 調査対象 | 満20歳以上の男女個人 |
| (ウ) 標本数 | 3,000 |
| (エ) 抽出方法 | 住民基本台帳による層化2段無作為抽出法 |
| (オ) 調査方法 | 調査員による個別面接聴取法 |
| (カ) 調査時期 | 平成19年7月13日～8月6日 |
| (キ) 調査実施委託機関 | 株式会社 サーベイリサーチセンター |

(4) 回収結果

- | | |
|--------------|--------------|
| (ア) 有効回収数（率） | 2,201（73.4%） |
| (イ) 調査不能数（率） | 799（26.6%） |

〔調査不能の内訳〕

転居	69（ 8.6%）	長期不在	65（ 8.1%）
一時不在	203（25.4%）	住所不明	45（ 5.6%）
拒否	350（43.8%）	その他（病気など）	67（ 8.4%）

2 標本抽出方法

母集団：埼玉県内の市町村に居住する満20歳以上の男女個人

標本数：3,000

地点数：市部 148地点 郡部（町村）17地点 合計 165地点

抽出方法：層化2段無作為抽出法

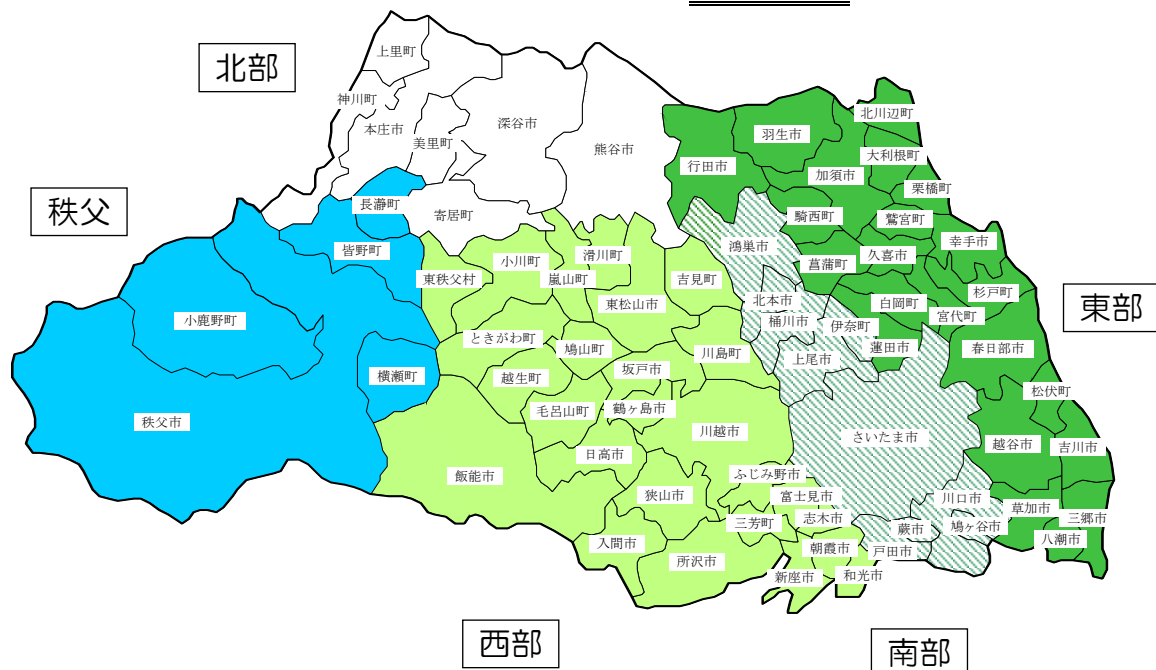
（1）地域・市郡規模区分

ア 県内を次の5地域14都市圏に分類した。（本表及び下の「地域区分図」は、平成19年4月1日現在の市町村名により表示している。）

地 域		該 当 市 町 村 名
南部	中 枢 都 市 圏	さいたま市、上尾市、伊奈町
	県 南 5 市 圏	川口市、蕨市、戸田市、鳩ヶ谷市
	県 央 都 市 圏	鴻巣市、桶川市、北本市
西部	南 西 部 4 市 圏	朝霞市、志木市、和光市、新座市
	入 間 東 部 都 市 圏	富士見市、ふじみ野市、三芳町
	川 越 都 市 圏	川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町
	所 沢 都 市 圏	所沢市、飯能市、狭山市、入間市
	比 企 都 市 圏	東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、ときがわ町、川島町、吉見町 鳩山町、東秩父村
東部	東 部 都 市 圏	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
	利 根 南 部 都 市 圏	久喜市、蓮田市、幸手市、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町、杉戸町
	利 根 北 部 都 市 圏	行田市、加須市、羽生市、騎西町、北川辺町、大利根町
北部	県 北 都 市 圏	熊谷市、深谷市、寄居町
	本 庄 都 市 圏	本庄市、美里町、神川町、上里町
秩父	秩 父 都 市 圏	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町

※草加市は、東部都市圏と県南5市圏の両方に属すが、ここでは東部都市圏に分類している。

地域区分図



イ 各地域においては、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。

人口10万以上の市／人口10万未満の市／郡部（町村）

（注）ここでいう市とは、平成19年4月1日現在市制施行の地域をいう。

（２）標本の配分

各地域・市郡規模別の層における20歳以上の人口（平成19年1月1日現在の推定数）により、3,000の標本を比例配分した。

（３）抽出

ア 第1次抽出単位となる調査地点として、平成17年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

イ 調査地点の抽出数については、1調査地点当たりの標本数が19程度になるように、各層に割り当てられた標本数から算出した。

調査地点抽出は、

抽出間隔＝ $\frac{\text{層における20歳以上人口の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}}$ を算出し、等間隔抽出法によって

該当人数番目の者が含まれる基本単位区を抽出し、抽出の基点とした。

ウ 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、総務省設定の「市町村コード」の配列順序に従った。

エ 調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳により、抽出の起点から等間隔抽出法によって抽出した。

オ 以上の結果、各地域・市郡規模別（層別）の標本数・調査地点数は次のとおりとなった。

地 域		市郡規模	人口10万以上の市	人口10万未満の市	郡部（町村）	計
南 部	中 枢 都 市 圏		1, 145, 162 584 (32)		30, 533 16 (1)	1, 175, 695 600 (33)
	県 南 5 市 圏		501, 994 255 (14)	108, 465 58 (3)		610, 459 313 (17)
	県 央 都 市 圏		97, 756 55 (3)	118, 786 59 (3)		216, 542 114 (6)
西 部	南 西 部 4 市 圏		226, 809 126 (7)	116, 874 59 (3)		343, 683 185 (10)
	入 間 東 部 都 市 圏		170, 115 89 (5)		30, 077 17 (1)	200, 192 106 (6)
	川 越 都 市 圏		354, 223 203 (11)	102, 011 38 (2)	41, 783 33 (2)	498, 017 274 (15)
	所 沢 都 市 圏		530, 057 270 (15)	68, 384 39 (2)		598, 441 309 (17)
	比 企 都 市 圏			73, 184 39 (2)	123, 007 51 (3)	196, 191 90 (5)
東 部	東 部 都 市 圏		756, 034 390 (21)	112, 573 54 (3)	24, 805 17 (1)	893, 412 461 (25)
	利 根 南 部 都 市 圏			158, 342 88 (5)	175, 249 89 (5)	333, 591 177 (10)
	利 根 北 部 都 市 圏			174, 465 88 (5)	39, 361 17 (1)	213, 826 105 (6)
北 部	県 北 都 市 圏		286, 879 143 (8)		30, 638 20 (1)	317, 517 163 (9)
	本 庄 都 市 圏			66, 375 34 (2)	47, 099 20 (1)	113, 474 54 (3)
秩 父	秩 父 都 市 圏			57, 893 30 (2)	36, 225 19 (1)	94, 148 49 (3)
計			4, 069, 029 2, 115 (116)	1, 157, 352 586 (32)	578, 807 299 (17)	5, 805, 188 3, 000 (165)

（注）上段…推定母集団数（20歳以上人口） 下段左方…標本数 下段右方（カッコ内）…地点数

3 標 本 構 成

(上段：人、下段：％、以下同)

(1) 地域別

総 数	南 部	西 部	東 部	北 部	秩 父
2,201	763	720	515	165	38
100.0	34.7	32.7	23.4	7.5	1.7

(2) 都市圏別

総 数	中 枢 都 市 圏	県 南 5 市 圏	県 央 都 市 圏	南 西 部 4 市 圏
2,201	458	215	90	142
100.0	20.8	9.8	4.1	6.5

入間東部都市圏	川 越 都 市 圏	所 沢 都 市 圏	比 企 都 市 圏	東 部 都 市 圏
84	211	213	70	302
3.8	9.6	9.7	3.2	13.7

利根南部都市圏	利根北部都市圏	県 北 都 市 圏	本 庄 都 市 圏	秩 父 都 市 圏
129	84	124	41	38
5.9	3.8	5.6	1.9	1.7

(3) 市郡規模別

総 数	人口10万以上の市	人口10万未満の市	郡 部 (町 村)
2,201	1,531	444	226
100.0	69.6	20.2	10.3

(4) 性 別

総 数	男 性	女 性
2,201	1,093	1,108
100.0	49.7	50.3

(5) 年代別

総 数	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以上
2,201	260	373	433	441	417	277
100.0	11.8	16.9	19.7	20.0	18.9	12.6

(6) 職業別

総 数	農 林 漁 業	商 工 サ ー ビ ス 業 ・ 自 由 業	管 理 職 ・ 事 務 職 な	労 務 職	無 職 の 生	無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	そ の 他 の 無 職	無 回 答
2,201	23	255	639	361	41	491	360	31
100.0	1.0	11.6	29.0	16.4	1.9	22.3	16.4	1.4

(7) 通勤・通学場所別

総 数	住 ま い の 市 町 村	住 ま い の 隣接市町村 (県 内)	埼 玉 県 (1・2以外)	東 京 都	埼 玉 県 ・ 東京都以外	無 回 答
1,296 100.0	432 33.3	250 19.3	172 13.3	359 27.7	56 4.3	27 2.1

(8) 県内居住年数別

総 数	5 年 未 満	5 年～ 10年未満	10年～ 20年未満	20年～ 30年未満	30 年 以 上	無 回 答
2,201 100.0	113 5.1	128 5.8	344 15.6	485 22.0	1,113 50.6	18 0.8

(9) 出生地別

総 数	埼 玉 県	埼 玉 県 外	無 回 答
2,201 100.0	919 41.8	1,270 57.7	12 0.5

(10) 家族人数別

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7人以上	無 回 答
2,201 100.0	125 5.7	553 25.1	566 25.7	533 24.2	247 11.2	111 5.0	44 2.0	22 1.0

(11) 未既婚別

総 数	未 婚	既婚・有配偶	既婚・離死別	無 回 答
2,201 100.0	410 18.6	1,578 71.7	181 8.2	32 1.5

(11-1) 子どもの有無・人数別（既婚者）

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人 以 上	い な い	無 回 答
1,759 100.0	335 19.0	899 51.1	275 15.6	39 2.2	9 0.5	187 10.6	15 0.9

(11-2) 子どもの段階

総 数	0 ～ 3 歳	4 歳 以 上 で 小学校入学前	小 学 生	中 学 生	高 校 生
1,557 100.0	157 10.1	109 7.0	253 16.2	176 11.3	159 10.2

短大生・ 専門学校生	大 学 生 ・ 大 学 院 生	学 校 教 育 終了・未 婚	学 校 教 育 終了・既 婚	そ の 他	無 回 答
32 2.1	142 9.1	530 34.0	570 36.6	31 2.0	29 1.9

(12) 家族形態別

総 数	単 身	夫 婦 の み	二世世代世帯	三世世代世帯	そ の 他	無 回 答
2,201 100.0	121 5.5	470 21.4	1,256 57.1	279 12.7	41 1.9	34 1.5

- ・二世世代世帯とは「親と子がいる」世帯を指す。
- ・三世世代世帯とは「親と子と孫がいる」世帯を指す。

(13) 住居形態別

総 数	持 家 (一戸建)	持 家 (公団・公社)	持家(民間 マンション)	民 間 借 家 (一戸建)	民間借家(賃貸 マンション・アパート)
2,201 100.0	1,610 73.1	22 1.0	198 9.0	58 2.6	232 10.5

民 間 借 家 (公団・公社)	公的賃貸住宅	社宅、寮、公務 員住宅など	そ の 他	無 回 答
25 1.1	8 0.4	25 1.1	11 0.5	12 0.5

(14) ライフステージ別

総 数	独 身 期	家 族 形 成 期	家 族 成 長 前 期	家 族 成 長 後 期	家 族 成 熟 期	高 齢 期	そ の 他
2,201 100.0	303 13.8	229 10.4	253 11.5	194 8.8	500 22.7	384 17.4	338 15.4

※ ライフステージの分類

「年齢」「職業」「結婚」「子どもの有無」「子どもの成長段階」「家族形態」の組み合わせにより分類した。

ライフステージ	構 成 内 容
① 独 身 期	●本人が40歳未満で未婚
② 家 族 形 成 期	●本人が40歳未満で、かつ、子どもがいない夫婦 ●第一子が小学校入学前の親
③ 家 族 成 長 前 期	●第一子が小・中学生の親
④ 家 族 成 長 後 期	●高校・大学生（院生含む）の子どもがおり、かつ、学校教育を終えた子どもはいない親
⑤ 家 族 成 熟 期	●学校教育を終えた子どもがおり、かつ、既婚の子どもがいない親 ●本人が男性の場合65歳未満、女性の場合60歳未満で、子ども全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子どもがいる親
⑥ 高 齢 期	●本人が男性の場合65歳以上、女性の場合60歳以上で、子ども全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子どもがいる親
⑦ そ の 他	●上記①～⑥以外（40歳以上の独身者、子どものいない40歳以上の夫婦など）

4 調査結果の見方

(1) 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数を調査した場合に得られる数値）から隔たっている可能性がある。（これを標本誤差という。）

この標本誤差の大きさは、層化2段抽出の場合、経験的に95%の信頼度で、

$$2\sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \doteq 2\sqrt{2 \frac{P(1-P)}{n}}$$

を超えないことが確認されている。（N：母集団、n：標本数、P：出現率）

今回の調査では、n=2,201であるから、例えば、ある回答（調査結果）が20%（P=0.2）の場合、標本誤差は

$$2\sqrt{2 \frac{0.2 \times 0.8}{2,201}} \doteq 0.024$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±2.4の範囲内にあることとなる。同様に計算したものが次表である。

〔 標本誤差早見表（主なもの） 〕

区 分			回 答 率				
基 数		90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度	
全 体		2,201	1.8	2.4	2.8	3.0	3.0
性別	男性	1,093	2.6	3.4	3.9	4.2	4.3
	女性	1,108	2.5	3.4	3.9	4.2	4.2
年代別	20歳代	260	5.3	7.0	8.0	8.6	8.8
	30歳代	373	4.4	5.9	6.7	7.2	7.3
	40歳代	433	4.1	5.4	6.2	6.7	6.8
	50歳代	441	4.0	5.4	6.2	6.6	6.7
	60歳代	417	4.2	5.5	6.3	6.8	6.9
	70歳以上	277	5.1	6.8	7.8	8.3	8.5
地域別	南部	763	3.1	4.1	4.7	5.0	5.1
	西部	720	3.2	4.2	4.8	5.2	5.3
	東部	515	3.7	5.0	5.7	6.1	6.2
	北部	165	6.6	8.8	10.1	10.8	11.0
	秩父	38	13.8	18.4	21.0	22.5	22.9

(2) 調査結果の見方

- ア 結果は、百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が一致しないことがある。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とするのを原則とした。
- イ 図表中の一は回答者が皆無のもの、0は回答者の割合が0.05未満のため四捨五入の結果0となったものである。
- ウ 一人の対象者に2つ以上の回答を認めた質問では、回答の合計を回答者（n）で割った比率を算出しており、通常その百分率の合計は、100%を超える。また、この回答の合計数をM.T.（Multiple Totalの略）として表示した。
- エ 調査票中の質問文中の〔カード提示〕とは、あらかじめ回答の選択肢を印刷したカードを提示して、その中から回答を選択してもらったことを示している。
- オ 職業分類中の学生（41人）のように少人数のものも、参考までに図表に掲載した。
- カ 調査票上のFはFace Sheetの略で、回答者の基本的属性についての質問である。

Ⅱ 調査結果の解説

（注）属性別の分析については、全体平均と比べ、統計的に有意差のあるものを中心に
ふれている。

したがって、秩父地域、農林漁業、学生などのサンプルの少ない属性の分析につ
いては、グラフ上で数値が高いものでも、有意差がなく、分析でふれられていない
場合がある。

また、図表中の「0」は回答者の実数が1以上で、計算後の四捨五入により0%
になった場合で、「-」はもとの実数が0の場合である。

1 生活意識

(問1～問3)

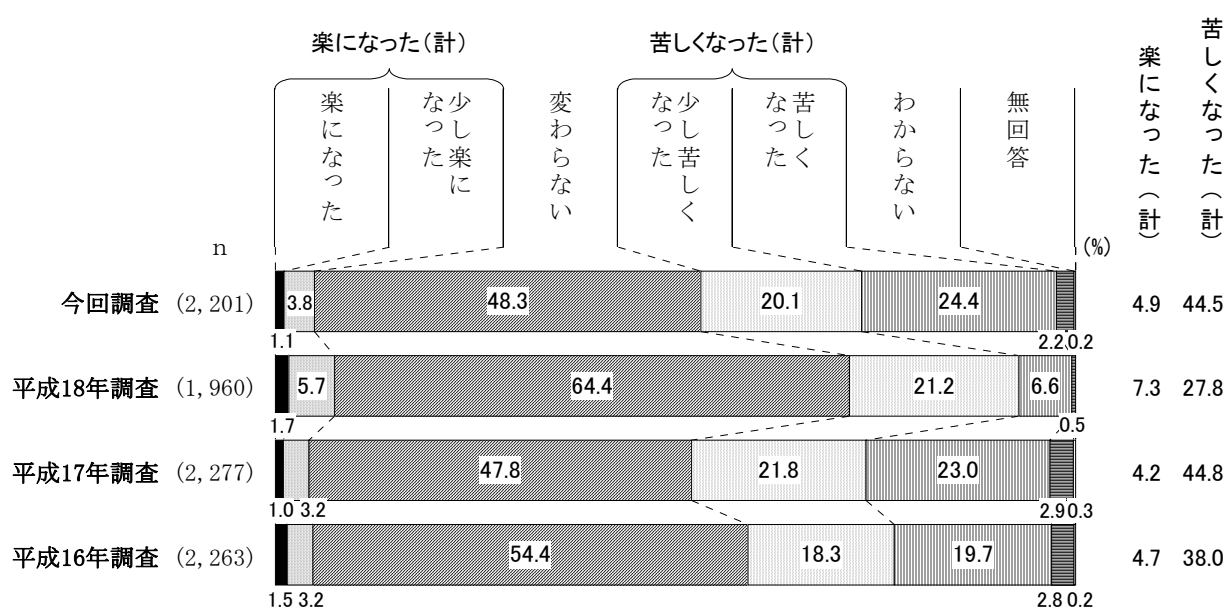
- 問1「昨年と比べた暮らし向き」、問2「生活程度」、問3「生活全体の満足度」は、昭和56年度から毎年実施しています。
- 問4「生活各面の満足度」は、平成4年度以降は3年毎に実施しています。

1 生活意識

(1) 昨年と比べた暮らし向き

◇『楽になった（計）』が4.9%、『苦しくなった（計）』は44.5%

問1 さっそくですが、お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。



暮らし向きが「楽になった」（1.1%）と「少し楽になった」（3.8%）を合わせた『楽になった（計）』は4.9%である。一方、「苦しくなった」（24.4%）と「少し苦しくなった」（20.1%）を合わせた『苦しくなった（計）』（44.5%）は4割台半ばで、「変わらない」（48.3%）に近い数字となっている。

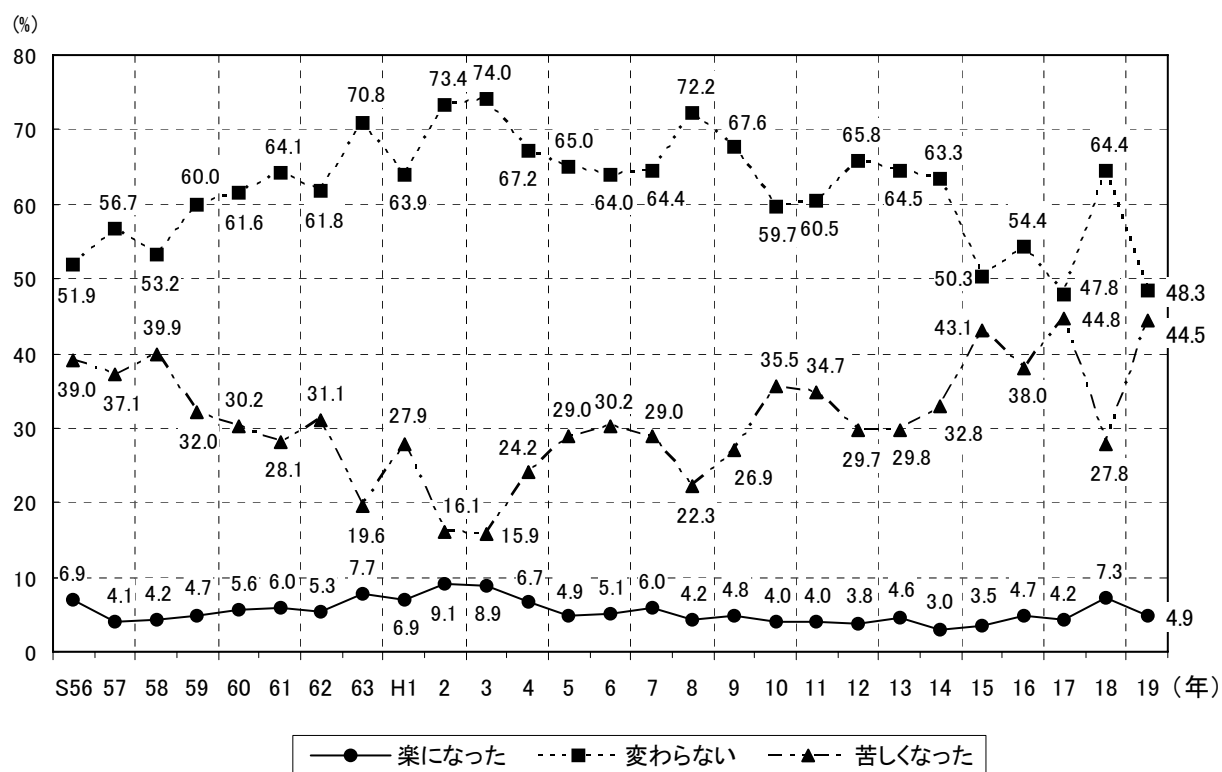
【過去3年間との比較】

過去3年間の調査結果と比較すると、昨年特に低かった『苦しくなった（計）』が16.7ポイント上昇し、平成17年とほぼ同様の結果となっている。

【経年変化】

この調査を開始した昭和56年以降の推移をみると、『苦しくなった（計）』は平成以降、増減を繰り返しながらも上昇傾向にあり、今回は平成17年に次ぐ高さとなっている。逆に「変わらない」は平成17年に次ぐ低さとなっており、5割未満となっている。＜図1－1＞

＜図1－1＞昭和56年以降の推移



【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、『苦しくなった(計)』は上(計) (14.7%)で1割台半ば、中(計) (39.4%)で4割、下(計) (73.0%)で7割台半ば弱と顕著な差がみられる。逆に、「変わらない」では上(計) (70.6%)、中(計) (53.4%)、下(計) (24.3%)の順に高くなっている。

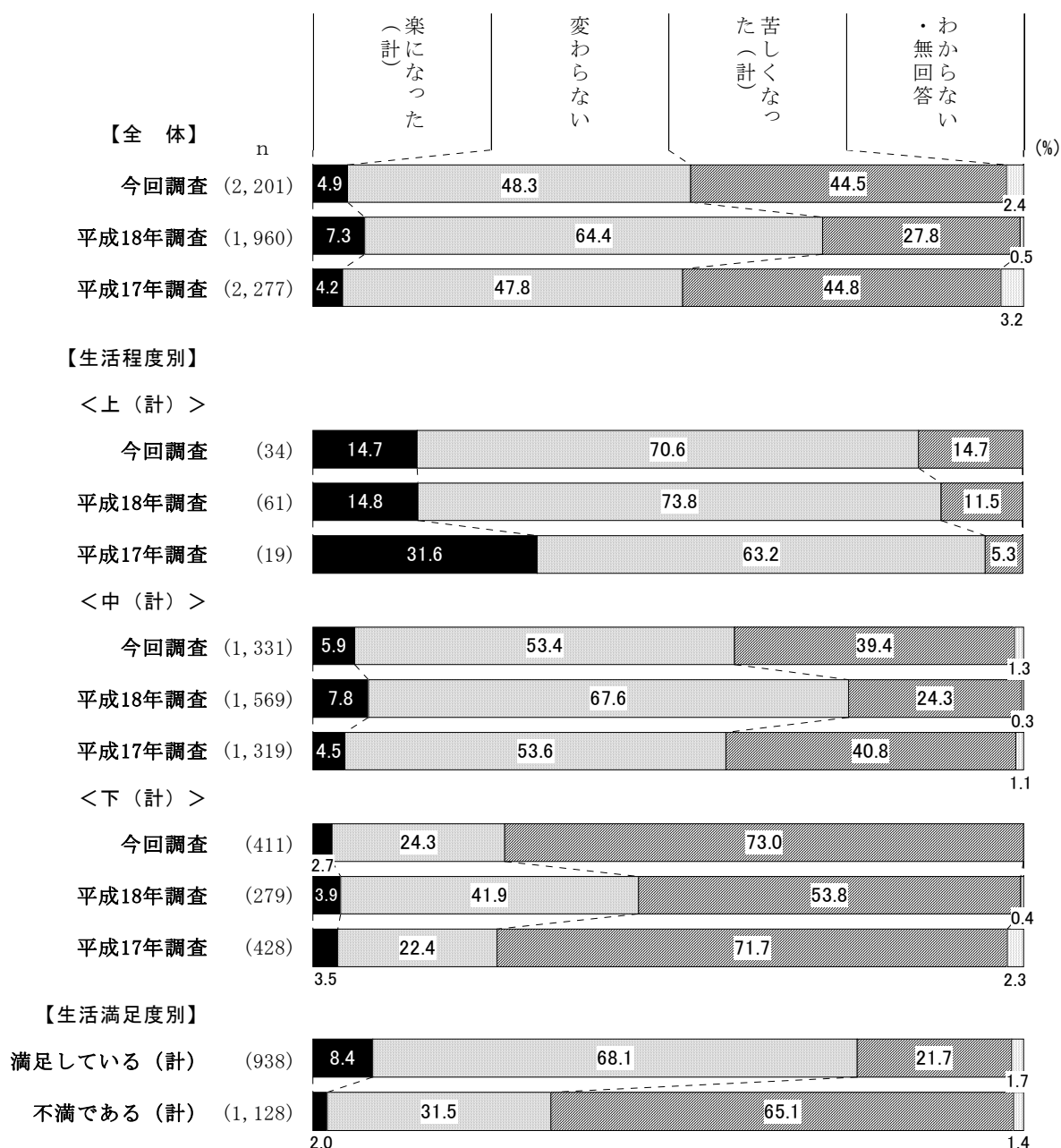
過去3年間の調査結果と比較すると、いずれの生活程度でも前回より『苦しくなった(計)』が増加している。中(計)と下(計)では、平成17年から平成18年にかけて『苦しくなった(計)』が大きく減少しているものの、今回調査ではいずれも平成17年と同水準となっている。＜図1－2＞

【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、『苦しくなった(計)』は、満足している(計) (21.7%)の2割強に対して、不満である(計) (65.1%)は6割台半ばと著しい差がある。一方、「変わらない」では、満足している(計) (68.1%)が7割弱、不満である(計) (31.5%)が3割強となっている。

＜図1－2＞

＜図1－2＞生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

①地域別

『苦しくなった（計）』は北部（47.9％）でやや高い。一方、「変わらない」は東部（50.7％）で5割とやや高く、北部（44.2％）でやや低くなっている。＜図1－3＞

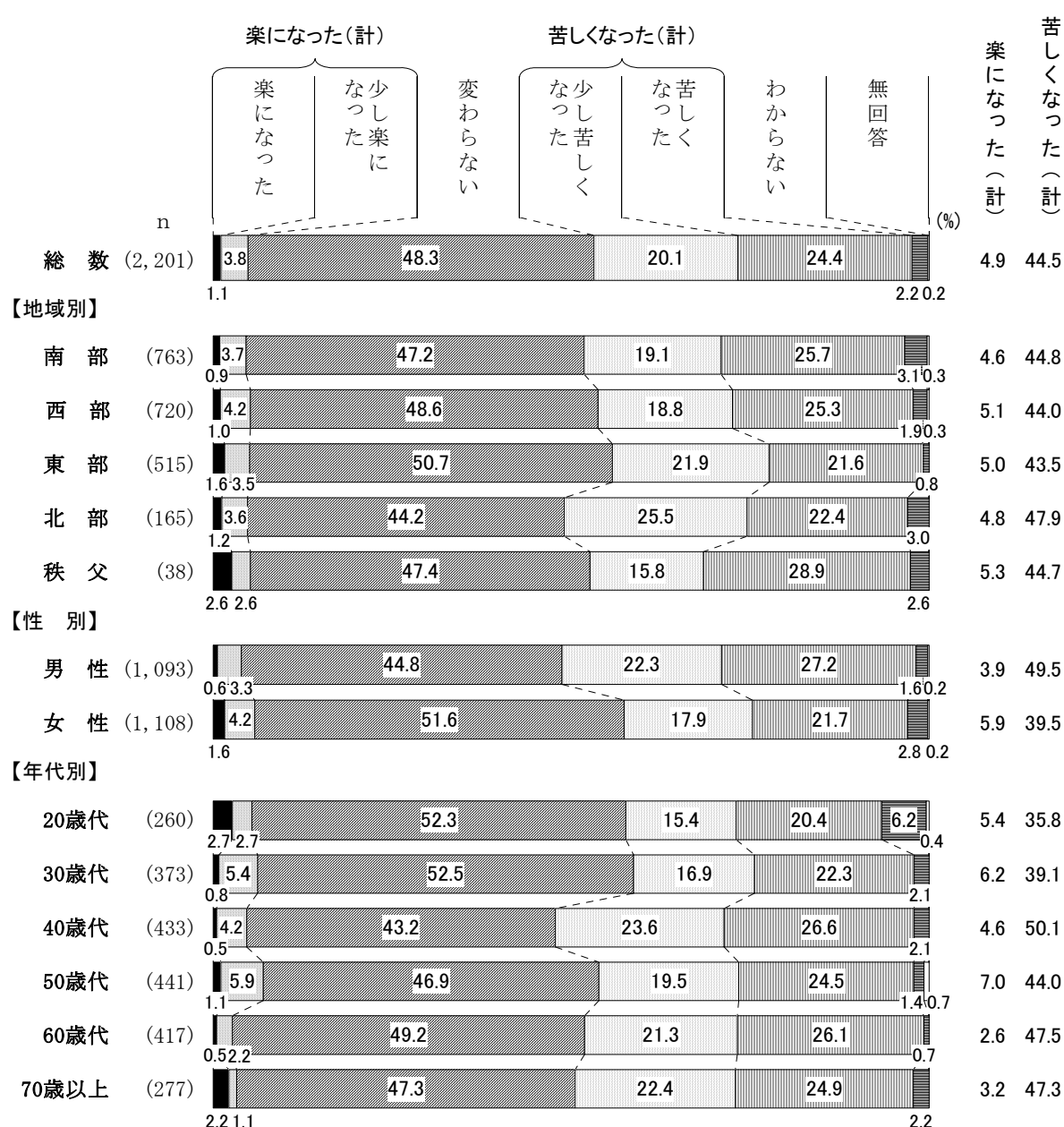
②性別

『苦しくなった（計）』は男性（49.5％）が女性（39.5％）よりも10.0ポイント高くなっている。＜図1－3＞

③年代別

『苦しくなった（計）』は40歳代（50.1％）で唯一5割を超えている。一方、30歳代（39.1％）と20歳代（35.8％）では4割未満となっている。＜図1－3＞

＜図1－3＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

利根北部都市圏は「変わらない」(60.7%)が最も高く、『苦しくなった(計)』(33.3%)が最も低い。所沢都市圏でも同様に「変わらない」(55.4%)が高く、『苦しくなった(計)』(36.2%)が低くなっている。一方、『苦しくなった(計)』が高い都市圏には、県北都市圏(50.0%)、利根南部都市圏、入間東部都市圏(ともに48.8%)、比企都市圏(48.6%)などがある。＜表1－1＞

⑤性・年代別

男性30歳代以下及び女性の全ての年代では「変わらない」が『苦しくなった(計)』よりも高いが、男性40歳代以上では『苦しくなった(計)』の方が高くなっている。特に男性の40歳代と70歳以上ではその傾向が顕著である。＜表1－1＞

⑥職業別

『苦しくなった(計)』は自営業・家族従業(計)(48.9%)で比較的高くなっている。＜表1－1＞

⑦ライフステージ別

『苦しくなった(計)』は独身期(36.0%)と家族形成期(34.5%)では3割台と低いが、家族成長前期(53.4%)と家族成長後期(53.1%)では5割以上と高くなり、それ以降は4割台となっている。＜表1－1＞

＜表１－１＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

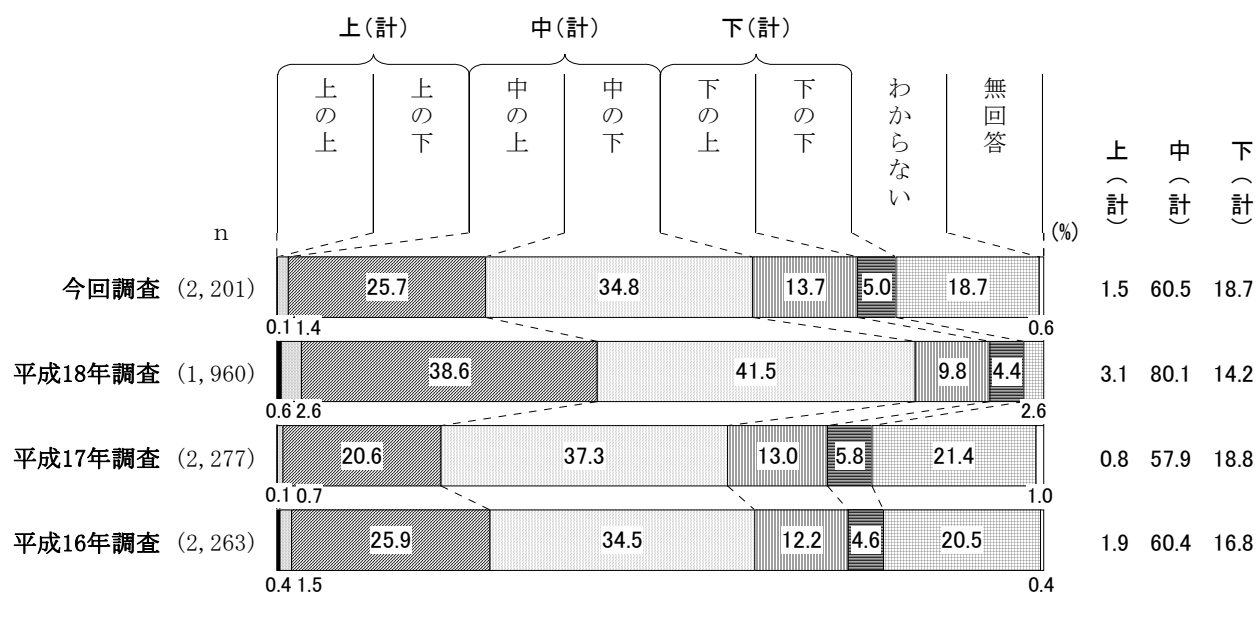
(%)

	調査数	楽になった	少し楽になった	変わらない	少し苦しくなった	苦しくなった	わからない	無回答	楽になった(計)	苦しくなった(計)
【総数】	2201	1.1	3.8	48.3	20.1	24.4	2.2	0.2	4.9	44.5
【都市圏別】										
(南部計)	763	0.9	3.7	47.2	19.1	25.7	3.1	0.3	4.6	44.8
中枢都市圏	458	1.1	4.1	47.4	18.6	25.5	3.1	0.2	5.2	44.1
県南５市圏	215	0.9	3.7	46.5	20.0	25.6	2.8	0.5	4.7	45.6
県央都市圏	90	－	1.1	47.8	20.0	26.7	4.4	－	1.1	46.7
(西部計)	720	1.0	4.2	48.6	18.8	25.3	1.9	0.3	5.1	44.0
南西部４市圏	142	0.7	4.2	47.2	19.0	26.1	2.8	－	4.9	45.1
入間東部都市圏	84	－	2.4	46.4	25.0	23.8	2.4	－	2.4	48.8
川越都市圏	211	1.4	1.9	46.9	21.8	26.1	1.4	0.5	3.3	47.9
所沢都市圏	213	0.9	5.6	55.4	13.6	22.5	1.4	0.5	6.6	36.2
比企都市圏	70	1.4	8.6	38.6	17.1	31.4	2.9	－	10.0	48.6
(東部計)	515	1.6	3.5	50.7	21.9	21.6	0.8	－	5.0	43.5
東部都市圏	302	1.7	4.0	49.7	22.8	21.2	0.7	－	5.6	44.0
利根南部都市圏	129	1.6	3.1	46.5	23.3	25.6	－	－	4.7	48.8
利根北部都市圏	84	1.2	2.4	60.7	16.7	16.7	2.4	－	3.6	33.3
(北部計)	165	1.2	3.6	44.2	25.5	22.4	3.0	－	4.8	47.9
県北都市圏	124	1.6	3.2	41.9	28.2	21.8	3.2	－	4.8	50.0
本庄都市圏	41	－	4.9	51.2	17.1	24.4	2.4	－	4.9	41.5
(秩父計) 秩父都市圏	38	2.6	2.6	47.4	15.8	28.9	2.6	－	5.3	44.7
【性・年代別】										
男性										
20歳代	123	1.6	3.3	48.8	19.5	22.8	4.1	－	4.9	42.3
30歳代	185	1.1	4.3	50.8	16.8	25.4	1.6	－	5.4	42.2
40歳代	224	－	3.6	38.4	24.1	31.7	2.2	－	3.6	55.8
50歳代	221	1.4	5.4	45.2	22.6	23.5	0.9	0.9	6.8	46.2
60歳代	207	－	1.4	45.9	24.2	28.0	0.5	－	1.4	52.2
70歳以上	133	－	0.8	41.4	26.3	30.8	0.8	－	0.8	57.1
女性										
20歳代	137	3.6	2.2	55.5	11.7	18.2	8.0	0.7	5.8	29.9
30歳代	188	0.5	6.4	54.3	17.0	19.1	2.7	－	6.9	36.2
40歳代	209	1.0	4.8	48.3	23.0	21.1	1.9	－	5.7	44.0
50歳代	220	0.9	6.4	48.6	16.4	25.5	1.8	0.5	7.3	41.8
60歳代	210	1.0	2.9	52.4	18.6	24.3	1.0	－	3.8	42.9
70歳以上	144	4.2	1.4	52.8	18.8	19.4	3.5	－	5.6	38.2
【職業別】										
自営業・家族従業(計)	278	2.2	5.4	41.4	20.5	28.4	1.8	0.4	7.6	48.9
雇用者(計)	1000	0.5	4.7	49.0	19.9	23.7	1.9	0.3	5.2	43.6
無職(計)	892	1.6	2.4	49.4	20.3	23.8	2.6	－	3.9	44.1
【ライフステージ別】										
独身期	303	1.7	3.3	53.8	13.9	22.1	5.0	0.3	5.0	36.0
家族形成期	229	1.7	4.8	56.3	16.2	18.3	2.6	－	6.6	34.5
家族成長前期	253	0.4	2.8	40.3	23.7	29.6	2.4	0.8	3.2	53.4
家族成長後期	194	0.5	6.2	39.7	29.4	23.7	0.5	－	6.7	53.1
家族成熟期	500	1.2	5.2	49.0	18.4	24.4	1.6	0.2	6.4	42.8
高齢期	384	1.3	1.8	49.5	22.1	24.0	1.3	－	3.1	46.1
その他	338	0.9	3.0	46.2	20.4	27.5	2.1	－	3.8	47.9

(2) 生活程度

◇『中（計）』程度が60.5%、『下（計）』は18.7%

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに属すると思いますか。



世間一般からみた生活程度は、「中の下」(34.8%)が最も高く、「中の上」(25.7%)がこれに次いでいる。両者を合わせた『中(計)』(60.5%)は6割を占める。同様に「下の上」(13.7%)と「下の下」(5.0%)を合わせた『下(計)』は18.7%、「上の下」(1.4%)と「上の上」(0.1%)を合わせた『上(計)』は1.5%となっている。

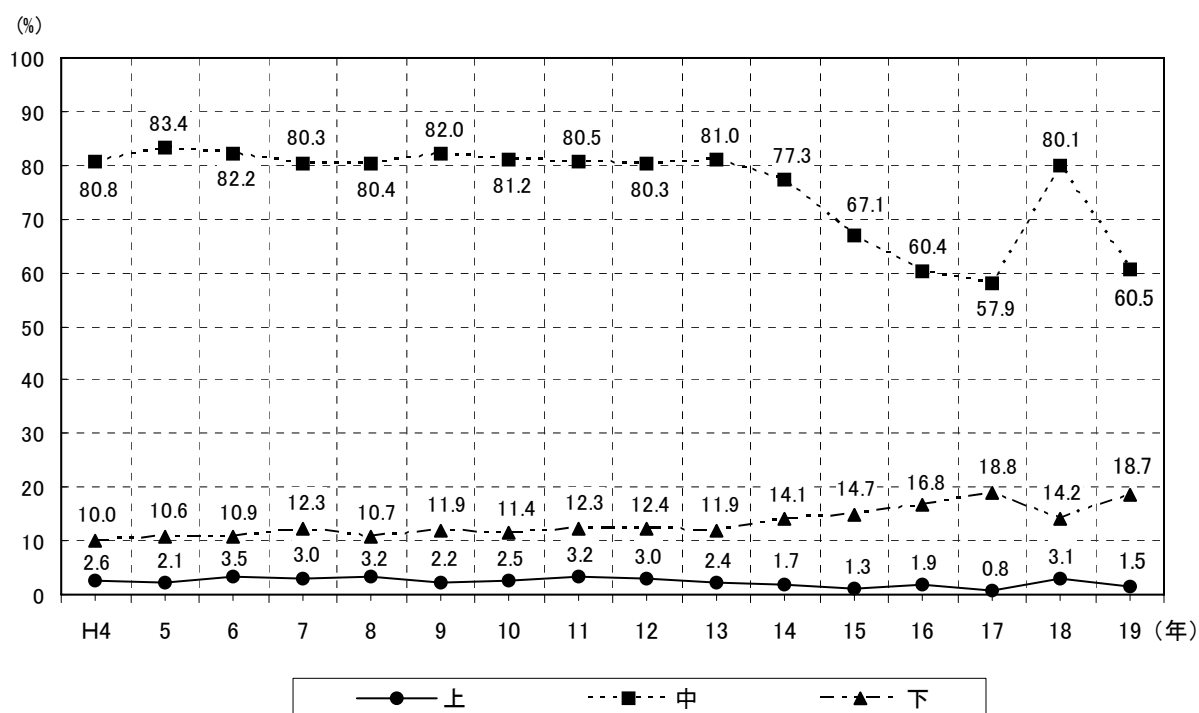
【過去3年間との比較】

過去3年間と比較すると、昨年よりも『上(計)』が半減、『中(計)』が19.6ポイント減少して、平成16年の結果に近くなっている。

【経年比較】

平成4年からの推移をみると、平成17年に6割を切った『中（計）』は、その後の急上昇と急下降を経て6割台にとどまっている。『下（計）』は緩い上昇傾向にあり、今回は過去2番目の高さとなっている。＜図1－4＞

＜図1－4＞平成4年以降の推移



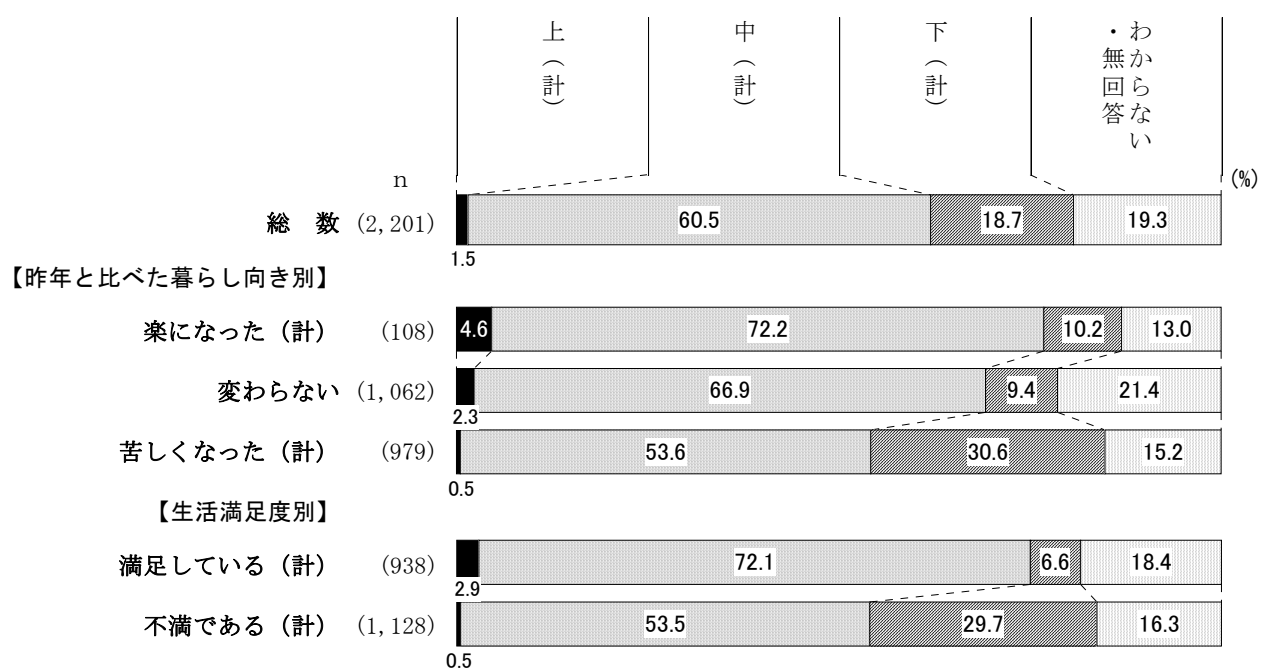
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向きの回答別でみると、いずれの段階でも『中（計）』が過半数を占めているが、楽になった（計）（72.2%）と変わらない（66.9%）が7割前後であるのに対して、苦しくなった（計）（53.6%）は5割強にとどまっている。苦しくなった（計）では『下（計）』（30.6%）が3割と高い。＜図1－5＞

【生活満足度別】

生活全体の満足度別にみると、『中（計）』は満足している（計）で72.1%、不満である（計）で53.5%と差が大きい。『下（計）』では逆に、不満である（計）（29.7%）が満足している（計）（6.6%）よりも高くなっている。＜図1－5＞

＜図1－5＞昨年と比べた暮らし向き別／生活満足度別



【属性別比較】

①地域別

『上（計）』は地域による目立った差はない。『中（計）』は南部（63.0％）と東部（62.7％）で6割以上と高いが、西部（57.9％）と北部（55.8％）は5割台でやや低くなっている。『下（計）』は南部（14.3％）で低く、秩父（28.9％）でやや高い。＜図1－6＞

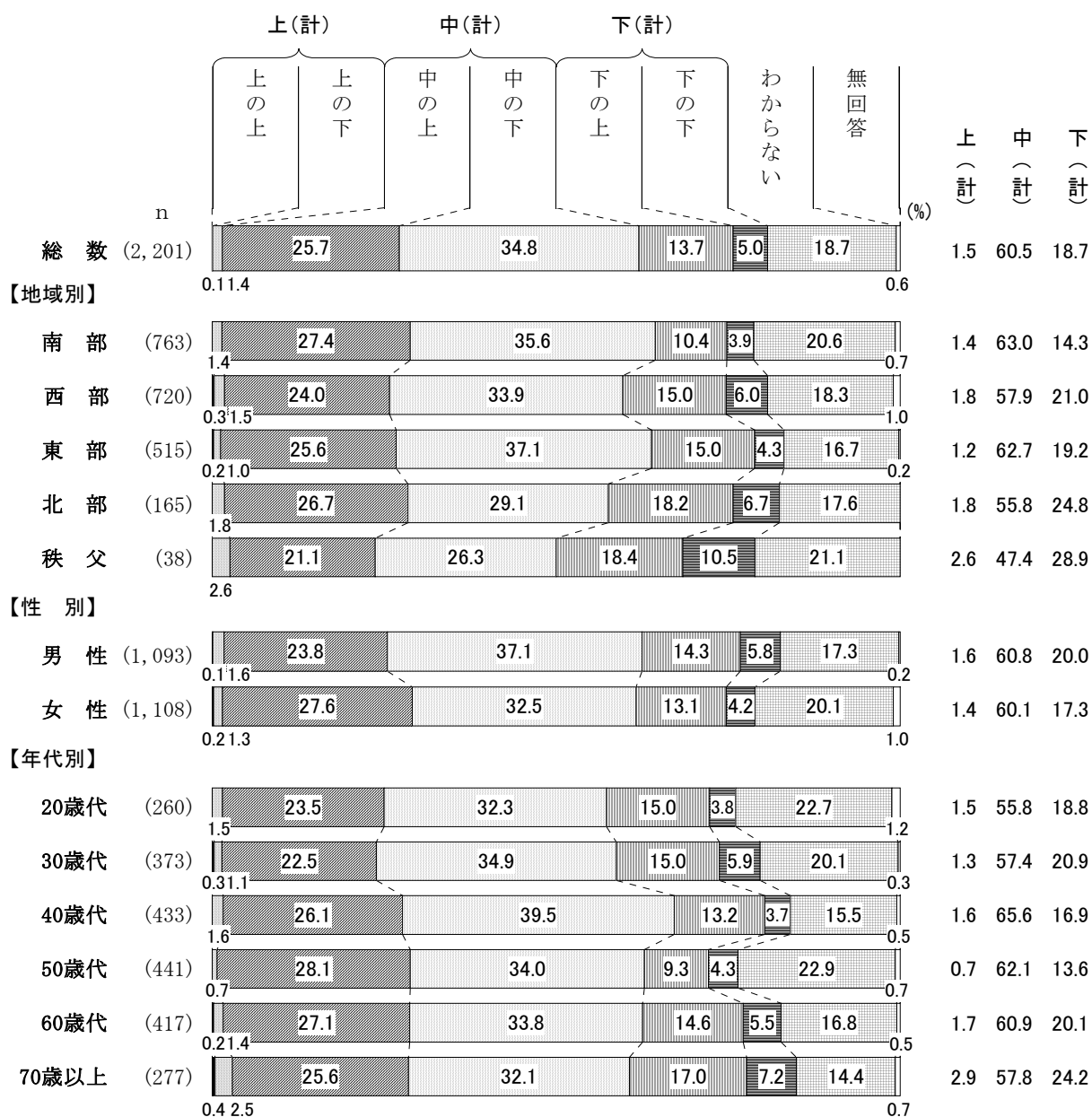
②性別

生活程度に関して男女間に差はない。＜図1－6＞

③年代別

『中（計）』は40歳代（65.6％）、50歳代（62.1％）の順で高い。一方、『下（計）』は50歳代（13.6％）で最も低く、70歳以上（24.2％）、30歳代（20.9％）、60歳代（20.1％）で2割以上となっている。＜図1－6＞

＜図1－6＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『中（計）』は東部都市圏（65.6%）や県南5市圏（63.7%）で高く、秩父都市圏（47.4%）や利根北部都市圏（52.4%）で低い。一方、『下（計）』は比企都市圏（31.4%）や秩父都市圏（28.9%）で高くなっている。＜表1－2＞

⑤性・年代別

『中（計）』は男性40歳代（69.2%）の高さと男性20歳代（50.4%）の低さが目立っている。女性は年代間の差が比較的小さい。一方、『下（計）』は男性20歳代（28.5%）や男性70歳以上（27.8%）で高く、女性20歳代（10.2%）で最も低い。＜表1－2＞

⑥職業別

職業別で特に目立った違いはない。＜表1－2＞

⑦ライフステージ別

『中（計）』は家族成長後期（70.1%）で特に高く、独身期（57.8%）や家族形成期（55.9%）では5割台と低くなっている。一方、『下（計）』は家族成長後期（13.4%）で最も低く、家族形成期（20.1%）やその他（23.4%）で高くなっている。＜表1－2＞

＜表１－２＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

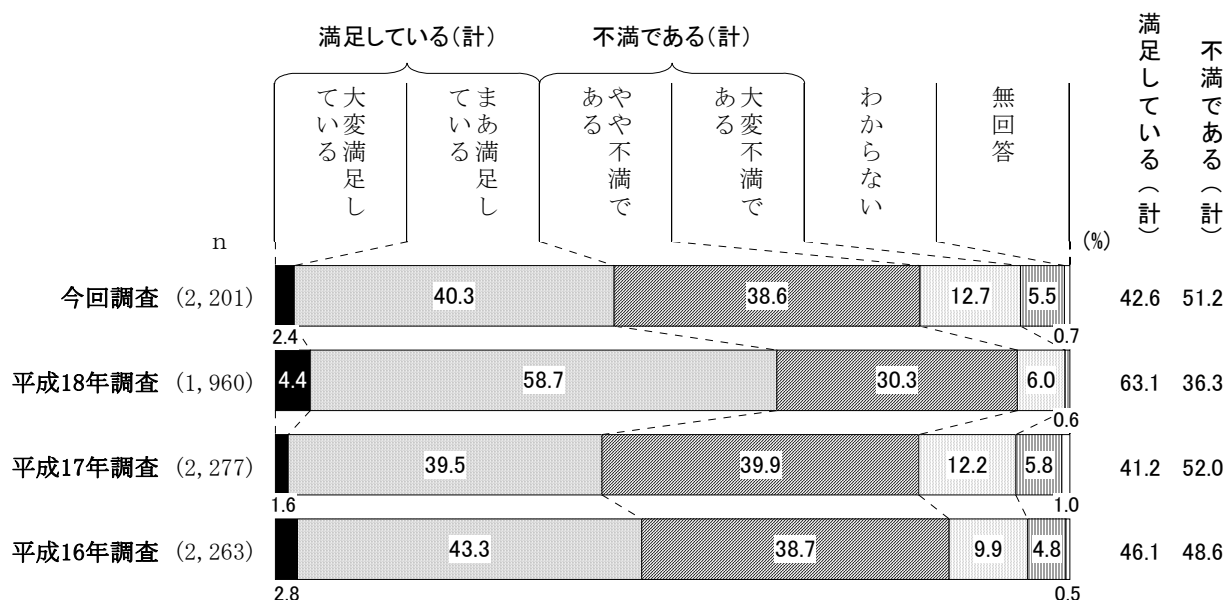
(%)

	調査数	上の上	上の下	中の上	中の下	下の上	下の下	わからない	無回答	上(計)	中(計)	下(計)
【総数】	2201	0.1	1.4	25.7	34.8	13.7	5.0	18.7	0.6	1.5	60.5	18.7
【都市圏別】												
(南部計)	763	-	1.4	27.4	35.6	10.4	3.9	20.6	0.7	1.4	63.0	14.3
中枢都市圏	458	-	1.3	25.8	37.1	10.9	3.5	20.5	0.9	1.3	62.9	14.4
県南５市圏	215	-	1.4	32.6	31.2	8.8	5.6	20.0	0.5	1.4	63.7	14.4
県央都市圏	90	-	2.2	23.3	38.9	11.1	2.2	22.2	-	2.2	62.2	13.3
(西部計)	720	0.3	1.5	24.0	33.9	15.0	6.0	18.3	1.0	1.8	57.9	21.0
南西部４市圏	142	-	1.4	21.1	35.2	16.2	4.9	20.4	0.7	1.4	56.3	21.1
入間東部都市圏	84	-	2.4	26.2	33.3	13.1	9.5	15.5	-	2.4	59.5	22.6
川越都市圏	211	0.9	1.9	21.8	33.6	16.1	6.2	17.5	1.9	2.8	55.5	22.3
所沢都市圏	213	-	1.4	29.1	32.9	12.2	3.3	20.2	0.9	1.4	62.0	15.5
比企都市圏	70	-	-	18.6	35.7	20.0	11.4	14.3	-	-	54.3	31.4
(東部計)	515	0.2	1.0	25.6	37.1	15.0	4.3	16.7	0.2	1.2	62.7	19.2
東部都市圏	302	0.3	1.7	27.5	38.1	14.2	4.3	13.9	-	2.0	65.6	18.5
利根南部都市圏	129	-	-	25.6	37.2	16.3	3.9	16.3	0.8	-	62.8	20.2
利根北部都市圏	84	-	-	19.0	33.3	15.5	4.8	27.4	-	-	52.4	20.2
(北部計)	165	-	1.8	26.7	29.1	18.2	6.7	17.6	-	1.8	55.8	24.8
県北都市圏	124	-	0.8	26.6	28.2	19.4	5.6	19.4	-	0.8	54.8	25.0
本庄都市圏	41	-	4.9	26.8	31.7	14.6	9.8	12.2	-	4.9	58.5	24.4
(秩父計) 秩父都市圏	38	-	2.6	21.1	26.3	18.4	10.5	21.1	-	2.6	47.4	28.9
【性・年代別】												
男性												
20歳代	123	-	1.6	21.1	29.3	22.8	5.7	19.5	-	1.6	50.4	28.5
30歳代	185	0.5	1.6	24.9	35.7	14.6	6.5	16.2	-	2.2	60.5	21.1
40歳代	224	-	0.9	24.1	45.1	11.6	3.1	14.7	0.4	0.9	69.2	14.7
50歳代	221	-	1.4	25.3	35.7	8.1	5.4	23.5	0.5	1.4	61.1	13.6
60歳代	207	-	1.4	25.6	33.8	14.0	7.7	17.4	-	1.4	59.4	21.7
70歳以上	133	-	3.0	18.8	39.8	21.1	6.8	10.5	-	3.0	58.6	27.8
女性												
20歳代	137	-	1.5	25.5	35.0	8.0	2.2	25.5	2.2	1.5	60.6	10.2
30歳代	188	-	0.5	20.2	34.0	15.4	5.3	23.9	0.5	0.5	54.3	20.7
40歳代	209	-	2.4	28.2	33.5	14.8	4.3	16.3	0.5	2.4	61.7	19.1
50歳代	220	-	-	30.9	32.3	10.5	3.2	22.3	0.9	-	63.2	13.6
60歳代	210	0.5	1.4	28.6	33.8	15.2	3.3	16.2	1.0	1.9	62.4	18.6
70歳以上	144	0.7	2.1	31.9	25.0	13.2	7.6	18.1	1.4	2.8	56.9	20.8
【職業別】												
自営業・家族従業(計)	278	0.4	0.7	24.8	34.9	12.2	6.1	20.1	0.7	1.1	59.7	18.3
雇用者(計)	1000	0.1	1.3	24.2	37.8	14.3	3.9	18.0	0.4	1.4	62.0	18.2
無職(計)	892	0.1	1.7	28.1	31.1	13.7	5.8	18.7	0.8	1.8	59.2	19.5
【ライフステージ別】												
独身期	303	-	0.7	25.4	32.3	14.9	3.6	22.1	1.0	0.7	57.8	18.5
家族形成期	229	-	2.2	21.4	34.5	15.7	4.4	21.4	0.4	2.2	55.9	20.1
家族成長前期	253	0.4	1.2	22.5	38.7	14.2	5.1	17.0	0.8	1.6	61.3	19.4
家族成長後期	194	-	1.0	33.5	36.6	9.3	4.1	14.9	0.5	1.0	70.1	13.4
家族成熟期	500	-	1.2	26.8	35.4	11.4	5.0	19.6	0.6	1.2	62.2	16.4
高齢期	384	0.5	2.3	29.4	34.4	15.9	3.1	13.8	0.5	2.9	63.8	19.0
その他	338	-	1.2	21.0	32.5	14.2	9.2	21.6	0.3	1.2	53.6	23.4

(3) 生活全体の満足度

◇『満足している（計）』は42.6%、『不満である（計）』は51.2%

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。



生活全体に対する満足度は、「まあ満足している」(40.3%)と「やや不満である」(38.6%)が4割前後で高い。「大変満足している」(2.4%)と「まあ満足している」(40.3%)を合わせた『満足している(計)』(42.6%)は4割強、一方、「大変不満である」(12.7%)と「やや不満である」(38.6%)を合わせた『不満である(計)』(51.2%)は過半数を占めている。

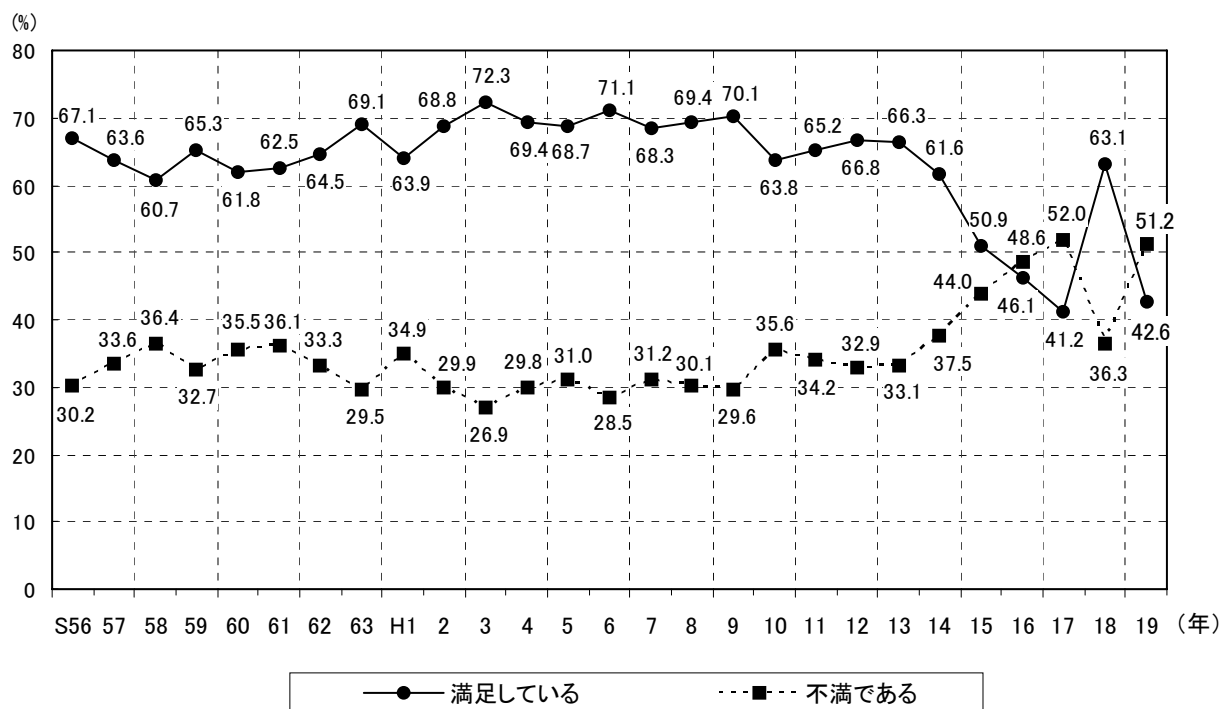
【過去3年間との比較】

過去3年間と比較すると、昨年よりも『満足している(計)』が20.5ポイント減少、『不満である(計)』が14.9ポイント上昇し、平成17年や平成16年の結果に近づいている。

【経年比較】

昭和56年以降の推移をみると、『満足している（計）』は平成16年に初めて5割を切り、『不満である（計）』が上回ったが、昨年は4年ぶりに『満足している（計）』が6割台になるとともに、2年ぶりに『不満である（計）』を上回った。しかし、今回は『不満である（計）』が『満足している（計）』を8.6ポイント上回り、『満足している（計）』は過去2番目の低さとなっている。＜図1－7＞

＜図1－7＞昭和56年以降の推移



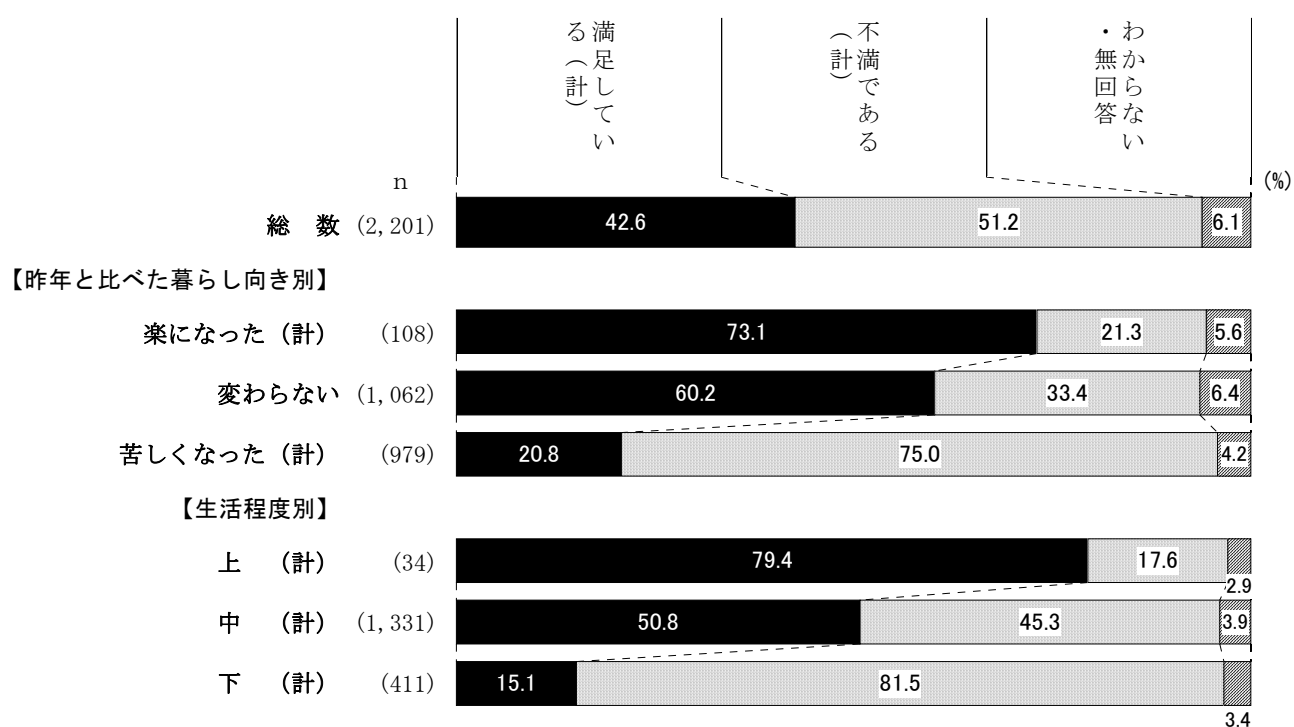
【昨年と比べた暮らし向き別】

昨年と比べた暮らし向きの回答別でみると、『満足している（計）』は楽になった（計）（73.1%）が7割台半ば弱、変わらない（60.2%）が6割となっており、両者の差は12.9ポイントとなっている。一方で、苦しくなった（計）（20.8%）は2割と極めて低くなっている。＜図1－8＞

【生活程度別】

生活程度別にみると、『満足している（計）』は上（計）（79.4%）で8割、中（計）（50.8%）で5割を占める。しかし、下（計）（15.1%）では1割台半ばにとどまり、『不満である（計）』（81.5%）が8割となっている。＜図1－8＞

＜図1－8＞昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別



【属性別比較】

①地域別

『満足している（計）』は東部（45.8%）でやや高く、北部（37.6%）でやや低い。一方、『不満である（計）』は西部（53.5%）や秩父（52.6%）でやや高く、東部（49.5%）で最も低い。＜図1－9＞

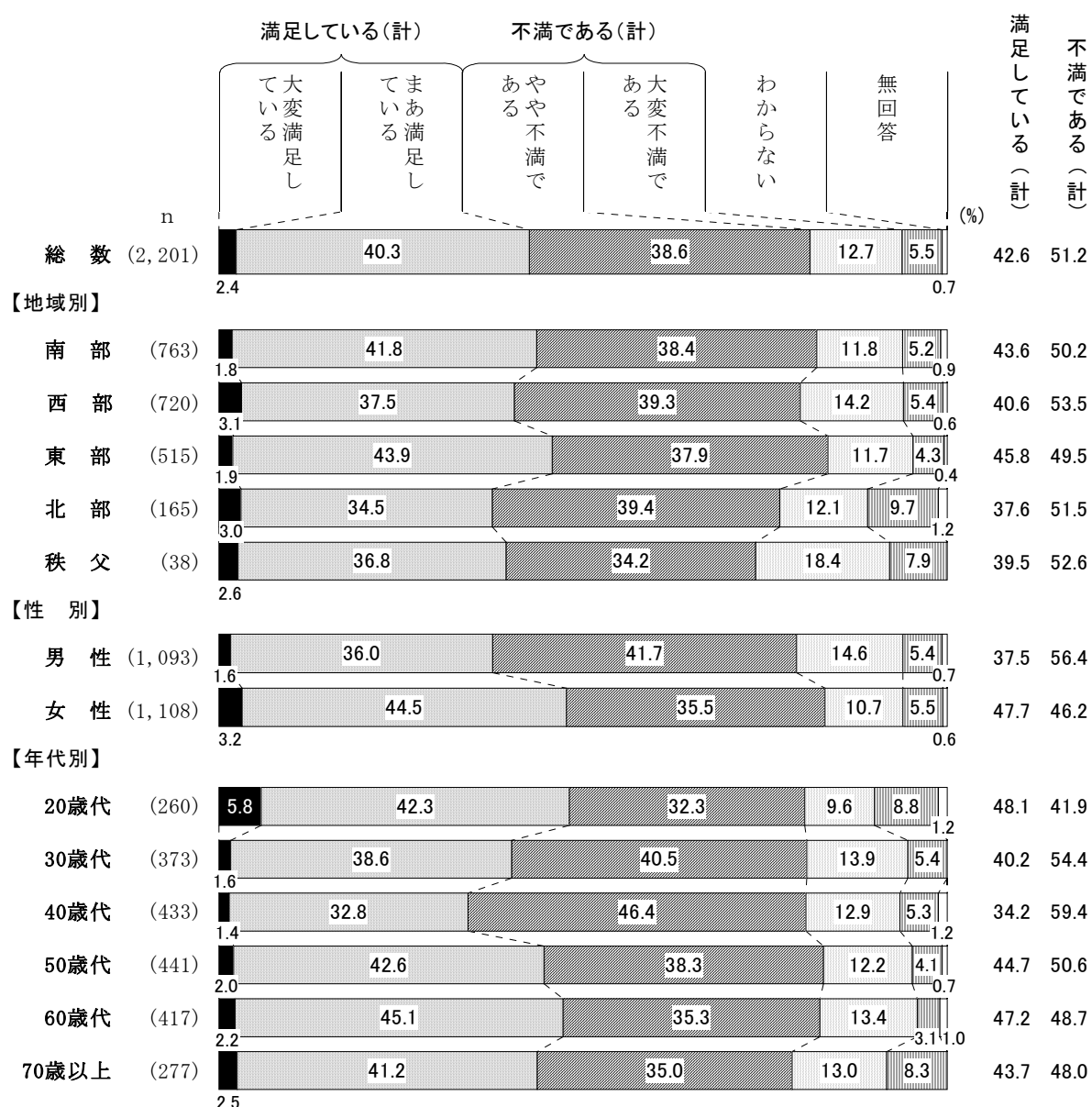
②性別

女性は『満足している（計）』（47.7%）が『不満である（計）』（46.2%）よりも1.5ポイントとわずかに高いが、男性は『不満である（計）』（56.4%）が『満足している（計）』（37.5%）を18.9ポイント上回っている。＜図1－9＞

③年代別

『満足している（計）』は20歳代（48.1%）や60歳代（47.2%）で高く、40歳代（34.2%）で特に低い。『不満である（計）』は逆に40歳代（59.4%）で高く、20歳代（41.9%）では低い。『満足している（計）』が『不満である（計）』よりも高いのは20歳代のみで、40歳代では『不満である（計）』（59.4%）が『満足している（計）』（34.2%）よりも25.2ポイント高い。＜図1－9＞

＜図1－9＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『満足している（計）』は利根南部都市圏（51.9%）で唯一5割を超えている。一方、『不満である（計）』は南西部4市圏（59.9%）が6割と高く、本庄都市圏（56.1%）や入間東部都市圏（56.0%）も5割台後半で高い。また、ほとんどの都市圏で『不満である（計）』が『満足している（計）』よりも高いが、利根南部都市圏と所沢都市圏では『満足している（計）』の方が高くなっている。＜表1－3＞

⑤性・年代別

『満足している（計）』は女性20歳代（54.7%）、女性70歳以上（52.1%）、女性60歳代（51.9%）で5割を超えており、男性40歳代（27.2%）で3割未満と極めて低い。一方、『不満である（計）』は男性40歳代（64.3%）で唯一6割を超え、男性70歳以上（58.6%）や男性30歳代（57.3%）でも高くなっている。また、男性はすべての年代で『満足している（計）』よりも『不満である（計）』が高いが、女性では同じ傾向は30歳代と40歳代だけである。＜表1－3＞

⑥職業別

『満足している（計）』は無職（計）（47.3%）で高く、『不満である（計）』（46.9%）とほぼ同率となっている。＜表1－3＞

⑦ライフステージ別

『満足している（計）』は高齢期（48.7%）で最も高く、家族成長前期（31.2%）で特に低い。一方、『不満である（計）』は家族成長前期（62.5%）で唯一6割を超えて高くなっている。独身期と高齢期は『満足している（計）』と『不満である（計）』がほぼ同率だが、他のステージではいずれも『不満である（計）』が高くなっている。特に家族成長前期では『不満である（計）』（62.5%）が『満足している（計）』（31.2%）を31.3ポイント上回る。＜表1－3＞

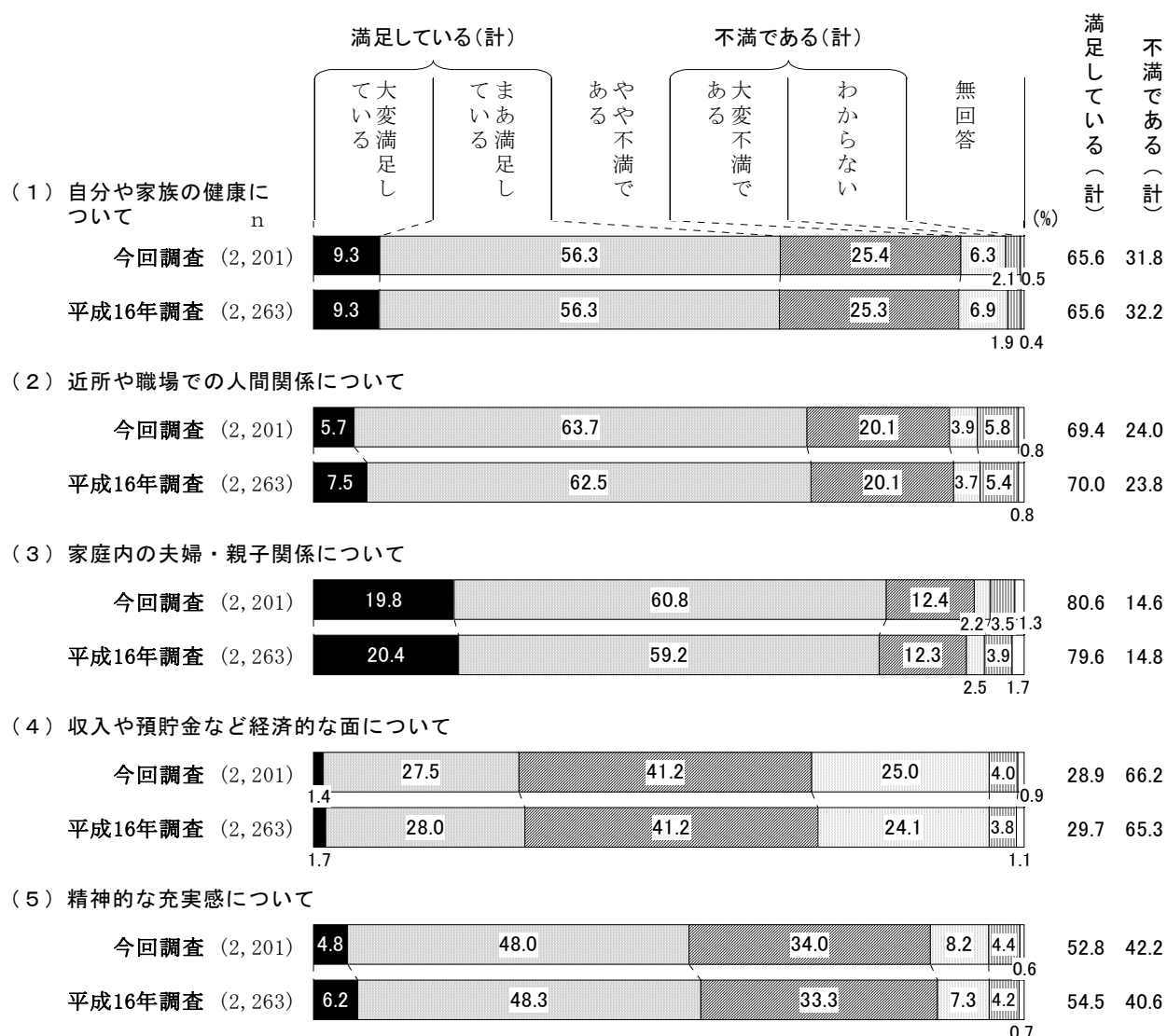
＜表１－３＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

								(%)	
	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している(計)	不満である(計)
【総数】	2201	2.4	40.3	38.6	12.7	5.5	0.7	42.6	51.2
【都市圏別】									
(南部計)	763	1.8	41.8	38.4	11.8	5.2	0.9	43.6	50.2
中枢都市圏	458	1.7	40.0	39.5	12.0	5.7	1.1	41.7	51.5
県南５市圏	215	2.3	43.7	36.7	11.2	5.1	0.9	46.0	47.9
県央都市圏	90	1.1	46.7	36.7	12.2	3.3	-	47.8	48.9
(西部計)	720	3.1	37.5	39.3	14.2	5.4	0.6	40.6	53.5
南西部４市圏	142	2.1	29.6	40.1	19.7	7.0	1.4	31.7	59.9
入間東部都市圏	84	3.6	34.5	39.3	16.7	4.8	1.2	38.1	56.0
川越都市圏	211	2.8	37.4	40.3	14.2	5.2	-	40.3	54.5
所沢都市圏	213	4.2	44.1	39.4	8.0	3.8	0.5	48.4	47.4
比企都市圏	70	1.4	37.1	34.3	18.6	8.6	-	38.6	52.9
(東部計)	515	1.9	43.9	37.9	11.7	4.3	0.4	45.8	49.5
東部都市圏	302	2.6	40.1	40.1	11.6	5.0	0.7	42.7	51.7
利根南部都市圏	129	1.6	50.4	33.3	12.4	2.3	-	51.9	45.7
利根北部都市圏	84	-	47.6	36.9	10.7	4.8	-	47.6	47.6
(北部計)	165	3.0	34.5	39.4	12.1	9.7	1.2	37.6	51.5
県北都市圏	124	1.6	36.3	38.7	11.3	10.5	1.6	37.9	50.0
本庄都市圏	41	7.3	29.3	41.5	14.6	7.3	-	36.6	56.1
(秩父計) 秩父都市圏	38	2.6	36.8	34.2	18.4	7.9	-	39.5	52.6
【性・年代別】									
男性 20歳代	123	3.3	37.4	35.0	14.6	9.8	-	40.7	49.6
30歳代	185	1.6	38.9	41.6	15.7	2.2	-	40.5	57.3
40歳代	224	-	27.2	49.6	14.7	6.7	1.8	27.2	64.3
50歳代	221	2.7	38.0	39.4	14.5	4.5	0.9	40.7	53.8
60歳代	207	1.9	40.6	37.2	15.0	4.3	1.0	42.5	52.2
70歳以上	133	-	34.6	45.9	12.8	6.8	-	34.6	58.6
女性 20歳代	137	8.0	46.7	29.9	5.1	8.0	2.2	54.7	35.0
30歳代	188	1.6	38.3	39.4	12.2	8.5	-	39.9	51.6
40歳代	209	2.9	38.8	43.1	11.0	3.8	0.5	41.6	54.1
50歳代	220	1.4	47.3	37.3	10.0	3.6	0.5	48.6	47.3
60歳代	210	2.4	49.5	33.3	11.9	1.9	1.0	51.9	45.2
70歳以上	144	4.9	47.2	25.0	13.2	9.7	-	52.1	38.2
【職業別】									
自営業・家族従業(計)	278	1.1	33.1	42.8	16.5	5.0	1.4	34.2	59.4
雇用者(計)	1000	1.9	39.0	41.0	11.9	5.5	0.7	40.9	52.9
無職(計)	892	3.3	44.1	34.9	12.0	5.5	0.3	47.3	46.9
【ライフステージ別】									
独身期	303	4.3	42.2	34.7	11.2	7.3	0.3	46.5	45.9
家族形成期	229	3.1	38.9	40.6	11.8	4.8	0.9	41.9	52.4
家族成長前期	253	0.8	30.4	49.0	13.4	5.1	1.2	31.2	62.5
家族成長後期	194	2.6	38.1	42.3	12.4	4.6	-	40.7	54.6
家族成熟期	500	2.2	43.6	37.4	12.4	3.6	0.8	45.8	49.8
高齢期	384	3.1	45.6	34.4	11.2	5.2	0.5	48.7	45.6
その他	338	0.6	37.0	37.3	16.3	8.0	0.9	37.6	53.6

（４）生活各面の満足度

◇経済的な面で不満が高い

問４ では、次にあげる5つの生活面について、あなたはどの程度満足していますか。



生活面での満足度について、5つの指標を設定して聞いた。

「自分や家族の健康について」、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している(計)』は65.6%で、「大変不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満である(計)』は31.8%となっている。

「近所や職場での人間関係について」、「満足している(計)』(69.4%)は7割、『不満である(計)』(24.0%)は4人に1人の割合となっている。

「家庭内の夫婦・親子関係について」、「満足している(計)』(80.6%)は8割、『不満である(計)』(14.6%)は1割台半ばとなっている。

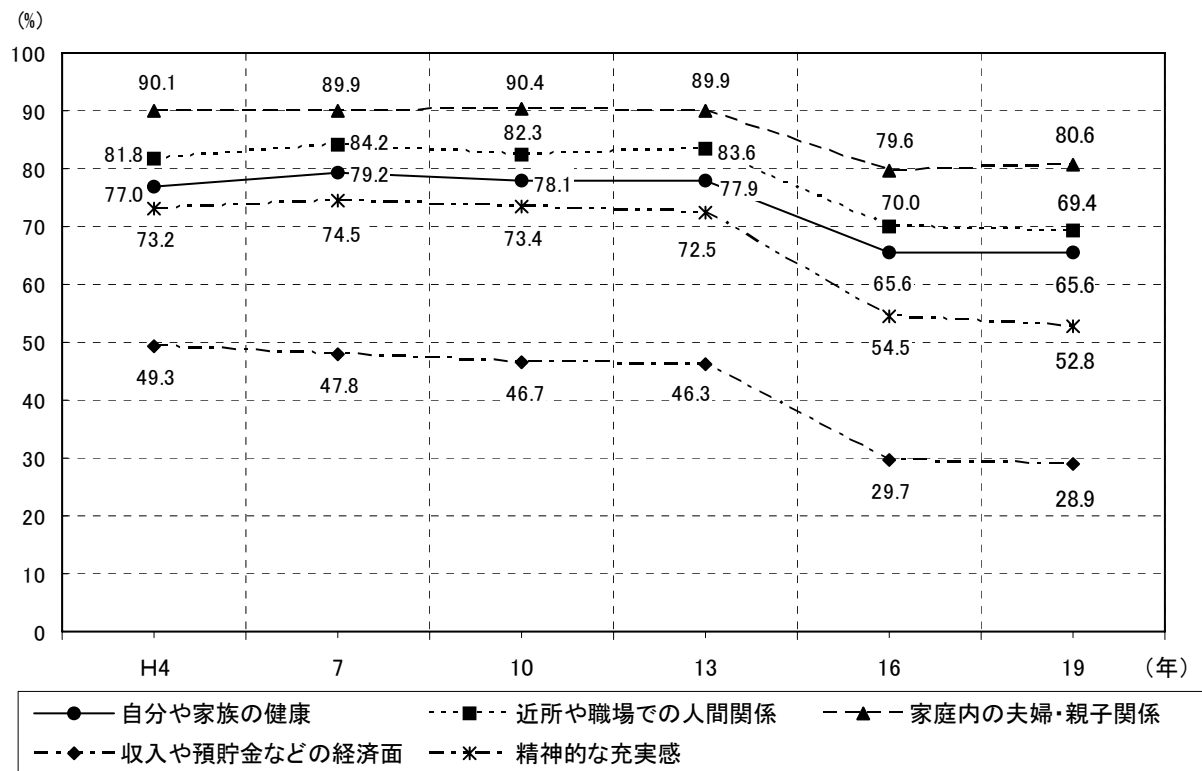
「収入や預貯金など経済的な面について」、「満足している(計)』(28.9%)は3割弱、『不満である(計)』(66.2%)は6割台半ば強となっている。

「精神的な充実感について」、「満足している(計)』(52.8%)は半数強、『不満である(計)』(42.2%)は4割強となっている。

【経年比較】

平成4年からの満足層の推移（3年ごと）は、各項目とも平成4年から平成13年までは大きな変化はないが、平成16年にいずれも大幅に減少し、今回もほぼ同程度の結果となっている。＜図1－10＞

＜図1－10＞平成4年以降の満足層の推移



（１）自分や家族の健康について

自分や家族の健康について、『満足している（計）』は65.6%、『不満である（計）』は31.8%となっている。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（74.1%）と変わらない（73.0%）では7割台前半だが、苦しくなった（計）（57.3%）では5割台にとどまっている。＜図１－11＞

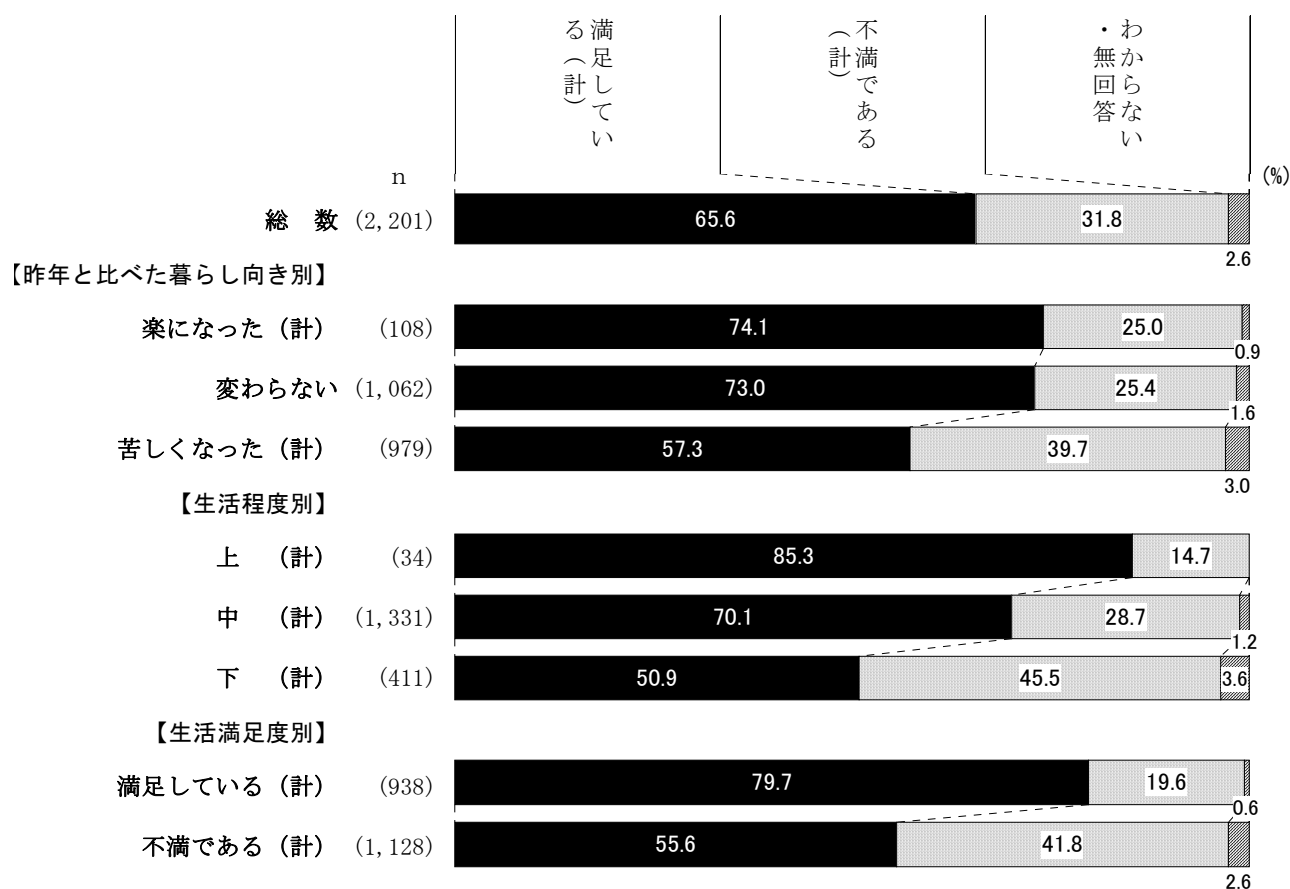
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（85.3%）では8割台半ば、中（計）（70.1%）では7割、下（計）（50.9%）では5割と、生活程度による差が大きくなっている。＜図１－11＞

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（79.7%）が不満である（計）（55.6%）を24.1ポイント上回っている。＜図１－11＞

＜図１－11＞昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

①地域別

『満足している（計）』は東部（67.6%）や南部（67.4%）でやや高く、『不満である（計）』は北部（35.2%）でやや高くなっている。＜図1－12＞

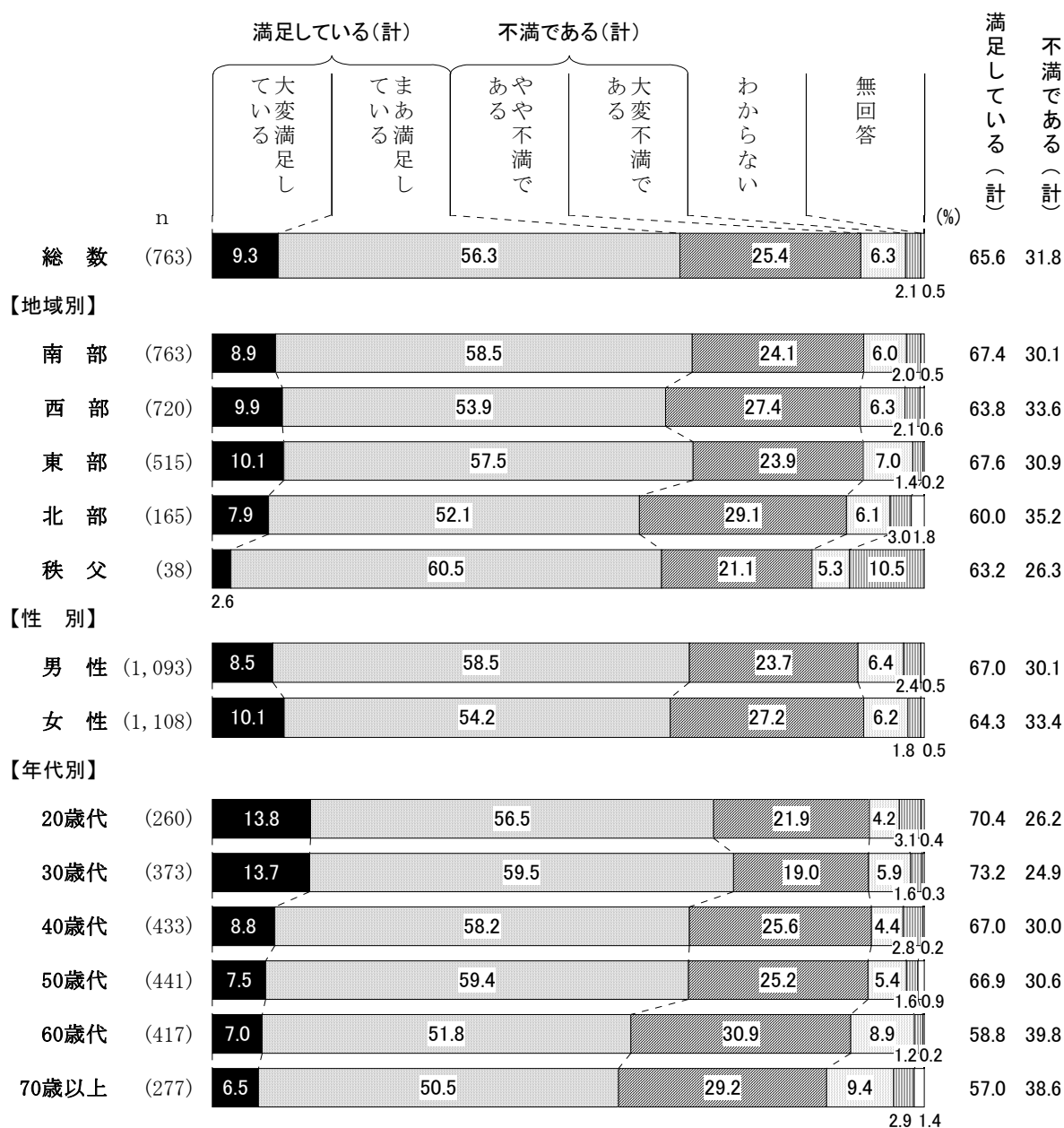
②性別

男女間で特に違いはみられない。＜図1－12＞

③年代別

『満足している（計）』は30歳代（73.2%）を最高に、高年代になるほど低くなっている。＜図1－12＞

＜図1－12＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『満足している（計）』は比企都市圏（71.4%）、利根南部都市圏（71.3%）、県南5市圏（71.2%）、県央都市圏（71.1%）で7割以上と高いが、本庄都市圏（58.5%）と入間東部都市圏（59.5%）では6割未満と低くなっている。＜表1－4＞

⑤性・年代別

『満足している（計）』は男性30歳代（76.2%）の高さが際立っている。一方、60歳代以上は男女とも6割未満と低くなっている。＜表1－4＞

⑥職業別

『満足している（計）』は雇用者（計）（68.2%）、無職（計）（64.1%）、自営業・家族従業（計）（61.2%）の順に高い。＜表1－4＞

⑦ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（77.7%）で最も高く、高ステージになるほど低くなっている。＜表1－4＞

＜表１－４＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	(%)	
								満足している（計）	不満である（計）
【総数】	2201	9.3	56.3	25.4	6.3	2.1	0.5	65.6	31.8
【都市圏別】									
（南部計）	763	8.9	58.5	24.1	6.0	2.0	0.5	67.4	30.1
中枢都市圏	458	9.4	55.5	26.6	6.6	1.5	0.4	64.8	33.2
県南５市圏	215	6.5	64.7	20.9	4.7	2.3	0.9	71.2	25.6
県央都市圏	90	12.2	58.9	18.9	6.7	3.3	－	71.1	25.6
（西部計）	720	9.9	53.9	27.4	6.3	2.1	0.6	63.8	33.6
南西部４市圏	142	7.0	59.9	27.5	4.2	1.4	－	66.9	31.7
入間東部都市圏	84	11.9	47.6	27.4	9.5	2.4	1.2	59.5	36.9
川越都市圏	211	10.4	53.1	25.6	7.6	2.8	0.5	63.5	33.2
所沢都市圏	213	10.3	50.7	31.0	5.6	1.4	0.9	61.0	36.6
比企都市圏	70	10.0	61.4	21.4	4.3	2.9	－	71.4	25.7
（東部計）	515	10.1	57.5	23.9	7.0	1.4	0.2	67.6	30.9
東部都市圏	302	10.6	55.6	23.2	8.3	2.0	0.3	66.2	31.5
利根南部都市圏	129	9.3	62.0	23.3	4.7	0.8	－	71.3	27.9
利根北部都市圏	84	9.5	57.1	27.4	6.0	－	－	66.7	33.3
（北部計）	165	7.9	52.1	29.1	6.1	3.0	1.8	60.0	35.2
県北都市圏	124	8.1	52.4	25.8	7.3	4.0	2.4	60.5	33.1
本庄都市圏	41	7.3	51.2	39.0	2.4	－	－	58.5	41.5
（秩父計） 秩父都市圏	38	2.6	60.5	21.1	5.3	10.5	－	63.2	26.3
【性・年代別】									
男性									
20歳代	123	13.8	56.9	22.0	4.1	3.3	－	70.7	26.0
30歳代	185	13.5	62.7	15.7	6.5	1.1	0.5	76.2	22.2
40歳代	224	7.6	61.6	21.4	4.9	4.0	0.4	69.2	26.3
50歳代	221	6.8	59.7	23.5	6.3	2.3	1.4	66.5	29.9
60歳代	207	6.3	53.6	30.0	9.2	1.0	－	59.9	39.1
70歳以上	133	4.5	54.1	30.8	6.8	3.0	0.8	58.6	37.6
女性									
20歳代	137	13.9	56.2	21.9	4.4	2.9	0.7	70.1	26.3
30歳代	188	13.8	56.4	22.3	5.3	2.1	－	70.2	27.7
40歳代	209	10.0	54.5	30.1	3.8	1.4	－	64.6	34.0
50歳代	220	8.2	59.1	26.8	4.5	0.9	0.5	67.3	31.4
60歳代	210	7.6	50.0	31.9	8.6	1.4	0.5	57.6	40.5
70歳以上	144	8.3	47.2	27.8	11.8	2.8	2.1	55.6	39.6
【職業別】									
自営業・家族従業（計）	278	8.6	52.5	27.0	8.6	2.5	0.7	61.2	35.6
雇用者（計）	1000	9.4	58.8	24.3	4.6	2.5	0.4	68.2	28.9
無職（計）	892	9.4	54.7	26.5	7.3	1.6	0.6	64.1	33.7
【ライフステージ別】									
独身期	303	10.9	55.4	23.4	6.9	2.6	0.7	66.3	30.4
家族形成期	229	15.3	62.4	16.6	3.1	2.6	－	77.7	19.7
家族成長前期	253	13.0	63.6	17.0	3.6	2.0	0.8	76.7	20.6
家族成長後期	194	11.3	63.4	21.6	3.1	0.5	－	74.7	24.7
家族成熟期	500	8.4	53.8	30.4	5.2	1.8	0.4	62.2	35.6
高齢期	384	7.6	50.5	29.7	10.2	2.1	－	58.1	39.8
その他	338	3.3	53.6	29.6	9.2	2.7	1.8	56.8	38.8

(2) 近所や職場での人間関係について

近所や職場での人間関係について、『満足している（計）』（69.4%）は7割、『不満である（計）』（24.0%）は4人に1人の割合となっている。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（81.5%）で8割強、変わらない（76.0%）で7割台半ば、苦しくなった（計）（61.9%）で6割強となっている。＜図1－13＞

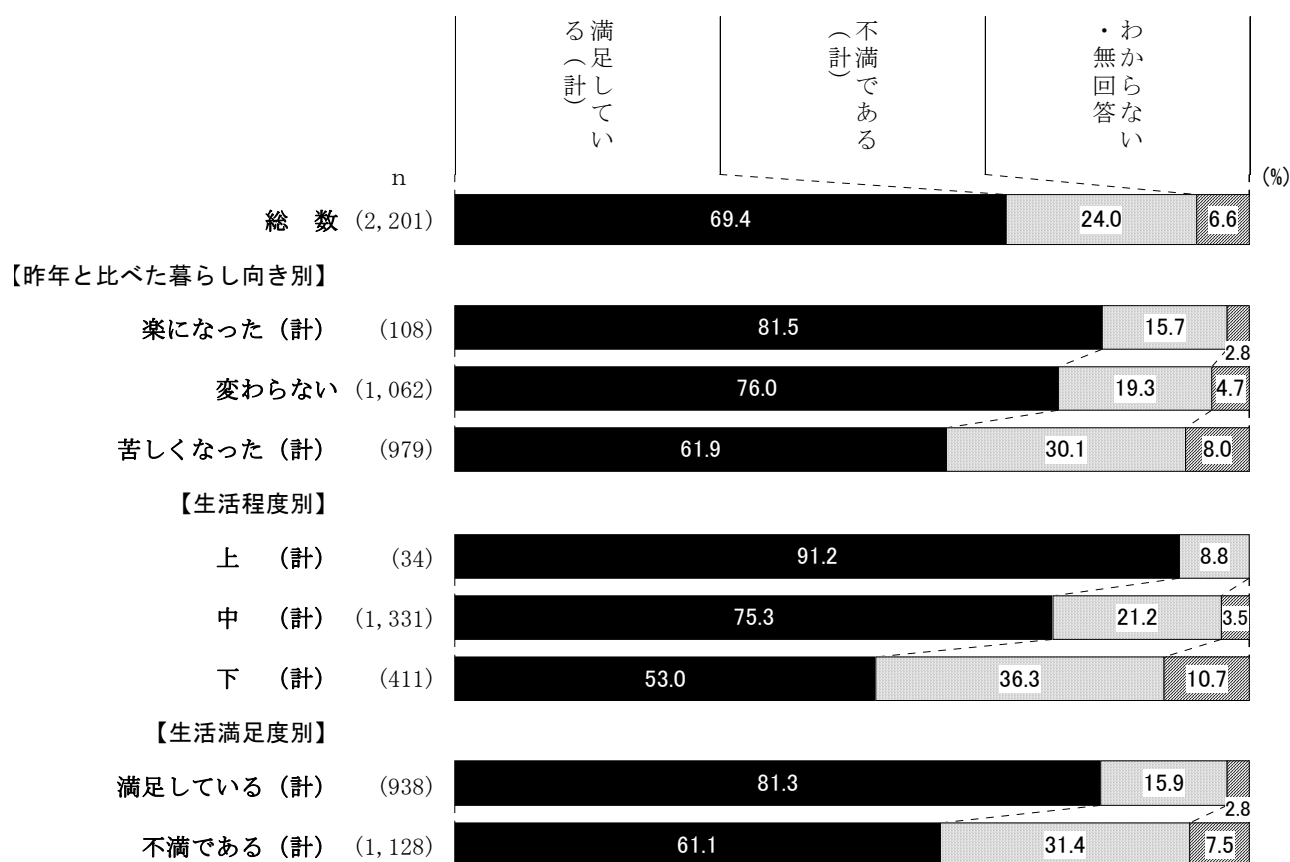
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（91.2%）で9割を超え、中（計）（75.3%）や下（計）（53.0%）との差が大きくなっている。＜図1－13＞

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（81.3%）が不満である（計）（61.1%）を20.2ポイント上回っている。＜図1－13＞

＜図1－13＞昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

①地域別

『満足している（計）』は東部（72.6%）や西部（70.6%）でやや高く、『不満である（計）』は北部（29.7%）で3割と高い。＜図1－14＞

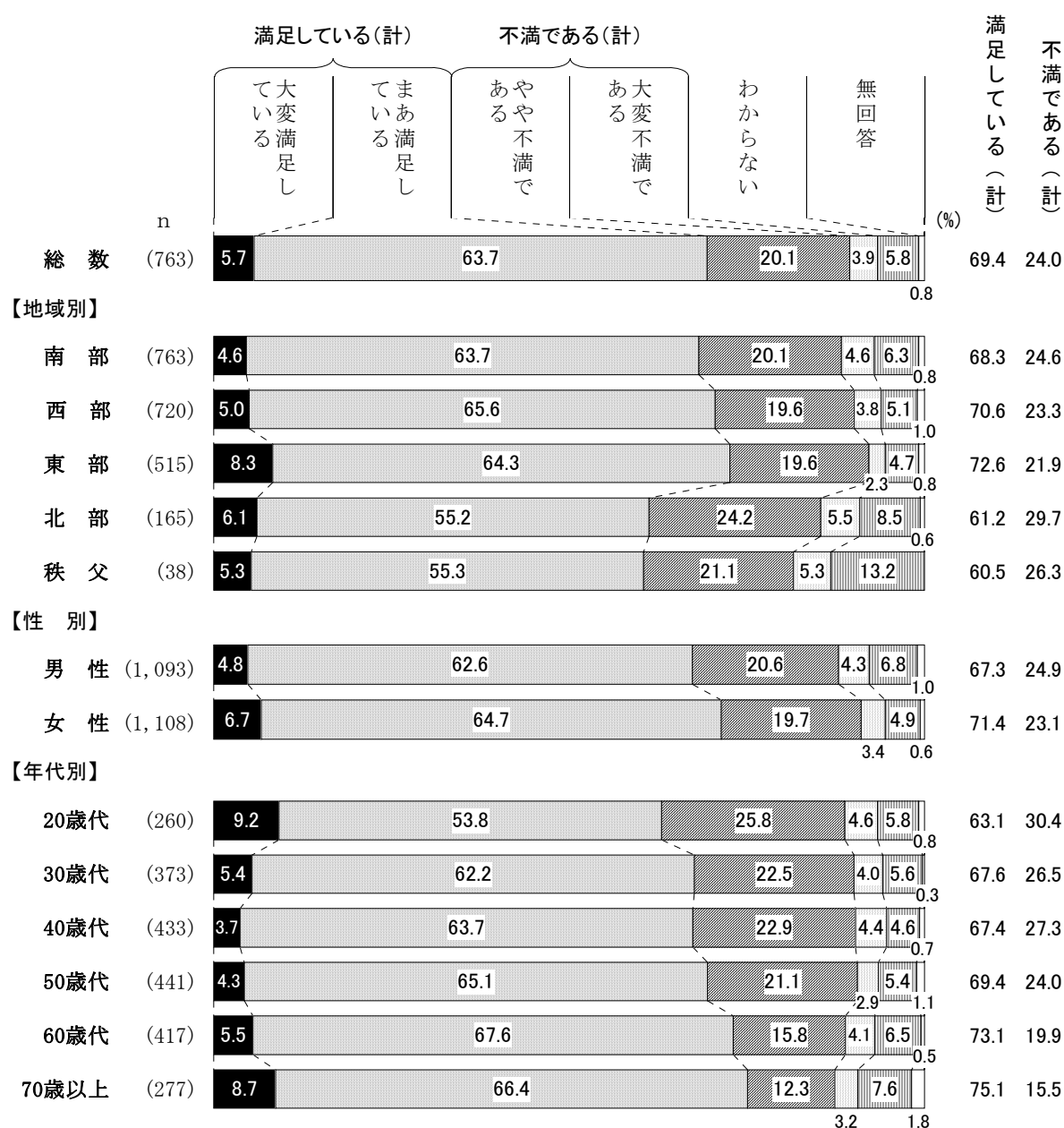
②性別

『満足している（計）』は女性（71.4%）が男性（67.3%）よりも高い。＜図1－14＞

③年代別

『満足している（計）』は高年代ほど高く、70歳以上（75.1%）では7割台半ばとなっている。＜図1－14＞

＜図1－14＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『満足している（計）』は利根南部都市圏（77.5%）と川越都市圏（76.3%）が7割台後半で特に高く、秩父都市圏（60.5%）、本庄都市圏（61.0%）、県北都市圏（61.3%）は6割強で低くなっている。
＜表1－5＞

⑤性・年代別

『満足している（計）』は男性では高年代ほど高くなっている。女性は20歳代（65.0%）を除けば年代間の差が比較的小さい。＜表1－5＞

⑥職業別

『満足している（計）』は無職（計）（71.6%）が7割以上でやや高い。＜表1－5＞

⑦ライフステージ別

『満足している（計）』は高齢期（78.1%）で8割近くと高く、独身期（59.1%）では6割未満と低い。両者の間のステージは7割強でほとんど差がない。＜表1－5＞

＜表１－５＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	(%)	
								満足している（計）	不満である（計）
【総 数】	2201	5.7	63.7	20.1	3.9	5.8	0.8	69.4	24.0
【都市圏別】									
（南部計）	763	4.6	63.7	20.1	4.6	6.3	0.8	68.3	24.6
中枢都市圏	458	4.6	63.5	19.0	5.9	6.6	0.4	68.1	24.9
県南５市圏	215	3.7	64.7	22.8	2.8	4.7	1.4	68.4	25.6
県央都市圏	90	6.7	62.2	18.9	2.2	8.9	1.1	68.9	21.1
（西部計）	720	5.0	65.6	19.6	3.8	5.1	1.0	70.6	23.3
南西部４市圏	142	4.2	57.7	28.9	4.2	4.2	0.7	62.0	33.1
入間東部都市圏	84	8.3	60.7	19.0	4.8	6.0	1.2	69.0	23.8
川越都市圏	211	3.8	72.5	15.2	3.3	5.2	－	76.3	18.5
所沢都市圏	213	5.6	66.2	17.8	3.3	5.6	1.4	71.8	21.1
比企都市圏	70	4.3	64.3	20.0	4.3	4.3	2.9	68.6	24.3
（東部計）	515	8.3	64.3	19.6	2.3	4.7	0.8	72.6	21.9
東部都市圏	302	8.9	61.6	20.5	2.6	5.3	1.0	70.5	23.2
利根南部都市圏	129	7.8	69.8	16.3	1.6	3.9	0.8	77.5	17.8
利根北部都市圏	84	7.1	65.5	21.4	2.4	3.6	－	72.6	23.8
（北部計）	165	6.1	55.2	24.2	5.5	8.5	0.6	61.2	29.7
県北都市圏	124	6.5	54.8	24.2	5.6	8.1	0.8	61.3	29.8
本庄都市圏	41	4.9	56.1	24.4	4.9	9.8	－	61.0	29.3
（秩父計） 秩父都市圏	38	5.3	55.3	21.1	5.3	13.2	－	60.5	26.3
【性・年代別】									
男性 20歳代	123	11.4	49.6	24.4	7.3	6.5	0.8	61.0	31.7
30歳代	185	2.7	60.5	24.9	5.4	5.9	0.5	63.2	30.3
40歳代	224	3.1	60.7	25.4	4.9	5.4	0.4	63.8	30.4
50歳代	221	3.6	64.3	20.4	2.7	7.2	1.8	67.9	23.1
60歳代	207	5.3	67.6	14.0	3.9	8.7	0.5	72.9	17.9
70歳以上	133	5.3	69.9	13.5	2.3	6.8	2.3	75.2	15.8
女性 20歳代	137	7.3	57.7	27.0	2.2	5.1	0.7	65.0	29.2
30歳代	188	8.0	63.8	20.2	2.7	5.3	－	71.8	22.9
40歳代	209	4.3	67.0	20.1	3.8	3.8	1.0	71.3	23.9
50歳代	220	5.0	65.9	21.8	3.2	3.6	0.5	70.9	25.0
60歳代	210	5.7	67.6	17.6	4.3	4.3	0.5	73.3	21.9
70歳以上	144	11.8	63.2	11.1	4.2	8.3	1.4	75.0	15.3
【職業別】									
自営業・家族従業（計）	278	4.0	64.7	19.8	4.0	6.1	1.4	68.7	23.7
雇用者（計）	1000	4.9	62.7	24.2	3.8	3.8	0.6	67.6	28.0
無 職（計）	892	7.3	64.3	15.9	3.8	7.8	0.8	71.6	19.7
【ライフステージ別】									
独身期	303	7.9	51.2	26.4	5.6	7.9	1.0	59.1	32.0
家族形成期	229	4.8	65.9	21.8	3.5	3.9	－	70.7	25.3
家族成長前期	253	5.9	64.4	22.9	1.6	4.3	0.8	70.4	24.5
家族成長後期	194	3.1	67.5	20.1	5.7	3.1	0.5	70.6	25.8
家族成熟期	500	5.4	66.2	19.4	3.2	5.0	0.8	71.6	22.6
高齢期	384	7.8	70.3	12.8	2.9	5.5	0.8	78.1	15.6
その他	338	3.8	59.2	20.7	5.3	9.5	1.5	63.0	26.0

（３）家庭内の夫婦・親子関係について

家庭内の夫婦・親子関係について、『満足している（計）』（80.6%）は8割、『不満である（計）』（14.6%）は1割台半ばとなっている。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（88.0%）で9割弱と高く、苦しくなった（計）（74.6%）で7割台半ばと低くなっている。＜図1－15＞

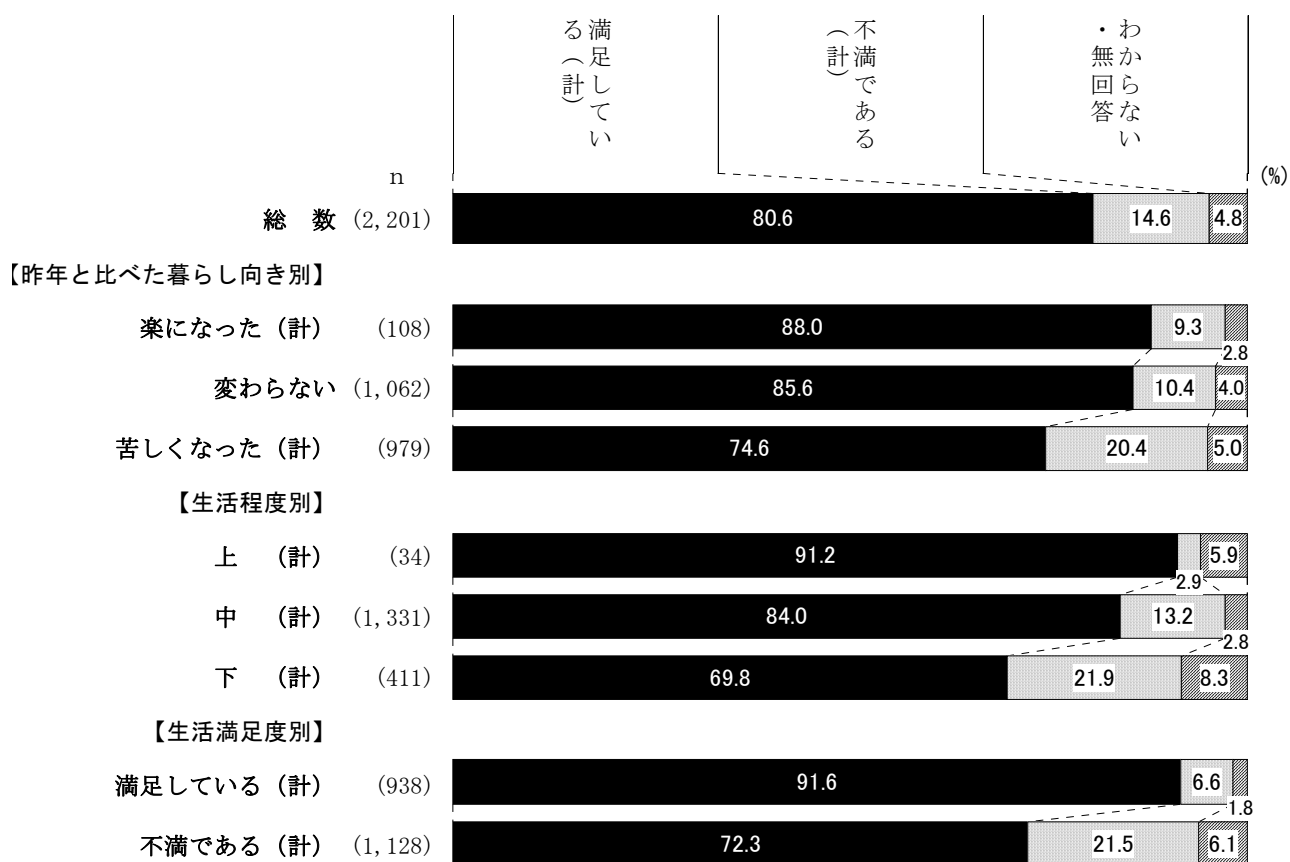
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（91.2%）、中（計）（84.0%）、下（計）（69.8%）と、他の項目に比べれば生活程度の差による差が小さくなっている。＜図1－15＞

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（91.6%）が不満である（計）（72.3%）を19.3ポイント上回っている。＜図1－15＞

＜図1－15＞昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

①地域別

地域による違いはみられない。＜図1－16＞

②性別

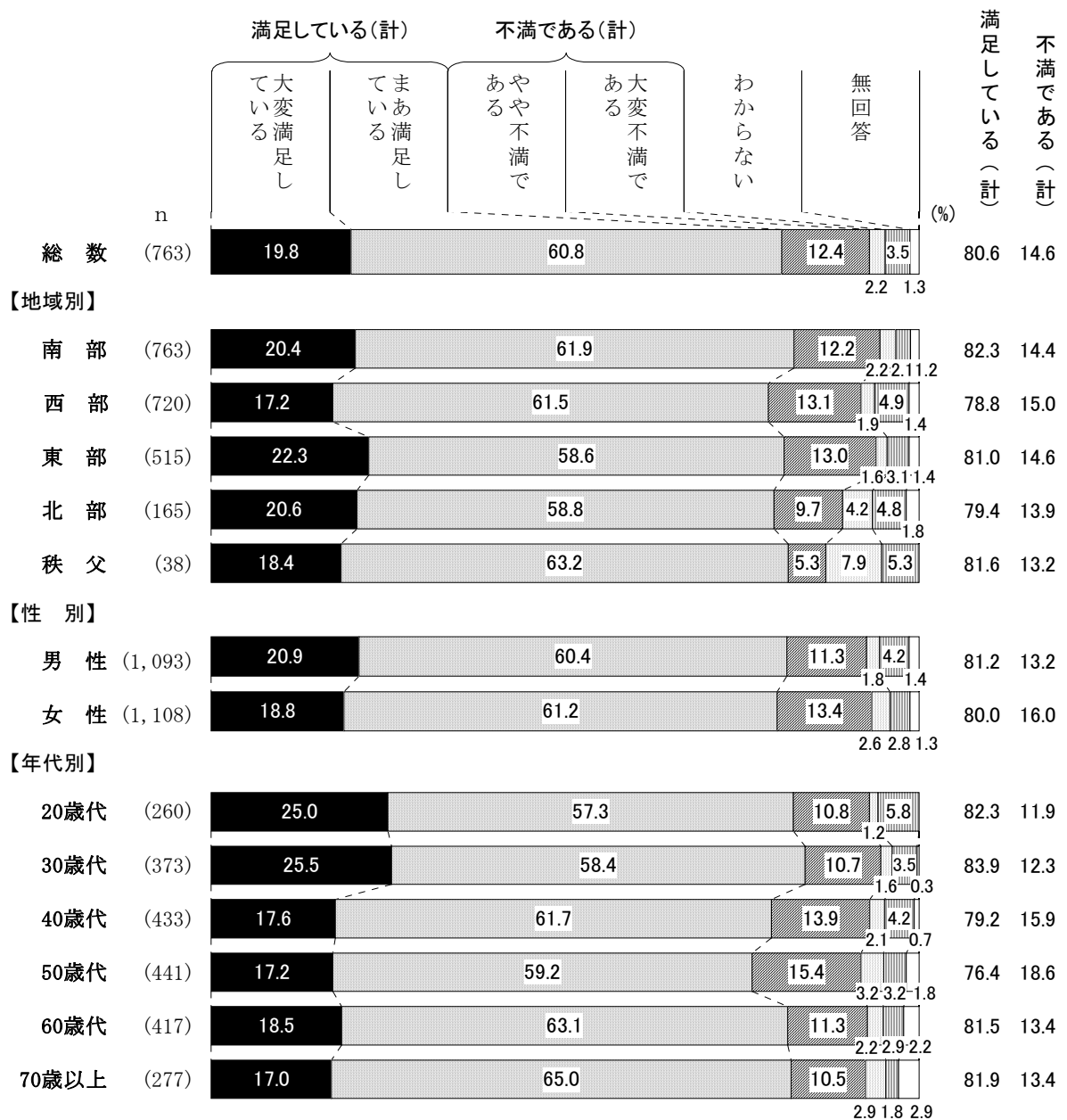
男女間で特に違いはみられない。＜図1－16＞

③年代別

『満足している（計）』は50歳代（76.4%）で7割台半ばと、他の年代に比べてやや低い。

＜図1－16＞

＜図1－16＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『満足している（計）』は県南5市圏（84.7%）が8割台半ばで高く、東部都市圏（82.8%）、県央都市圏（82.2%）がこれに続いている。一方、比企都市圏（71.4%）は7割強で特に低い。

<表1－6>

⑤性・年代別

『満足している（計）』は男性30歳代（87.6%）の高さが目立つ。30歳代、40歳代は男性の方が高く、50歳代、60歳代は男女とも同等、70歳以上は女性の方が高くなっている。<表1－6>

⑥職業別

職業による違いはみられない。<表1－6>

⑦ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（89.1%）で特に高く、その他（75.4%）で7割台半ばと低い。

<表1－6>

＜表１－６＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計）	不満である（計）
【総 数】	2201	19.8	60.8	12.4	2.2	3.5	1.3	80.6	14.6
【都市圏別】									
（南部計）	763	20.4	61.9	12.2	2.2	2.1	1.2	82.3	14.4
中枢都市圏	458	19.9	61.4	13.8	1.5	2.4	1.1	81.2	15.3
県南５市圏	215	21.9	62.8	9.3	2.8	1.9	1.4	84.7	12.1
県央都市圏	90	20.0	62.2	11.1	4.4	1.1	1.1	82.2	15.6
（西部計）	720	17.2	61.5	13.1	1.9	4.9	1.4	78.8	15.0
南西部４市圏	142	12.7	69.0	10.6	4.2	3.5	－	81.7	14.8
入間東部都市圏	84	22.6	57.1	10.7	3.6	4.8	1.2	79.8	14.3
川越都市圏	211	18.0	58.3	17.1	0.9	3.8	1.9	76.3	18.0
所沢都市圏	213	17.8	63.4	10.8	0.9	5.2	1.9	81.2	11.7
比企都市圏	70	15.7	55.7	15.7	1.4	10.0	1.4	71.4	17.1
（東部計）	515	22.3	58.6	13.0	1.6	3.1	1.4	81.0	14.6
東部都市圏	302	20.9	61.9	11.6	1.7	2.6	1.3	82.8	13.2
利根南部都市圏	129	22.5	58.9	12.4	2.3	3.1	0.8	81.4	14.7
利根北部都市圏	84	27.4	46.4	19.0	－	4.8	2.4	73.8	19.0
（北部計）	165	20.6	58.8	9.7	4.2	4.8	1.8	79.4	13.9
県北都市圏	124	20.2	58.9	10.5	4.0	4.8	1.6	79.0	14.5
本庄都市圏	41	22.0	58.5	7.3	4.9	4.9	2.4	80.5	12.2
（秩父計） 秩父都市圏	38	18.4	63.2	5.3	7.9	5.3	－	81.6	13.2
【性・年代別】									
男性 20歳代	123	25.2	56.1	9.8	1.6	7.3	－	81.3	11.4
30歳代	185	29.2	58.4	8.1	0.5	3.2	0.5	87.6	8.6
40歳代	224	20.5	61.2	11.6	0.9	5.4	0.4	81.7	12.5
50歳代	221	19.5	57.0	13.6	3.2	4.5	2.3	76.5	16.7
60歳代	207	17.4	63.8	10.6	1.4	3.9	2.9	81.2	12.1
70歳以上	133	13.5	66.2	14.3	3.8	0.8	1.5	79.7	18.0
女性 20歳代	137	24.8	58.4	11.7	0.7	4.4	－	83.2	12.4
30歳代	188	21.8	58.5	13.3	2.7	3.7	－	80.3	16.0
40歳代	209	14.4	62.2	16.3	3.3	2.9	1.0	76.6	19.6
50歳代	220	15.0	61.4	17.3	3.2	1.8	1.4	76.4	20.5
60歳代	210	19.5	62.4	11.9	2.9	1.9	1.4	81.9	14.8
70歳以上	144	20.1	63.9	6.9	2.1	2.8	4.2	84.0	9.0
【職業別】									
自営業・家族従業（計）	278	18.3	61.9	11.9	2.5	2.9	2.5	80.2	14.4
雇用者（計）	1000	19.9	61.1	12.6	1.4	4.4	0.6	81.0	14.0
無 職（計）	892	20.1	60.3	12.2	2.8	2.8	1.8	80.4	15.0
【ライフステージ別】									
独身期	303	19.8	59.7	11.6	1.3	7.3	0.3	79.5	12.9
家族形成期	229	34.1	55.0	9.6	－	1.3	－	89.1	9.6
家族成長前期	253	19.4	60.9	13.0	3.2	2.8	0.8	80.2	16.2
家族成長後期	194	17.5	62.9	13.9	3.1	2.1	0.5	80.4	17.0
家族成熟期	500	18.0	60.4	16.4	2.4	1.6	1.2	78.4	18.8
高齢期	384	17.4	66.7	10.9	2.6	1.3	1.0	84.1	13.5
その他	338	17.2	58.3	9.2	2.7	8.3	4.4	75.4	11.8

（４）収入や預貯金など経済的な面について

収入や預貯金など経済的な面について、『満足している（計）』（28.9％）は3割弱、『不満である（計）』（66.2％）は6割台半ばとなっている。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（42.6％）と変わらない（43.9％）では同等だが、苦しくなった（計）（11.3％）では極めて低くなっている。＜図1－17＞

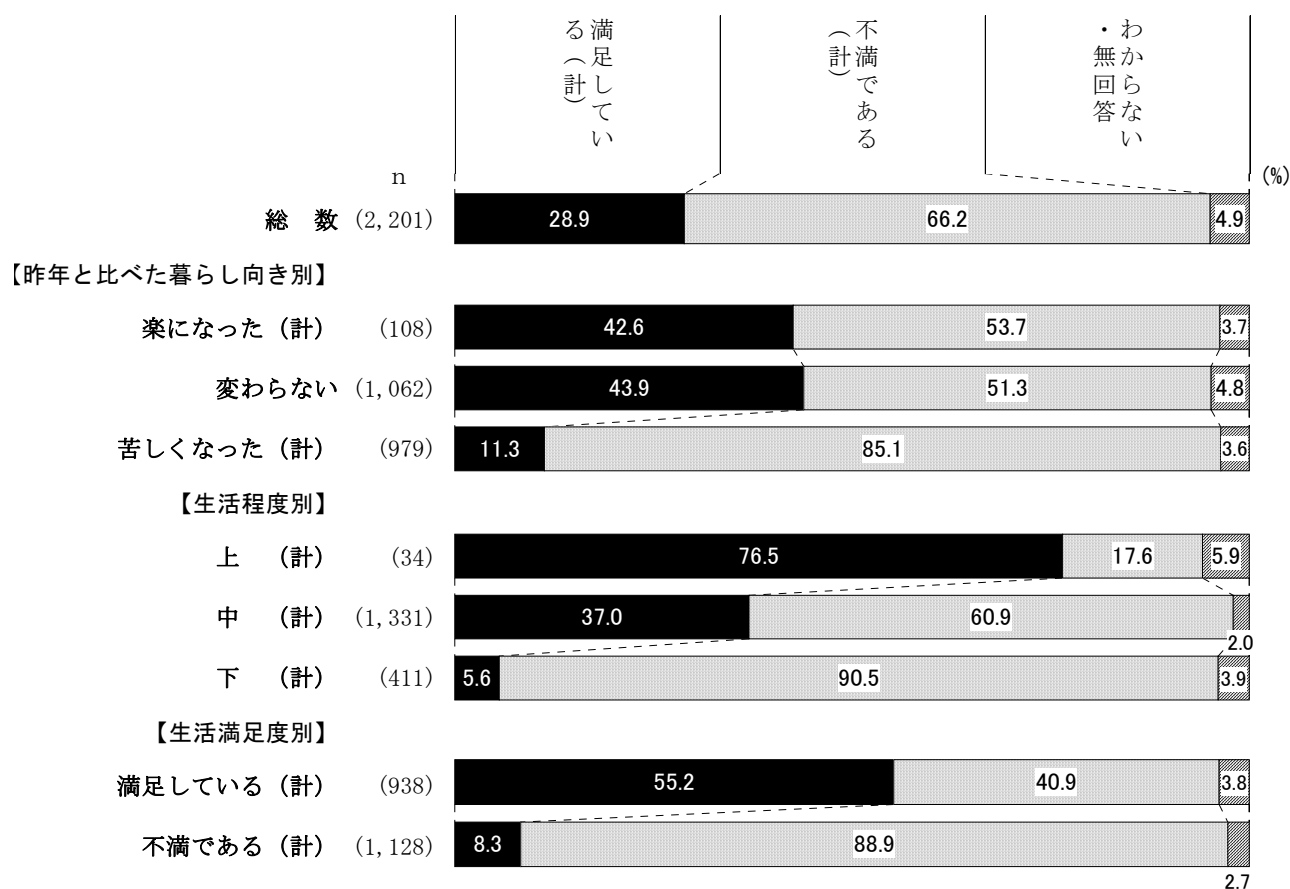
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（76.5％）では7割台半ば、中（計）（37.0％）では3割台半ば強、下（計）（5.6％）では1割に満たず、生活程度による差が極めて大きくなっている。＜図1－17＞

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（55.2％）が不満である（計）（8.3％）を大幅に上回っている。＜図1－17＞

＜図1－17＞昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

①地域別

『満足している（計）』は東部（32.2%）と南部（30.1%）で3割を超え、『不満である（計）』は秩父（73.7%）で高くなっている。＜図1－18＞

②性別

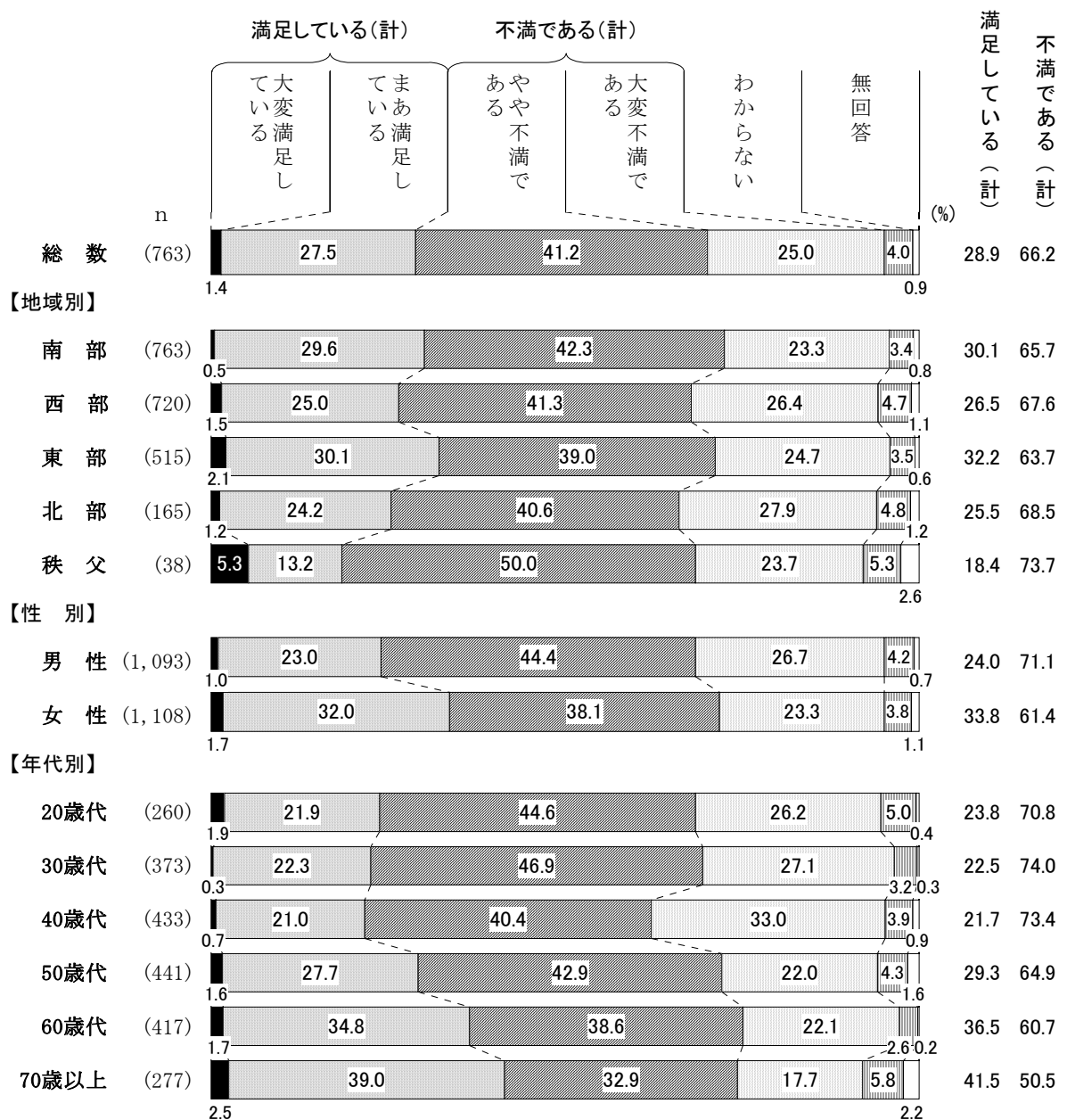
『満足している（計）』は女性（33.8%）が男性（24.0%）を9.8ポイント上回っている。

＜図1－18＞

③年代別

『満足している（計）』は70歳以上（41.5%）で唯一4割を超えており、40歳代以下では2割台前半と低い。＜図1－18＞

＜図1－18＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『満足している（計）』は県央都市圏（35.6％）と東部都市圏（34.8％）で3割台半ばと高く、秩父都市圏（18.4％）、南西部4市圏（21.1％）、比企都市圏（21.4％）では2割前後と低い。

<表1－7>

⑤性・年代別

『満足している（計）』はすべての年代で女性が男性よりも高い。特に40歳代で20.0ポイント、50歳代で9.7ポイントの開きがあるが、30歳代ではほとんど差はない。<表1－7>

⑥職業別

『満足している（計）』は無職（計）（36.3％）が他に比べて高い。<表1－7>

⑦ライフステージ別

『満足している（計）』は高齢期（42.7％）で4割以上と高く、家族成長前期（17.0％）で2割を下回り低い。<表1－7>

<表 1－7>都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	(%)	
								満足している(計)	不満である(計)
【総 数】	2201	1.4	27.5	41.2	25.0	4.0	0.9	28.9	66.2
【都市圏別】									
(南部計)	763	0.5	29.6	42.3	23.3	3.4	0.8	30.1	65.7
中枢都市圏	458	0.2	30.8	40.8	24.2	3.3	0.7	31.0	65.1
県南5市圏	215	0.5	25.6	46.5	23.3	3.3	0.9	26.0	69.8
県央都市圏	90	2.2	33.3	40.0	18.9	4.4	1.1	35.6	58.9
(西部計)	720	1.5	25.0	41.3	26.4	4.7	1.1	26.5	67.6
南西部4市圏	142	0.7	20.4	42.3	32.4	4.2	－	21.1	74.6
入間東部都市圏	84	2.4	22.6	44.0	25.0	3.6	2.4	25.0	69.0
川越都市圏	211	1.9	26.5	39.3	25.6	5.7	0.9	28.4	64.9
所沢都市圏	213	0.9	29.6	41.8	22.1	4.2	1.4	30.5	63.8
比企都市圏	70	2.9	18.6	40.0	31.4	5.7	1.4	21.4	71.4
(東部計)	515	2.1	30.1	39.0	24.7	3.5	0.6	32.2	63.7
東部都市圏	302	2.6	32.1	37.1	24.8	2.6	0.7	34.8	61.9
利根南部都市圏	129	1.6	28.7	42.6	21.7	4.7	0.8	30.2	64.3
利根北部都市圏	84	1.2	25.0	40.5	28.6	4.8	－	26.2	69.0
(北部計)	165	1.2	24.2	40.6	27.9	4.8	1.2	25.5	68.5
県北都市圏	124	1.6	23.4	40.3	27.4	5.6	1.6	25.0	67.7
本庄都市圏	41	－	26.8	41.5	29.3	2.4	－	26.8	70.7
(秩父計) 秩父都市圏	38	5.3	13.2	50.0	23.7	5.3	2.6	18.4	73.7
【性・年代別】									
男性									
20歳代	123	1.6	17.9	44.7	29.3	6.5	－	19.5	74.0
30歳代	185	0.5	21.6	47.6	28.6	1.1	0.5	22.2	76.2
40歳代	224	0.4	11.6	46.9	34.4	6.3	0.4	12.1	81.3
50歳代	221	1.4	23.1	46.6	23.5	4.1	1.4	24.4	70.1
60歳代	207	0.5	31.4	43.5	21.7	2.9	－	31.9	65.2
70歳以上	133	2.3	35.3	33.1	21.8	5.3	2.3	37.6	54.9
女性									
20歳代	137	2.2	25.5	44.5	23.4	3.6	0.7	27.7	67.9
30歳代	188	－	22.9	46.3	25.5	5.3	－	22.9	71.8
40歳代	209	1.0	31.1	33.5	31.6	1.4	1.4	32.1	65.1
50歳代	220	1.8	32.3	39.1	20.5	4.5	1.8	34.1	59.5
60歳代	210	2.9	38.1	33.8	22.4	2.4	0.5	41.0	56.2
70歳以上	144	2.8	42.4	32.6	13.9	6.3	2.1	45.1	46.5
【職業別】									
自営業・家族従業(計)	278	1.4	21.2	39.6	31.3	4.7	1.8	22.7	70.9
雇用者(計)	1000	0.3	23.7	44.3	27.3	3.8	0.6	24.0	71.6
無 職(計)	892	2.5	33.9	38.3	20.4	3.9	1.0	36.3	58.7
【ライフステージ別】									
独身期	303	1.3	21.1	46.2	25.1	5.6	0.7	22.4	71.3
家族形成期	229	0.9	24.0	48.0	25.3	1.7	－	24.9	73.4
家族成長前期	253	0.4	16.6	43.5	34.8	4.0	0.8	17.0	78.3
家族成長後期	194	1.5	27.8	41.2	28.4	1.0	－	29.4	69.6
家族成熟期	500	1.8	29.0	41.0	23.2	3.6	1.4	30.8	64.2
高齢期	384	2.6	40.1	34.4	17.4	4.4	1.0	42.7	51.8
その他	338	0.3	27.2	38.5	26.6	5.9	1.5	27.5	65.1

(5) 精神的な充実感について

精神的な充実感について、『満足している（計）』（52.8%）は半数強、『不満である（計）』（42.2%）は4割強となっている。

【昨年と比べた暮らし向き別】

『満足している（計）』は楽になった（計）（71.3%）や変わらない（65.0%）に比べて、苦しくなった（計）（37.9%）で低くなっている。＜図1－19＞

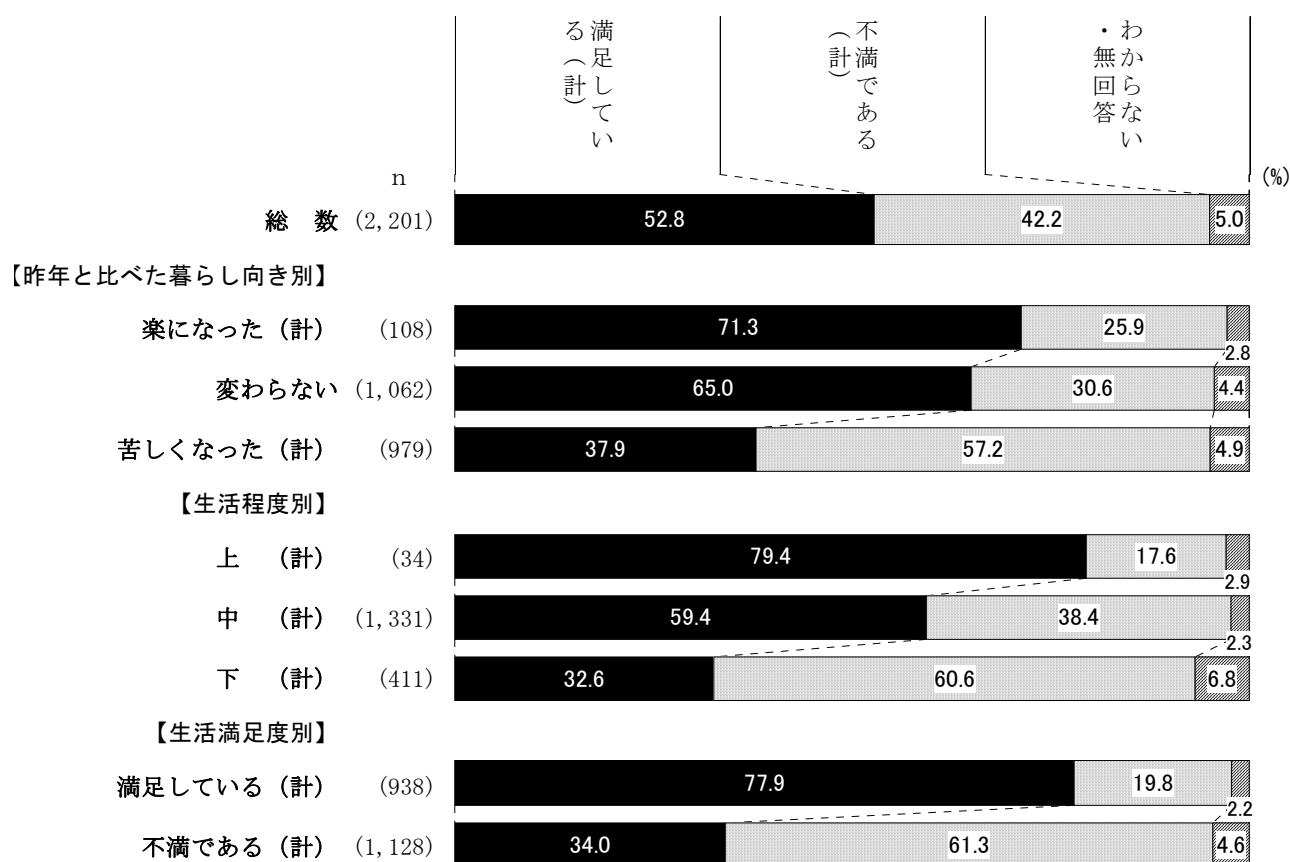
【生活程度別】

『満足している（計）』は上（計）（79.4%）が8割、中（計）（59.4%）が6割、下（計）（32.6%）が3割強で、下（計）の低さが目立っている。＜図1－19＞

【生活満足度別】

『満足している（計）』は満足している（計）（77.9%）が不満である（計）（34.0%）を43.9ポイント上回っている。＜図1－19＞

＜図1－19＞昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

①地域別

『満足している（計）』は西部（50.4％）でわずかに低い。『不満である（計）』は北部（36.4％）でやや低くなっている。＜図1－20＞

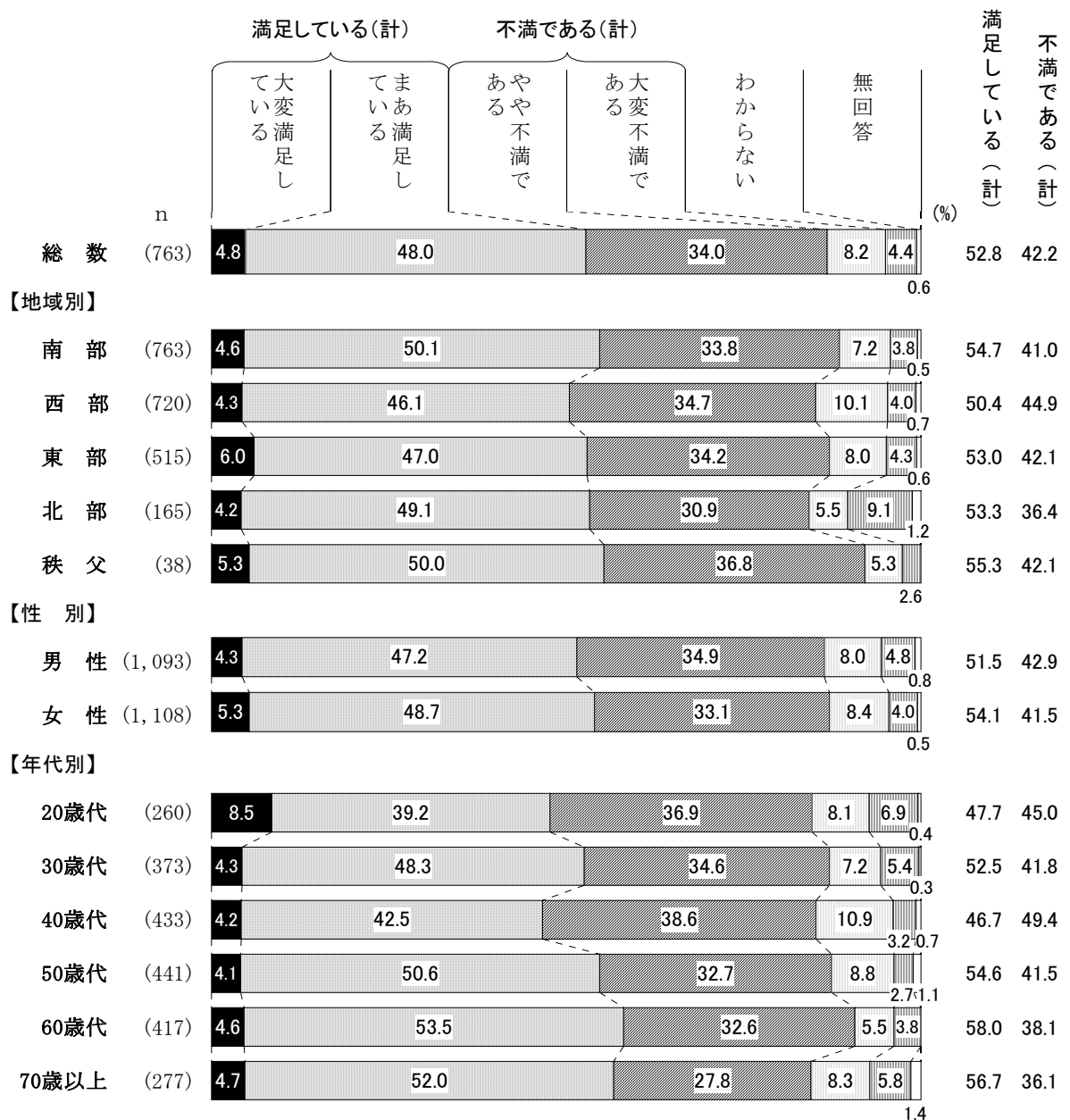
②性別

男女間でほとんど差はない。＜図1－20＞

③年代別

『満足している（計）』は60歳代（58.0％）と70歳以上（56.7％）で5割台後半と高く、40歳代（46.7％）と20歳代（47.7％）は5割未満となっている。40歳代では『不満である（計）』（49.4％）が『満足している（計）』（46.7％）よりも高くなっている。＜図1－20＞

＜図1－20＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『満足している（計）』は本庄都市圏（58.5％）と県南5市圏（56.3％）で5割台後半と高いが、比企都市圏（40.0％）では4割と特に低く、『不満である（計）』（52.9％）の方が12.9ポイント高くなっている。＜表1－8＞

⑤性・年代別

『満足している（計）』は男性では60歳代（58.5％）が最も高く、女性は70歳以上（61.1％）が最も高い。男女とも20歳代と40歳代は5割未満であり、中でも男性40歳代は『不満である（計）』（51.8％）が『満足している（計）』（44.2％）よりも高くなっている。＜表1－8＞

⑥職業別

『満足している（計）』は無職（計）（56.3％）が5割台半ばで最も高い。＜表1－8＞

⑦ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（62.0％）と高齢期（60.7％）で6割以上と高いが、家族成長前期（43.9％）と独身期（44.6％）では4割台前半であり、『不満である（計）』の方が高くなっている。＜表1－8＞

＜表１－８＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

								(%)	
	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答	満足している（計）	不満である（計）
【総 数】	2201	4.8	48.0	34.0	8.2	4.4	0.6	52.8	42.2
【都市圏別】									
（南部計）	763	4.6	50.1	33.8	7.2	3.8	0.5	54.7	41.0
中枢都市圏	458	3.7	50.0	34.9	7.0	4.1	0.2	53.7	41.9
県南５市圏	215	6.5	49.8	31.6	7.9	3.3	0.9	56.3	39.5
県央都市圏	90	4.4	51.1	33.3	6.7	3.3	1.1	55.6	40.0
（西部計）	720	4.3	46.1	34.7	10.1	4.0	0.7	50.4	44.9
南西部４市圏	142	2.8	43.7	39.4	9.2	4.2	0.7	46.5	48.6
入間東部都市圏	84	4.8	46.4	33.3	10.7	3.6	1.2	51.2	44.0
川越都市圏	211	3.8	48.3	32.2	11.4	4.3	－	52.1	43.6
所沢都市圏	213	5.6	48.8	31.5	9.9	3.3	0.9	54.5	41.3
比企都市圏	70	4.3	35.7	44.3	8.6	5.7	1.4	40.0	52.9
（東部計）	515	6.0	47.0	34.2	8.0	4.3	0.6	53.0	42.1
東部都市圏	302	6.3	47.4	32.8	8.9	4.0	0.7	53.6	41.7
利根南部都市圏	129	5.4	48.8	34.9	6.2	3.9	0.8	54.3	41.1
利根北部都市圏	84	6.0	42.9	38.1	7.1	6.0	－	48.8	45.2
（北部計）	165	4.2	49.1	30.9	5.5	9.1	1.2	53.3	36.4
県北都市圏	124	4.0	47.6	31.5	5.6	9.7	1.6	51.6	37.1
本庄都市圏	41	4.9	53.7	29.3	4.9	7.3	－	58.5	34.1
（秩父計） 秩父都市圏	38	5.3	50.0	36.8	5.3	2.6	－	55.3	42.1
【性・年代別】									
男性 20歳代	123	7.3	41.5	36.6	7.3	6.5	0.8	48.8	43.9
30歳代	185	4.9	46.5	35.1	8.6	4.3	0.5	51.4	43.8
40歳代	224	3.1	41.1	43.3	8.5	3.6	0.4	44.2	51.8
50歳代	221	3.2	50.7	33.0	8.6	2.7	1.8	53.8	41.6
60歳代	207	3.9	54.6	30.4	5.3	5.8	－	58.5	35.7
70歳以上	133	5.3	46.6	29.3	9.8	7.5	1.5	51.9	39.1
女性 20歳代	137	9.5	37.2	37.2	8.8	7.3	－	46.7	46.0
30歳代	188	3.7	50.0	34.0	5.9	6.4	－	53.7	39.9
40歳代	209	5.3	44.0	33.5	13.4	2.9	1.0	49.3	46.9
50歳代	220	5.0	50.5	32.3	9.1	2.7	0.5	55.5	41.4
60歳代	210	5.2	52.4	34.8	5.7	1.9	－	57.6	40.5
70歳以上	144	4.2	56.9	26.4	6.9	4.2	1.4	61.1	33.3
【職業別】									
自営業・家族従業（計）	278	4.3	48.2	31.3	10.4	4.7	1.1	52.5	41.7
雇用者（計）	1000	4.7	45.3	38.4	6.9	4.2	0.5	50.0	45.3
無 職（計）	892	5.0	51.2	30.3	8.5	4.3	0.7	56.3	38.8
【ライフステージ別】									
独身期	303	6.3	38.3	37.6	9.9	7.3	0.7	44.6	47.5
家族形成期	229	6.6	55.5	31.9	3.1	3.1	－	62.0	34.9
家族成長前期	253	4.0	39.9	39.5	10.7	5.1	0.8	43.9	50.2
家族成長後期	194	4.6	47.4	35.6	10.8	1.5	－	52.1	46.4
家族成熟期	500	4.4	51.2	32.4	7.4	3.8	0.8	55.6	39.8
高齢期	384	5.5	55.2	29.7	5.5	3.9	0.3	60.7	35.2
その他	338	3.0	45.0	34.6	10.9	5.0	1.5	47.9	45.6

2 日常生活 (問5)

○ 問5（1）～（2）について

問5の（1）「地域社会活動への参加経験」、（2）「芸術・文化活動の経験」は平成13年の「県民意識調査」における調査項目を県政世論調査で継続実施しているものです。県政世論調査では、平成14年度から毎年度実施しており、今回が6回目となります。

* 県民意識調査

「彩の国5か年計画21」の策定に当たり、平成13年に埼玉県が実施した県民意識調査

○ 問5（6）について

問5の（6）「食品の安全性に対する意識」は平成15年度県政世論調査における課題調査項目を継続実施したもので、今回が5回目となります。

○ 問5（7）・（7－1）について

問5の（7）「外国人増加に対する感想」、（7－1）「よいと思わない理由」は、平成18年度県政世論調査における課題調査項目を継続実施したもので、今回が2回目となります。

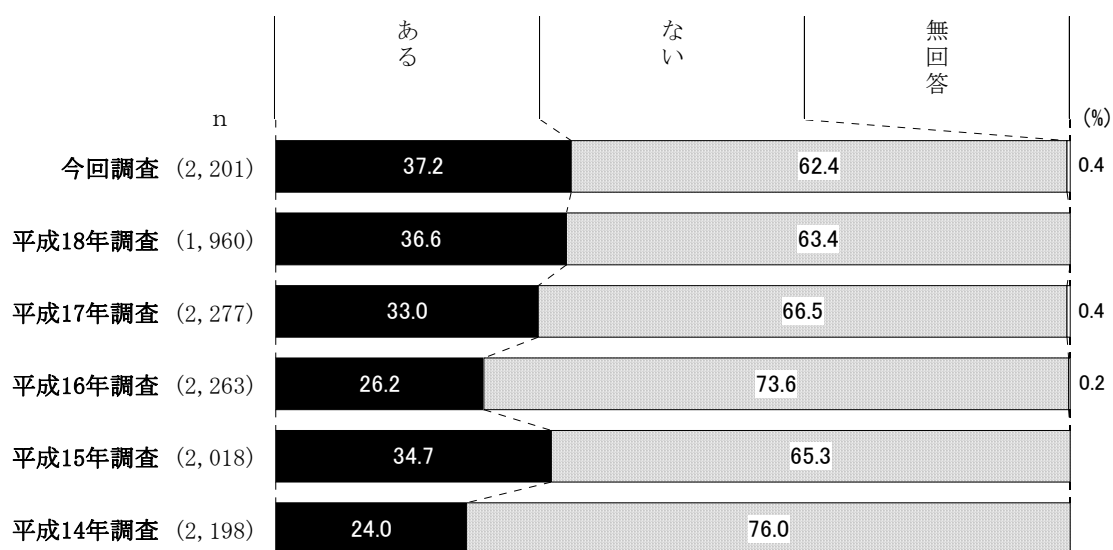
2 日常生活

(1) 地域社会活動への参加経験

◇参加経験が「ある」のは37.2%

問5 次に、あなたの日常生活などについておたずねいたします。

(1) あなたは、過去1年間に、自治会活動（清掃活動、防犯パトロール又は地域運動会への参加など）や子ども会活動、障害者や高齢者の方々のための活動、青少年健全育成のための活動、まちづくりの推進を図るための活動など、ボランティア活動や地域社会のための活動に参加したことがありますか。



過去1年間にボランティア活動や地域社会のための活動に参加したことが「ある」（37.2%）のは3割台半ば強である。

【過去5年間との比較】

過去5年間と比較すると、「ある」は昨年より0.6ポイントながら増加し、平成16年以降は漸増傾向となっている。

【属性別比較】

①地域別

「ある」は北部（43.6％）で唯一4割を超え高くなっている。＜図2－1＞

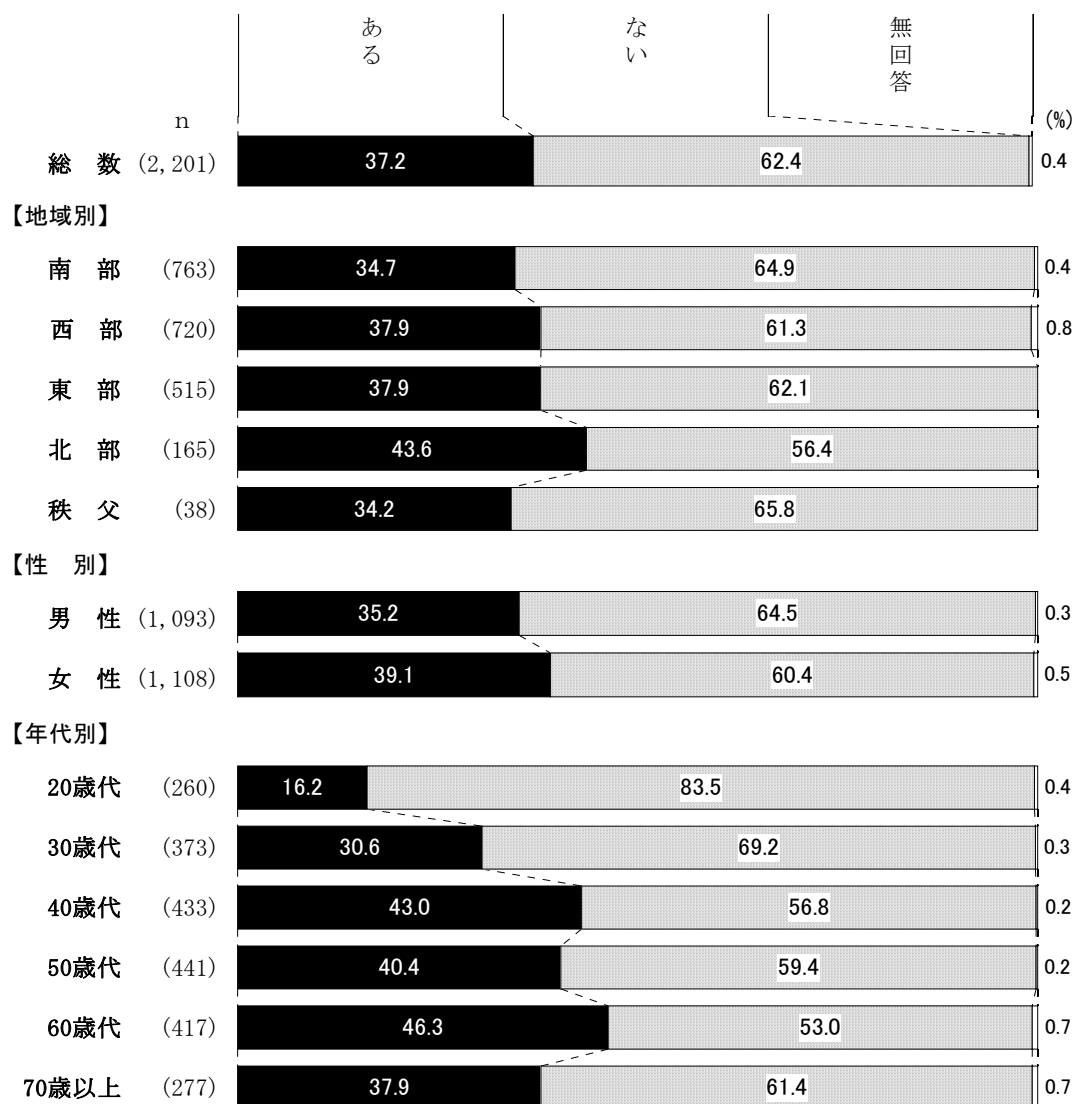
②性別

「ある」は女性（39.1％）が男性（35.2％）よりも3.9ポイント高い。＜図2－1＞

③年代別

「ある」は40歳代から60歳代にかけて4割以上と高く、20歳代（16.2％）は1割台で特に低い。
＜図2－1＞

＜図2－1＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

「ある」は利根北部都市圏（50.0%）や県央都市圏（48.9%）で高く、入間東部都市圏（27.4%）と県南5市圏（29.8%）では3割未満と低い。＜表2－1＞

⑤性・年代別

「ある」は男女とも20歳代は低く、30歳代から50歳代は女性の方が高いが、60歳以上では男女間の差はない。＜表2－1＞

⑥職業別

「ある」は自営業・家族従業（計）（44.2%）がやや高く、雇用者（計）（32.6%）で低い。＜表2－1＞

⑦ライフステージ別

「ある」は独身期（14.9%）と家族形成期（19.7%）では1割台と低いが、家族成長前期（58.5%）では6割近くと高くなっている。＜表2－1＞

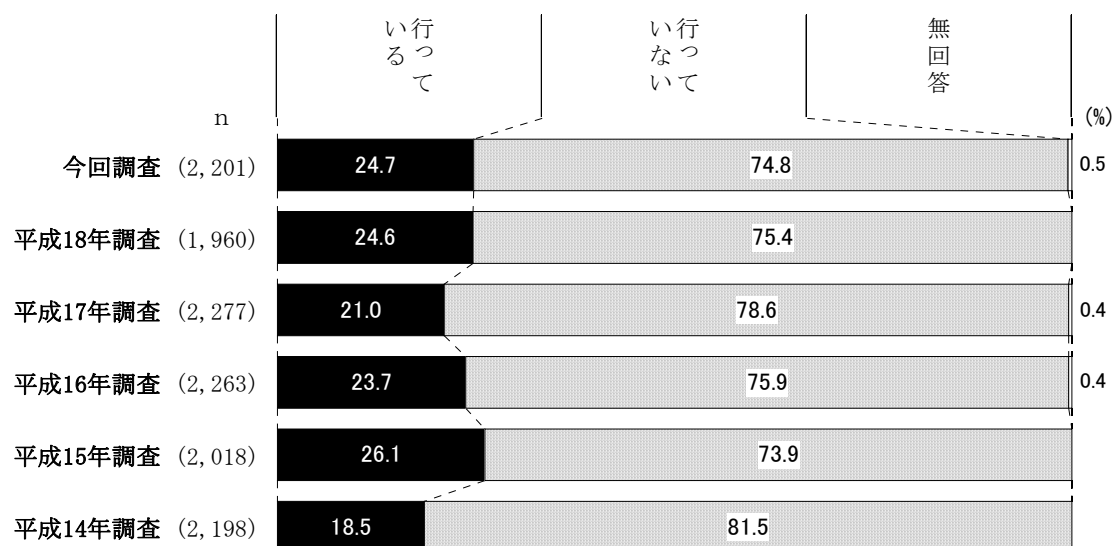
＜表2－1＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

				(%)
	調査数	ある	ない	無回答
【総数】	2201	37.2	62.4	0.4
【都市圏別】				
（南部計）	763	34.7	64.9	0.4
中枢都市圏	458	34.3	65.1	0.7
県南5市圏	215	29.8	70.2	－
県央都市圏	90	48.9	51.1	－
（西部計）	720	37.9	61.3	0.8
南西部4市圏	142	34.5	65.5	－
入間東部都市圏	84	27.4	71.4	1.2
川越都市圏	211	39.3	60.7	－
所沢都市圏	213	43.7	54.0	2.3
比企都市圏	70	35.7	64.3	－
（東部計）	515	37.9	62.1	－
東部都市圏	302	33.4	66.6	－
利根南部都市圏	129	40.3	59.7	－
利根北部都市圏	84	50.0	50.0	－
（北部計）	165	43.6	56.4	－
県北都市圏	124	46.8	53.2	－
本庄都市圏	41	34.1	65.9	－
（秩父計） 秩父都市圏	38	34.2	65.8	－
【性・年代別】				
男性 20歳代	123	16.3	83.7	－
30歳代	185	26.5	73.0	0.5
40歳代	224	37.9	62.1	－
50歳代	221	37.1	62.9	－
60歳代	207	46.4	52.7	1.0
70歳以上	133	39.8	60.2	－
女性 20歳代	137	16.1	83.2	0.7
30歳代	188	34.6	65.4	－
40歳代	209	48.3	51.2	0.5
50歳代	220	43.6	55.9	0.5
60歳代	210	46.2	53.3	0.5
70歳以上	144	36.1	62.5	1.4
【職業別】				
自営業・家族従業（計）	278	44.2	55.8	－
雇用者（計）	1000	32.6	67.2	0.2
無職（計）	892	39.9	59.3	0.8
【ライフステージ別】				
独身期	303	14.9	84.5	0.7
家族形成期	229	19.7	80.3	－
家族成長前期	253	58.5	41.5	－
家族成長後期	194	42.3	57.2	0.5
家族成熟期	500	43.8	55.8	0.4
高齢期	384	43.5	56.0	0.5
その他	338	33.1	66.3	0.6

（２）芸術・文化活動の経験

◇「行っている」は24.7%

（２）あなたは、現在、自主的な芸術・文化活動を行っていますか。芸術・文化活動とは、文芸・音楽・歌唱・美術・写真・映画・演劇・舞踊・漫画・伝統芸能・民俗芸能・茶道・華道・書道などです。



現在、自主的な芸術・文化活動を「行っている」（24.7％）のは4人に1人である。

【過去5年間との比較】

過去5年間と比較すると、「行っている」は昨年と同水準となっており、平成15年に次いで高くなっている。

【属性別比較】

①地域別

地域間で「行っている」割合に特に大きな差はない。＜図2－2＞

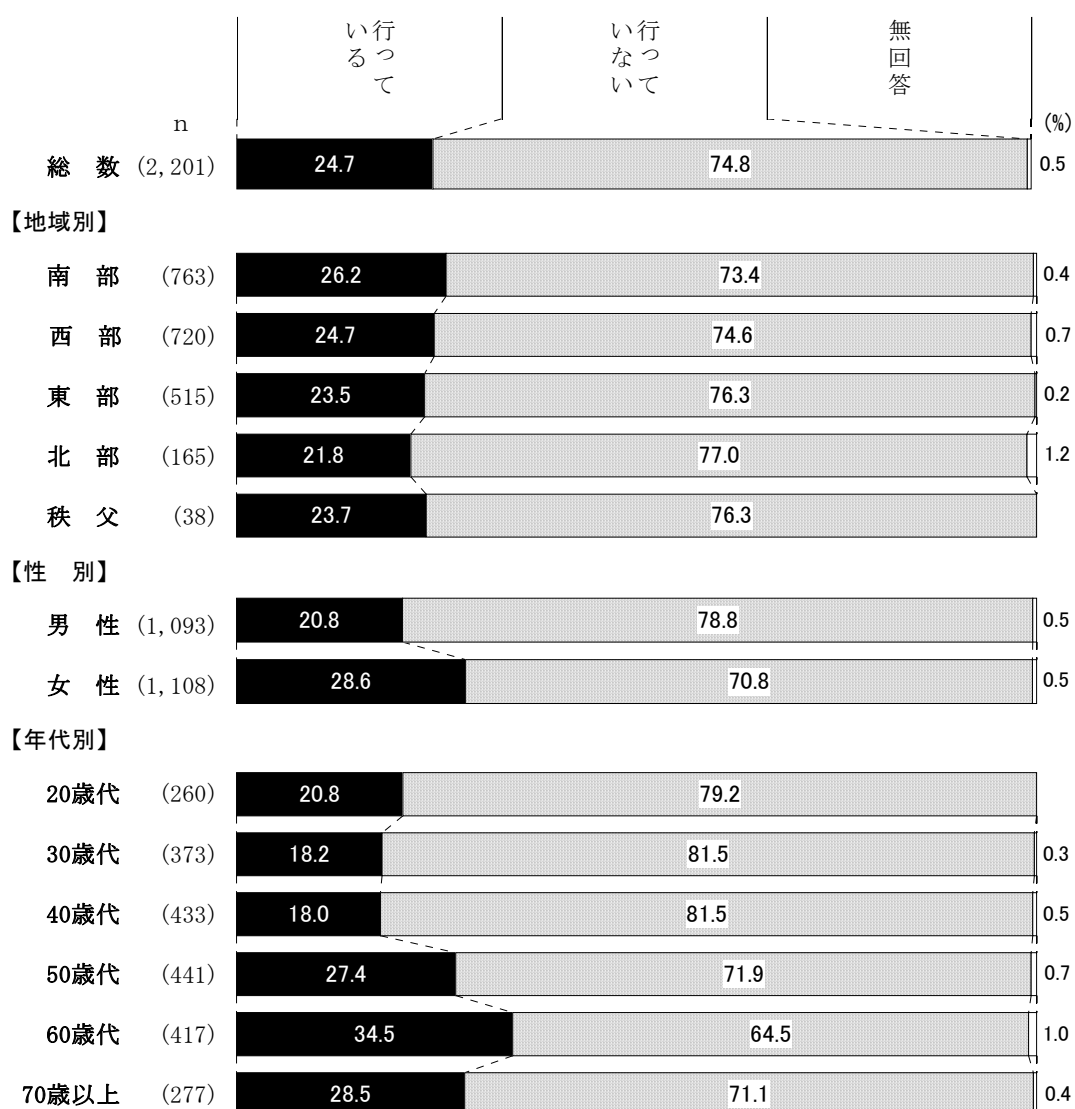
②性別

「行っている」は女性（28.6％）が男性（20.8％）を7.8ポイント上回っている。＜図2－2＞

③年代別

「行っている」は60歳代（34.5％）が特に高く、40歳代以下では2割前後と低い。＜図2－2＞

＜図2－2＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

「行っている」は所沢都市圏（31.5%）と県央都市圏（31.1%）で3割以上と比較的高く、入間東部都市圏（16.7%）と本庄都市圏（17.1%）では1割台半ばと比較的低い。＜表2－2＞

⑤性・年代別

「行っている」は女性50歳代以上で3割を超えており、中でも60歳代（43.8%）の高さが際立っている。一方、男性40歳代以下はいずれも1割台後半と特に低くなっている。＜表2－2＞

⑥職業別

「行っている」は無職（計）（29.1%）が3割と高くなっており、雇用者（計）（20.2%）と8.9ポイント差がある。＜表2－2＞

⑦ライフステージ別

「行っている」は家族形成期（14.8%）や家族成長前期（15.8%）で1割台半ばと低いですが、それ以降は次第に高くなり、高齢期（34.1%）では3割台半ばとなっている。＜表2－2＞

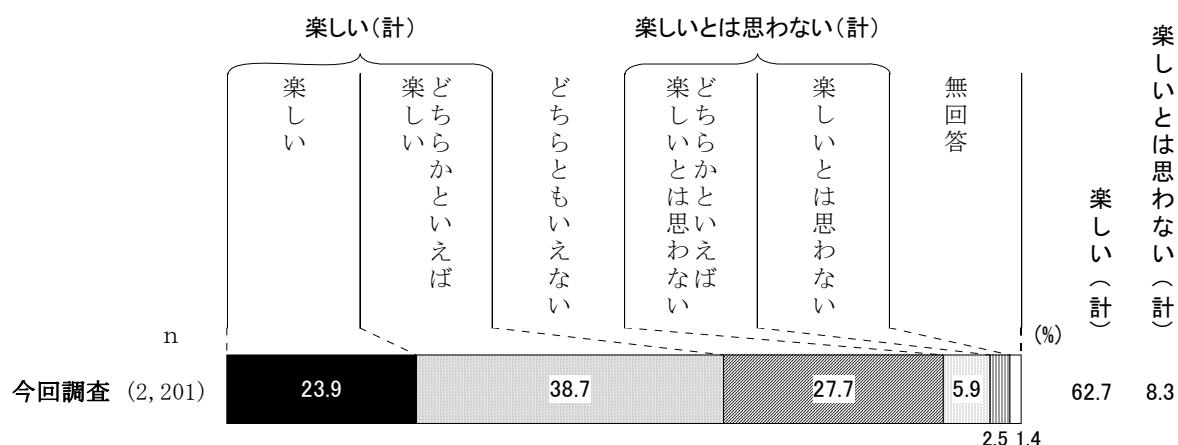
＜表２－２＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

		(%)		
	調査数	行っている	行っていない	無回答
【総 数】	2201	24.7	74.8	0.5
【都市圏別】				
（南部計）	763	26.2	73.4	0.4
中枢都市圏	458	27.1	72.5	0.4
県南５市圏	215	22.3	77.7	－
県央都市圏	90	31.1	67.8	1.1
（西部計）	720	24.7	74.6	0.7
南西部４市圏	142	19.7	79.6	0.7
入間東部都市圏	84	16.7	83.3	－
川越都市圏	211	26.5	73.5	－
所沢都市圏	213	31.5	66.7	1.9
比企都市圏	70	18.6	81.4	－
（東部計）	515	23.5	76.3	0.2
東部都市圏	302	24.5	75.2	0.3
利根南部都市圏	129	24.0	76.0	－
利根北部都市圏	84	19.0	81.0	－
（北部計）	165	21.8	77.0	1.2
県北都市圏	124	23.4	75.0	1.6
本庄都市圏	41	17.1	82.9	－
（秩父計） 秩父都市圏	38	23.7	76.3	－
【性・年代別】				
男性 20歳代	123	16.3	83.7	－
30歳代	185	17.8	81.6	0.5
40歳代	224	15.6	83.9	0.4
50歳代	221	24.4	75.6	－
60歳代	207	25.1	73.4	1.4
70歳以上	133	24.8	75.2	－
女性 20歳代	137	24.8	75.2	－
30歳代	188	18.6	81.4	－
40歳代	209	20.6	78.9	0.5
50歳代	220	30.5	68.2	1.4
60歳代	210	43.8	55.7	0.5
70歳以上	144	31.9	67.4	0.7
【職業別】				
自営業・家族従業（計）	278	27.3	72.3	0.4
雇用者（計）	1000	20.2	79.5	0.3
無 職（計）	892	29.1	70.1	0.8
【ライフステージ別】				
独身期	303	23.8	75.9	0.3
家族形成期	229	14.8	85.2	－
家族成長前期	253	15.8	84.2	－
家族成長後期	194	20.1	78.4	1.5
家族成熟期	500	28.2	71.0	0.8
高齢期	384	34.1	65.4	0.5
その他	338	25.7	74.0	0.3

(3) 子育ての楽しさについて

◇『楽しい(計)』が62.7%

(3) 子育ては「楽しい」と思いますか。(子育て経験が無い方は予想で、また、既に子育てが終わった方は、経験からお答えください。)



子育ての楽しさに関して、「どちらかといえば楽しい」(38.7%)が4割弱で最も高く、「どちらともいえない」(27.7%)と「楽しい」(23.9%)が2割台となっている。「楽しい」(23.9%)と「どちらかといえば楽しい」(38.7%)を合わせた『楽しい(計)』(62.7%)は6割強、「楽しいとは思わない」(2.5%)と「どちらかといえば楽しいとは思わない」(5.9%)を合わせた『楽しいとは思わない(計)』(8.3%)は1割弱となっている。

【属性別比較】

①地域別

『楽しい(計)』は北部(66.7%)と南部(65.9%)で比較的高く、東部(57.7%)と秩父(57.9%)でやや低い。「楽しい」に限った場合、秩父(15.8%)以外の4地域間に差はほとんどない。＜図2-3＞

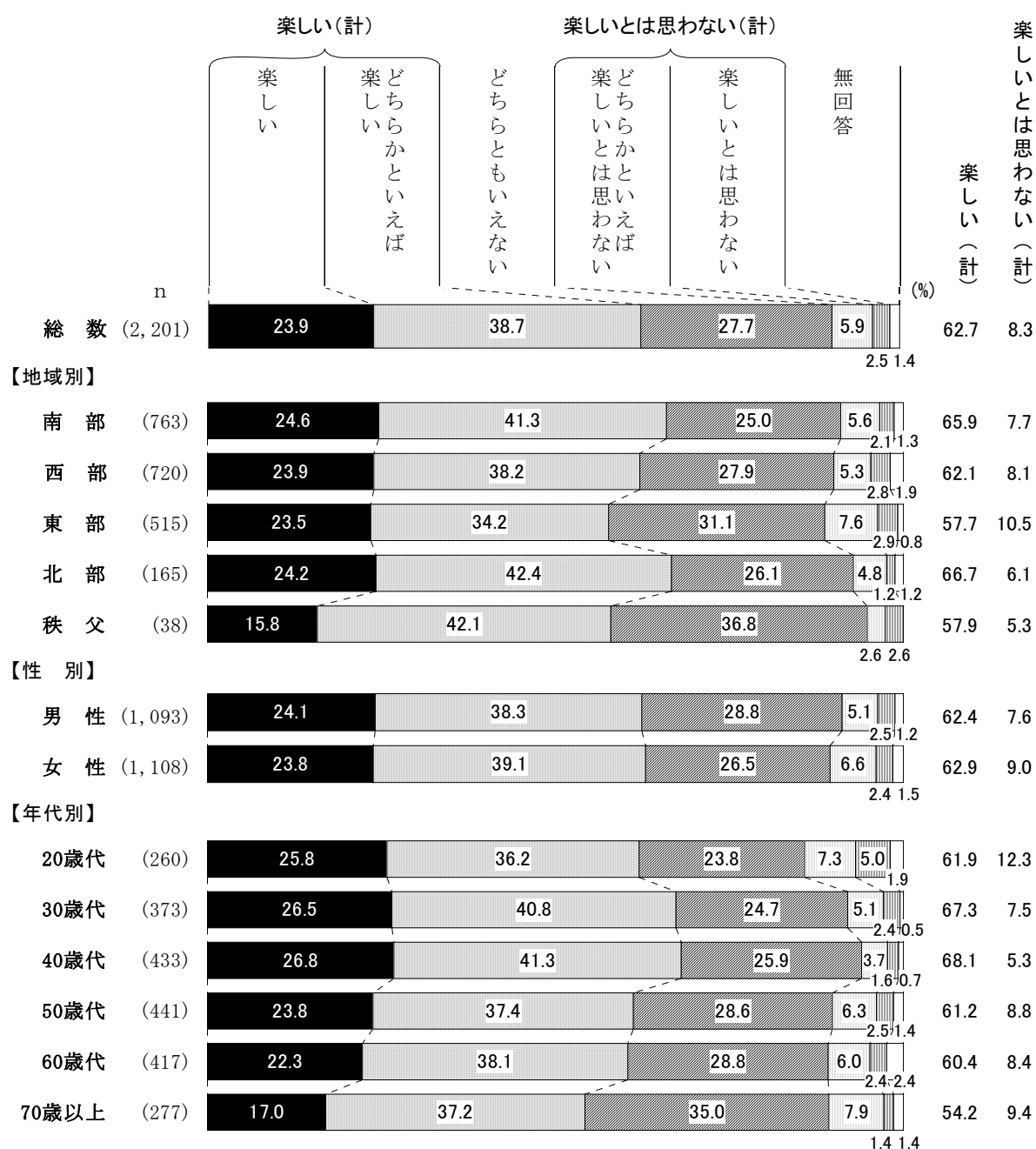
②性別

男女間で違いはほとんどみられないが、『楽しいとは思わない(計)』は女性(9.0%)の方が若干高い。＜図2-3＞

③年代別

『楽しい(計)』は40歳代(68.1%)を最高に、高年代または低年代ほど低い。特に70歳以上(54.2%)は5割台半ばと低くなっている。また、『楽しいとは思わない(計)』は20歳代(12.3%)が高くなっている。＜図2-3＞

＜図2-3＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『楽しい（計）』は県南5市圏（68.8%）で最も高く、県北都市圏（67.7%）、所沢都市圏（65.3%）と続いている。一方、利根北部都市圏（53.6%）や比企都市圏（54.3%）では5割台半ばと低い。「楽しい」に限った場合、比企都市圏（11.4%）は特に低くなっている。＜表2－3＞

⑤性・年代別

『楽しい（計）』は男女とも30歳代と40歳代は6割台後半と高い。一方、『楽しいとは思わない（計）』は男女とも20歳代で高さが目立っており、特に女性20歳代（13.1%）は全体（8.3%）を大きく上回っている。＜表2－3＞

⑥職業別

職業別で特に目立った差はない。＜表2－3＞

⑦ライフステージ別

『楽しい（計）』は家族形成期から家族成長後期にかけて7割を超え、高くなっている。一方、『楽しいとは思わない（計）』は独身期（13.2%）が他のステージに比べて高くなっている。＜表2－3＞

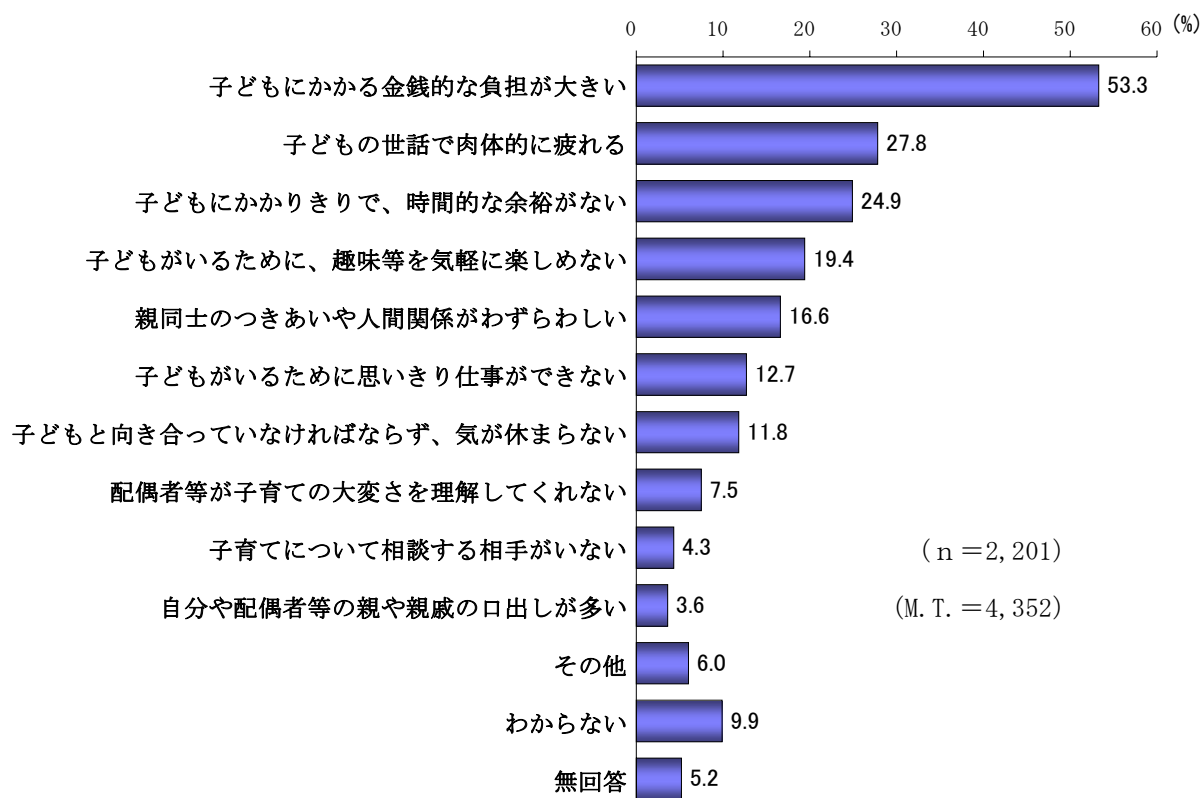
＜表2－3＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

									(%)	
	調査数	楽しい	どちらか 楽しい	どちら でもない	どちらか とは思 わない	楽しい とは思 わない	無 回 答		楽しい (計)	楽しい とは思 わない (計)
【総 数】	2201	23.9	38.7	27.7	5.9	2.5	1.4		62.7	8.3
【都市圏別】										
（南部計）	763	24.6	41.3	25.0	5.6	2.1	1.3		65.9	7.7
中核都市圏	458	23.4	41.5	24.7	6.1	2.6	1.7		64.8	8.7
県南5市圏	215	25.6	43.3	25.1	4.2	0.9	0.9		68.8	5.1
県央都市圏	90	28.9	35.6	26.7	6.7	2.2	-		64.4	8.9
（西部計）	720	23.9	38.2	27.9	5.3	2.8	1.9		62.1	8.1
南西部4市圏	142	20.4	44.4	22.5	8.5	2.8	1.4		64.8	11.3
入間東部都市圏	84	28.6	31.0	32.1	3.6	2.4	2.4		59.5	6.0
川越都市圏	211	21.8	38.9	30.3	5.2	2.4	1.4		60.7	7.6
所沢都市圏	213	30.5	34.7	23.9	4.2	3.3	3.3		65.3	7.5
比企都市圏	70	11.4	42.9	38.6	4.3	2.9	-		54.3	7.1
（東部計）	515	23.5	34.2	31.1	7.6	2.9	0.8		57.7	10.5
東部都市圏	302	25.2	32.8	30.8	7.0	3.3	1.0		57.9	10.3
利根南部都市圏	129	19.4	40.3	27.9	9.3	2.3	0.8		59.7	11.6
利根北部都市圏	84	23.8	29.8	36.9	7.1	2.4	-		53.6	9.5
（北部計）	165	24.2	42.4	26.1	4.8	1.2	1.2		66.7	6.1
県北都市圏	124	25.8	41.9	25.0	4.8	1.6	0.8		67.7	6.5
本庄都市圏	41	19.5	43.9	29.3	4.9	-	2.4		63.4	4.9
（秩父計） 秩父都市圏	38	15.8	42.1	36.8	2.6	2.6	-		57.9	5.3
【性・年代別】										
男性 20歳代	123	28.5	33.3	26.0	5.7	5.7	0.8		61.8	11.4
30歳代	185	27.6	38.9	27.0	5.4	0.5	0.5		66.5	5.9
40歳代	224	28.1	41.5	25.0	3.1	1.3	0.9		69.6	4.5
50歳代	221	22.2	38.0	30.3	5.0	3.2	1.4		60.2	8.1
60歳代	207	22.7	37.7	29.0	5.3	2.9	2.4		60.4	8.2
70歳以上	133	13.5	38.3	37.6	7.5	2.3	0.8		51.9	9.8
女性 20歳代	137	23.4	38.7	21.9	8.8	4.4	2.9		62.0	13.1
30歳代	188	25.5	42.6	22.3	4.8	4.3	0.5		68.1	9.0
40歳代	209	25.4	41.1	26.8	4.3	1.9	0.5		66.5	6.2
50歳代	220	25.5	36.8	26.8	7.7	1.8	1.4		62.3	9.5
60歳代	210	21.9	38.6	28.6	6.7	1.9	2.4		60.5	8.6
70歳以上	144	20.1	36.1	32.6	8.3	0.7	2.1		56.3	9.0
【職業別】										
自営業・家族従業（計）	278	23.0	39.9	29.9	4.3	2.2	0.7		62.9	6.5
雇用者（計）	1000	25.0	38.6	27.4	4.9	2.7	1.4		63.6	7.6
無 職（計）	892	23.2	38.1	27.6	7.3	2.4	1.5		61.3	9.6
【ライフステージ別】										
独身期	303	20.5	34.0	30.0	8.9	4.3	2.3		54.5	13.2
家族形成期	229	38.4	36.7	18.3	3.5	3.1	-		75.1	6.6
家族成長前期	253	30.0	46.2	17.8	3.6	2.0	0.4		76.3	5.5
家族成長後期	194	27.3	43.8	21.1	3.1	4.1	0.5		71.1	7.2
家族成熟期	500	24.4	39.8	26.8	6.2	1.6	1.2		64.2	7.8
高齢期	384	20.1	38.3	31.5	7.0	1.8	1.3		58.3	8.9
その他	338	14.5	34.6	39.9	6.2	1.8	3.0		49.1	8.0

（４）子育てに負担を感じる内容

◇「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」が53.3%

（４）あなたが、子育てに関して負担とを感じるのは、具体的にどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。（子育て経験が無い方は予想で、また、既に子育てが終わった方は、経験からお答えください。）



子育てに関して大変と感ずることとして、「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」（53.3%）が5割を超えて最も高く、「子どもの世話で肉体的に疲れる」（27.8%）と「子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない」（24.9%）が2割台でこれに次いでいる。

【属性別比較】

①地域別

地域間で特に目立った差はない。秩父地域で「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」（68.4％）や「わからない」（21.1％）がやや高くなっている。＜表2－4＞

②都市圏別

「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」は秩父都市圏（68.4％）や南西部4市圏（62.0％）が高い。「子どもがいるために、趣味等を気軽に楽しめない」は県央都市圏（28.9％）、「親同士のつきあいや人間関係がわずらわしい」は本庄都市圏（29.3％）、「子どもがいるために思いきり仕事ができない」は県北都市圏（21.8％）でそれぞれ高くなっている。＜表2－4＞

③市郡規模別

市郡規模別では特に目立った差はない。＜表2－4＞

＜表2－4＞地域別／都市圏別／市郡規模別

	調査数	が子どもにかかる金銭的な負担	子どもの世話で肉体的に疲れ	子どもに余裕がないきりで、時間	子どもが楽しめるために、趣味等	が親同士のつきあいや人間関係	仕事ができるために思いきり	子どもと向き合っていない	理解者等が子育ての大変さを	が子育てについて相談する相手	自分や配偶者等の親や親戚の	その他	わからない	無回答
【総数】	2201	53.3	27.8	24.9	19.4	16.6	12.7	11.8	7.5	4.3	3.6	6.0	9.9	5.2
【地域別】														
南部	763	54.4	29.0	27.1	18.3	17.2	10.9	13.2	8.7	3.3	3.4	5.6	8.4	5.8
西部	720	53.9	27.4	25.1	18.2	17.9	12.2	10.8	6.4	4.7	3.1	4.9	10.1	5.1
東部	515	48.9	26.6	21.4	21.6	13.6	13.4	11.3	8.2	5.0	4.7	9.5	11.1	4.9
北部	165	56.4	27.3	23.6	23.6	17.6	20.6	11.5	6.1	5.5	3.0	3.6	9.1	4.8
秩父	38	68.4	28.9	26.3	18.4	15.8	15.8	7.9	—	2.6	5.3	—	21.1	—
【都市圏別】														
（南部計）	763	54.4	29.0	27.1	18.3	17.2	10.9	13.2	8.7	3.3	3.4	5.6	8.4	5.8
中枢都市圏	458	56.3	28.2	26.9	17.0	17.5	10.3	15.3	9.0	3.9	3.1	6.8	7.4	5.9
県南5市圏	215	53.0	31.2	28.4	16.7	15.3	12.1	10.2	8.8	2.3	3.7	3.3	8.4	7.0
県央都市圏	90	47.8	27.8	25.6	28.9	20.0	11.1	10.0	6.7	2.2	4.4	5.6	13.3	2.2
（西部計）	720	53.9	27.4	25.1	18.2	17.9	12.2	10.8	6.4	4.7	3.1	4.9	10.1	5.1
南西部4市圏	142	62.0	28.9	25.4	16.2	23.9	11.3	14.8	7.7	6.3	0.7	3.5	8.5	3.5
入間東部都市圏	84	53.6	29.8	19.0	14.3	23.8	16.7	8.3	4.8	7.1	1.2	3.6	10.7	3.6
川越都市圏	211	51.7	22.7	23.2	15.6	18.5	11.8	9.5	6.6	4.3	3.8	5.2	12.8	4.3
所沢都市圏	213	52.1	29.6	28.2	22.5	11.3	11.3	8.9	6.6	3.3	4.2	6.1	5.6	9.4
比企都市圏	70	50.0	28.6	28.6	21.4	17.1	12.9	15.7	4.3	4.3	4.3	4.3	18.6	—
（東部計）	515	48.9	26.6	21.4	21.6	13.6	13.4	11.3	8.2	5.0	4.7	9.5	11.1	4.9
東部都市圏	302	48.3	23.2	19.5	20.9	11.9	12.6	11.3	8.3	5.0	4.6	9.9	11.9	6.6
利根南部都市圏	129	48.1	31.8	25.6	23.3	15.5	13.2	13.2	9.3	7.0	3.9	10.1	8.5	3.1
利根北部都市圏	84	52.4	31.0	21.4	21.4	16.7	16.7	8.3	6.0	2.4	6.0	7.1	11.9	1.2
（北部計）	165	56.4	27.3	23.6	23.6	17.6	20.6	11.5	6.1	5.5	3.0	3.6	9.1	4.8
県北都市圏	124	56.5	29.0	25.8	25.0	13.7	21.8	9.7	6.5	4.8	3.2	4.8	8.9	4.8
本庄都市圏	41	56.1	22.0	17.1	19.5	29.3	17.1	17.1	4.9	7.3	2.4	—	9.8	4.9
（秩父計） 秩父都市圏	38	68.4	28.9	26.3	18.4	15.8	15.8	7.9	—	2.6	5.3	—	21.1	—
【市郡規模別】														
人口10万以上の市	1531	53.8	27.0	25.0	18.9	16.4	11.8	11.9	7.8	4.6	3.7	6.2	8.9	5.8
人口10万未満の市	444	51.6	28.8	22.5	20.7	18.0	14.4	10.8	6.8	2.9	2.3	4.7	13.5	4.7
郡部（町村）	226	54.0	31.0	28.8	20.4	15.0	15.5	12.8	6.2	4.9	5.3	7.5	9.3	1.8

④性別

ほとんどの項目で女性の方が高いが、「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」は男性（56.8%）が女性（49.9%）よりも6.9ポイント高い。「子どもがいるために思いきり仕事ができない」では女性（17.8%）が男性（7.6%）を10.2ポイント上回り、「配偶者等が子育ての大変さを理解してくれない」では女性（11.6%）が男性（3.3%）を8.3ポイント上回り、差が大きくなっている。＜表2－5＞

⑤年代別

「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」は40歳代（63.3%）と50歳代（61.2%）で高いのに対して、「子どもの世話で肉体的に疲れる」や「子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない」は20歳代と30歳代で高くなっている。＜表2－5＞

⑥性・年代別

「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」は男性の40歳代（66.1%）と50歳代（64.3%）で6割台半ばと特に高い。「子どもの世話で肉体的に疲れる」は女性の20歳代（38.0%）と30歳代（35.1%）で特に高くなっている。「子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない」は女性20歳代（45.3%）が特に高く、「子どもがいるために、趣味等を気軽に楽しめない」は女性は20歳代（24.1%）で高く、男性は30歳代（25.4%）で高い。「親同士のつきあいや人間関係がわずらわしい」は女性の30歳代（25.0%）と40歳代（24.4%）で高くなっている。「子供がいるために思いきり仕事ができない」は女性の30歳代（18.1%）と50歳代（22.3%）で高くなっている。＜表2－5＞

⑦職業別

「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」は雇用者（計）（61.0%）で6割以上と高くなっている。＜表2－5＞

⑧住居形態別

「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」はマンション（民間）（62.6%）と民間借家（一戸建）（62.1%）で高くなっている。＜表2－5＞

⑨ライフステージ別

「子どもにかかる金銭的な負担が大きい」は家族成長前期（65.6%）と家族成長後期（68.0%）で6割台後半と高い。「子どもの世話で肉体的に疲れる」と「子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない」は独身期と家族形成期で高くなっている。「子どもがいるために、趣味等を気軽に楽しめない」は家族形成期（28.4%）で特に高くなっている。＜表2－5＞

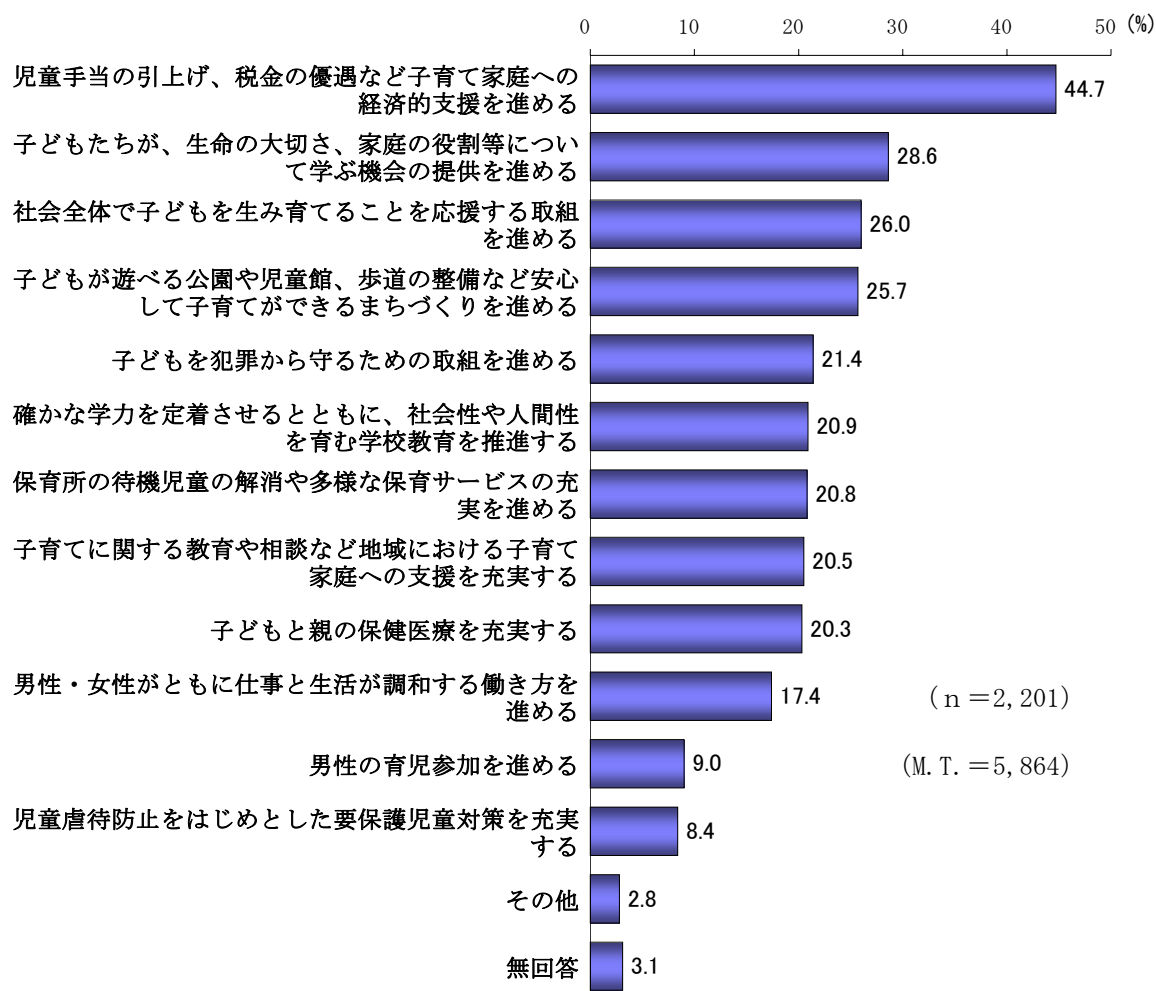
＜表 2－5＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

															(%)
	調査数	子どもにかかる金銭的な負担	子どもの世話で肉体的に疲れ	子どもに余裕がない	子どもに楽しめたい	子どもがわくわくしている	親同士のつきあいや人間関係	子どもがわくわくしている	子どもがわくわくしている	子どもがわくわくしている	子どもがわくわくしている	子どもがわくわくしている	子どもがわくわくしている	子どもがわくわくしている	子どもがわくわくしている
【総数】	2201	53.3	27.8	24.9	19.4	16.6	12.7	11.8	7.5	4.3	3.6	6.0	9.9	5.2	
【性別】															
男性	1093	56.8	24.4	21.1	18.8	13.1	7.6	10.1	3.3	3.8	3.2	6.2	13.4	5.7	
女性	1108	49.9	31.0	28.5	20.1	20.0	17.8	13.4	11.6	4.8	4.0	5.9	6.4	4.7	
【年代別】															
20歳代	260	55.0	35.4	39.6	21.2	15.8	10.4	12.7	4.6	3.1	5.0	2.3	10.0	1.9	
30歳代	373	52.3	34.0	31.6	23.6	19.8	13.4	10.5	7.0	2.7	2.4	4.3	8.3	2.4	
40歳代	433	63.3	25.4	22.6	18.2	20.8	11.1	10.9	6.5	3.2	3.0	6.2	8.5	2.5	
50歳代	441	61.2	23.8	23.1	19.5	16.6	15.0	13.2	9.5	5.7	4.1	6.1	6.6	5.0	
60歳代	417	44.4	28.1	20.4	18.0	14.1	12.9	12.2	7.2	5.8	3.6	8.4	11.0	8.6	
70歳以上	277	38.6	21.7	14.8	16.2	10.1	12.6	11.2	9.4	5.1	4.0	7.9	17.3	11.2	
【性・年代別】															
男性 20歳代	123	57.7	32.5	33.3	17.9	14.6	6.5	11.4	1.6	4.1	5.7	1.6	14.6	1.6	
男性 30歳代	185	56.8	33.0	29.7	25.4	14.6	8.6	7.6	2.2	1.1	2.7	4.3	10.8	2.2	
男性 40歳代	224	66.1	20.5	17.9	19.2	17.4	5.8	8.5	2.7	0.9	2.7	6.7	12.5	2.2	
男性 50歳代	221	64.3	21.3	23.1	18.1	13.1	7.7	12.2	5.4	5.4	2.7	5.4	8.6	5.9	
男性 60歳代	207	45.9	23.7	14.0	18.4	9.7	9.2	12.1	3.4	6.3	2.4	8.2	15.9	10.6	
男性 70歳以上	133	45.1	18.0	11.3	11.3	7.5	7.5	8.3	3.8	6.0	4.5	10.5	21.1	12.0	
女性 20歳代	137	52.6	38.0	45.3	24.1	16.8	13.9	13.9	7.3	2.2	4.4	2.9	5.8	2.2	
女性 30歳代	188	47.9	35.1	33.5	21.8	25.0	18.1	13.3	11.7	4.3	2.1	4.3	5.9	2.7	
女性 40歳代	209	60.3	30.6	27.8	17.2	24.4	16.7	13.4	10.5	5.7	3.3	5.7	4.3	2.9	
女性 50歳代	220	58.2	26.4	23.2	20.9	20.0	22.3	14.1	13.6	5.9	5.5	6.8	4.5	4.1	
女性 60歳代	210	42.9	32.4	26.7	17.6	18.6	16.7	12.4	11.0	5.2	4.8	8.6	6.2	6.7	
女性 70歳以上	144	32.6	25.0	18.1	20.8	12.5	17.4	13.9	14.6	4.2	3.5	5.6	13.9	10.4	
【職業別】															
自営業・家族従業（計）	278	48.9	23.4	20.1	18.0	15.8	15.1	9.4	6.5	3.2	3.2	6.1	13.7	4.3	
雇用者（計）	1000	61.0	27.9	26.7	19.8	16.5	10.8	10.2	5.2	4.0	3.2	5.0	8.6	3.6	
無職（計）	892	46.1	28.6	24.0	19.5	17.0	14.1	14.5	10.1	4.8	4.1	7.2	10.3	7.0	
【住居形態別】															
持家（計）	1830	52.5	27.7	24.7	18.9	16.0	12.3	11.6	7.9	4.0	3.7	6.1	9.7	5.6	
持家（一戸建）	1610	51.4	27.8	24.6	19.3	15.3	12.9	11.1	7.6	4.0	3.9	6.2	10.2	5.8	
マンション（公団・公社）	22	36.4	36.4	18.2	27.3	18.2	-	4.5	9.1	4.5	-	4.5	13.6	13.6	
マンション（民間）	198	62.6	25.8	26.3	15.2	21.2	9.1	16.7	10.1	4.5	2.5	5.1	5.1	3.5	
持家以外（計）	359	58.2	28.1	25.9	22.3	19.5	14.5	12.3	5.6	5.8	3.3	5.6	11.1	2.5	
民間借家（一戸建）	58	62.1	24.1	22.4	15.5	17.2	13.8	15.5	3.4	5.2	3.4	5.2	12.1	3.4	
民間賃貸マンション・アパート	232	58.6	28.0	25.4	22.0	20.3	15.1	11.6	6.9	5.2	2.6	6.0	10.8	2.2	
公団・公社などの賃貸住宅	25	48.0	28.0	24.0	20.0	32.0	4.0	12.0	4.0	4.0	12.0	4.0	16.0	4.0	
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	50.0	12.5	37.5	25.0	-	37.5	12.5	-	12.5	-	12.5	12.5	-	
社宅、寮、公務員住宅など	25	60.0	40.0	36.0	40.0	12.0	8.0	12.0	-	12.0	4.0	-	8.0	-	
その他	11	54.5	36.4	27.3	27.3	18.2	27.3	9.1	9.1	9.1	-	9.1	9.1	9.1	
【ライフステージ別】															
独身期	303	53.1	36.3	38.3	17.8	19.1	12.9	10.9	5.6	3.0	4.3	2.6	12.9	3.0	
家族形成期	229	48.5	43.2	38.9	28.4	14.4	8.3	12.2	4.4	2.2	2.2	4.4	5.2	2.2	
家族成長前期	253	65.6	20.9	18.2	20.6	20.9	15.0	12.6	7.5	4.3	4.3	6.3	4.7	1.2	
家族成長後期	194	68.0	19.1	15.5	14.9	17.0	8.8	8.2	6.7	3.6	1.5	4.6	4.6	6.7	
家族成熟期	500	56.6	24.0	23.2	19.2	13.4	13.6	13.0	10.0	4.8	4.6	7.4	6.6	6.6	
高齢期	384	44.8	28.1	18.0	19.5	12.0	15.6	12.0	9.6	5.2	3.4	9.1	10.9	8.6	
その他	338	44.1	24.9	24.0	16.9	22.2	11.5	11.5	5.3	5.6	3.3	5.3	20.7	5.3	

（５）子どもがいる幸せを実感できる社会を実現する方策

◇「子育て家庭への経済的支援を進める」が44.7%

（５）子どもを安心して生み、育てることができ、子どもがいる幸せを誰もが実感できる社会を実現させるためには、どのようなことが大切だと思いますか。次の中から３つまで選んでください。



子どもがいる幸せを実感できる社会を実現するためには、「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援を進める」（44.7%）が唯一4割台と高く、次いで「子どもたちが、生命の大切さ、家庭の役割等について学ぶ機会の提供を進める」（28.6%）、「社会全体で子どもを生み育てることを応援する取組を進める」（26.0%）、「子どもが遊べる公園や児童館、歩道の整備など安心して子育てができるまちづくりを進める」（25.7%）が2割台後半となっている。

【属性別比較】

①地域別

北部地域と秩父地域に特徴がみられ、前者は「子どもたちが、生命の大切さ、家庭の役割等について学ぶ機会の提供を進める」（33.9％）で高いが、「保育所の待機児童の解消や多様な保育サービスの充実を進める」（13.3％）では低い。後者は「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援を進める」（52.6％）が高いが、「社会全体で子どもを生み育てることを応援する取組を進める」や「確かな学力を定着させるとともに、社会性や人間性を育む学校教育を推進する」（ともに13.2％）では低くなっている。＜表2－6＞

②都市圏別

「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援を進める」は本庄都市圏（56.1％）、秩父都市圏（52.6％）、南西部4市圏（50.7％）で5割以上と高く、県央都市圏（36.7％）と川越都市圏（37.9％）では4割未満と低い。逆に、「子どもたちが、生命の大切さ、家庭の役割等について学ぶ機会の提供を進める」は本庄都市圏（39.0％）と川越都市圏（34.6％）で高くなっている。「社会全体で子どもを生み育てることを応援する取組を進める」は比企都市圏（41.4％）で特に高く、秩父都市圏（13.2％）で低い。＜表2－6＞

③市郡規模別

市郡規模別では特に目立った差はない。＜表2－6＞

＜表 2－6＞地域別／都市圏別／市郡規模別

(%)																
	調査数	への経済的支援を進める	児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭	子どもたちが、生命の大切さ、家庭の役割等について学ぶ機会の提供を進める	子どももが遊べる公園や児童館、歩道の整備など安心して子育てができるまちづくりを進める	社会全体で子どもを生み育てることを応援する取組を進める	子どもを犯罪から守るための取組を進める	確かな学力を定着させるとともに、社会性や人間性を育む学校教育を推進する	保育所の待機児童の解消や多様な保育サービスの充実を進める	子育てに関する教育や相談など地域における子育て家庭への支援を充実する	子どもと親の保健医療を充実する	男性・女性がともに仕事と生活が調和する働き方を進める	男性の育児参加を進める	児童虐待防止をはじめとした要保護児童対策を充実する	その他	無回答
【総数】	2201	44.7	28.6	26.0	25.7	21.4	20.9	20.8	20.5	20.3	17.4	9.0	8.4	2.8	3.1	
【地域別】																
南部	763	45.0	26.9	24.1	26.7	20.3	22.0	22.9	20.7	20.4	16.9	10.4	7.9	3.4	3.8	
西部	720	43.6	28.8	28.2	25.3	19.4	21.0	21.5	20.3	20.0	16.8	8.1	9.4	1.5	2.9	
東部	515	45.2	29.1	25.8	23.7	24.5	18.4	19.0	22.1	21.7	17.3	9.5	8.5	3.5	2.1	
北部	165	44.8	33.9	28.5	27.9	24.8	24.8	13.3	16.4	16.4	21.8	7.3	6.1	1.8	4.2	
秩父	38	52.6	28.9	13.2	28.9	26.3	13.2	21.1	15.8	18.4	21.1	2.6	5.3	7.9	-	
【都市圏別】																
(南部計)	763	45.0	26.9	24.1	26.7	20.3	22.0	22.9	20.7	20.4	16.9	10.4	7.9	3.4	3.8	
中枢都市圏	458	44.5	26.4	25.1	30.8	21.8	21.8	22.1	22.7	21.8	17.0	9.6	6.8	3.9	3.7	
県南5市圏	215	49.3	26.5	20.5	20.5	17.7	21.9	24.2	20.0	20.0	15.3	11.2	9.8	3.3	4.7	
県央都市圏	90	36.7	30.0	27.8	21.1	18.9	23.3	24.4	12.2	14.4	20.0	12.2	8.9	1.1	2.2	
(西部計)	720	43.6	28.8	28.2	25.3	19.4	21.0	21.5	20.3	20.0	16.8	8.1	9.4	1.5	2.9	
南西部4市圏	142	50.7	23.9	29.6	33.8	21.1	16.9	21.1	23.2	16.9	16.9	6.3	8.5	0.7	2.1	
入間東部都市圏	84	42.9	29.8	26.2	29.8	16.7	25.0	16.7	17.9	21.4	17.9	4.8	10.7	1.2	3.6	
川越都市圏	211	37.9	34.6	20.9	20.4	23.7	22.7	19.0	20.9	17.1	17.5	9.5	10.0	1.9	4.7	
所沢都市圏	213	45.5	24.9	31.0	22.5	17.8	22.1	24.9	16.0	24.4	16.0	8.5	10.3	1.9	2.3	
比企都市圏	70	41.4	31.4	41.4	25.7	11.4	15.7	25.7	28.6	20.0	15.7	10.0	5.7	1.4	-	
(東部計)	515	45.2	29.1	25.8	23.7	24.5	18.4	19.0	22.1	21.7	17.3	9.5	8.5	3.5	2.1	
東部都市圏	302	45.0	30.8	24.2	25.8	26.8	17.2	21.2	21.9	21.9	16.6	10.9	7.9	2.6	1.3	
利根南部都市圏	129	45.7	24.8	27.9	20.9	14.7	20.9	17.8	24.8	23.3	19.4	8.5	8.5	4.7	4.7	
利根北部都市圏	84	45.2	29.8	28.6	20.2	31.0	19.0	13.1	19.0	19.0	16.7	6.0	10.7	4.8	1.2	
(北部計)	165	44.8	33.9	28.5	27.9	24.8	24.8	13.3	16.4	16.4	21.8	7.3	6.1	1.8	4.2	
県北都市圏	124	41.1	32.3	28.2	27.4	23.4	25.8	12.9	16.9	17.7	25.0	8.1	4.8	2.4	4.0	
本庄都市圏	41	56.1	39.0	29.3	29.3	29.3	22.0	14.6	14.6	12.2	12.2	4.9	9.8	-	4.9	
(秩父計) 秩父都市圏	38	52.6	28.9	13.2	28.9	26.3	13.2	21.1	15.8	18.4	21.1	2.6	5.3	7.9	-	
【市郡規模別】																
人口10万以上の市	1531	44.4	28.7	25.4	26.7	20.7	20.9	21.8	19.5	21.2	17.4	9.3	8.6	2.3	3.3	
人口10万未満の市	444	44.6	29.5	28.4	21.8	23.9	20.9	17.6	23.9	16.4	18.7	8.1	7.0	3.6	2.5	
郡部(町村)	226	47.3	26.1	25.2	26.1	21.7	20.8	20.8	20.8	21.7	15.0	9.3	9.3	4.4	2.7	

④性別

「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援を進める」は男性（50.0%）が女性（39.5%）よりも10.5ポイント高い。逆に「男性・女性がともに仕事と生活が調和する働き方を進める」で6.4ポイント、「男性の育児参加を進める」で6.0ポイント、「保育所の待機児童の解消や多様な保育サービスの充実を進める」で4.0ポイント、女性の方が男性よりも高くなっている。＜表2-7＞

⑤年代別

「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援を進める」は30歳代（60.6%）の高さが目立っている。「子どもたちが、生命の大切さ、家庭の役割等について学ぶ機会の提供を進める」と「社会全体で子どもを生み育てることを応援する取組を進める」ではいずれも50歳代と60歳代が高い。「子どもが遊べる公園や児童館、歩道の整備など安心して子育てができるまちづくりを進める」は40歳代以下で3割前後と高くなっている。一方、「確かな学力を定着させるとともに、社会性や人間性を育む学校教育を推進する」は30歳代以下で低くなっている。＜表2-7＞

⑥性・年代別

「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援を進める」は男性の40歳代以下で6割前後と高いが、女性は30歳代（59.6%）のみが高くなっている。「保育所の待機児童の解消や多様な保育サービスの充実を進める」は女性の20歳代（29.2%）と50歳代（29.5%）で3割弱と高く、「男性の育児参加を進める」も女性の20歳代（16.1%）と50歳代（16.8%）で高くなっている。「子育てに関する教育や相談など地域における子育て家庭への支援を充実する」は女性20歳代（31.4%）が3割強と特に高い。「男性・女性がともに仕事と生活が調和する働き方を進める」は女性の30歳代（22.3%）と40歳代（24.4%）で高くなっている。＜表2-7＞

⑦職業別

「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援を進める」は雇用者（計）（50.3%）で半数を占める。一方、自営業・家族従業（計）（41.4%）と無職（計）（39.8%）は4割前後となっている。＜表2-7＞

⑧住居形態別

「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援を進める」は持家以外（計）（56.3%）が持家（計）（42.4%）より高くなっている。「子どもが遊べる公園や児童館、歩道の整備など安心して子育てができるまちづくりを進める」はマンション（民間）（34.3%）で高くなっている。＜表2-7＞

⑨ライフステージ別

「児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援を進める」と「子どもが遊べる公園や児童館、歩道の整備など安心して子育てができるまちづくりを進める」はいずれも家族形成期と家族成長前期で高い。「社会全体で子どもを生み育てることを応援する取組を進める」は家族成長後期（30.9%）と家族成熟期（31.8%）で3割以上と高い。「子どもと親の保健医療を充実する」は家族成長前期（30.8%）で高くなっている。＜表2-7＞

＜表２－７＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

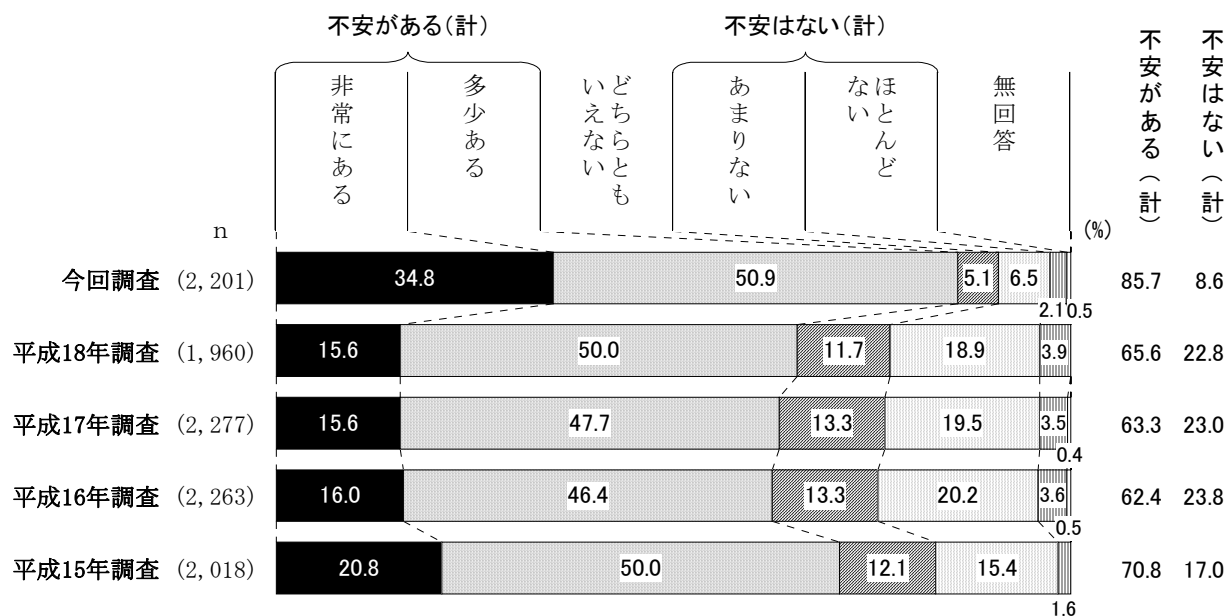
(%)

	調査数	児童手当の引上げ、税 金の優遇など子育て家 庭への経済的支援を進 める	子どもたちが、生命 の大切さ、家庭の役割 について学ぶ機会の提 供を進める	社会全体で子どもを 生み育てることを支 援する	子どもが遊べる公園 や児童館、歩道の整備 など	子どもを犯罪から守 るための取組を進める	確かな学力を定着さ せるとともに、社会性 や人間性を育む学校教 育を推進する	保育所の待機児童の 解消や多様な保育サー ビスの充実を進める	子育てに関する教育 や相談など地域におけ る子育て家庭への支援 を充実する	子どもと親の保健医 療を充実する	男性・女性がともに 仕事と生活が調和する 働き方を進める	男性の育児参加を進 める	児童虐待防止をはじ めとした要保護児童対 策を充実する	その他	無回答
【総数】	2201	44.7	28.6	26.0	25.7	21.4	20.9	20.8	20.5	20.3	17.4	9.0	8.4	2.8	3.1
【性別】															
男性	1093	50.0	28.5	25.8	27.3	21.5	21.4	18.8	19.8	20.3	14.2	6.0	8.5	3.0	3.0
女性	1108	39.5	28.6	26.2	24.1	21.4	20.4	22.8	21.2	20.2	20.6	12.0	8.2	2.5	3.2
【年代別】															
20歳代	260	50.4	23.5	24.6	29.2	19.2	10.4	25.0	25.4	18.5	16.5	13.5	6.2	5.4	2.7
30歳代	373	60.6	22.0	22.3	33.5	21.7	14.2	20.1	18.0	25.2	18.2	8.6	4.0	3.2	1.3
40歳代	433	47.8	27.5	26.3	30.0	24.5	22.6	19.6	16.6	22.4	18.0	7.6	8.1	2.5	2.1
50歳代	441	41.5	30.8	28.6	22.0	19.0	22.7	25.6	21.8	16.6	18.8	11.8	7.0	2.5	2.0
60歳代	417	33.6	36.2	31.2	20.6	20.6	27.3	18.0	21.6	17.5	15.8	6.5	14.4	2.2	4.6
70歳以上	277	35.0	28.9	19.9	18.4	23.5	24.5	16.2	21.7	22.0	16.2	7.2	9.7	1.4	6.9
【性・年代別】															
男性 20歳代	123	59.3	23.6	26.8	33.3	19.5	9.8	20.3	18.7	18.7	15.4	10.6	8.1	6.5	2.4
30歳代	185	61.6	21.1	21.6	37.8	21.6	13.5	17.3	16.8	27.6	14.1	8.6	4.9	3.8	1.6
40歳代	224	57.6	29.5	24.6	33.9	25.4	22.3	16.5	15.2	21.9	12.1	5.4	8.0	1.3	1.8
50歳代	221	45.2	30.8	24.0	20.4	20.8	24.0	21.7	21.3	19.5	17.2	6.8	7.2	3.2	2.3
60歳代	207	38.2	33.8	36.2	21.7	19.8	27.1	19.3	23.7	14.0	15.0	2.4	14.0	2.4	3.4
70歳以上	133	38.3	30.1	19.5	15.8	20.3	28.6	17.3	24.1	20.3	10.5	3.8	8.3	2.3	8.3
女性 20歳代	137	42.3	23.4	22.6	25.5	19.0	10.9	29.2	31.4	18.2	17.5	16.1	4.4	4.4	2.9
30歳代	188	59.6	22.9	22.9	29.3	21.8	14.9	22.9	19.1	22.9	22.3	8.5	3.2	2.7	1.1
40歳代	209	37.3	25.4	28.2	25.8	23.4	23.0	23.0	18.2	23.0	24.4	10.0	8.1	3.8	2.4
50歳代	220	37.7	30.9	33.2	23.6	17.3	21.4	29.5	22.3	13.6	20.5	16.8	6.8	1.8	1.8
60歳代	210	29.0	38.6	26.2	19.5	21.4	27.6	16.7	19.5	21.0	16.7	10.5	14.8	1.9	5.7
70歳以上	144	31.9	27.8	20.1	20.8	26.4	20.8	15.3	19.4	23.6	21.5	10.4	11.1	0.7	5.6
【職業別】															
自営業・家族従業（計）	278	41.4	30.2	28.1	25.2	24.5	19.1	18.3	19.8	18.7	18.7	8.6	6.5	2.5	3.2
雇用者（計）	1000	50.3	26.6	26.0	28.1	20.0	19.6	22.2	20.3	19.8	18.2	8.4	6.6	3.0	2.3
無職（計）	892	39.8	29.8	25.7	23.4	22.3	22.6	20.1	21.1	21.5	16.1	9.9	10.7	2.6	3.7
【住居形態別】															
持家（計）	1830	42.4	29.1	25.8	26.1	21.7	21.5	20.8	20.8	20.6	17.4	9.2	8.5	2.6	3.1
持家（一戸建）	1610	42.0	29.3	25.6	25.3	22.0	21.9	20.2	20.7	20.9	17.8	9.2	8.6	2.4	3.2
マンション（公団・公社）	22	45.5	31.8	22.7	9.1	13.6	13.6	31.8	22.7	27.3	4.5	18.2	9.1	-	9.1
マンション（民間）	198	45.5	27.8	27.8	34.3	20.2	19.2	23.7	20.7	17.7	15.2	8.1	7.6	4.0	2.0
持家以外（計）	359	56.3	25.9	27.3	23.7	20.3	17.8	21.4	18.7	19.2	17.3	8.4	7.8	3.9	2.5
民間借家（一戸建）	58	41.4	34.5	29.3	20.7	19.0	20.7	24.1	19.0	15.5	19.0	10.3	6.9	6.9	3.4
民間賃貸マンション・アパート	232	59.5	23.3	26.3	22.0	22.4	17.2	21.1	18.5	20.7	17.2	7.8	7.3	4.3	1.7
公団・公社などの賃貸住宅	25	40.0	36.0	28.0	16.0	16.0	28.0	20.0	24.0	12.0	8.0	4.0	16.0	-	8.0
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	50.0	25.0	37.5	25.0	12.5	25.0	-	12.5	37.5	25.0	-	12.5	-	-
社宅、寮、公務員住宅など	25	76.0	24.0	24.0	48.0	16.0	4.0	28.0	16.0	16.0	12.0	16.0	-	-	4.0
その他	11	63.6	18.2	36.4	36.4	9.1	18.2	18.2	18.2	18.2	36.4	9.1	18.2	-	-
【ライフステージ別】															
独身期	303	43.9	29.0	24.4	26.7	16.2	10.6	24.1	24.1	18.2	19.5	15.8	6.6	5.0	3.3
家族形成期	229	65.5	15.7	25.8	37.1	24.9	13.1	25.8	20.5	23.1	16.6	7.4	2.6	3.1	0.4
家族成長前期	253	61.7	22.5	20.6	36.4	29.2	23.3	12.6	10.7	30.8	14.2	6.7	5.9	2.0	0.8
家族成長後期	194	44.3	26.8	30.9	22.7	19.6	27.8	22.7	19.1	17.0	19.1	6.7	5.7	4.1	1.5
家族成熟期	500	38.8	34.6	31.8	23.6	18.0	25.2	23.0	21.8	16.4	18.0	8.6	10.2	0.2	3.0
高齢期	384	40.9	31.5	24.7	18.2	24.5	25.8	16.9	22.4	21.1	16.7	8.1	9.4	2.1	4.4
その他	338	32.0	30.2	21.6	22.2	20.7	17.8	20.7	21.3	18.9	17.5	8.9	13.3	5.0	5.9

（６）食品の安全性に対する意識

◇『不安がある（計）』が85.7%

（６）あなたは、食品の安全性に不安がありますか。



食品の安全性に関して、不安が「多少ある」（50.9%）が半数を占めている。次いで「非常にある」（34.8%）が高く、両者を合わせた『不安がある（計）』（85.7%）は8割台半ばを占める。一方、不安が「ほとんどない」（2.1%）と「あまりない」（6.5%）を合わせた『不安はない（計）』（8.6%）は1割に満たない。

【過去4年間との比較】

過去の結果と比較して、不安が「多少ある」の割合は大きな変化はないが、「非常にある」が前回よりも19.2ポイント増加しており、『不安がある（計）』は前回から20.1ポイント増加している。

【属性別比較】

①地域別

『不安がある（計）』は南部（88.1％）でやや高く、秩父（78.9％）で低い。＜図2－4＞

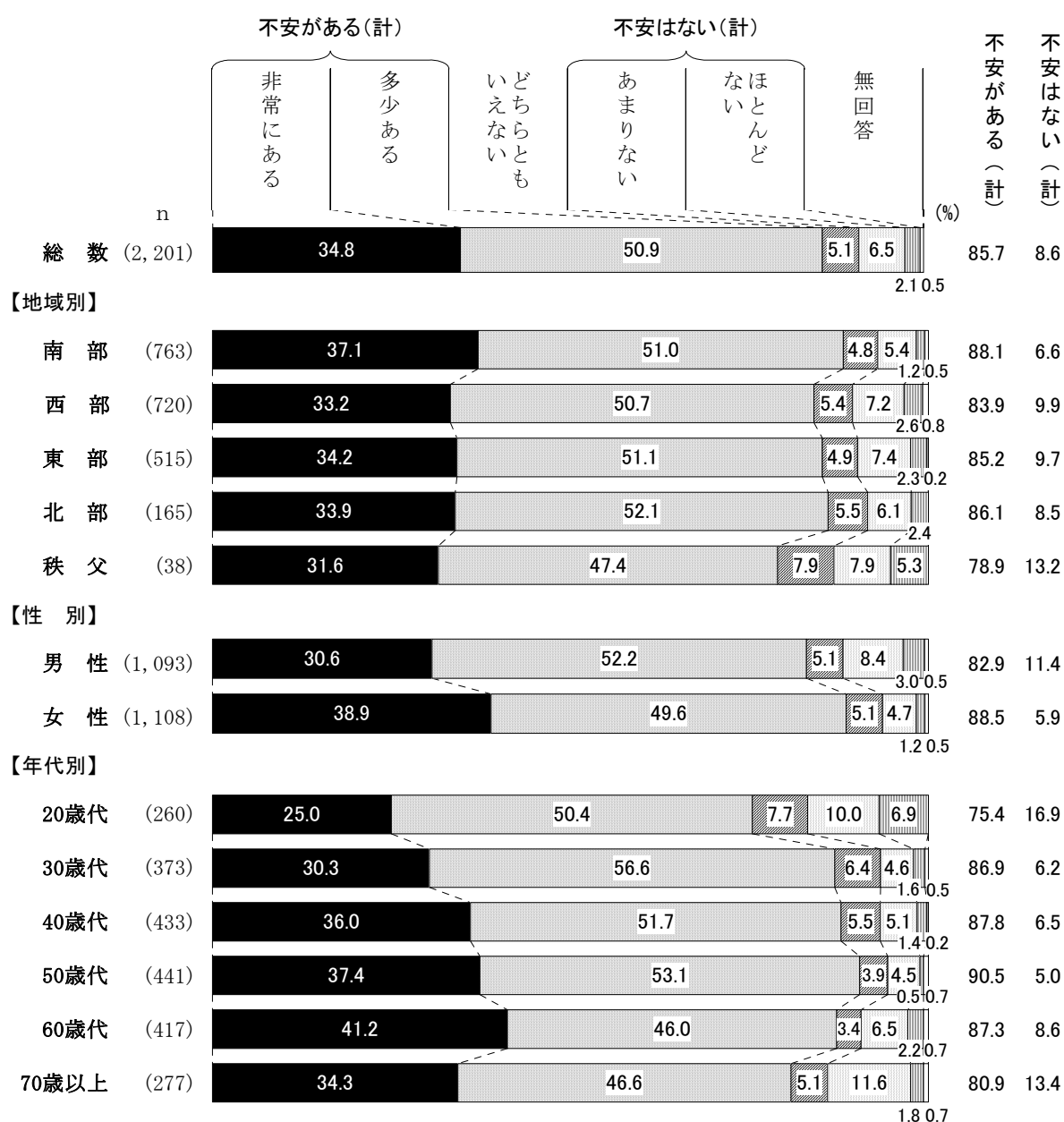
②性別

『不安がある（計）』は女性（88.5％）が男性（82.9％）よりも5.6ポイント高い。＜図2－4＞

③年代別

『不安がある（計）』は50歳代（90.5％）で9割と高い。一方、20歳代（75.4％）や70歳以上（80.9％）では比較的低い。＜図2－4＞

＜図2－4＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『不安がある(計)』は本庄都市圏(90.2%)や中枢都市圏(89.7%)でやや高く、秩父都市圏(78.9%)や比企都市圏(80.0%)でやや低い。＜表2－8＞

⑤性・年代別

『不安がある(計)』は男性20歳代(66.7%)で7割未満と特に低い。＜表2－8＞

⑥職業別

職業別で特に目立った差はない。＜表2－8＞

⑦ライフステージ別

『不安がある(計)』は独身期(76.9%)の低さが目立っている。一方、家族成長後期(92.3%)では唯一9割を超えて高くなっている。＜表2－8＞

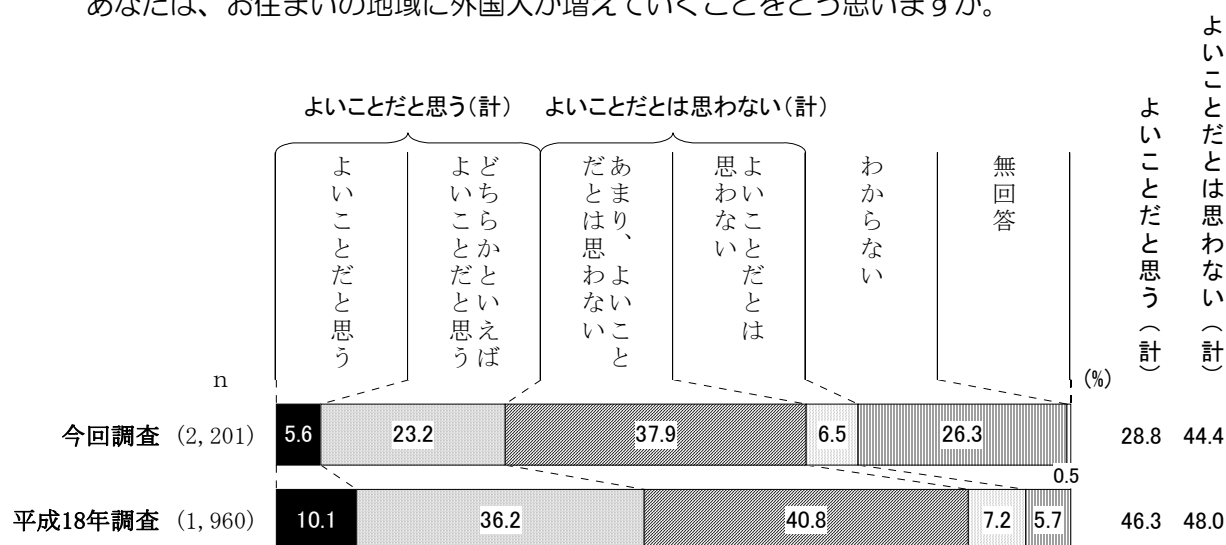
＜表2－8＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

								(%)	
	調査数	非常に ある	多少 ある	いど えち ない とも	あ ま り な い	な ほ い と ん ど	無 回 答	(不 安 が あ る 計)	(不 安 は な い 計)
【総 数】	2201	34.8	50.9	5.1	6.5	2.1	0.5	85.7	8.6
【都市圏別】									
(南部計)	763	37.1	51.0	4.8	5.4	1.2	0.5	88.1	6.6
中枢都市圏	458	37.1	52.6	4.1	4.4	1.3	0.4	89.7	5.7
県南5市圏	215	34.9	49.3	6.5	7.4	0.9	0.9	84.2	8.4
県央都市圏	90	42.2	46.7	4.4	5.6	1.1	－	88.9	6.7
(西部計)	720	33.2	50.7	5.4	7.2	2.6	0.8	83.9	9.9
南西部4市圏	142	35.2	53.5	5.6	4.2	1.4	－	88.7	5.6
入間東部都市圏	84	34.5	48.8	8.3	7.1	1.2	－	83.3	8.3
川越都市圏	211	30.3	52.1	2.8	9.5	3.8	1.4	82.5	13.3
所沢都市圏	213	37.1	46.5	6.1	6.6	2.3	1.4	83.6	8.9
比企都市圏	70	24.3	55.7	7.1	8.6	4.3	－	80.0	12.9
(東部計)	515	34.2	51.1	4.9	7.4	2.3	0.2	85.2	9.7
東部都市圏	302	35.1	50.0	3.6	8.6	2.3	0.3	85.1	10.9
利根南部都市圏	129	31.8	55.8	4.7	5.4	2.3	－	87.6	7.8
利根北部都市圏	84	34.5	47.6	9.5	6.0	2.4	－	82.1	8.3
(北部計)	165	33.9	52.1	5.5	6.1	2.4	－	86.1	8.5
県北都市圏	124	33.9	50.8	7.3	5.6	2.4	－	84.7	8.1
本庄都市圏	41	34.1	56.1	－	7.3	2.4	－	90.2	9.8
(秩父計) 秩父都市圏	38	31.6	47.4	7.9	7.9	5.3	－	78.9	13.2
【性・年代別】									
男性 20歳代	123	19.5	47.2	5.7	14.6	13.0	－	66.7	27.6
30歳代	185	30.8	56.2	4.9	4.3	2.7	1.1	87.0	7.0
40歳代	224	33.0	52.2	6.7	6.3	1.8	－	85.3	8.0
50歳代	221	32.1	56.6	5.4	5.4	－	0.5	88.7	5.4
60歳代	207	33.3	49.3	2.9	10.6	2.4	1.4	82.6	13.0
70歳以上	133	30.1	48.9	5.3	13.5	2.3	－	78.9	15.8
女性 20歳代	137	29.9	53.3	9.5	5.8	1.5	－	83.2	7.3
30歳代	188	29.8	56.9	8.0	4.8	0.5	－	86.7	5.3
40歳代	209	39.2	51.2	4.3	3.8	1.0	0.5	90.4	4.8
50歳代	220	42.7	49.5	2.3	3.6	0.9	0.9	92.3	4.5
60歳代	210	49.0	42.9	3.8	2.4	1.9	－	91.9	4.3
70歳以上	144	38.2	44.4	4.9	9.7	1.4	1.4	82.6	11.1
【職業別】									
自営業・家族従業(計)	278	29.1	56.1	5.4	7.2	2.2	－	85.3	9.4
雇用者(計)	1000	33.6	52.7	5.0	6.6	1.9	0.2	86.3	8.5
無 職(計)	892	37.8	47.2	5.4	6.4	2.4	0.9	85.0	8.7
【ライフステージ別】									
独身期	303	27.1	49.8	7.6	8.3	6.9	0.3	76.9	15.2
家族形成期	229	31.0	55.0	7.0	6.1	0.9	－	86.0	7.0
家族成長前期	253	34.4	54.5	7.5	2.8	0.4	0.4	88.9	3.2
家族成長後期	194	36.6	55.7	2.6	4.1	0.5	0.5	92.3	4.6
家族成熟期	500	36.2	50.8	4.0	7.8	0.6	0.6	87.0	8.4
高齢期	384	39.8	46.4	3.4	7.6	2.1	0.8	86.2	9.6
その他	338	35.8	49.1	5.0	6.5	3.0	0.6	84.9	9.5

（７）外国人増加に対する感想

◇『よいことだとは思わない（計）』が44.4%

（７）県内の外国人住民は10万人を超えており、今後も増えていくことが予想されています。
あなたは、お住まいの地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。



地域に外国人が増えていくことに関して、「あまり、よいことだとは思わない」（37.9%）が4割弱で最も高い。これに「よいことだとは思わない」（6.5%）を合わせた『よいことだとは思わない（計）』（44.4%）は、「よいことだと思う」（5.6%）と「どちらかといえばよいことだと思う」（23.2%）を合わせた『よいことだと思う（計）』（28.8%）を大きく上回っている。

【前回との比較】

「わからない」が20.6ポイント増えたために、『よいことだと思わない（計）』が17.5ポイント、『よいことだとは思わない（計）』が3.6ポイントの減少となっている。

【属性別比較】

①地域別

秩父で「わからない」(52.6%) が半数を超えている。『よいことだと思う(計)』は西部(32.9%)でやや高くなっている。＜図2-5＞

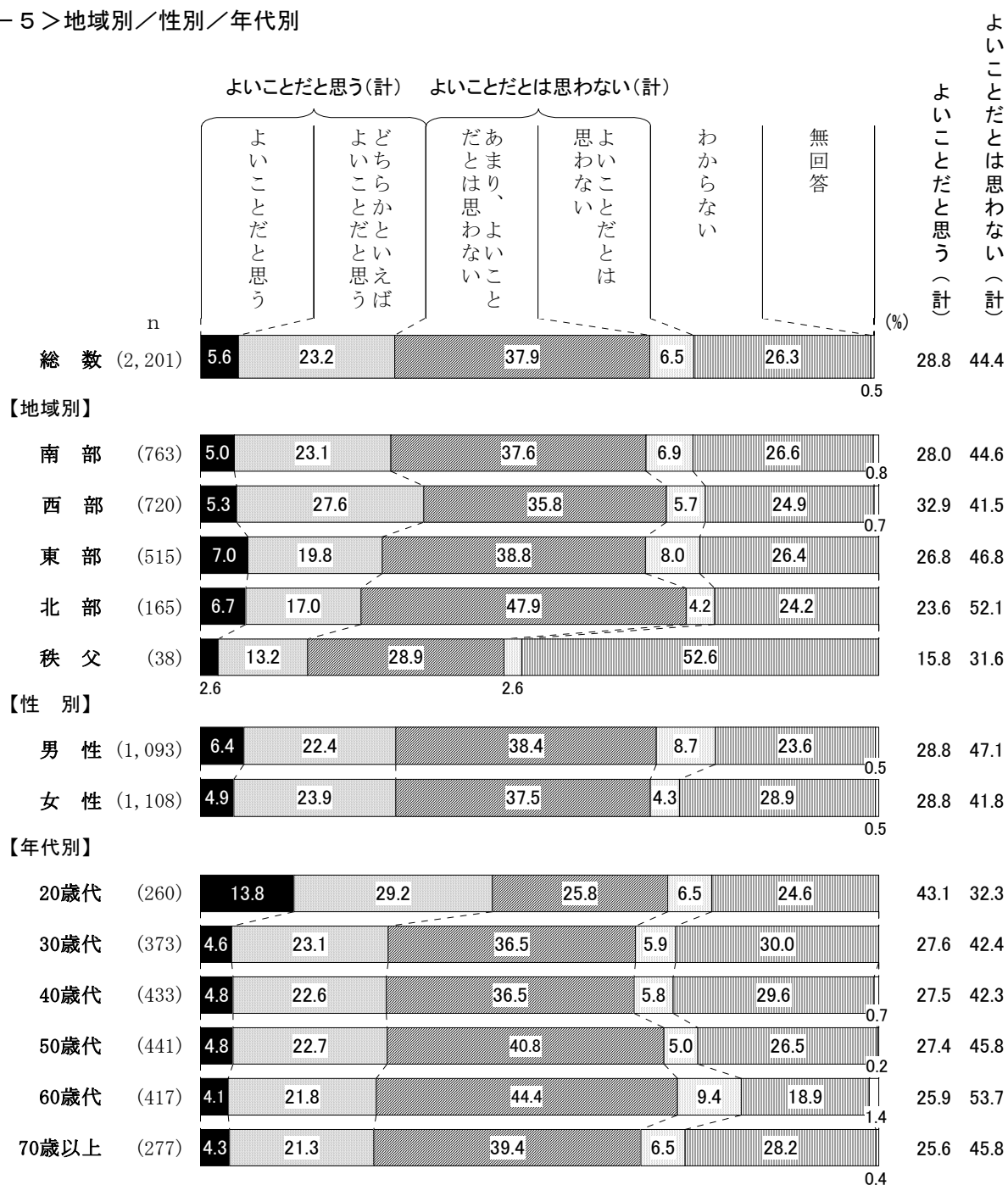
②性別

男性は『よいことだとは思わない(計)』(47.1%) がやや高く、女性は「わからない」(28.9%) がやや高くなっている。＜図2-5＞

③年代別

20歳代が他の年代とは異なる傾向を示し、『よいことだと思う(計)』(43.1%) が特に高く、『よいことだとは思わない(計)』(32.3%) を大きく上回っている。＜図2-5＞

＜図2-5＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『よいことだと思う（計）』は入間東部都市圏（46.4%）や所沢都市圏（35.7%）で高く、本庄都市圏（14.6%）や秩父都市圏（15.8%）では1割台半ばと低い。＜表2－9＞

⑤性・年代別

『よいことだと思う（計）』は男性の場合、20歳代（48.0%）が突出しており、他はいずれも2割台となっている。女性も20歳代（38.7%）を除けば年代間の差は小さい。＜表2－9＞

⑦職業別

職業別で特に目立った差はない。＜表2－9＞

⑧ライフステージ別

『よいことだと思う（計）』は独身期（41.9%）で特に高く、他のステージではいずれも2割台となっている。＜表2－9＞

＜表2－9＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

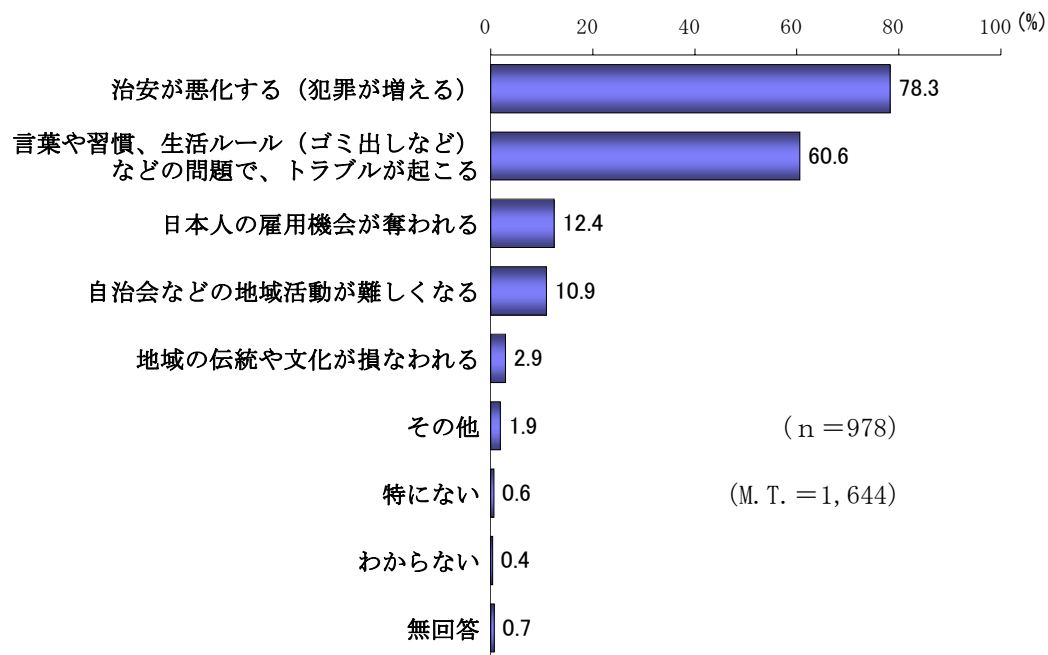
	調査数	よいことだと思う	どちらかといえばよいことだと思う	あまりないがよいことだと思う	よいことだと思う	わからない	無回答	よいことだと思う（計）	よいことだと思う（計）
【総数】	2201	5.6	23.2	37.9	6.5	26.3	0.5	28.8	44.4
【都市圏別】									
（南部計）	763	5.0	23.1	37.6	6.9	26.6	0.8	28.0	44.6
中核都市圏	458	4.6	24.9	35.2	7.6	27.1	0.7	29.5	42.8
県南5市圏	215	6.0	20.9	39.5	7.0	25.1	1.4	27.0	46.5
県央都市圏	90	4.4	18.9	45.6	3.3	27.8	-	23.3	48.9
（西部計）	720	5.3	27.6	35.8	5.7	24.9	0.7	32.9	41.5
南西部4市圏	142	6.3	26.1	45.8	4.2	17.6	-	32.4	50.0
入間東部都市圏	84	7.1	39.3	28.6	3.6	21.4	-	46.4	32.1
川越都市圏	211	3.8	22.7	34.1	7.1	32.2	-	26.5	41.2
所沢都市圏	213	5.6	30.0	32.9	6.1	23.0	2.3	35.7	39.0
比企都市圏	70	4.3	24.3	38.6	5.7	27.1	-	28.6	44.3
（東部計）	515	7.0	19.8	38.8	8.0	26.4	-	26.8	46.8
東部都市圏	302	7.3	21.2	38.4	8.3	24.8	-	28.5	46.7
利根南部都市圏	129	6.2	16.3	39.5	9.3	28.7	-	22.5	48.8
利根北部都市圏	84	7.1	20.2	39.3	4.8	28.6	-	27.4	44.0
（北部計）	165	6.7	17.0	47.9	4.2	24.2	-	23.6	52.1
県北都市圏	124	8.1	18.5	46.0	1.6	25.8	-	26.6	47.6
本庄都市圏	41	2.4	12.2	53.7	12.2	19.5	-	14.6	65.9
（秩父計） 秩父都市圏	38	2.6	13.2	28.9	2.6	52.6	-	15.8	31.6
【性・年代別】									
男性 20歳代	123	16.3	31.7	22.0	9.8	20.3	-	48.0	31.7
30歳代	185	5.9	20.5	35.7	10.3	27.6	-	26.5	45.9
40歳代	224	4.9	18.8	41.5	7.6	26.8	0.4	23.7	49.1
50歳代	221	5.0	22.6	41.2	7.2	24.0	-	27.6	48.4
60歳代	207	5.3	23.2	41.5	10.1	17.9	1.9	28.5	51.7
70歳以上	133	4.5	21.1	42.9	7.5	24.1	-	25.6	50.4
女性 20歳代	137	11.7	27.0	29.2	3.6	28.5	-	38.7	32.8
30歳代	188	3.2	25.5	37.2	1.6	32.4	-	28.7	38.8
40歳代	209	4.8	26.8	31.1	3.8	32.5	1.0	31.6	34.9
50歳代	220	4.5	22.7	40.5	2.7	29.1	0.5	27.3	43.2
60歳代	210	2.9	20.5	47.1	8.6	20.0	1.0	23.3	55.7
70歳以上	144	4.2	21.5	36.1	5.6	31.9	0.7	25.7	41.7
【職業別】									
自営業・家族従業（計）	278	4.7	20.5	41.7	5.8	27.3	-	25.2	47.5
雇用者（計）	1000	5.6	23.9	37.1	6.9	26.3	0.2	29.5	44.0
無職（計）	892	5.7	23.4	38.2	5.8	25.8	1.0	29.1	44.1
【ライフステージ別】									
独身期	303	11.9	30.0	26.4	6.3	25.4	-	41.9	32.7
家族形成期	229	7.0	20.5	37.1	9.2	26.2	-	27.5	46.3
家族成長前期	253	2.8	23.3	38.7	4.0	31.2	-	26.1	42.7
家族成長後期	194	4.6	19.1	41.2	4.6	29.4	1.0	23.7	45.9
家族成熟期	500	3.8	24.2	40.2	6.4	24.6	0.8	28.0	46.6
高齢期	384	4.9	20.6	45.6	6.8	21.4	0.8	25.5	52.3
その他	338	5.3	22.5	34.3	7.7	29.6	0.6	27.8	42.0

(7-1) よいと思わない理由

◇「治安が悪化する(犯罪が増える)」の78.3%と「言葉や習慣、生活ルール(ゴミ出しなど)などの問題で、トラブルが起こる」の60.6%が突出

((7)で「3」～「4」のいずれかを答えた方に)

(7) - 1 その理由は何ですか。この中から2つまで選んでください。



『よいことだとは思わない(計)』と回答した人の理由は、「治安が悪化する(犯罪が増える)」(78.3%)と「言葉や習慣、生活ルール(ゴミ出しなど)などの問題で、トラブルが起こる」(60.6%)の2つに集中している。

【属性別比較】

①地域別

「言葉や習慣、生活ルール（ゴミ出しなど）などの問題で、トラブルが起こる」は南部（65.6%）と西部（62.2%）で比較的高い。一方、「自治会などの地域活動が難しくなる」や「日本人の雇用機会が奪われる」は北部でやや高くなっている。＜表2-10＞

②都市圏別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は中枢都市圏（85.2%）、東部都市圏（83.7%）、南西部4市圏（83.1%）で8割を超えている。一方、比企都市圏（67.7%）では7割未満と低くなっている。しかし、「言葉や習慣、生活ルール（ゴミ出しなど）などの問題で、トラブルが起こる」では比企都市圏（71.0%）が最も高く、東部都市圏（48.2%）や県北都市圏（50.8%）が5割前後で低い。＜表2-10＞

③性別

性別で特に目立った差はない。＜表2-10＞

④年代別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は30歳代（84.2%）と40歳代（82.0%）で8割を超えている。「言葉や習慣、生活ルール（ゴミ出しなど）などの問題で、トラブルが起こる」は低年代ほど高くなっており、逆に「自治会などの地域活動が難しくなる」は高年代ほど高くなっている。＜表2-10＞

⑤性・年代別

「治安が悪化する（犯罪が増える）」は男性の30歳代（84.7%）と40歳代（83.6%）、女性の20歳代（80.0%）と30歳代（83.6%）で8割以上となっている。「言葉や習慣、生活ルール（ゴミ出しなど）などの問題で、トラブルが起こる」は男女とも70歳以上が特に低くなっている。＜表2-10＞

⑥職業別

職業別で特に目立った差はない。＜表2-10＞

＜表 2－10＞地域別／都市圏別／性別／年代別／性・年代別／職業別

(%)

	調査数	治安が悪化する（犯罪が増える）	（言葉や習慣、生活リズムなど）のトラブルが起る問題	日本人の雇用機会が奪われる	自治会などの地域活動が難しくなる	地域の伝統や文化が損なわれる	その他	特にない	わからない	無回答
【総 数】	978	78.3	60.6	12.4	10.9	2.9	1.9	0.6	0.4	0.7
【地域別】										
南 部	340	81.8	65.6	10.0	8.2	3.2	1.8	0.3	0.6	－
西 部	299	74.9	62.2	10.7	10.4	3.0	2.0	0.7	0.7	1.7
東 部	241	80.5	53.5	14.5	12.9	2.1	1.7	1.2	－	0.4
北 部	86	70.9	55.8	18.6	19.8	3.5	1.2	－	－	1.2
秩 父	12	75.0	58.3	33.3	－	－	16.7	－	－	－
【都市圏別】										
（南部計）	340	81.8	65.6	10.0	8.2	3.2	1.8	0.3	0.6	－
中核都市圏	196	85.2	65.3	10.2	7.7	5.1	2.6	－	－	－
県南 5 市圏	100	79.0	67.0	5.0	8.0	－	1.0	1.0	1.0	－
県央都市圏	44	72.7	63.6	20.5	11.4	2.3	－	－	2.3	－
（西部計）	299	74.9	62.2	10.7	10.4	3.0	2.0	0.7	0.7	1.7
南西部 4 市圏	71	83.1	62.0	8.5	9.9	2.8	2.8	1.4	1.4	－
入間東部都市圏	27	74.1	59.3	7.4	11.1	3.7	－	－	－	－
川越都市圏	87	73.6	64.4	5.7	12.6	3.4	2.3	1.1	1.1	2.3
所沢都市圏	83	72.3	57.8	18.1	9.6	2.4	2.4	－	－	2.4
比企都市圏	31	67.7	71.0	12.9	6.5	3.2	－	－	－	3.2
（東部計）	241	80.5	53.5	14.5	12.9	2.1	1.7	1.2	－	0.4
東部都市圏	141	83.7	48.2	15.6	15.6	1.4	1.4	1.4	－	0.7
利根南部都市圏	63	77.8	61.9	15.9	4.8	3.2	1.6	1.6	－	－
利根北部都市圏	37	73.0	59.5	8.1	16.2	2.7	2.7	－	－	－
（北部計）	86	70.9	55.8	18.6	19.8	3.5	1.2	－	－	1.2
県北都市圏	59	71.2	50.8	20.3	18.6	3.4	－	－	－	1.7
本庄都市圏	27	70.4	66.7	14.8	22.2	3.7	3.7	－	－	－
（秩父計） 秩父都市圏	12	75.0	58.3	33.3	－	－	16.7	－	－	－
【性別】										
男 性	515	78.6	59.8	13.4	10.5	3.3	2.1	0.2	0.2	0.6
女 性	463	78.0	61.6	11.2	11.4	2.4	1.7	1.1	0.6	0.9
【年代別】										
20歳代	84	78.6	66.7	10.7	4.8	2.4	3.6	－	－	－
30歳代	158	84.2	63.9	10.8	5.7	1.3	1.3	－	－	0.6
40歳代	183	82.0	62.8	9.3	9.3	1.6	2.2	0.5	－	－
50歳代	202	75.7	63.4	17.3	10.9	3.0	3.0	0.5	－	－
60歳代	224	77.2	58.0	11.6	14.7	4.5	1.3	0.4	0.4	1.3
70歳以上	127	71.7	49.6	13.4	17.3	3.9	0.8	2.4	2.4	2.4
【性・年代別】										
男性 20歳代	39	76.9	66.7	12.8	7.7	5.1	2.6	－	－	－
30歳代	85	84.7	67.1	12.9	2.4	－	1.2	－	－	1.2
40歳代	110	83.6	60.9	12.7	8.2	2.7	0.9	－	－	－
50歳代	107	75.7	59.8	17.8	11.2	2.8	4.7	－	－	－
60歳代	107	76.6	56.1	8.4	16.8	3.7	1.9	0.9	0.9	0.9
70歳以上	67	71.6	50.7	16.4	14.9	7.5	1.5	－	－	1.5
女性 20歳代	45	80.0	66.7	8.9	2.2	－	4.4	－	－	－
30歳代	73	83.6	60.3	8.2	9.6	2.7	1.4	－	－	－
40歳代	73	79.5	65.8	4.1	11.0	－	4.1	1.4	－	－
50歳代	95	75.8	67.4	16.8	10.5	3.2	1.1	1.1	－	－
60歳代	117	77.8	59.8	14.5	12.8	5.1	0.9	－	－	1.7
70歳以上	60	71.7	48.3	10.0	20.0	－	－	5.0	5.0	3.3
【職業別】										
自営業・家族従業（計）	132	80.3	51.5	13.6	7.6	4.5	2.3	－	－	0.8
雇用者（計）	440	79.5	65.5	12.7	9.8	1.6	1.8	0.7	0.2	0.2
無 職（計）	393	76.1	58.3	11.5	13.7	3.6	2.0	0.8	0.8	1.0

課 題 調 査

- 3 消費生活
(問6～問10)
- 4 子どもの安全対策
(問11～問18)
- 5 県民のスポーツ振興
(問19～問25)

○ 県政世論調査では、毎年、県政の重要課題を特定調査テーマに設定し、課題調査を実施しています。

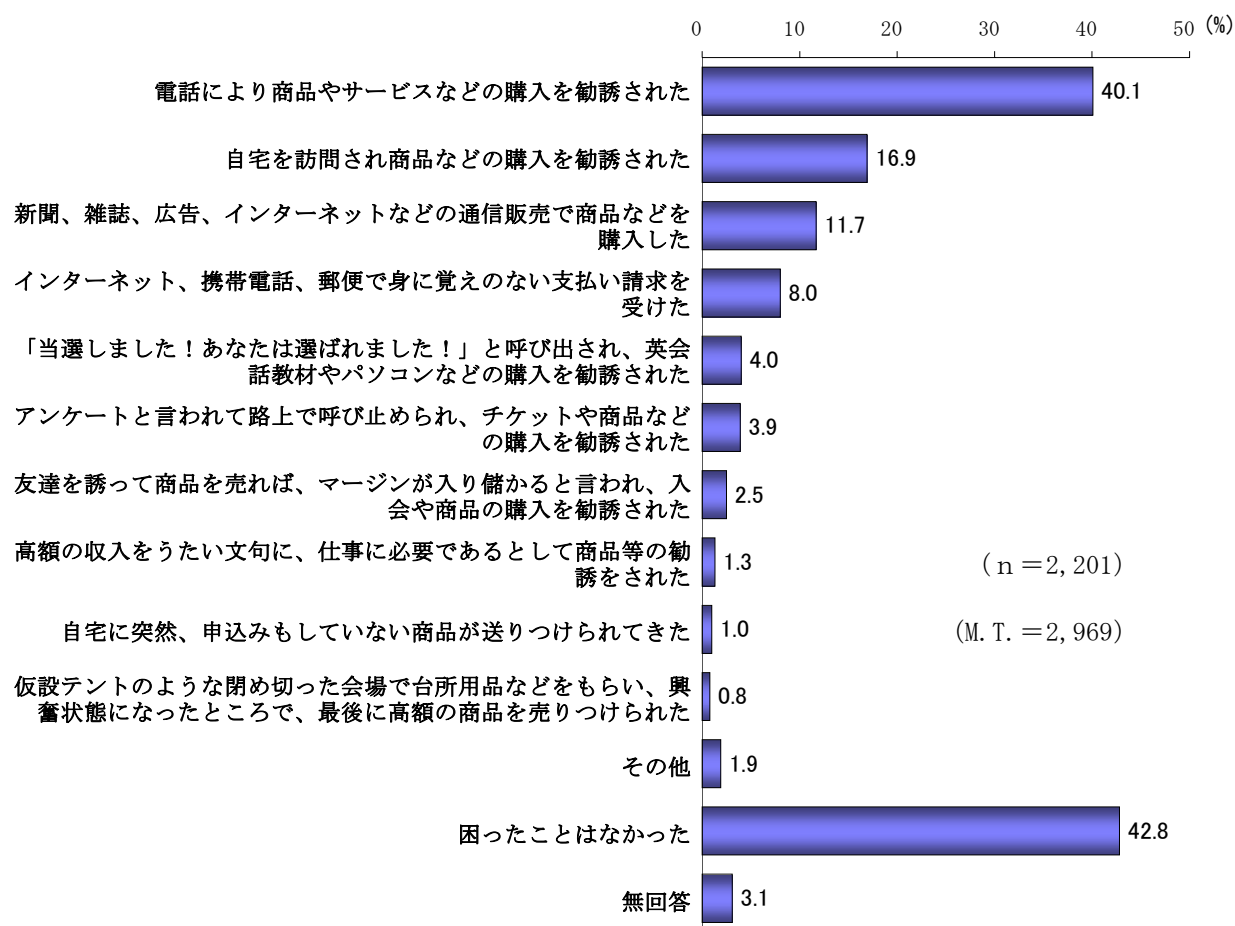
今年度は、上記3テーマを取り上げました。

3 消費生活

(1) 商品等の販売で困ったり、嫌な思いをした経験

◇「電話により購入を勧誘された」が40.1%で特に高い

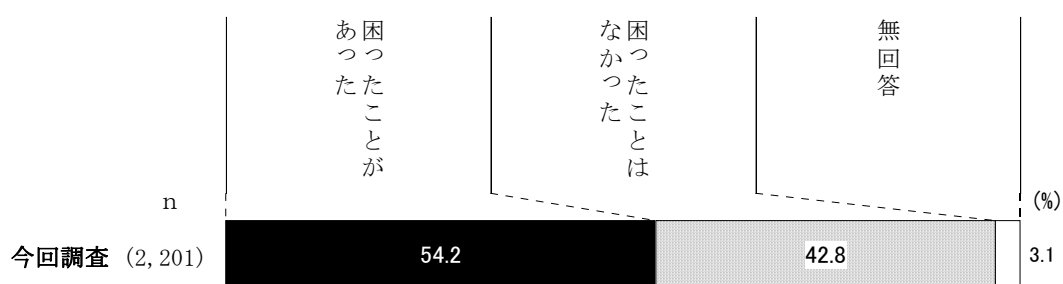
問6 あなたは次のような事例で過去一年間に、困ったり、嫌な思いをした経験がありますか。
あてはまるものをすべて選んでください。



過去1年間の、困ったり嫌な思いをした経験は、「電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された」(40.1%)が特に高く、「自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された」(16.9%)と「新聞、雑誌、広告、インターネットなどの通信販売で商品などを購入した」(11.7%)が1割以上となっている。一方、「困ったことはなかった」(42.8%)は4割強である。

「困ったことはなかった」と「無回答」を除く回答者数(何らかの困った経験などがある人)は1,192人で、全体の5割台半ば(54.2%)となっている。〈図3-1〉

＜図３－１＞商品等の販売で困ったり、嫌な思いをした経験



【属性別比較】

①地域別

「困ったことはなかった」は北部（29.7%）が特に低く、上位3項目のいずれも北部が最も高くなっている。＜表3－1＞

②都市圏別

「電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された」は県北都市圏（50.8%）、比企都市圏（50.0%）で5割以上と高い。「自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された」は利根北部都市圏（27.4%）、本庄都市圏（26.8%）、県北都市圏（24.2%）で2割台半ばと高く、逆に入間東部都市圏（9.5%）では1割未満と低くなっている。「困ったことはなかった」は東部都市圏（51.3%）と秩父都市圏（50.0%）で半数以上となっている。＜表3－1＞

③市郡規模別

「電話により商品などの購入を勧誘された」で郡部（町村）（44.7%）がやや高くなっている。＜表3－1＞

<表 3 - 1> 地域別／都市圏別／市郡規模別

(%)

	調査数	電話により誘われた	自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された	新聞、雑誌、広告、インターネットなどの通信販売で商品などを購入した	インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた	インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた	インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた	インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた	インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた	インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた	インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた	インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた	困ったことはなかった	無回答
【総 数】	2201	40.1	16.9	11.7	8.0	4.0	3.9	2.5	1.3	1.0	0.8	1.9	42.8	3.1
【地域別】														
南 部	763	39.2	16.3	12.1	8.5	4.3	3.8	2.8	0.9	0.9	0.9	2.1	43.8	3.5
西 部	720	41.5	15.8	12.5	7.6	4.2	4.2	2.4	1.4	1.0	0.8	1.8	40.4	2.9
東 部	515	36.9	16.9	9.3	8.7	3.1	4.3	2.5	1.9	1.2	0.6	1.7	48.2	1.6
北 部	165	49.1	24.8	13.9	5.5	4.2	2.4	2.4	1.2	1.2	1.2	1.8	29.7	7.3
秩 父	38	34.2	18.4	10.5	7.9	5.3	-	2.6	-	-	-	-	50.0	-
【都市圏別】														
(南部計)	763	39.2	16.3	12.1	8.5	4.3	3.8	2.8	0.9	0.9	0.9	2.1	43.8	3.5
中枢都市圏	458	40.8	17.2	12.0	8.3	3.7	3.3	2.2	1.3	1.3	0.9	2.4	43.0	2.8
県南5市圏	215	33.0	11.6	10.7	8.4	5.6	5.6	3.3	-	0.5	1.4	1.9	46.5	5.6
県央都市圏	90	45.6	22.2	15.6	10.0	4.4	2.2	4.4	1.1	-	-	1.1	41.1	2.2
(西部計)	720	41.5	15.8	12.5	7.6	4.2	4.2	2.4	1.4	1.0	0.8	1.8	40.4	2.9
南西部4市圏	142	36.6	12.7	10.6	9.2	6.3	4.9	2.8	3.5	0.7	1.4	1.4	43.7	4.2
入間東部都市圏	84	47.6	9.5	13.1	4.8	2.4	7.1	2.4	1.2	1.2	1.2	-	38.1	3.6
川越都市圏	211	38.4	19.9	12.8	7.6	5.2	3.8	1.4	1.4	1.9	0.5	2.4	45.5	0.9
所沢都市圏	213	42.7	16.9	12.2	8.0	2.3	2.8	2.8	-	0.5	0.5	1.4	36.6	4.7
比企都市圏	70	50.0	14.3	15.7	7.1	4.3	4.3	2.9	1.4	-	1.4	4.3	32.9	-
(東部計)	515	36.9	16.9	9.3	8.7	3.1	4.3	2.5	1.9	1.2	0.6	1.7	48.2	1.6
東部都市圏	302	33.1	12.3	10.6	9.6	3.6	6.0	3.0	1.7	0.7	0.7	2.6	51.3	1.7
利根南部都市圏	129	39.5	20.9	6.2	5.4	3.1	3.1	1.6	3.1	0.8	0.8	0.8	43.4	2.3
利根北部都市圏	84	46.4	27.4	9.5	10.7	1.2	-	2.4	1.2	3.6	-	-	44.0	-
(北部計)	165	49.1	24.8	13.9	5.5	4.2	2.4	2.4	1.2	1.2	1.2	1.8	29.7	7.3
県北都市圏	124	50.8	24.2	13.7	4.8	4.0	2.4	2.4	1.6	1.6	0.8	0.8	29.8	7.3
本庄都市圏	41	43.9	26.8	14.6	7.3	4.9	2.4	2.4	-	-	2.4	4.9	29.3	7.3
(秩父計) 秩父都市圏	38	34.2	18.4	10.5	7.9	5.3	-	2.6	-	-	-	-	50.0	-
【市郡規模別】														
人口10万以上の市	1531	39.8	16.0	11.6	8.0	4.0	3.9	2.4	1.2	1.1	0.7	1.9	42.9	3.3
人口10万未満の市	444	38.5	18.2	11.0	9.0	4.1	4.1	2.9	2.0	0.7	0.9	2.3	44.6	2.7
郡部(町村)	226	44.7	20.8	13.7	6.2	3.5	3.5	2.7	0.4	0.9	1.8	0.9	38.1	2.7

④性別

男女間では特に目立った差はない。＜表3－2＞

⑤年代別

「電話により商品などの購入を勧誘された」は40歳代（46.4%）と50歳代（46.5%）で4割台半ばと高く、逆に20歳代（23.8%）では2割台半ばと低くなっている。「困ったことはなかった」では20歳代（54.6%）と30歳代（50.1%）が5割以上と高く、40歳代（37.2%）と60歳代（38.8%）は4割未満と低くなっている。＜表3－2＞

⑥性・年代別

「電話により商品などの購入を勧誘された」は男性の40歳代以上がすべて4割台と高いのに対して、女性は40歳代と50歳代が4割台となっている。「新聞、雑誌、広告、インターネットなどの通信販売で商品などを購入した」では女性70歳以上（22.2%）、「アンケートと言われて路上で呼び止められ、チケットや商品などの購入を勧誘された」では女性20歳代（12.4%）の高さが目立っている。

＜表3－2＞

⑦職業別

職業別で特に目立った差はない。＜表3－2＞

⑧住居形態別

民間借家（一戸建）の場合、「電話により商品などの購入を勧誘された」（25.9%）や「自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された」（10.3%）では低いものの、「新聞、雑誌、広告、インターネットなどの通信販売で商品などを購入した」（19.0%）では高くなっている。＜表3－2＞

⑨ライフステージ別

「電話により商品などの購入を勧誘された」は独身期（27.7%）と家族形成期（31.4%）で3割前後と低い。「自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された」でも独身期（9.9%）が1割と低い。

＜表3－2＞

＜表 3－2＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

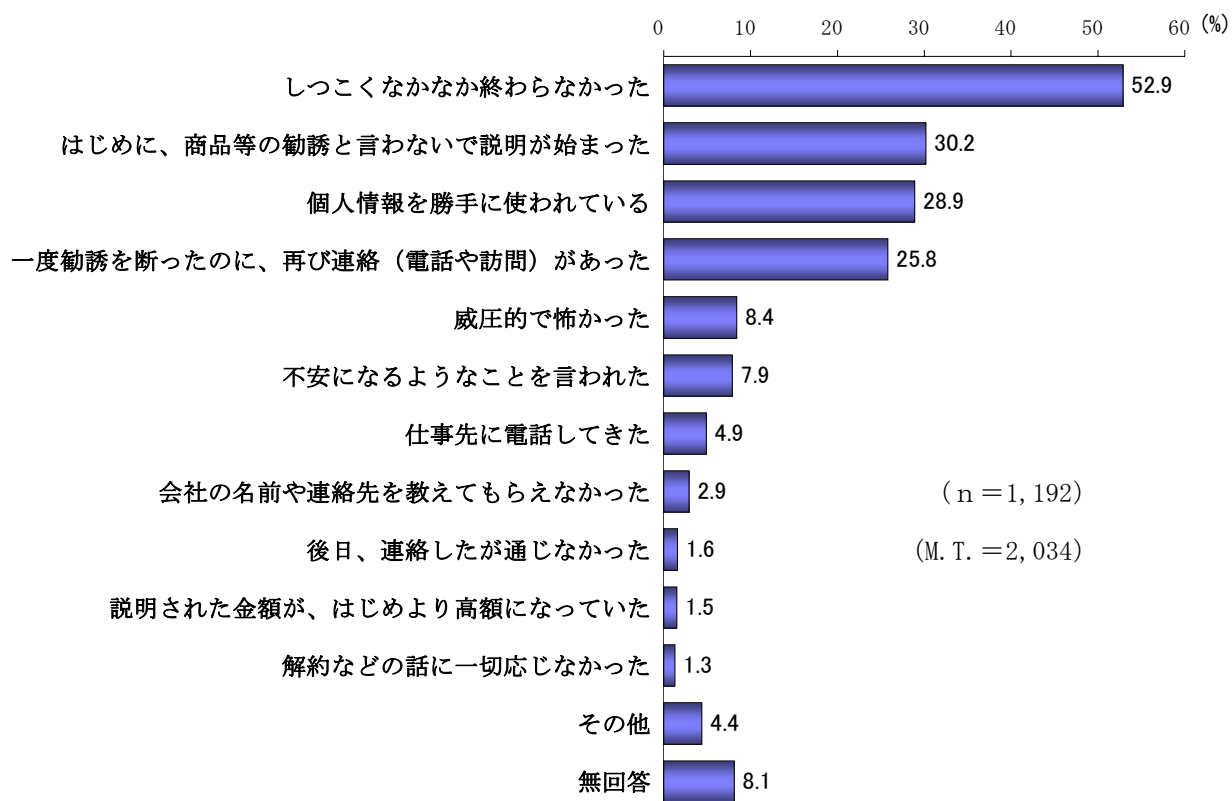
																(%)
	調査数	電話により誘われた	自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された	新聞、雑誌、広告、インターネットなどの購入を勧誘された	インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた	「インターネット！あなたには選ばれましな」と呼び出され、英会話教材やパソコンなどの購入を勧誘された	アンケートと言われ、路上で呼び止められた	「貯蓄」と言われ、入会や商品の購入を勧誘された	友達を誘って商品を売ればマージンが入り、儲かると言われ、入会や商品の購入を勧誘された	高額商品の収入をうたい文句に、仕事に必要と商品等の勧誘をされた	自宅に突然、申込みもしていない商品が送りつけられてきた	「仮設テントのような閉め切った会場で台所用品などをもらい、興奮状態になったところ、最後に高額の商品を売りつけられた」	その他	困ったことはなかった	無回答	
【総数】	2201	40.1	16.9	11.7	8.0	4.0	3.9	2.5	1.3	1.0	0.8	1.9	42.8	3.1		
【性別】																
男性	1093	40.7	16.6	10.4	9.8	4.5	3.3	2.2	1.3	0.9	0.2	1.7	42.0	2.8		
女性	1108	39.4	17.3	12.9	6.3	3.5	4.4	2.9	1.4	1.1	1.4	2.0	43.5	3.3		
【年代別】																
20歳代	260	23.8	11.5	10.0	8.8	2.7	10.0	4.2	-	0.4	-	2.3	54.6	1.9		
30歳代	373	34.9	16.1	7.5	11.0	2.7	2.9	2.7	1.3	-	-	1.6	50.1	1.6		
40歳代	433	46.4	18.7	9.2	11.8	4.4	3.9	2.3	2.1	0.9	1.2	3.0	37.2	2.1		
50歳代	441	46.5	16.8	12.9	7.5	5.7	2.9	3.2	0.7	1.1	0.9	1.4	40.1	2.0		
60歳代	417	42.4	18.0	13.4	4.3	4.1	2.9	1.9	1.2	1.0	1.4	2.2	38.8	5.5		
70歳以上	277	38.6	19.1	18.1	4.0	3.6	2.2	1.1	2.5	2.9	1.1	0.4	40.4	5.8		
【性・年代別】																
男性 20歳代	123	19.5	8.1	10.6	9.8	4.1	7.3	3.3	-	-	-	2.4	54.5	3.3		
30歳代	185	34.1	14.6	5.4	11.9	2.2	1.6	1.6	1.1	-	-	1.6	51.9	1.6		
40歳代	224	46.0	19.2	9.4	14.7	7.1	4.9	2.2	1.8	1.3	-	2.2	36.6	2.2		
50歳代	221	46.6	16.7	10.9	9.0	5.4	1.8	3.2	-	0.5	0.5	1.8	38.0	1.4		
60歳代	207	45.4	17.9	13.5	6.3	4.3	3.9	1.4	1.4	1.0	0.5	1.9	36.7	3.9		
70歳以上	133	43.6	20.3	13.5	5.3	2.3	0.8	1.5	3.8	3.0	-	-	40.6	6.0		
女性 20歳代	137	27.7	14.6	9.5	8.0	1.5	12.4	5.1	-	0.7	-	2.2	54.7	0.7		
30歳代	188	35.6	17.6	9.6	10.1	3.2	4.3	3.7	1.6	-	-	1.6	48.4	1.6		
40歳代	209	46.9	18.2	9.1	8.6	1.4	2.9	2.4	2.4	0.5	2.4	3.8	37.8	1.9		
50歳代	220	46.4	16.8	15.0	5.9	5.9	4.1	3.2	1.4	1.8	1.4	0.9	42.3	2.7		
60歳代	210	39.5	18.1	13.3	2.4	3.8	1.9	2.4	1.0	1.0	2.4	2.4	41.0	7.1		
70歳以上	144	34.0	18.1	22.2	2.8	4.9	3.5	0.7	1.4	2.8	2.1	0.7	40.3	5.6		
【職業別】																
自営業・家族従業（計）	278	40.6	14.4	13.7	9.0	5.4	5.4	4.3	-	1.4	0.4	1.8	41.7	2.2		
雇用者（計）	1000	41.8	16.8	10.1	10.3	4.4	4.2	2.5	1.7	0.4	0.5	1.9	42.5	2.0		
無職（計）	892	37.9	17.8	12.9	5.2	3.3	3.1	2.0	1.3	1.6	1.3	1.9	43.8	4.1		
【住居形態別】																
持家（計）	1830	41.5	16.6	11.6	7.8	4.1	3.7	2.4	1.4	1.1	0.8	1.5	42.1	3.1		
持家（一戸建）	1610	41.8	17.6	11.9	7.9	4.2	3.8	2.5	1.4	1.2	0.9	1.5	41.7	3.1		
マンション（公団・公社）	22	31.8	9.1	-	4.5	-	-	-	-	-	-	-	50.0	9.1		
マンション（民間）	198	39.9	9.6	11.1	7.1	4.0	3.0	2.0	2.0	-	-	2.0	44.9	2.5		
持家以外（計）	359	33.1	18.7	12.0	9.5	3.6	5.0	3.3	0.8	0.6	0.8	3.3	45.7	3.1		
民間借家（一戸建）	58	25.9	10.3	19.0	10.3	-	-	3.4	-	-	1.7	1.7	48.3	5.2		
民間賃貸マンション・アパート	232	32.3	21.1	10.3	8.2	3.4	5.6	2.6	0.9	0.9	0.9	3.4	46.6	3.4		
公団・公社などの賃貸住宅	25	52.0	20.0	12.0	16.0	12.0	12.0	8.0	4.0	-	-	4.0	36.0	-		
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	25.0	12.5	25.0	-	-	12.5	-	-	-	-	-	62.5	-		
社宅、寮、公務員住宅など	25	40.0	12.0	4.0	16.0	4.0	-	4.0	-	-	-	8.0	40.0	-		
その他	11	36.4	27.3	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	-	-	-	-	36.4	-		
【ライフステージ別】																
独身期	303	27.7	9.9	8.9	11.6	4.3	8.3	4.0	0.3	0.3	-	2.0	51.5	2.6		
家族形成期	229	31.4	20.5	8.3	7.0	1.7	3.9	3.1	0.4	-	-	1.7	52.4	0.9		
家族成長前期	253	46.2	17.4	11.1	8.7	1.6	2.4	1.6	1.6	0.8	0.4	4.0	40.7	1.2		
家族成長後期	194	46.4	17.0	5.7	11.9	7.2	5.7	3.1	2.1	1.0	1.5	1.0	36.6	2.6		
家族成熟期	500	46.0	19.2	14.0	7.4	4.8	2.6	3.0	1.4	0.8	0.6	1.4	38.2	2.8		
高齢期	384	39.1	17.4	15.1	3.6	3.4	1.6	1.3	1.6	2.1	1.8	1.3	44.5	5.2		
その他	338	41.1	16.6	13.0	8.9	4.7	4.4	2.1	1.8	1.5	1.2	2.1	38.2	4.1		

（１－１）困ったり、嫌な思いをした理由

◇「しつこくなかなか終わらなかった」が52.9%

（問6で「１」～「１１」のいずれかを答えた方に）

問6－１ あなたが、困ったり、嫌な思いをしたのは、どのようなことからですか。あてはまるものをすべて選んでください。



困ったり、嫌な思いをした理由として、「しつこくなかなか終わらなかった」（52.9%）が半数以上で最も高く、「はじめに、商品等の勧誘と言わないで説明が始まった」（30.2%）と「個人情報を勝手に使われている」（28.9%）が3割前後、「一度勧誘を断ったのに、再び連絡（電話や訪問）があった」（25.8%）が2割台半ばとなっている。

【属性別比較】

①地域別

「しつこくなかなか終わらなかった」は北部（58.7％）でやや高いが、「はじめに、商品等の勧誘と言わないで説明が始まった」では北部（24.0％）がやや低くなっている。＜表3－3＞

②都市圏別

「しつこくなかなか終わらなかった」は県北都市圏（66.7％）、比企都市圏（66.0％）、利根北部都市圏（63.8％）で6割台と高く、県南5市圏（42.7％）では低くなっている。「はじめに、商品等の勧誘と言わないで説明が始まった」では入間東部都市圏（49.0％）が突出しているが、同都市圏は「個人情報勝手に使われている」では8.2％と特に低い。「一度勧誘を断ったのに、再び連絡（電話や訪問）があった」では利根北部都市圏（40.4％）が特に高くなっている。＜表3－3＞

③市郡規模別

「はじめに、商品等の勧誘と言わないで説明が始まった」は人口10万未満の市（36.3％）、「個人情報を勝手に使われている」は人口10万以上の市（30.8％）でそれぞれ高くなっている。＜表3－3＞

＜表3－3＞地域別／都市圏別／市郡規模別

(%)

	調査数	か し つ こ く な か な か 終 わ ら な か つ た	わ は じ め に 、 説 明 が 始 ま つ た 説 明 と 言 う	個 人 情 報 を 勝 手 に 使 わ れ て い る	一 度 勧 誘 を 断 つ た の に 、 あ つ た 再 び	威 圧 的 で 怖 か つ た	不 安 に な る よ う な こ と を 言 わ れ た	仕 事 先 に 電 話 し て き た	会 社 の 名 前 や 連 絡 先 を 教 え て も ら え な か つ た	た 後 日 、 連 絡 し た が 通 じ な か つ た	説 明 さ れ た 金 額 が 、 は じ め よ り 高 額 に な つ て い た	解 約 な ど の 話 に 一 切 応 じ な か つ た	そ の 他	無 回 答
【総 数】	1192	52.9	30.2	28.9	25.8	8.4	7.9	4.9	2.9	1.6	1.5	1.3	4.4	8.1
【地域別】														
南 部	402	49.8	29.1	30.6	23.4	8.7	6.5	5.5	3.0	1.7	1.5	0.7	4.5	11.2
西 部	408	54.7	32.8	27.0	26.0	8.6	8.1	4.4	2.7	1.2	1.2	0.5	4.4	7.1
東 部	259	52.5	30.5	32.0	28.6	8.5	10.0	4.6	3.5	1.5	2.3	2.3	4.6	3.9
北 部	104	58.7	24.0	26.0	26.9	7.7	8.7	6.7	2.9	2.9	1.0	2.9	1.9	10.6
秩 父	19	52.6	26.3	5.3	31.6	-	-	-	-	-	-	5.3	10.5	10.5
【都市圏別】														
（南部計）	402	49.8	29.1	30.6	23.4	8.7	6.5	5.5	3.0	1.7	1.5	0.7	4.5	11.2
中枢都市圏	248	51.6	26.2	30.2	25.0	8.1	6.9	6.0	3.2	2.0	0.8	0.8	3.2	12.1
県南5市圏	103	42.7	35.9	34.0	23.3	6.8	2.9	1.9	1.9	1.0	2.9	1.0	7.8	10.7
県央都市圏	51	54.9	29.4	25.5	15.7	15.7	11.8	9.8	3.9	2.0	2.0	-	3.9	7.8
（西部計）	408	54.7	32.8	27.0	26.0	8.6	8.1	4.4	2.7	1.2	1.2	0.5	4.4	7.1
南西部4市圏	74	47.3	17.6	29.7	21.6	2.7	2.7	6.8	1.4	-	1.4	-	6.8	13.5
入間東部都市圏	49	59.2	49.0	8.2	26.5	12.2	10.2	2.0	6.1	4.1	2.0	2.0	2.0	8.2
川越都市圏	113	54.9	38.1	30.1	21.2	9.7	8.0	2.7	3.5	0.9	0.9	0.9	3.5	4.4
所沢都市圏	125	52.8	31.2	31.2	30.4	8.0	8.8	5.6	1.6	0.8	1.6	-	4.0	7.2
比企都市圏	47	66.0	31.9	23.4	31.9	12.8	12.8	4.3	2.1	2.1	-	-	6.4	2.1
（東部計）	259	52.5	30.5	32.0	28.6	8.5	10.0	4.6	3.5	1.5	2.3	2.3	4.6	3.9
東部都市圏	142	48.6	29.6	35.9	23.9	12.7	12.7	4.2	2.8	2.8	2.1	2.8	5.6	4.2
利根南部都市圏	70	52.9	30.0	35.7	30.0	2.9	7.1	5.7	4.3	-	2.9	-	2.9	5.7
利根北部都市圏	47	63.8	34.0	14.9	40.4	4.3	6.4	4.3	4.3	-	2.1	4.3	4.3	-
（北部計）	104	58.7	24.0	26.0	26.9	7.7	8.7	6.7	2.9	2.9	1.0	2.9	1.9	10.6
県北都市圏	78	66.7	24.4	25.6	29.5	7.7	7.7	6.4	3.8	2.6	1.3	3.8	2.6	5.1
本庄都市圏	26	34.6	23.1	26.9	19.2	7.7	11.5	7.7	-	3.8	-	-	-	26.9
（秩父計） 秩父都市圏	19	52.6	26.3	5.3	31.6	-	-	-	-	-	-	5.3	10.5	10.5
【市郡規模別】														
人口10万以上の市	824	52.7	28.8	30.8	25.2	8.4	7.8	4.5	2.9	2.1	1.8	1.2	4.4	8.6
人口10万未満の市	234	53.4	36.3	23.9	27.8	8.1	7.7	6.4	3.0	0.9	0.4	1.3	3.0	7.7
郡部（町村）	134	53.0	28.4	25.4	26.1	9.0	9.0	5.2	3.0	-	1.5	1.5	6.7	6.0

④性別

「はじめに、商品等の勧誘と言わないで説明が始まった」で女性（32.9%）が男性（27.5%）よりも5.4ポイント高く、「仕事先に電話してきた」では男性（8.8%）が女性（1.0%）よりも7.8ポイント高くなっている。＜表3－4＞

⑤年代別

「しつこくなかなか終わらなかった」は40歳代以下で5割台後半と高く、「はじめに、商品等の勧誘と言わないで説明が始まった」は70歳以上（24.2%）で低い。「個人情報を勝手に使われている」は30歳代（35.0%）と40歳代（36.5%）で3割台半ばと高い。＜表3－4＞

⑥性・年代別

「しつこくなかなか終わらなかった」は女性の20歳代（65.6%）と30歳代（60.6%）で6割以上と高く、男性の20歳代（46.2%）と70歳以上（45.1%）、女性60歳代（40.4%）では4割台と低い。「はじめに、商品等の勧誘と言わないで説明が始まった」は男性20歳代（21.2%）と女性70歳以上（20.5%）で特に低くなっている。「個人情報を勝手に使われている」は男性の30歳代（39.5%）と40歳代（37.2%）で3割台後半と高い。＜表3－4＞

⑦職業別

雇用者（計）は「しつこくなかなか終わらなかった」（56.0%）と「個人情報を勝手に使われている」（35.7%）において他よりも高くなっている。＜表3－4＞

⑧住居形態別

ほとんどの項目で、持家以外（計）が持家（計）よりも高くなっている。「しつこくなかなか終わらなかった」で民間賃貸マンション・アパート（65.5%）、「個人情報を勝手に使われている」でマンション（民間）（34.6%）がそれぞれ高くなっている。＜表3－4＞

⑨ライフステージ別

「しつこくなかなか終わらなかった」は家族形成期（59.8%）で最も高く、ステージが高くなるほど割合は低くなっている。「個人情報を勝手に使われている」や「一度勧誘を断ったのに、再び連絡（電話や訪問）があった」では家族成長前期が最も高くなっている。＜表3－4＞

＜表３－４＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

(%)

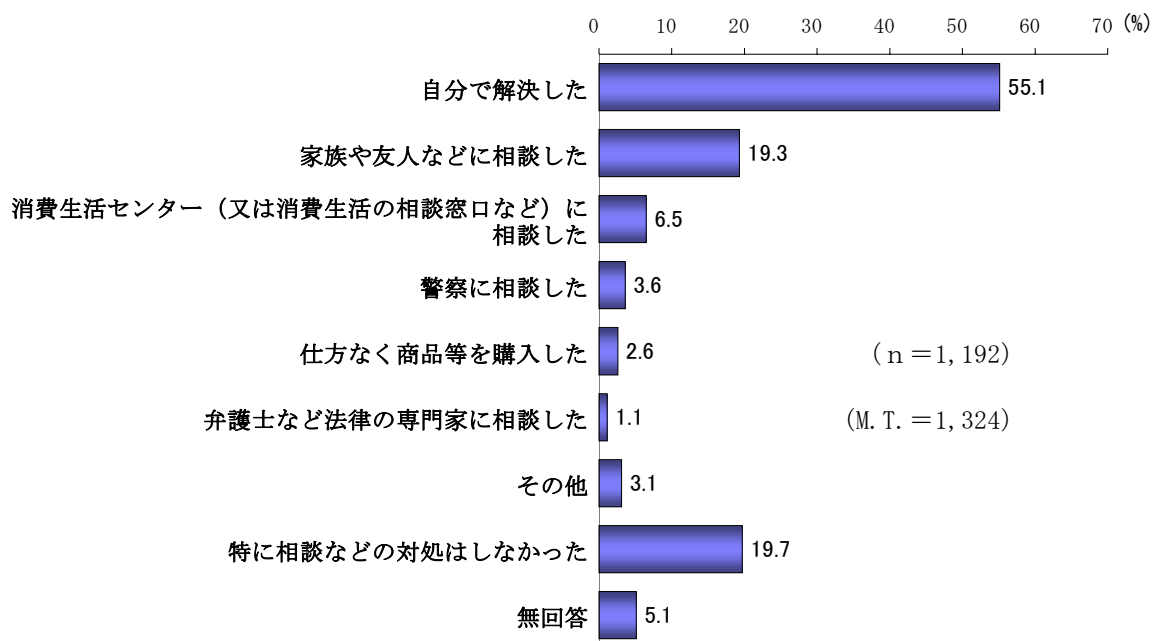
	調査数	かつた	わは	る個人	連絡	一度	威	不安	仕事	も	会	た後	り説明	か解	その他	無回答
		かつた	わは	る個人	連絡	一度	威	不安	仕事	も	会	た後	り説明	か解	その他	無回答
【総 数】	1192	52.9	30.2	28.9	25.8	8.4	7.9	4.9	2.9	1.6	1.5	1.3	4.4	8.1		
【性別】																
男 性	603	52.1	27.5	30.8	26.4	7.8	7.5	8.8	3.8	2.2	1.3	0.3	4.8	8.0		
女 性	589	53.7	32.9	26.8	25.3	9.0	8.3	1.0	2.0	1.0	1.7	2.2	3.9	8.3		
【年代別】																
20歳代	113	56.6	30.1	17.7	20.4	11.5	8.8	1.8	3.5	3.5	1.8	0.9	9.7	5.3		
30歳代	180	58.3	30.0	35.0	27.8	9.4	8.9	3.9	5.0	2.2	0.6	-	3.3	4.4		
40歳代	263	56.3	30.0	36.5	29.7	6.5	8.7	8.4	5.3	2.3	1.5	2.3	5.3	4.2		
50歳代	255	50.6	31.4	31.0	27.1	9.4	6.3	8.2	1.2	-	1.6	0.8	3.1	5.1		
60歳代	232	47.4	33.2	27.2	22.4	7.3	7.3	2.6	1.3	1.7	1.3	0.4	3.9	13.8		
70歳以上	149	49.7	24.2	15.4	24.2	8.1	8.1	0.7	1.3	0.7	2.7	3.4	2.7	18.1		
【性・年代別】																
男性 20歳代	52	46.2	21.2	23.1	13.5	7.7	5.8	3.8	3.8	3.8	-	-	13.5	11.5		
30歳代	86	55.8	30.2	39.5	29.1	9.3	10.5	7.0	8.1	2.3	1.2	-	3.5	3.5		
40歳代	137	56.2	27.0	37.2	27.0	4.4	6.6	14.6	7.3	2.9	2.2	0.7	2.9	5.8		
50歳代	134	50.0	24.6	31.3	26.1	10.4	7.5	14.9	0.7	-	0.7	-	5.2	6.0		
60歳代	123	53.7	31.7	26.8	26.8	8.9	6.5	4.1	1.6	3.3	0.8	-	4.9	10.6		
70歳以上	71	45.1	28.2	19.7	31.0	5.6	8.5	-	1.4	1.4	2.8	1.4	2.8	14.1		
女性 20歳代	61	65.6	37.7	13.1	26.2	14.8	11.5	-	3.3	3.3	3.3	1.6	6.6	-		
30歳代	94	60.6	29.8	30.9	26.6	9.6	7.4	1.1	2.1	2.1	-	-	3.2	5.3		
40歳代	126	56.3	33.3	35.7	32.5	8.7	11.1	1.6	3.2	1.6	0.8	4.0	7.9	2.4		
50歳代	121	51.2	38.8	30.6	28.1	8.3	5.0	0.8	1.7	-	2.5	1.7	0.8	4.1		
60歳代	109	40.4	34.9	27.5	17.4	5.5	8.3	0.9	0.9	-	1.8	0.9	2.8	17.4		
70歳以上	78	53.8	20.5	11.5	17.9	10.3	7.7	1.3	1.3	-	2.6	5.1	2.6	21.8		
【職業別】																
自営業・家族従業（計）	156	51.3	30.8	22.4	30.1	7.7	7.1	4.5	3.8	1.9	0.6	0.6	3.2	7.1		
雇用者（計）	555	56.0	29.9	35.7	26.1	8.6	7.9	8.5	3.6	1.8	1.6	0.7	4.3	5.6		
無 職（計）	464	50.2	30.6	23.1	24.1	8.4	8.0	1.1	1.7	1.3	1.7	1.9	4.7	11.0		
【住居形態別】																
持家（計）	1002	51.7	29.4	28.2	25.1	8.0	7.6	4.8	2.5	1.5	1.8	1.3	4.7	8.6		
持家（一戸建）	889	51.7	30.1	27.6	25.2	8.1	7.8	5.2	2.4	1.5	1.8	1.3	3.9	8.9		
マンション（公団・公社）	9	55.6	22.2	22.2	33.3	-	22.2	-	11.1	11.1	-	11.1	-	11.1		
マンション（民間）	104	51.0	24.0	34.6	24.0	7.7	4.8	1.9	2.9	1.0	1.9	-	11.5	5.8		
持家以外（計）	184	59.8	34.8	31.0	28.8	10.9	9.8	6.0	5.4	1.6	-	1.1	2.7	6.0		
民間借家（一戸建）	27	51.9	25.9	37.0	33.3	3.7	11.1	3.7	3.7	-	-	3.7	-	18.5		
民間賃貸マンション・アパート	116	65.5	35.3	29.3	28.4	15.5	9.5	7.8	6.9	1.7	-	-	3.4	2.6		
公団・公社などの賃貸住宅	16	50.0	18.8	25.0	31.3	6.3	12.5	-	-	-	-	6.3	-	12.5		
公営住宅（県営・市営住宅など）	3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-		
社宅、寮、公務員住宅など	15	53.3	33.3	40.0	13.3	-	13.3	6.7	6.7	-	-	-	6.7	6.7		
その他	7	42.9	85.7	28.6	42.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
【ライフステージ別】																
独身期	139	57.6	28.8	26.6	20.9	10.1	10.1	1.4	2.2	3.6	1.4	-	7.2	6.5		
家族形成期	107	59.8	31.8	25.2	29.9	11.2	6.5	6.5	7.5	0.9	-	0.9	3.7	3.7		
家族成長前期	147	55.8	32.7	44.2	32.7	8.8	12.2	8.8	5.4	2.0	2.7	-	5.4	3.4		
家族成長後期	118	55.9	28.0	33.9	24.6	8.5	6.8	8.5	4.2	1.7	1.7	0.8	7.6	4.2		
家族成熟期	295	51.5	29.2	27.5	26.8	5.8	6.8	4.7	2.0	1.7	0.3	2.4	2.7	8.1		
高齢期	193	49.7	32.6	22.8	21.2	9.8	7.8	1.0	1.0	0.5	3.6	1.6	2.6	16.1		
その他	193	46.6	29.0	25.9	25.9	7.8	6.2	5.7	1.6	1.0	1.0	1.6	4.1	9.8		

（１－２）困ったときの対処法

◇「自分で解決した」が55.1%で特に高い

（問6で「1」～「11」のいずれかを答えた方に）

問6－2 あなたは、困ったり、嫌な思いをしたとき、どうしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。



困ったり、嫌な思いをしたときの対処法は、「自分で解決した」（55.1%）が半数以上と特に高く、「家族や友人などに相談した」（19.3%）が2割、その他はすべて1割未満である。一方、「特に相談などの対処はしなかった」（19.7%）が2割となっている。

【属性別比較】

①地域別

「自分で解決した」は東部（59.1%）や北部（58.7%）に比べて南部（51.7%）は低く、「特に相談などの対処はしなかった」は北部（15.4%）がやや低くなっている。＜表3－5＞

②都市圏別

「自分で解決した」は利根北部都市圏（66.0%）で6割台半ばと高く、県央都市圏（47.1%）や比企都市圏（42.6%）では4割台と低い。「家族や友人などに相談した」は入間東部都市圏（36.7%）で特に高くなっている。「特に相談などの対処はしなかった」は比企都市圏（29.8%）で最も高く、入間東部都市圏（6.1%）で最も低い。＜表3－5＞

③市郡規模別

「自分で解決した」は人口10万以上の市（53.6%）でやや低くなっている。＜表3－5＞

＜表3－5＞地域別／都市圏別／市郡規模別

(%)

	調査数	自分で解決した	家族や友人などに相談した	消費生活センター（窓口）など消費生活相談した	警察に相談した	仕方なく商品等を購入した	弁護士など法律の専門家に相談した	その他	特に相談などの対処はしなかった	無回答
【総数】	1192	55.1	19.3	6.5	3.6	2.6	1.1	3.1	19.7	5.1
【地域別】										
南部	402	51.7	17.2	6.7	3.7	2.7	1.2	5.5	21.4	7.2
西部	408	54.4	22.3	5.4	2.9	2.0	1.5	2.9	19.4	4.7
東部	259	59.1	18.5	8.1	5.4	3.1	0.8	0.8	18.9	1.9
北部	104	58.7	18.3	6.7	1.9	3.8	－	1.0	15.4	6.7
秩父	19	68.4	15.8	5.3	－	－	－	－	26.3	5.3
【都市圏別】										
（南部計）	402	51.7	17.2	6.7	3.7	2.7	1.2	5.5	21.4	7.2
中枢都市圏	248	51.2	16.5	6.0	3.2	2.8	1.6	5.2	22.2	8.1
県南5市圏	103	55.3	16.5	6.8	2.9	2.9	1.0	4.9	19.4	6.8
県央都市圏	51	47.1	21.6	9.8	7.8	2.0	－	7.8	21.6	3.9
（西部計）	408	54.4	22.3	5.4	2.9	2.0	1.5	2.9	19.4	4.7
南西部4市圏	74	58.1	12.2	6.8	2.7	4.1	1.4	4.1	23.0	6.8
入間東部都市圏	49	51.0	36.7	6.1	4.1	2.0	4.1	2.0	6.1	4.1
川越都市圏	113	54.0	24.8	3.5	1.8	1.8	0.9	2.7	17.7	6.2
所沢都市圏	125	58.4	21.6	5.6	2.4	0.8	0.8	2.4	20.0	4.0
比企都市圏	47	42.6	19.1	6.4	6.4	2.1	2.1	4.3	29.8	－
（東部計）	259	59.1	18.5	8.1	5.4	3.1	0.8	0.8	18.9	1.9
東部都市圏	142	59.9	17.6	5.6	6.3	2.1	1.4	0.7	18.3	2.1
利根南部都市圏	70	52.9	18.6	8.6	5.7	5.7	－	1.4	24.3	2.9
利根北部都市圏	47	66.0	21.3	14.9	2.1	2.1	－	－	12.8	－
（北部計）	104	58.7	18.3	6.7	1.9	3.8	－	1.0	15.4	6.7
県北都市圏	78	57.7	19.2	7.7	－	5.1	－	1.3	17.9	5.1
本庄都市圏	26	61.5	15.4	3.8	7.7	－	－	－	7.7	11.5
（秩父計） 秩父都市圏	19	68.4	15.8	5.3	－	－	－	－	26.3	5.3
【市郡規模別】										
人口10万以上の市	824	53.6	18.7	6.6	3.4	2.3	1.5	3.6	20.0	5.8
人口10万未満の市	234	58.1	22.6	9.0	3.8	3.0	－	2.6	18.4	2.6
郡部（町村）	134	59.0	17.2	2.2	4.5	3.7	0.7	0.7	20.1	5.2

④性別

「家族や友人などに相談した」は女性（25.6%）が男性（13.1%）よりも12.5ポイント高い。一方、「特に相談などの対処はしなかった」は男性（22.6%）が女性（16.8%）よりも5.8ポイント高くなっている。＜表3－6＞

⑤年代別

「自分で解決した」は20歳代（50.4%）および70歳以上（48.3%）で低く、「家族や友人などに相談した」は20歳代（31.0%）および30歳代（24.4%）で高い。「特に相談などの対処はしなかった」は40歳代（23.6%）と50歳代（21.6%）で高くなっている。＜表3－6＞

⑥性・年代別

「自分で解決した」は男性30歳代（64.0%）で特に高く、女性の20歳代（47.5%）と70歳以上（43.6%）で4割台と低い。「家族や友人などに相談した」は女性20歳代（44.3%）で最も高く、年代が上がるほど低くなる傾向がある。＜表3－6＞

⑦職業別

「家族や友人などに相談した」は無職（計）（22.0%）でやや高くなっている。＜表3－6＞

⑧住居形態別

マンション(民間)は「自分で解決した」(67.3%)では高いが、「家族や友人などに相談した」(12.5%)では低くなっている。＜表3－6＞

⑨ライフステージ別

「自分で解決した」は独身期（46.0%）では5割未満で最も低いが、家族形成期（68.2%）になると7割近くで最も高くなっている。「家族や友人などに相談した」は独身期（31.7%）が最も高い。＜表3－6＞

＜表３－６＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

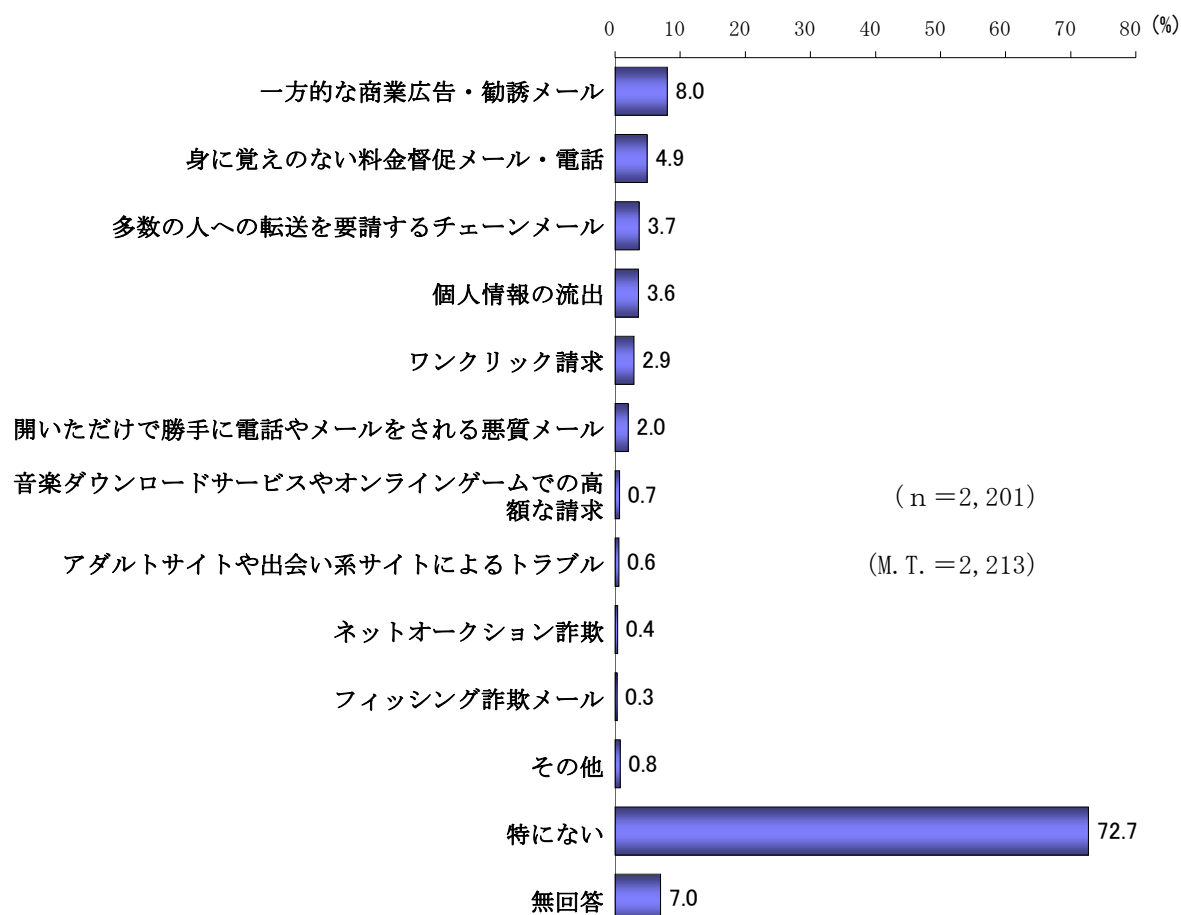
(%)

	調査数	自分で解決した	家族や友人などに相談した	消費生活センター（窓口）などに相談した	警察に相談した	仕方なく商品等を購入した	弁護士など法律の専門家に相談した	その他	特になかったなどの対処は	無回答
【総数】	1192	55.1	19.3	6.5	3.6	2.6	1.1	3.1	19.7	5.1
【性別】										
男性	603	57.0	13.1	6.6	4.3	1.7	1.0	2.3	22.6	4.5
女性	589	53.1	25.6	6.5	2.9	3.6	1.2	3.9	16.8	5.8
【年代別】										
20歳代	113	50.4	31.0	6.2	0.9	2.7	－	6.2	16.8	1.8
30歳代	180	58.9	24.4	6.7	5.0	1.1	0.6	1.1	17.8	3.9
40歳代	263	57.4	16.7	6.5	4.6	3.0	3.0	2.7	23.6	3.0
50歳代	255	56.1	18.4	7.1	3.5	2.7	0.4	1.6	21.6	2.7
60歳代	232	55.2	14.2	5.6	2.6	3.0	0.9	5.6	17.7	9.9
70歳以上	149	48.3	18.1	7.4	4.0	2.7	0.7	2.7	17.4	9.4
【性・年代別】										
男性 20歳代	52	53.8	15.4	7.7	－	1.9	－	5.8	21.2	1.9
30歳代	86	64.0	11.6	5.8	4.7	1.2	1.2	1.2	18.6	4.7
40歳代	137	58.4	10.2	5.1	5.8	0.7	2.2	1.5	27.7	2.9
50歳代	134	55.2	16.4	9.7	4.5	2.2	－	2.2	22.4	3.0
60歳代	123	56.1	13.0	5.7	4.9	2.4	0.8	2.4	21.1	6.5
70歳以上	71	53.5	12.7	5.6	2.8	1.4	1.4	2.8	21.1	8.5
女性 20歳代	61	47.5	44.3	4.9	1.6	3.3	－	6.6	13.1	1.6
30歳代	94	54.3	36.2	7.4	5.3	1.1	－	1.1	17.0	3.2
40歳代	126	56.3	23.8	7.9	3.2	5.6	4.0	4.0	19.0	3.2
50歳代	121	57.0	20.7	4.1	2.5	3.3	0.8	0.8	20.7	2.5
60歳代	109	54.1	15.6	5.5	－	3.7	0.9	9.2	13.8	13.8
70歳以上	78	43.6	23.1	9.0	5.1	3.8	－	2.6	14.1	10.3
【職業別】										
自営業・家族従業（計）	156	57.1	16.7	6.4	3.2	3.8	0.6	3.2	20.5	3.2
雇用者（計）	555	57.1	17.3	6.7	4.1	2.3	1.3	1.6	21.3	4.0
無職（計）	464	53.0	22.0	6.5	3.0	2.4	1.1	4.7	17.9	7.1
【住居形態別】										
持家（計）	1002	55.8	18.7	6.4	3.6	2.7	1.0	3.1	19.4	5.4
持家（一戸建）	889	54.7	19.3	6.5	3.8	2.9	0.9	3.1	19.3	5.6
マンション（公団・公社）	9	33.3	22.2	11.1	－	－	11.1	11.1	33.3	11.1
マンション（民間）	104	67.3	12.5	4.8	1.9	1.0	1.0	1.9	18.3	2.9
持家以外（計）	184	51.6	22.8	7.6	3.8	2.2	1.6	3.3	21.2	3.8
民間借家（一戸建）	27	48.1	22.2	7.4	3.7	－	3.7	3.7	18.5	11.1
民間賃貸マンション・アパート	116	50.0	25.9	9.5	4.3	1.7	0.9	3.4	22.4	2.6
公団・公社などの賃貸住宅	16	50.0	12.5	－	6.3	6.3	6.3	－	25.0	6.3
公営住宅（県営・市営住宅など）	3	66.7	－	－	－	33.3	－	－	－	－
社宅、寮、公務員住宅など	15	66.7	13.3	－	－	－	－	6.7	13.3	－
その他	7	57.1	28.6	14.3	－	－	－	－	28.6	－
【ライフステージ別】										
独身期	139	46.0	31.7	7.2	2.9	1.4	－	3.6	20.1	3.6
家族形成期	107	68.2	20.6	8.4	0.9	0.9	0.9	2.8	13.1	2.8
家族成長前期	147	60.5	21.1	4.1	5.4	2.7	－	3.4	18.4	2.7
家族成長後期	118	57.6	16.9	6.8	3.4	1.7	2.5	1.7	24.6	0.8
家族成熟期	295	55.9	19.0	6.8	4.4	3.1	1.0	2.7	19.0	6.1
高齢期	193	51.8	17.6	6.7	3.6	3.6	0.5	4.7	18.1	8.3
その他	193	50.8	11.9	6.2	3.1	3.1	2.6	2.6	23.8	7.3

（２）通信機器を通じたトラブルの経験

◇「特にない」が72.7%

問7 あなたは、過去一年間に携帯電話やインターネットなどの通信機器を通じたトラブルを経験したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。



過去1年間の通信機器を通じたトラブルは、「特にない」（72.7%）が7割以上となっている。それ以外の項目はいずれも1割を下回り、「一方的な商業広告・勧誘メール」（8.0%）が最も高く、次いで「身に覚えのない料金督促メール・電話」（4.9%）、「多数の人への転送を要請するチェーンメール」（3.7%）、「個人情報の流出」（3.6%）などとなっている。

【属性別比較】

①地域別

南部は「特にない」（68.9％）が他に比べてやや低く、「一方的な商業広告・勧誘メール」（9.4％）がわずかに高くなっている。＜表3－7＞

②都市圏別

「特にない」は秩父都市圏（84.2％）、県北都市圏（79.0％）、比企都市圏（77.1％）などで高い。「一方的な商業広告・勧誘メール」は県央都市圏（11.1％）でわずかに高く、「多数の人への転送を要請するチェーンメール」は入間東部都市圏（11.9％）で高くなっている。＜表3－7＞

③市郡規模別

市郡規模別で目立った差はない。＜表3－7＞

＜表3－7＞地域別／都市圏別／市郡規模別

(%)

	調査数	一方的な商業広告・勧誘メール	・身に覚えのない料金督促メール	多数の人への転送を要請するチェーンメール	個人情報流出	ワンクリック請求	開いただけで勝手に電話やメールをされる悪質メール	音楽ダウンロードでの高額な請求やオンラインゲームでの高額の請求	アダルトサイトや出会い系サイトによるトラブル	ネットオークション詐欺	フィッシング詐欺メール	その他	特にない	無回答
【総数】	2201	8.0	4.9	3.7	3.6	2.9	2.0	0.7	0.6	0.4	0.3	0.8	72.7	7.0
【地域別】														
南部	763	9.4	4.8	4.1	3.7	2.6	2.9	0.5	0.4	0.3	0.3	0.9	68.9	10.4
西部	720	7.1	5.1	4.3	4.6	3.2	1.9	0.7	1.1	0.4	0.3	1.1	74.0	4.4
東部	515	7.8	5.4	3.1	2.7	2.9	1.0	1.0	0.4	0.6	0.4	0.4	74.2	5.8
北部	165	6.7	3.6	1.2	2.4	2.4	1.2	0.6	－	－	－	0.6	77.0	8.5
秩父	38	5.3	－	2.6	2.6	2.6	－	2.6	－	2.6	－	－	84.2	－
【都市圏別】														
（南部計）	763	9.4	4.8	4.1	3.7	2.6	2.9	0.5	0.4	0.3	0.3	0.9	68.9	10.4
中枢都市圏	458	9.6	4.8	5.0	4.4	3.3	2.4	0.2	0.4	0.2	0.4	0.4	68.1	10.9
県南5市圏	215	8.4	4.2	3.3	3.3	2.3	3.3	0.9	0.5	－	－	1.4	69.8	8.8
県央都市圏	90	11.1	6.7	1.1	1.1	－	4.4	1.1	－	1.1	－	2.2	71.1	11.1
（西部計）	720	7.1	5.1	4.3	4.6	3.2	1.9	0.7	1.1	0.4	0.3	1.1	74.0	4.4
南西部4市圏	142	7.7	5.6	0.7	4.9	2.8	1.4	0.7	2.1	－	－	1.4	75.4	4.2
入間東部都市圏	84	4.8	7.1	11.9	2.4	4.8	2.4	1.2	－	2.4	1.2	1.2	69.0	6.0
川越都市圏	211	8.1	3.3	4.3	5.7	1.9	1.4	0.5	0.9	－	－	0.9	76.3	3.3
所沢都市圏	213	7.5	6.1	2.8	5.6	3.8	2.8	0.5	1.4	－	－	1.4	71.8	6.1
比企都市圏	70	4.3	4.3	7.1	－	4.3	1.4	1.4	－	1.4	1.4	－	77.1	1.4
（東部計）	515	7.8	5.4	3.1	2.7	2.9	1.0	1.0	0.4	0.6	0.4	0.4	74.2	5.8
東部都市圏	302	7.3	5.3	2.3	3.0	3.0	1.3	0.7	0.3	0.3	－	0.7	74.5	6.3
利根南部都市圏	129	7.8	6.2	1.6	－	3.1	－	1.6	0.8	1.6	1.6	－	76.0	4.7
利根北部都市圏	84	9.5	4.8	8.3	6.0	2.4	1.2	1.2	－	－	－	－	70.2	6.0
（北部計）	165	6.7	3.6	1.2	2.4	2.4	1.2	0.6	－	－	－	0.6	77.0	8.5
県北都市圏	124	6.5	3.2	0.8	2.4	1.6	1.6	0.8	－	－	－	0.8	79.0	8.1
本庄都市圏	41	7.3	4.9	2.4	2.4	4.9	－	－	－	－	－	－	70.7	9.8
（秩父計） 秩父都市圏	38	5.3	－	2.6	2.6	2.6	－	2.6	－	2.6	－	－	84.2	－
【市郡規模別】														
人口10万以上の市	1531	7.9	5.0	3.7	4.1	2.7	2.3	0.5	0.7	0.3	0.2	0.8	72.3	7.6
人口10万未満の市	444	8.8	5.9	3.6	2.5	4.1	1.4	0.9	0.2	0.7	0.5	1.4	73.9	4.3
郡部（町村）	226	7.1	2.7	4.0	2.7	1.8	0.9	1.8	0.4	0.9	0.4	－	73.0	8.4

④性別

「特にない」は女性（75.3%）が男性（70.1%）よりも5.2ポイント高い。「一方的な商業広告・勧誘メール」では男性（10.0%）が女性（6.0%）よりも4.0ポイント高くなっている。＜表3-8＞

⑤年代別

「特にない」は高年代ほど高く、70歳以上（85.9%）では8割台半ばとなっている。「一方的な商業広告・勧誘メール」や「多数の人への転送を要請するチェーンメール」は高年代ほど低く、「身に覚えのない料金督促メール・電話」や「ワンクリック請求」でも20歳代がわずかに高くなっている。＜表3-8＞

⑥性・年代別

「特にない」は60歳代を除いた全ての年代で女性が男性よりも高く、特に40歳代と50歳代で差が大きくなっている。「一方的な商業広告・勧誘メール」と「身に覚えのない料金督促メール・電話」は20歳代では女性の方がわずかに高いが、30歳代以上ではいずれも男性の方が高くなっている。「ワンクリック請求」では男性20歳代（11.4%）の高さが目立っている。＜表3-8＞

⑦職業別

「特にない」は無職（計）（77.5%）で高い。＜表3-8＞

⑧住居形態別

「特にない」は民間借家（一戸建）（63.8%）と民間賃貸マンション・アパート（65.9%）で低くなっている。「個人情報の流出」は民間借家（一戸建）（12.1%）で特に高くなっている。＜表3-8＞

⑨ライフステージ別

「特にない」は家族成長後期から高齢期にかけて7割以上と高い。「一方的な商業広告・勧誘メール」は家族形成期（15.7%）と独身期（11.9%）で高く、「身に覚えのない料金督促メール・電話」、「多数の人への転送を要請するチェーンメール」、「ワンクリック請求」ではいずれも独身期が最も高くなっている。＜表3-8＞

＜表３－８＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

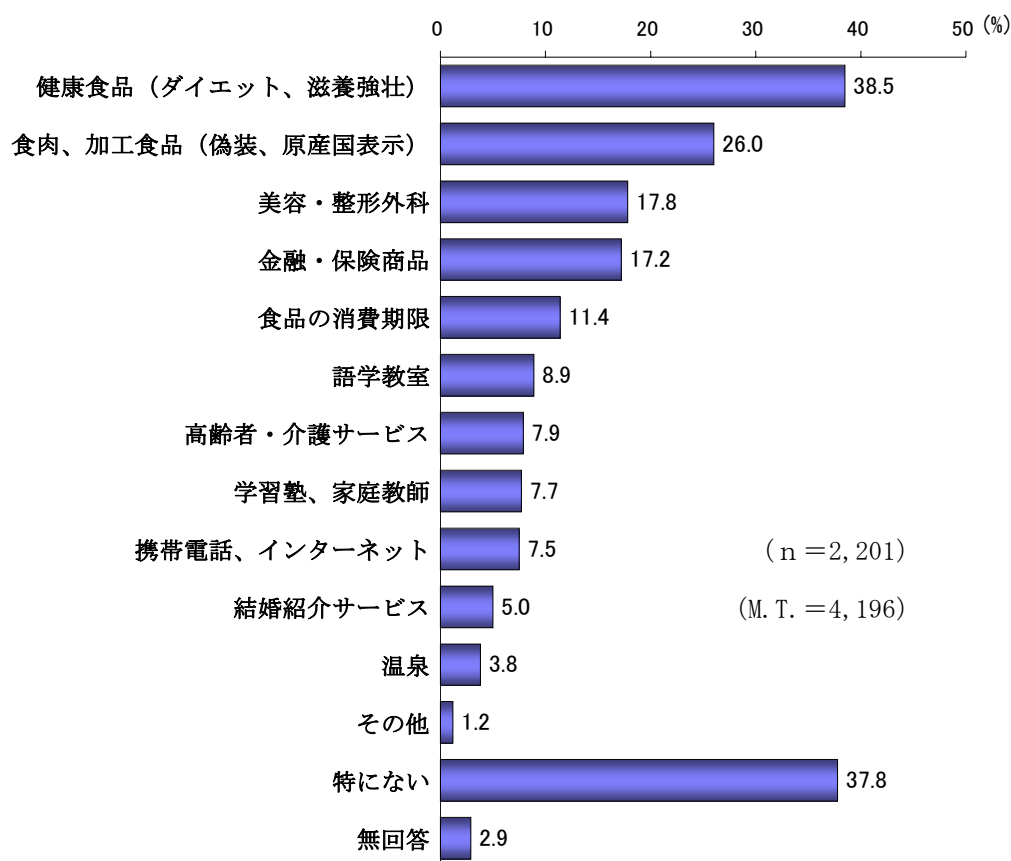
(%)

	調査数	一方的な商業広告・勧誘メール	身に覚えのない料金督促メール・電話	多数の人への転送を要請するチェインメール	個人情報流出	ワンクリック請求	開いただけで勝手に電話やメールをされる悪質メール	音楽ダウンロードサービスやオンラインゲームでの高額な請求	アダルトサイトや出会い系サイトによるトラブル	ネットオークション詐欺	フィッシング詐欺メール	その他	特にない	無回答
【総数】	2201	8.0	4.9	3.7	3.6	2.9	2.0	0.7	0.6	0.4	0.3	0.8	72.7	7.0
【性別】														
男 性	1093	10.0	6.2	3.6	3.9	4.0	2.7	0.6	0.7	0.3	0.4	0.7	70.1	6.0
女 性	1108	6.0	3.6	3.8	3.3	1.7	1.3	0.8	0.5	0.5	0.2	0.9	75.3	8.0
【年代別】														
20歳代	260	12.7	8.5	12.7	3.1	9.2	1.9	－	0.8	1.2	0.4	0.8	64.2	3.1
30歳代	373	11.8	6.7	5.9	5.1	2.9	2.9	0.8	1.3	1.1	－	0.8	65.1	3.5
40歳代	433	10.4	6.9	4.4	6.0	4.6	1.8	1.6	0.9	－	0.9	0.7	68.8	4.2
50歳代	441	7.3	5.2	1.1	3.9	0.7	2.3	1.4	0.2	－	0.2	1.6	75.5	7.3
60歳代	417	3.8	1.7	0.5	1.7	1.2	2.2	－	0.2	0.2	－	0.5	77.0	13.2
70歳以上	277	2.2	0.4	－	1.1	－	－	－	－	0.4	－	0.4	85.9	10.5
【性・年代別】														
男性 20歳代	123	12.2	7.3	10.6	2.4	11.4	1.6	－	1.6	0.8	－	0.8	62.6	4.1
30歳代	185	13.0	8.6	4.9	5.4	4.9	4.9	1.1	1.1	0.5	－	0.5	63.2	2.2
40歳代	224	12.5	8.9	5.4	5.4	6.3	3.6	1.3	1.3	－	1.3	0.4	64.7	3.6
50歳代	221	10.4	7.2	1.4	5.0	1.4	2.7	0.9	－	－	0.5	1.8	70.1	7.2
60歳代	207	6.3	2.9	1.0	2.9	1.9	1.9	－	0.5	0.5	－	－	77.3	9.2
70歳以上	133	4.5	0.8	－	0.8	－	－	－	－	－	－	0.8	84.2	10.5
女性 20歳代	137	13.1	9.5	14.6	3.6	7.3	2.2	－	－	1.5	0.7	0.7	65.7	2.2
30歳代	188	10.6	4.8	6.9	4.8	1.1	1.1	0.5	1.6	1.6	－	1.1	67.0	4.8
40歳代	209	8.1	4.8	3.3	6.7	2.9	－	1.9	0.5	－	0.5	1.0	73.2	4.8
50歳代	220	4.1	3.2	0.9	2.7	－	1.8	1.8	0.5	－	－	1.4	80.9	7.3
60歳代	210	1.4	0.5	－	0.5	0.5	2.4	－	－	－	－	1.0	76.7	17.1
70歳以上	144	－	－	－	1.4	－	－	－	－	0.7	－	－	87.5	10.4
【職業別】														
自営業・家族従業（計）	278	9.4	5.0	3.2	2.9	2.5	3.2	1.1	－	0.4	0.4	1.4	70.5	9.4
雇用者（計）	1000	9.5	7.1	4.8	4.5	3.9	2.4	1.0	0.8	0.6	0.5	0.7	69.5	5.1
無 職（計）	892	6.1	2.2	2.6	3.0	1.7	1.1	0.2	0.6	0.2	－	0.8	77.5	8.0
【住居形態別】														
持家（計）	1830	7.5	4.4	3.4	3.6	2.5	1.7	0.7	0.6	0.3	0.3	0.9	74.1	7.0
持家（一戸建）	1610	7.7	4.5	3.5	3.4	2.5	1.7	0.7	0.4	0.3	0.2	0.7	74.2	7.4
マンション（公団・公社）	22	4.5	4.5	4.5	－	－	－	－	－	－	－	－	72.7	13.6
マンション（民間）	198	6.6	3.5	3.0	5.6	3.0	2.0	1.0	2.0	0.5	0.5	2.0	73.7	3.0
持家以外（計）	359	9.7	7.2	4.5	3.9	4.7	3.1	0.8	0.6	0.8	0.3	0.6	66.0	7.0
民間借家（一戸建）	58	8.6	8.6	1.7	12.1	－	3.4	－	3.4	－	－	1.7	63.8	8.6
民間賃貸マンション・アパート	232	10.8	6.0	4.7	2.2	5.6	2.6	1.3	－	1.3	0.4	0.4	65.9	6.5
公団・公社などの賃貸住宅	25	12.0	12.0	12.0	8.0	8.0	8.0	－	－	－	－	－	56.0	12.0
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
社宅、寮、公務員住宅など	25	4.0	12.0	4.0	－	8.0	4.0	－	－	－	－	－	68.0	4.0
その他	11	9.1	9.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	72.7	9.1
【ライフステージ別】														
独身期	303	11.9	9.6	11.9	3.6	7.9	2.6	－	0.7	0.7	0.3	1.0	62.7	3.6
家族形成期	229	15.7	6.1	4.8	4.8	4.8	1.3	0.4	0.4	1.7	－	0.4	66.8	2.6
家族成長前期	253	8.7	6.3	6.3	7.1	2.4	3.6	2.0	3.2	－	－	0.8	66.4	2.8
家族成長後期	194	7.7	6.7	2.6	4.1	3.6	1.5	1.5	－	0.5	0.5	0.5	73.7	5.7
家族成熟期	500	6.2	4.0	1.0	3.6	1.6	2.2	1.0	0.2	0.4	－	1.0	77.4	7.6
高齢期	384	2.9	1.0	0.3	1.0	－	1.3	－	－	－	－	0.8	81.8	12.0
その他	338	7.4	3.6	2.1	3.0	2.1	1.2	0.6	0.3	－	1.2	0.9	72.5	10.7

（３）商品・サービスの広告や表示で、虚偽・誇大だと思ったもの

◇「健康食品（ダイエット、滋養強壮）」が38.5%、「特にない」が37.8%

問8 あなたは、過去一年間に以下のような商品・サービスの広告や表示で、虚偽・誇大だと思ったものがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。



過去1年間で虚偽・誇大だと思った広告や表示は、「健康食品（ダイエット、滋養強壮）」（38.5%）が4割弱で最も高く、「食肉、加工食品（偽装、原産国表示）」（26.0%）、「美容・整形外科」（17.8%）、「金融・保険商品」（17.2%）がこれに続いている。一方「特にない」（37.8%）は4割弱となっている。

【属性別比較】

①地域別

「健康食品(ダイエット、滋養強壮)」は秩父(31.6%)がやや低い。また、秩父は「特にない」(55.3%)でも高くなっている。＜表3－9＞

②都市圏別

「健康食品(ダイエット、滋養強壮)」は本庄都市圏(46.3%)、入間東部都市圏(44.0%)、県央都市圏(43.3%)などで高く、「食肉、加工食品(偽装、原産国表示)」は利根南部都市圏(32.6%)や入間東部都市圏(31.0%)でやや高い。入間東部都市圏は「美容・整形外科」(27.4%)でも高く、利根南部都市圏は「金融・保険商品」(24.0%)でも高くなっている。また、「食品の消費期限」は利根北部都市圏(21.4%)で高くなっている。＜表3－9＞

③市郡規模別

人口10万未満の市が「健康食品(ダイエット、滋養強壮)」(33.3%)でやや低く、「特にない」(43.2%)で高くなっている。＜表3－9＞

＜表3－9＞地域別／都市圏別／市郡規模別

(%)

	調査数	健康食品 (ダイエット、 滋養強壮)	食肉、加工食品 (偽装、原産国表示)	美容・整形外科	金融・保険商品	食品の消費期限	語学教室	高齢者・介護サービス	学習塾、家庭教師	携帯電話、インターネット	結婚紹介サービス	温泉	その他	特にない	無回答
【総数】	2201	38.5	26.0	17.8	17.2	11.4	8.9	7.9	7.7	7.5	5.0	3.8	1.2	37.8	2.9
【地域別】															
南部	763	40.0	27.7	19.8	17.4	11.1	8.8	8.3	6.6	7.7	5.1	2.9	1.3	35.8	3.7
西部	720	38.6	23.8	18.3	16.4	9.4	11.1	7.8	10.0	7.8	4.3	4.4	1.0	38.2	2.5
東部	515	36.7	27.6	14.4	18.1	15.9	7.0	8.2	7.0	7.4	6.2	3.9	1.7	38.3	1.4
北部	165	38.2	23.6	17.6	17.6	7.3	6.7	6.7	5.5	6.7	4.8	4.2	－	40.0	6.7
秩父	38	31.6	26.3	13.2	13.2	13.2	2.6	5.3	5.3	2.6	2.6	5.3	－	55.3	－
【都市圏別】															
(南部計)	763	40.0	27.7	19.8	17.4	11.1	8.8	8.3	6.6	7.7	5.1	2.9	1.3	35.8	3.7
中枢都市圏	458	41.0	28.6	20.1	18.3	11.4	9.4	9.4	7.2	9.0	6.3	2.8	1.7	34.7	3.1
県南5市圏	215	36.3	27.4	20.0	17.2	11.2	9.3	7.0	6.0	7.0	3.3	2.3	0.5	38.1	5.6
県央都市圏	90	43.3	23.3	17.8	13.3	10.0	4.4	5.6	4.4	3.3	3.3	4.4	1.1	35.6	2.2
(西部計)	720	38.6	23.8	18.3	16.4	9.4	11.1	7.8	10.0	7.8	4.3	4.4	1.0	38.2	2.5
南西部4市圏	142	36.6	23.9	18.3	14.1	11.3	10.6	11.3	10.6	7.0	3.5	2.8	0.7	41.5	4.2
入間東部都市圏	84	44.0	31.0	27.4	17.9	8.3	14.3	7.1	13.1	8.3	3.6	6.0	－	29.8	3.6
川越都市圏	211	36.5	22.3	15.2	15.2	8.1	8.5	6.6	10.0	4.7	3.8	1.9	0.5	41.2	1.4
所沢都市圏	213	41.3	25.8	19.7	19.2	8.9	11.7	7.5	8.9	12.2	6.1	7.0	1.9	34.7	1.9
比企都市圏	70	34.3	12.9	12.9	14.3	12.9	14.3	5.7	8.6	4.3	2.9	5.7	1.4	42.9	2.9
(東部計)	515	36.7	27.6	14.4	18.1	15.9	7.0	8.2	7.0	7.4	6.2	3.9	1.7	38.3	1.4
東部都市圏	302	36.1	26.2	15.2	15.9	15.6	6.6	7.0	6.6	6.6	5.3	3.0	1.7	40.7	1.3
利根南部都市圏	129	37.2	32.6	13.2	24.0	13.2	7.0	9.3	9.3	10.1	6.2	5.4	2.3	29.5	2.3
利根北部都市圏	84	38.1	25.0	13.1	16.7	21.4	8.3	10.7	4.8	6.0	9.5	4.8	1.2	42.9	－
(北部計)	165	38.2	23.6	17.6	17.6	7.3	6.7	6.7	5.5	6.7	4.8	4.2	－	40.0	6.7
県北都市圏	124	35.5	23.4	18.5	18.5	8.1	4.0	6.5	7.3	6.5	4.8	4.0	－	40.3	6.5
本庄都市圏	41	46.3	24.4	14.6	14.6	4.9	14.6	7.3	－	7.3	4.9	4.9	－	39.0	7.3
(秩父計) 秩父都市圏	38	31.6	26.3	13.2	13.2	13.2	2.6	5.3	5.3	2.6	2.6	5.3	－	55.3	－
【市郡規模別】															
人口10万以上の市	1531	39.8	27.0	18.5	17.3	11.0	8.6	8.2	7.8	7.8	5.2	3.5	1.2	36.6	2.8
人口10万未満の市	444	33.3	23.6	15.5	17.3	12.6	9.2	7.0	7.0	6.8	3.4	4.5	0.5	43.2	2.7
郡部(町村)	226	39.8	23.9	17.3	15.9	12.4	10.2	7.5	8.0	7.1	7.1	4.4	2.2	35.0	4.0

④性別

女性の方が「健康食品（ダイエット、滋養強壮）」で7.1ポイント、「美容・整形外科」で8.1ポイント高く、逆に「金融・保険商品」では男性（19.9%）が5.5ポイント高くなっている。＜表3-10＞

⑤年代別

上位3項目はいずれも70歳以上が最も低い。「健康食品（ダイエット、滋養強壮）」は40歳代（44.1%）と50歳代（46.0%）で高くなっている。＜表3-10＞

⑥性・年代別

「健康食品（ダイエット、滋養強壮）」は40歳代から60歳代の女性、「美容・整形外科」は50歳代以下の女性で高い。「金融・保険商品」は男性の30歳代（25.4%）と40歳代（21.0%）で、「学習塾、家庭教師」は女性40歳代（21.5%）で2割を超え高くなっている。＜表3-10＞

⑦職業別

雇用者（計）は「健康食品（ダイエット、滋養強壮）」（41.7%）と「語学教室」（12.1%）において他よりもやや高くなっている。＜表3-10＞

⑧住居形態別

「健康食品（ダイエット、滋養強壮）」、「食肉、加工食品（偽装、原産国表示）」、「美容・整形外科」で民間借家（一戸建）がやや低くなっている。＜表3-10＞

⑨ライフステージ別

「健康食品（ダイエット、滋養強壮）」は家族成長後期（46.9%）と家族成熟期（43.0%）で4割以上と高い。「美容・整形外科」、「語学教室」、「携帯電話・インターネット」では独身期が最も高く、「学習塾、家庭教師」では家族成長後期（21.1%）の高さが目立っている。＜表3-10＞

＜表３－１０＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

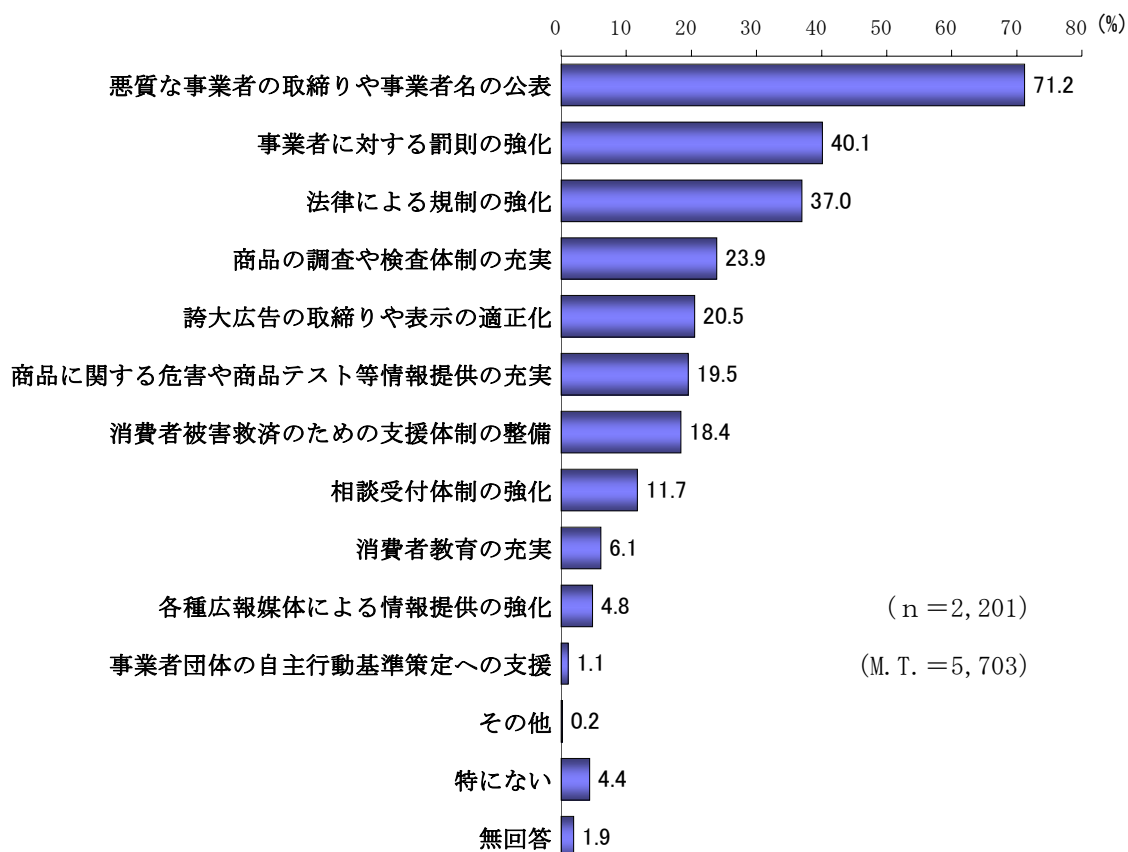
(%)

	調査数	(健康食品 (ダイエット、 滋養強化)	(食肉、加工食品 (偽装、原産国表示)	美容・整形外科	金融・保険商品	食品の消費期限	語学教室	高齢者・介護サービス	学習塾、家庭教師	携帯電話、インターネット	結婚紹介サービス	温泉	その他	特にない	無回答
【総 数】	2201	38.5	26.0	17.8	17.2	11.4	8.9	7.9	7.7	7.5	5.0	3.8	1.2	37.8	2.9
【性別】															
男 性	1093	34.9	26.8	13.7	19.9	13.1	10.2	9.1	7.3	9.9	6.0	3.6	1.6	39.1	2.6
女 性	1108	42.0	25.3	21.8	14.4	9.8	7.5	6.7	8.0	5.1	4.1	4.0	0.8	36.6	3.2
【年代別】															
20歳代	260	35.0	23.8	19.6	12.3	9.2	11.2	6.2	5.8	11.2	4.2	0.8	0.8	43.1	0.8
30歳代	373	35.4	26.3	19.0	19.6	11.5	11.8	5.9	6.7	12.3	7.2	2.9	2.1	38.9	2.4
40歳代	433	44.1	27.9	18.2	17.1	11.1	10.4	6.0	16.2	10.4	4.4	2.8	1.2	32.1	2.1
50歳代	441	46.0	27.4	20.9	18.1	12.5	10.2	10.9	7.9	6.3	4.8	5.9	0.9	33.1	1.8
60歳代	417	39.3	28.3	16.8	18.2	12.5	6.2	9.6	4.8	2.9	6.0	5.5	1.4	36.0	5.5
70歳以上	277	23.8	19.1	10.1	15.5	10.8	2.2	7.9	1.4	1.8	2.9	3.2	0.4	50.5	4.7
【性・年代別】															
男性 20歳代	123	29.3	25.2	12.2	13.0	13.8	14.6	9.8	8.1	14.6	4.9	0.8	1.6	43.9	1.6
30歳代	185	34.1	29.7	17.3	25.4	15.7	15.1	7.6	8.1	16.2	10.8	2.7	3.2	37.3	2.7
40歳代	224	41.1	30.8	13.4	21.0	12.9	11.6	7.1	11.2	11.6	5.4	2.7	1.8	33.9	2.2
50歳代	221	41.6	25.3	15.4	19.0	10.9	11.8	11.8	7.7	9.5	3.6	6.3	0.9	34.8	1.4
60歳代	207	32.9	25.6	14.5	19.8	13.5	4.8	10.6	5.3	4.3	7.2	4.8	1.4	39.6	3.9
70歳以上	133	23.3	21.8	6.8	18.8	12.0	3.0	7.5	1.5	3.0	3.8	2.3	-	51.9	3.8
女性 20歳代	137	40.1	22.6	26.3	11.7	5.1	8.0	2.9	3.6	8.0	3.6	0.7	-	42.3	-
30歳代	188	36.7	22.9	20.7	13.8	7.4	8.5	4.3	5.3	8.5	3.7	3.2	1.1	40.4	2.1
40歳代	209	47.4	24.9	23.4	12.9	9.1	9.1	4.8	21.5	9.1	3.3	2.9	0.5	30.1	1.9
50歳代	220	50.5	29.5	26.4	17.3	14.1	8.6	10.0	8.2	3.2	5.9	5.5	0.9	31.4	2.3
60歳代	210	45.7	31.0	19.0	16.7	11.4	7.6	8.6	4.3	1.4	4.8	6.2	1.4	32.4	7.1
70歳以上	144	24.3	16.7	13.2	12.5	9.7	1.4	8.3	1.4	0.7	2.1	4.2	0.7	49.3	5.6
【職業別】															
自営業・家族従業（計）	278	34.2	27.0	13.3	16.9	11.2	5.4	7.6	8.3	7.9	4.3	4.3	1.4	40.6	4.0
雇用者（計）	1000	41.7	27.0	19.6	18.7	11.5	12.1	7.9	7.9	9.7	5.2	3.5	1.1	35.2	1.6
無 職（計）	892	36.9	24.6	17.5	15.9	11.3	6.6	8.2	7.3	5.2	5.3	3.8	1.1	40.0	3.6
【住居形態別】															
持家（計）	1830	39.0	25.8	17.7	16.4	11.3	8.3	7.6	7.4	6.8	4.7	3.9	1.1	37.5	3.0
持家（一戸建）	1610	38.8	25.5	17.8	16.1	11.2	8.3	7.5	7.5	6.7	4.7	4.1	1.1	37.6	3.1
マンション（公団・公社）	22	36.4	31.8	13.6	18.2	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	27.3	-
マンション（民間）	198	41.4	27.3	17.7	18.2	12.6	8.6	8.6	7.1	7.6	4.5	2.5	0.5	37.9	2.0
持家以外（計）	359	35.9	27.3	18.1	20.9	12.3	11.7	9.7	9.2	10.9	6.7	3.1	1.7	39.0	2.8
民間借家（一戸建）	58	29.3	20.7	10.3	19.0	10.3	5.2	8.6	5.2	6.9	1.7	-	1.7	43.1	3.4
民間賃貸マンション・アパート	232	34.9	27.2	17.7	19.0	11.6	12.9	9.9	8.2	10.3	6.5	3.0	1.7	40.1	3.0
公団・公社などの賃貸住宅	25	44.0	36.0	20.0	28.0	28.0	20.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	4.0	28.0	4.0
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	-	25.0	25.0	12.5	-	-	-	25.0	-	12.5	-	-	50.0	-
社宅、寮、公務員住宅など	25	56.0	28.0	32.0	28.0	12.0	12.0	8.0	16.0	20.0	12.0	4.0	-	32.0	-
その他	11	54.5	45.5	27.3	45.5	9.1	9.1	18.2	18.2	27.3	9.1	-	-	27.3	-
【ライフステージ別】															
独身期	303	39.3	25.1	23.8	15.5	9.6	13.9	7.3	6.6	12.9	6.6	1.3	0.7	38.3	1.0
家族形成期	229	30.6	25.3	15.3	18.3	10.5	12.2	5.2	3.5	10.9	6.1	1.7	3.5	44.5	0.9
家族成長前期	253	38.3	28.5	16.2	17.4	12.3	9.5	6.7	13.0	12.6	3.2	3.6	1.2	35.2	3.6
家族成長後期	194	46.9	24.2	21.1	16.0	6.7	9.8	6.2	21.1	7.2	3.6	3.1	0.5	32.5	1.5
家族成熟期	500	43.0	28.0	19.8	19.4	12.6	9.6	10.2	9.4	5.4	5.0	5.2	0.6	33.4	2.8
高齢期	384	33.6	22.1	14.8	17.4	9.6	3.6	7.6	1.6	1.8	4.7	5.5	1.3	42.2	5.5
その他	338	37.3	28.1	13.6	14.8	16.3	5.9	9.2	4.1	6.2	5.6	3.8	1.2	39.3	3.6

（４）消費者のために必要な取組

◇「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」が71.2%

問9 あなたは、消費者支援のためにどのような取組が必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



消費者支援のために必要な取組は、「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」（71.2%）が7割を超えて特に高く、「事業者に対する罰則の強化」（40.1%）と「法律による規制の強化」（37.0%）が4割前後、「商品の調査や検査体制の充実」（23.9%）と「誇大広告の取締りや表示の適正化」（20.5%）が2割台となっている。

【属性別比較】

①地域別

「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」や「商品の調査や検査体制の充実」で秩父が高くなっている。「法律による規制の強化」では東部（42.5%）が高くなっている。＜表3－11＞

②都市圏別

「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」で本庄都市圏（65.9%）がやや低いが、同都市圏は「事業者に対する罰則の強化」（48.8%）では最も高くなっている。「法律による規制の強化」では東部都市圏（45.7%）が特に高く、入間東部都市圏（26.2%）が低い。「商品の調査や検査体制の充実」では秩父都市圏（34.2%）と県北都市圏（31.5%）、「誇大広告の取締りや表示の適正化」では利根北部都市圏（26.2%）と県北都市圏（25.8%）がそれぞれ高くなっている。＜表3－11＞

③市郡規模別

市郡規模別で特に目立った差はない。＜表3－11＞

＜表3－11＞地域別／都市圏別／市郡規模別

(%)

	調査数	悪質な事業者の取締りや事業者名の公表	悪質な事業者に対する罰則の強化	法律による規制の強化	商品の調査や検査体制の充実	商品の適正化	商品の誇大広告の取締りや表示	商品のテストに関する情報提供や商品の充実	消費者被害救済のための支援体制の整備	相談受付体制の強化	消費者教育の充実	各種広報媒体による情報提供の強化	事業者団体の自主行動基準策定への支援	その他	特にない	無回答
【総数】	2201	71.2	40.1	37.0	23.9	20.5	19.5	18.4	11.7	6.1	4.8	1.1	0.2	4.4	1.9	
【地域別】																
南部	763	72.6	41.7	36.7	22.8	21.0	19.0	18.2	11.4	7.2	6.2	1.6	0.4	3.3	2.4	
西部	720	69.3	37.5	34.6	25.7	19.3	20.6	18.9	12.8	5.1	3.5	1.0	—	5.0	2.1	
東部	515	72.0	41.9	42.5	21.2	20.6	18.4	17.3	10.3	6.2	4.7	1.2	0.4	5.2	0.2	
北部	165	69.7	37.6	32.7	27.9	25.5	20.6	23.0	12.1	4.8	5.5	—	—	3.0	4.2	
秩父	38	76.3	42.1	31.6	34.2	13.2	18.4	10.5	13.2	7.9	2.6	—	—	10.5	—	
【都市圏別】																
（南部計）	763	72.6	41.7	36.7	22.8	21.0	19.0	18.2	11.4	7.2	6.2	1.6	0.4	3.3	2.4	
中枢都市圏	458	73.1	40.8	37.8	23.4	22.9	18.6	19.2	10.3	7.4	7.0	2.0	0.2	3.1	2.2	
県南5市圏	215	73.0	43.3	36.3	20.0	17.7	18.1	15.3	14.4	8.8	4.7	0.9	0.5	3.3	3.7	
県央都市圏	90	68.9	42.2	32.2	26.7	18.9	23.3	20.0	10.0	2.2	5.6	1.1	1.1	4.4	—	
（西部計）	720	69.3	37.5	34.6	25.7	19.3	20.6	18.9	12.8	5.1	3.5	1.0	—	5.0	2.1	
南西部4市圏	142	74.6	38.7	33.8	20.4	21.8	19.0	17.6	14.1	5.6	4.9	1.4	—	3.5	3.5	
入間東部都市圏	84	71.4	40.5	26.2	29.8	15.5	17.9	23.8	8.3	8.3	2.4	—	—	6.0	1.2	
川越都市圏	211	66.4	36.0	35.1	28.9	18.5	24.6	16.1	13.3	5.7	3.8	0.9	—	5.7	1.4	
所沢都市圏	213	68.1	39.0	39.0	23.9	20.2	17.8	19.2	15.0	3.8	2.8	0.9	—	3.8	2.3	
比企都市圏	70	68.6	31.4	31.4	27.1	18.6	22.9	22.9	7.1	2.9	2.9	1.4	—	8.6	1.4	
（東部計）	515	72.0	41.9	42.5	21.2	20.6	18.4	17.3	10.3	6.2	4.7	1.2	0.4	5.2	0.2	
東部都市圏	302	71.9	42.4	45.7	20.9	19.9	17.2	14.2	11.6	8.6	4.0	1.3	0.3	4.6	—	
利根南部都市圏	129	70.5	44.2	39.5	21.7	18.6	24.8	24.0	10.1	1.6	4.7	0.8	—	4.7	0.8	
利根北部都市圏	84	75.0	36.9	35.7	21.4	26.2	13.1	17.9	6.0	4.8	7.1	1.2	1.2	8.3	—	
（北部計）	165	69.7	37.6	32.7	27.9	25.5	20.6	23.0	12.1	4.8	5.5	—	—	3.0	4.2	
県北都市圏	124	71.0	33.9	32.3	31.5	25.8	19.4	24.2	12.1	4.0	6.5	—	—	3.2	4.0	
本庄都市圏	41	65.9	48.8	34.1	17.1	24.4	24.4	19.5	12.2	7.3	2.4	—	—	2.4	4.9	
（秩父計） 秩父都市圏	38	76.3	42.1	31.6	34.2	13.2	18.4	10.5	13.2	7.9	2.6	—	—	10.5	—	
【市郡規模別】																
人口10万以上の市	1531	70.7	40.2	38.1	24.4	21.0	19.4	17.2	12.1	6.7	5.0	1.2	0.2	3.8	2.0	
人口10万未満の市	444	72.1	40.3	34.5	20.7	20.9	17.6	20.5	12.8	5.9	4.5	1.1	0.2	5.6	1.8	
郡部（町村）	226	73.0	38.9	34.1	27.4	16.8	23.9	22.6	6.6	2.7	4.0	0.4	0.4	6.2	1.3	

④性別

「事業者に対する罰則の強化」では男性（45.7%）が女性（34.6%）よりも11.1ポイント高い。
＜表3－12＞

⑤年代別

「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」は40歳代（79.7%）が最も高く、「商品の調査や検査体制の充実」や「商品に関する危害や商品テスト等情報提供の充実」では60歳代の高さが目立っている。＜表3－12＞

⑥性・年代別

「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」は男女とも40歳代が最も高く、70歳以上が最も低い。「事業者に対する罰則の強化」は女性の40歳代以上で3割強と低くなっている。「商品の調査や検査体制の充実」と「商品に関する危害や商品テスト等情報提供の充実」は男女ともに60歳代が高い。
＜表3－12＞

⑦職業別

雇用者（計）は「事業者に対する罰則の強化」（44.5%）と「法律による規制の強化」（40.9%）でやや高くなっている。＜表3－12＞

⑧住居形態別

「商品の調査や検査体制の充実」、「誇大広告の取締りや表示の適正化」、「商品に関する危害や商品テスト等情報提供の充実」、「消費者被害救済のための支援体制の整備」といった項目で民間借家（一戸建）がやや低くなっている。＜表3－12＞

⑨ライフステージ別

「悪質な事業者の取締りや事業者名の公表」と「事業者に対する罰則の強化」で家族成長後期は最も高いが、「法律による規制の強化」（31.4%）では最も低くなっている。「商品の調査や検査体制の充実」、「誇大広告の取締りや表示の適正化」、「商品に関する危害や商品テスト等情報提供の充実」が家族成熟期と高齢期で高いのに対して、「消費者被害救済のための支援体制の整備」は家族成長後期以前のステージで高くなっている。＜表3－12＞

＜表３－１２＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

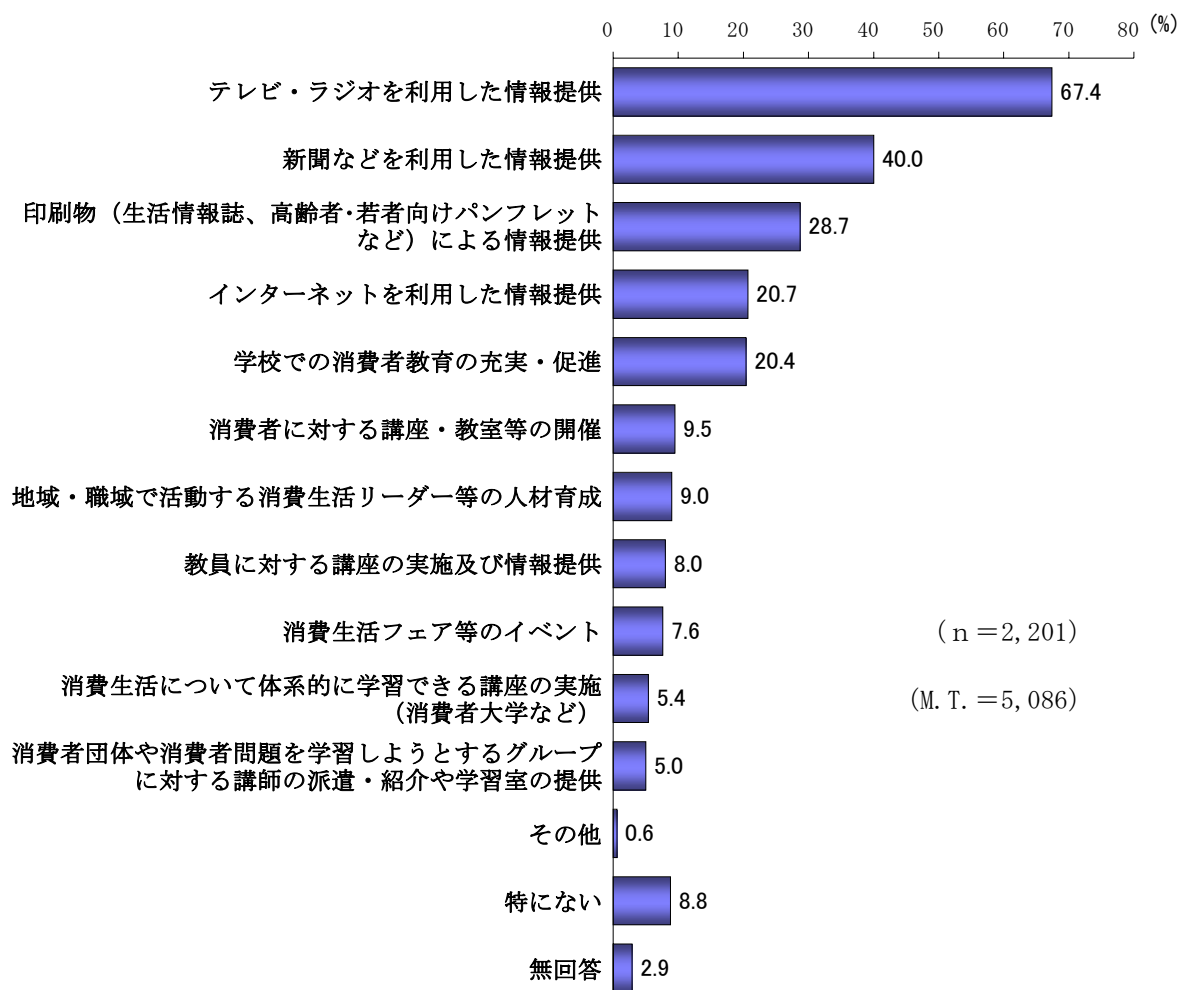
(%)

	調査数	事業者 名公表の 取締りや	悪質な 事業者 に対する 罰則の強	化事業 者による 規制の強	法律に よる規制 の強化	商品 の調査や 検査体制 の	の誇大 適正化の 取締りや 表示	商品に 関する 情報提供 の充実	商品に 関する 情報提供 の充実	消費者 被害救済 のための	相談 受付体制 の強化	消費者 教育の充 実	各種 広報媒体 による情 報	事業者 団体の支 援	その他	特 に ない	無 回 答
【総 数】	2201	71.2	40.1	37.0	23.9	20.5	19.5	18.4	11.7	6.1	4.8	1.1	0.2	4.4	1.9		
【性別】																	
男 性	1093	72.0	45.7	38.6	23.4	20.0	17.4	17.8	11.8	6.4	4.5	1.2	0.4	4.3	1.2		
女 性	1108	70.5	34.6	35.4	24.5	21.0	21.6	19.0	11.6	5.9	5.1	1.1	0.1	4.5	2.5		
【年代別】																	
20歳代	260	64.2	41.2	36.9	24.2	20.4	13.5	24.2	13.8	10.0	4.6	1.2	－	3.8	0.8		
30歳代	373	68.9	43.2	38.3	21.7	16.9	16.9	20.9	15.5	6.7	6.4	1.3	0.8	2.1	1.6		
40歳代	433	79.7	43.6	37.0	20.6	18.2	17.6	22.6	15.2	4.8	6.9	0.7	0.2	2.1	0.7		
50歳代	441	74.6	42.0	41.7	22.7	23.4	20.2	16.8	9.1	5.0	4.5	0.5	－	4.1	2.0		
60歳代	417	71.9	35.7	33.1	31.2	20.9	27.3	14.6	7.9	5.3	2.9	1.4	－	5.3	3.1		
70歳以上	277	61.4	32.9	33.6	23.1	24.2	18.8	11.6	8.7	6.9	2.9	2.2	0.4	10.8	2.9		
【性・年代別】																	
男性 20歳代	123	61.8	44.7	38.2	27.6	12.2	15.4	22.0	15.4	11.4	4.1	0.8	－	4.1	0.8		
30歳代	185	69.2	43.8	40.0	22.2	22.7	15.7	17.3	16.2	5.9	6.5	1.6	1.6	1.1	1.6		
40歳代	224	81.7	53.6	38.8	19.2	16.1	16.1	19.6	15.6	4.9	6.7	1.3	－	1.8	0.4		
50歳代	221	76.5	50.7	43.4	19.0	22.6	17.6	19.0	9.0	5.4	3.2	－	－	3.6	0.9		
60歳代	207	72.0	41.1	34.8	30.9	19.3	23.2	15.5	9.2	4.3	3.4	0.5	－	7.7	1.4		
70歳以上	133	61.7	34.6	34.6	24.1	27.1	14.3	13.5	4.5	9.8	2.3	3.8	0.8	9.0	2.3		
女性 20歳代	137	66.4	38.0	35.8	21.2	27.7	11.7	26.3	12.4	8.8	5.1	1.5	－	3.6	0.7		
30歳代	188	68.6	42.6	36.7	21.3	11.2	18.1	24.5	14.9	7.4	6.4	1.1	－	3.2	1.6		
40歳代	209	77.5	33.0	34.9	22.0	20.6	19.1	25.8	14.8	4.8	7.2	－	0.5	2.4	1.0		
50歳代	220	72.7	33.2	40.0	26.4	24.1	22.7	14.5	9.1	4.5	5.9	0.9	－	4.5	3.2		
60歳代	210	71.9	30.5	31.4	31.4	22.4	31.4	13.8	6.7	6.2	2.4	2.4	－	2.9	4.8		
70歳以上	144	61.1	31.3	32.6	22.2	21.5	22.9	9.7	12.5	4.2	3.5	0.7	－	12.5	3.5		
【職業別】																	
自営業・家族従業（計）	278	73.7	38.8	32.7	22.7	22.3	17.6	19.1	9.7	5.8	2.9	1.8	1.1	4.3	1.8		
雇用者（計）	1000	73.3	44.5	40.9	23.2	18.9	18.1	18.8	14.3	5.9	5.5	0.8	0.2	3.2	0.6		
無 職（計）	892	68.5	35.1	34.0	25.3	22.0	22.0	18.3	9.5	6.5	4.7	1.3	－	5.6	2.9		
【住居形態別】																	
持家（計）	1830	72.0	41.0	37.5	23.4	21.4	19.3	17.9	11.5	5.6	4.8	1.3	0.2	4.2	1.8		
持家（一戸建）	1610	71.8	40.6	37.3	23.8	21.2	19.1	18.1	11.2	5.3	5.0	1.4	0.2	4.6	1.7		
マンション（公団・公社）	22	63.6	40.9	31.8	22.7	4.5	22.7	13.6	9.1	－	4.5	－	－	4.5	13.6		
マンション（民間）	198	74.2	43.9	39.4	20.7	24.7	21.2	16.7	14.1	8.6	3.5	0.5	0.5	1.0	1.5		
持家以外（計）	359	68.0	36.5	35.1	26.2	16.2	19.5	21.7	12.3	8.6	5.0	0.6	0.3	4.7	2.2		
民間借家（一戸建）	58	70.7	41.4	37.9	17.2	15.5	10.3	13.8	13.8	6.9	5.2	1.7	－	10.3	3.4		
民間賃貸マンション・アパート	232	66.8	36.2	35.8	28.0	16.4	20.7	21.1	11.2	6.9	4.7	0.4	0.4	3.9	2.6		
公団・公社などの賃貸住宅	25	68.0	40.0	36.0	20.0	28.0	20.0	28.0	12.0	20.0	8.0	－	－	4.0	－		
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	62.5	25.0	37.5	37.5	－	37.5	25.0	12.5	－	－	－	－	12.5	－		
社宅、寮、公務員住宅など	25	76.0	32.0	28.0	24.0	12.0	20.0	32.0	20.0	16.0	4.0	－	－	－	－		
その他	11	63.6	27.3	18.2	45.5	9.1	27.3	36.4	9.1	18.2	9.1	－	－	－	－		
【ライフステージ別】																	
独身期	303	65.7	42.6	37.6	22.1	20.8	14.2	23.1	17.5	9.2	5.3	1.0	0.7	3.6	0.7		
家族形成期	229	66.8	42.8	38.0	25.3	19.7	17.5	20.5	13.1	8.7	6.6	1.3	0.4	1.3	1.3		
家族成長前期	253	74.3	44.3	41.9	18.6	12.3	17.0	24.1	14.6	4.0	5.5	1.2	－	2.0	2.0		
家族成長後期	194	77.8	47.9	31.4	19.6	15.5	15.5	24.2	13.9	5.7	6.7	0.5	0.5	2.6	1.0		
家族成熟期	500	75.6	36.6	39.6	27.4	25.6	22.2	16.0	9.8	4.4	4.2	0.4	－	4.0	1.6		
高齢期	384	67.7	34.9	34.1	27.6	22.7	22.9	11.2	8.6	6.0	2.3	2.3	－	8.1	2.6		
その他	338	70.7	39.3	34.6	21.9	20.1	21.9	17.2	8.3	6.2	5.3	1.2	0.3	6.5	3.3		

（５）情報提供・学習活動の分野で力を入れる必要があるもの

◇「テレビ・ラジオを利用した情報提供」が67.4%

問10 今後、情報提供や学習活動の分野で、さらに力を入れていく必要があると思われるものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。



今後さらに力を入れていく必要のあるものとして、「テレビ・ラジオを利用した情報提供」（67.4%）が6割台後半で特に高く、「新聞などを利用した情報提供」（40.0%）が4割でこれに続く。さらに「印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど）による情報提供」（28.7%）、「インターネットを利用した情報提供」（20.7%）、「学校での消費者教育の充実・促進」（20.4%）が2割台となっている。

【属性別比較】

①地域別

「インターネットを利用した情報提供」では北部（16.4％）がやや低くなっている。＜表3－13＞

②都市圏別

「テレビ・ラジオを利用した情報提供」は利根北部都市圏（73.8％）が最も高く、本庄都市圏（58.5％）や比企都市圏（61.4％）が低い。比企都市圏は「新聞などを利用した情報提供」（31.4％）や「学校での消費者教育の充実・促進」（11.4％）でも低さが目立っている。「印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど）による情報提供」では東部都市圏（35.4％）が最も高く、県央都市圏（20.0％）で最も低くなっているが、県央都市圏は「学校での消費者教育の充実・促進」（28.9％）では最も高くなっている。＜表3－13＞

③市郡規模別

郡部（町村）で「インターネットを利用した情報提供」と「学校での消費者教育の充実・促進」（いずれも16.8％）がやや低くなっている。＜表3－13＞

＜表 3－13＞地域別／都市圏別／市郡規模別

	調査数	テレビ・ラジオを利用した情報提供	新聞などを利用した情報提供	印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど）による情報提供	インターネットを利用した情報提供	学校での消費者教育の充実・促進	消費者に対する講座・教室等の開催	地域・職域で活動する消費生活リーダー等の人材育成	教員に対する講座の実施及び情報提供	消費生活フェア等のイベント	消費生活について体系的に学習できる講座の実施（消費者大学など）	消費者団体や消費者問題を学習しようとするグループに対する講師の派遣・紹介や学習室の提供	その他	特になし	無回答
【総 数】	2201	67.4	40.0	28.7	20.7	20.4	9.5	9.0	8.0	7.6	5.4	5.0	0.6	8.8	2.9
【地域別】															
南 部	763	67.1	41.4	26.3	21.5	22.8	8.3	8.0	6.9	8.1	5.1	5.2	0.8	8.3	3.4
西 部	720	66.8	39.6	28.2	20.1	19.7	9.6	10.1	9.9	6.5	5.3	4.3	0.4	9.2	2.6
東 部	515	70.1	38.6	32.4	21.7	17.5	11.1	7.6	6.6	8.7	6.4	6.2	0.8	8.7	0.8
北 部	165	63.0	40.0	30.9	16.4	21.8	10.3	11.5	8.5	7.9	4.2	3.0	－	6.1	8.5
秩 父	38	65.8	36.8	26.3	18.4	21.1	10.5	15.8	10.5	2.6	2.6	5.3	－	23.7	－
【都市圏別】															
（南部計）	763	67.1	41.4	26.3	21.5	22.8	8.3	8.0	6.9	8.1	5.1	5.2	0.8	8.3	3.4
中枢都市圏	458	67.0	42.1	24.9	21.0	23.1	9.2	9.2	7.0	8.7	5.2	5.9	0.9	8.1	2.8
県南5市圏	215	68.8	37.2	32.1	23.7	19.5	6.5	5.1	6.5	6.5	3.3	4.2	0.5	7.0	5.6
県央都市圏	90	63.3	47.8	20.0	18.9	28.9	7.8	8.9	7.8	8.9	8.9	4.4	1.1	12.2	1.1
（西部計）	720	66.8	39.6	28.2	20.1	19.7	9.6	10.1	9.9	6.5	5.3	4.3	0.4	9.2	2.6
南西部4市圏	142	71.1	40.1	31.7	23.2	22.5	4.2	13.4	11.3	8.5	3.5	4.9	0.7	5.6	3.5
入間東部都市圏	84	64.3	36.9	29.8	20.2	17.9	9.5	11.9	9.5	7.1	2.4	4.8	1.2	10.7	1.2
川越都市圏	211	67.3	40.3	30.8	17.5	20.9	12.3	9.0	8.1	3.8	7.1	3.3	－	11.4	2.4
所沢都市圏	213	66.2	42.3	24.9	21.1	20.2	9.4	6.6	10.8	6.1	4.2	4.7	0.5	8.0	3.3
比企都市圏	70	61.4	31.4	21.4	18.6	11.4	12.9	15.7	10.0	11.4	10.0	4.3	－	11.4	1.4
（東部計）	515	70.1	38.6	32.4	21.7	17.5	11.1	7.6	6.6	8.7	6.4	6.2	0.8	8.7	0.8
東部都市圏	302	68.9	36.4	35.4	22.8	18.9	10.9	7.3	6.0	9.9	6.3	6.6	1.3	8.3	0.7
利根南部都市圏	129	70.5	39.5	24.8	20.9	14.0	13.2	8.5	6.2	9.3	7.8	4.7	－	9.3	1.6
利根北部都市圏	84	73.8	45.2	33.3	19.0	17.9	8.3	7.1	9.5	3.6	4.8	7.1	－	9.5	－
（北部計）	165	63.0	40.0	30.9	16.4	21.8	10.3	11.5	8.5	7.9	4.2	3.0	－	6.1	8.5
県北都市圏	124	64.5	38.7	30.6	15.3	23.4	9.7	10.5	8.9	7.3	4.8	2.4	－	6.5	7.3
本庄都市圏	41	58.5	43.9	31.7	19.5	17.1	12.2	14.6	7.3	9.8	2.4	4.9	－	4.9	12.2
（秩父計） 秩父都市圏	38	65.8	36.8	26.3	18.4	21.1	10.5	15.8	10.5	2.6	2.6	5.3	－	23.7	－
【市郡規模別】															
人口10万以上の市	1531	67.3	40.4	29.0	20.6	21.0	9.1	8.4	7.0	7.7	5.4	5.0	0.7	8.4	3.0
人口10万未満の市	444	68.9	37.2	28.8	23.0	20.5	10.1	10.8	9.0	7.4	5.0	4.5	0.7	10.1	2.7
郡部（町村）	226	65.0	42.9	26.5	16.8	16.8	11.5	9.3	12.8	7.5	6.2	6.2	－	8.8	2.2

(%)

④性別

「インターネットを利用した情報提供」で男性（23.9%）が女性（17.5%）よりも6.4ポイント高くなっている。＜表3-14＞

⑤年代別

「テレビ・ラジオを利用した情報提供」は年代による差は比較的小さい。「新聞などを利用した情報提供」と「印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど）による情報提供」は高年代ほど高い傾向があるが、「インターネットを利用した情報提供」では逆に低年代ほど高くなっている。「学校での消費者教育の充実・促進」は60歳代以上が1割台と低い。＜表3-14＞

⑥性・年代別

「テレビ・ラジオを利用した情報提供」は男性20歳代（58.5%）で唯一6割未満と低い。「新聞などを利用した情報提供」は男性60歳代（51.7%）と女性50歳代以上で高く、男性20歳代（26.0%）と女性30歳代（24.5%）では特に低い。「印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど）による情報提供」は男性70歳以上（39.1%）が特に高く、「インターネットを利用した情報提供」は男女とも20歳代の高さが目立っている。＜表3-14＞

⑦職業別

「インターネットを利用した情報提供」で雇用者（計）（27.0%）がやや高くなっている。＜表3-14＞

⑧住居形態別

「新聞などを利用した情報提供」で民間賃貸マンション・アパート（29.7%）が低くなっている。＜表3-14＞

⑨ライフステージ別

「新聞などを利用した情報提供」で家族成熟期（47.2%）や高齢期（48.4%）が高い。「インターネットを利用した情報提供」は独身期（36.3%）や家族形成期（32.3%）が高く、高齢期（5.7%）が低い。高齢期は「学校での消費者教育の充実・促進」（13.3%）においても低くなっている。＜表3-14＞

＜表３－１４＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

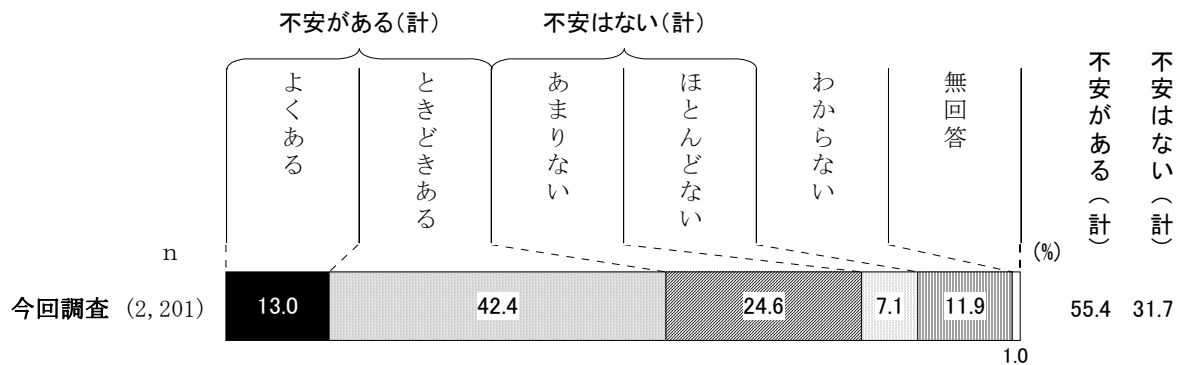
																(%)
	調査数	テレビ・ラジオを利用した情報提供	新聞などを利用した情報提供	印刷物（生活情報誌、高年齢者・若者向けパンフ）による情報提供	インターネットを利用した情報提供	学校での消費者教育の充実・促進	消費者に対する講座・教室等の開催	地域・職域で活動する消費生活リーダー等の人材育成	教員に対する講座の実施及び情報提供	消費生活フェア等のイベント	（消費者生活）について体系的に学習できる講座の実施	消費者団体や消費者問題の学習しようとするグループに対する講師の派遣・紹介や学習室の提供	その他	特にな	無回答	
【総数】	2201	67.4	40.0	28.7	20.7	20.4	9.5	9.0	8.0	7.6	5.4	5.0	0.6	8.8	2.9	
【性別】																
男性	1093	67.2	40.1	28.2	23.9	18.9	9.1	9.6	7.4	7.0	4.8	6.0	0.6	8.7	2.5	
女性	1108	67.6	39.9	29.2	17.5	21.9	10.0	8.4	8.6	8.2	5.9	4.0	0.5	8.8	3.2	
【年代別】																
20歳代	260	63.5	29.2	25.4	36.9	24.6	8.5	6.5	8.1	8.8	4.6	6.5	0.4	8.8	1.2	
30歳代	373	66.0	31.9	26.8	30.8	22.0	8.6	7.5	7.8	9.1	5.6	2.7	0.5	8.3	2.7	
40歳代	433	69.1	36.5	28.4	27.0	25.6	10.4	8.8	8.5	6.0	3.7	4.4	0.7	6.7	2.3	
50歳代	441	69.6	45.6	27.4	18.4	23.1	12.7	10.9	8.8	6.1	5.0	5.9	0.7	7.0	1.6	
60歳代	417	68.3	49.2	29.0	7.7	15.1	8.2	9.1	7.7	10.1	7.2	6.2	0.7	9.4	4.1	
70歳以上	277	65.3	43.7	36.5	5.1	10.1	7.6	10.5	6.5	5.8	6.1	4.3	0.4	14.4	5.8	
【性・年代別】																
男性 20歳代	123	58.5	26.0	27.6	39.0	22.0	7.3	8.9	9.8	10.6	4.1	8.9	－	9.8	－	
30歳代	185	66.5	39.5	26.5	34.6	16.2	6.5	6.5	5.4	7.0	5.4	4.3	1.1	8.6	3.2	
40歳代	224	67.9	35.3	26.3	30.8	26.3	10.7	8.9	7.1	5.8	4.5	5.4	－	7.6	2.7	
50歳代	221	70.6	42.1	24.0	24.0	23.1	11.8	10.0	9.0	6.8	1.8	5.9	0.9	7.2	0.5	
60歳代	207	70.5	51.7	29.5	10.1	11.1	7.2	9.2	6.8	7.7	6.8	6.3	1.0	9.7	2.4	
70歳以上	133	63.9	40.6	39.1	4.5	12.8	9.8	15.8	6.8	5.3	7.5	6.8	0.8	10.5	6.8	
女性 20歳代	137	67.9	32.1	23.4	35.0	27.0	9.5	4.4	6.6	7.3	5.1	4.4	0.7	8.0	2.2	
30歳代	188	65.4	24.5	27.1	27.1	27.7	10.6	8.5	10.1	11.2	5.9	1.1	－	8.0	2.1	
40歳代	209	70.3	37.8	30.6	23.0	24.9	10.0	8.6	10.0	6.2	2.9	3.3	1.4	5.7	1.9	
50歳代	220	68.6	49.1	30.9	12.7	23.2	13.6	11.8	8.6	5.5	8.2	5.9	0.5	6.8	2.7	
60歳代	210	66.2	46.7	28.6	5.2	19.0	9.0	9.0	8.6	12.4	7.6	6.2	0.5	9.0	5.7	
70歳以上	144	66.7	46.5	34.0	5.6	7.6	5.6	5.6	6.3	6.3	4.9	2.1	－	18.1	4.9	
【職業別】																
自営業・家族従業（計）	278	65.1	35.3	25.2	18.3	20.9	10.1	5.8	9.4	5.8	4.0	5.0	1.8	10.4	2.5	
雇用者（計）	1000	69.7	41.7	28.2	27.0	22.4	10.0	8.6	6.6	7.0	5.3	4.6	0.5	7.2	1.6	
無職（計）	892	65.4	39.6	30.4	14.6	18.5	8.9	10.4	9.1	9.1	5.8	5.6	0.3	10.1	3.9	
【住居形態別】																
持家（計）	1830	67.9	41.5	28.3	19.8	20.4	10.1	8.8	8.0	7.4	5.4	5.1	0.7	8.4	3.0	
持家（一戸建）	1610	67.8	41.3	27.5	18.4	20.4	10.1	8.7	7.9	7.3	5.7	5.4	0.7	8.9	2.9	
マンション（公団・公社）	22	40.9	31.8	27.3	18.2	9.1	13.6	4.5	13.6	－	－	－	－	13.6	13.6	
マンション（民間）	198	72.2	43.9	34.8	30.8	21.7	9.6	10.1	8.6	9.1	3.5	3.5	0.5	3.5	2.5	
持家以外（計）	359	66.0	32.9	31.2	25.1	20.3	6.4	10.0	8.1	8.9	5.0	4.5	0.3	10.0	2.2	
民間借家（一戸建）	58	65.5	36.2	34.5	22.4	17.2	3.4	10.3	5.2	6.9	3.4	5.2	－	19.0	－	
民間賃貸マンション・アパート	232	64.2	29.7	28.9	25.9	19.4	7.8	8.6	7.8	9.5	4.3	3.9	0.4	9.9	3.4	
公団・公社などの賃貸住宅	25	60.0	44.0	40.0	24.0	20.0	8.0	24.0	12.0	8.0	8.0	－	－	4.0	－	
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	87.5	12.5	50.0	12.5	37.5	－	－	25.0	12.5	－	－	－	12.5	－	
社宅、寮、公務員住宅など	25	80.0	52.0	24.0	40.0	24.0	－	12.0	8.0	8.0	8.0	12.0	－	－	－	
その他	11	72.7	27.3	45.5	－	36.4	9.1	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	－	－	－	
【ライフステージ別】																
独身期	303	64.0	31.4	26.1	36.3	25.1	8.6	7.3	8.6	7.3	6.9	5.3	1.0	7.9	1.0	
家族形成期	229	66.8	34.1	27.9	32.3	19.2	9.2	5.2	6.6	9.6	3.5	3.1	－	7.4	3.1	
家族成長前期	253	67.6	32.8	28.5	25.3	26.1	7.9	9.5	9.9	8.7	3.6	5.5	－	7.5	2.4	
家族成長後期	194	66.0	37.6	19.1	29.9	24.7	13.9	8.2	7.7	5.7	3.6	5.2	1.0	7.7	1.5	
家族成熟期	500	70.2	47.2	30.6	12.6	21.0	10.2	10.8	9.0	7.2	6.8	5.8	0.4	8.2	1.0	
高齢期	384	68.5	48.4	32.8	5.7	13.3	8.1	10.2	6.3	7.3	5.5	4.9	1.0	11.2	5.5	
その他	338	66.0	38.2	29.9	18.9	17.8	10.1	9.2	7.7	8.0	5.3	4.4	0.6	10.1	5.3	

4 子どもの安全対策

(1) 地域の子どもが犯罪に巻き込まれる不安

◇『不安がある(計)』が55.4%

問11 あなたは、あなたの地域の子どもたちが、何らかの犯罪に巻き込まれるかもしれないという不安を感じることがありますか。



地域の子どもたちが犯罪に巻き込まれる不安に関して、感じるものが「ときどきある」(42.4%)が4割強で最も高く、「あまりない」(24.6%)がこれに次いでいる。「よくある」(13.0%)と「ときどきある」(42.4%)を合わせた『不安がある(計)』(55.4%)は、「ほとんどない」(7.1%)と「あまりない」(24.6%)を合わせた『不安がない(計)』(31.7%)を大きく上回っている。

【属性別比較】

①地域別

『不安がある（計）』は北部（50.9%）と秩父（50.0%）でやや低くなっている。＜図4-1＞

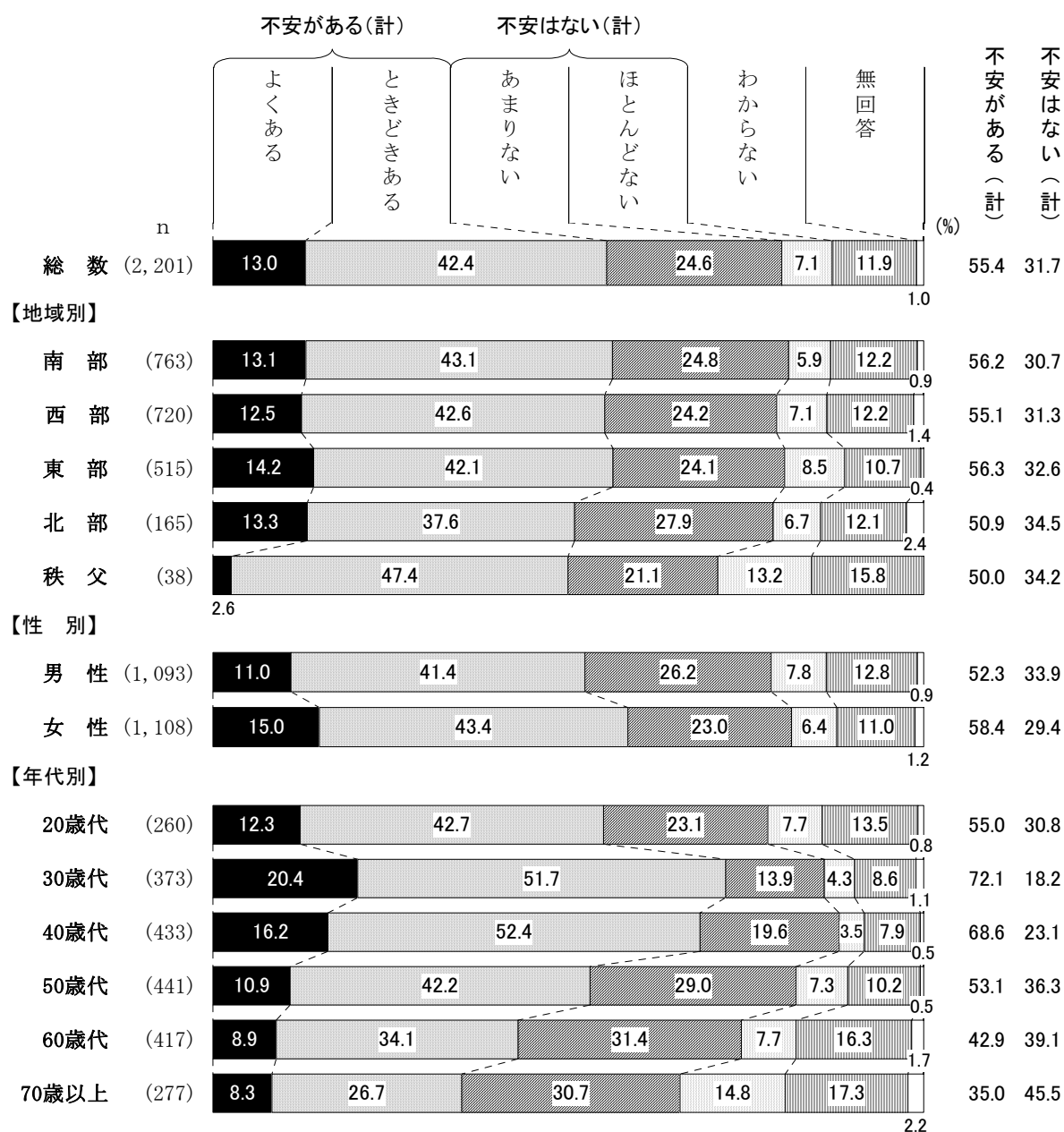
②性別

『不安がある（計）』は女性（58.4%）が男性（52.3%）を6.1ポイント上回っている。＜図4-1＞

③年代別

『不安がある（計）』は30歳代（72.1%）の7割強を最高に高年代になるほど低くなり、70歳以上（35.0%）では30歳代の半分ほどになっている。＜図4-1＞

＜図4-1＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『不安がある（計）』は南西部4市圏（63.4%）や利根北部都市圏（63.1%）で高く、入間東部都市圏（44.0%）や県央都市圏（45.6%）では低くなっている。＜表4－1＞

⑤性・年代別

『不安がある（計）』は男女ともに30歳代と40歳代が高く、70歳以上が低くなっている。＜表4－1＞

⑥職業別

『不安がある（計）』は無職（計）（49.2%）で低くなっている。＜表4－1＞

⑦ライフステージ別

『不安がある（計）』は家族成長前期（86.6%）で特に高く、それ以降のステージでは次第に低くなっている。＜表4－1＞

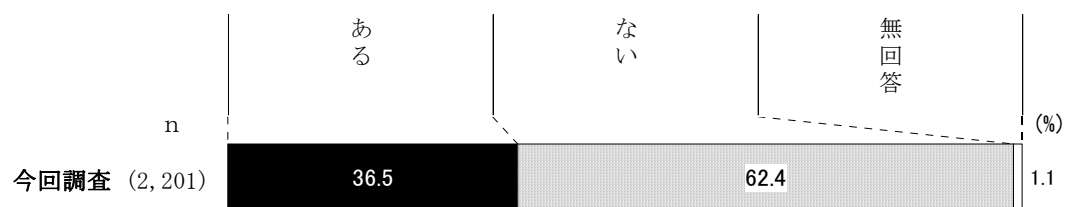
＜表4－1＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

								(%)	
	調査数	よくある	あるときどき	あまりない	なほほとんど	わからない	無回答	(計)不安がある	(計)不安はない
【総数】	2201	13.0	42.4	24.6	7.1	11.9	1.0	55.4	31.7
【都市圏別】									
(南部計)	763	13.1	43.1	24.8	5.9	12.2	0.9	56.2	30.7
中枢都市圏	458	12.7	45.4	23.8	5.2	12.2	0.7	58.1	29.0
県南5市圏	215	16.7	40.0	24.7	6.0	10.7	1.9	56.7	30.7
県央都市圏	90	6.7	38.9	30.0	8.9	15.6	－	45.6	38.9
(西部計)	720	12.5	42.6	24.2	7.1	12.2	1.4	55.1	31.3
南西部4市圏	142	14.1	49.3	21.8	4.2	8.5	2.1	63.4	26.1
入間東部都市圏	84	16.7	27.4	26.2	8.3	20.2	1.2	44.0	34.5
川越都市圏	211	9.0	44.1	22.3	8.5	14.7	1.4	53.1	30.8
所沢都市圏	213	12.7	44.1	26.3	5.6	10.3	0.9	56.8	31.9
比企都市圏	70	14.3	38.6	25.7	11.4	8.6	1.4	52.9	37.1
(東部計)	515	14.2	42.1	24.1	8.5	10.7	0.4	56.3	32.6
東部都市圏	302	13.9	41.7	25.8	6.6	11.3	0.7	55.6	32.5
利根南部都市圏	129	13.2	40.3	22.5	14.0	10.1	－	53.5	36.4
利根北部都市圏	84	16.7	46.4	20.2	7.1	9.5	－	63.1	27.4
(北部計)	165	13.3	37.6	27.9	6.7	12.1	2.4	50.9	34.5
県北都市圏	124	12.1	38.7	27.4	5.6	13.7	2.4	50.8	33.1
本庄都市圏	41	17.1	34.1	29.3	9.8	7.3	2.4	51.2	39.0
(秩父計) 秩父都市圏	38	2.6	47.4	21.1	13.2	15.8	－	50.0	34.2
【性・年代別】									
男性 20歳代	123	8.1	41.5	26.8	10.6	13.0	－	49.6	37.4
30歳代	185	18.4	45.9	17.3	7.0	9.2	2.2	64.3	24.3
40歳代	224	14.7	54.0	16.5	4.5	9.8	0.4	68.8	21.0
50歳代	221	9.5	43.0	29.0	7.2	10.9	0.5	52.5	36.2
60歳代	207	6.8	31.9	35.3	5.3	19.3	1.4	38.6	40.6
70歳以上	133	6.0	25.6	35.3	16.5	15.8	0.8	31.6	51.9
女性 20歳代	137	16.1	43.8	19.7	5.1	13.9	1.5	59.9	24.8
30歳代	188	22.3	57.4	10.6	1.6	8.0	－	79.8	12.2
40歳代	209	17.7	50.7	23.0	2.4	5.7	0.5	68.4	25.4
50歳代	220	12.3	41.4	29.1	7.3	9.5	0.5	53.6	36.4
60歳代	210	11.0	36.2	27.6	10.0	13.3	1.9	47.1	37.6
70歳以上	144	10.4	27.8	26.4	13.2	18.8	3.5	38.2	39.6
【職業別】									
自営業・家族従業（計）	278	11.9	43.9	25.2	7.9	10.4	0.7	55.8	33.1
雇用者（計）	1000	14.1	46.4	22.7	4.9	11.0	0.9	60.5	27.6
無職（計）	892	11.8	37.4	26.8	9.5	13.3	1.1	49.2	36.3
【ライフステージ別】									
独身期	303	9.6	42.6	22.8	8.3	15.8	1.0	52.1	31.0
家族形成期	229	21.0	49.8	17.0	3.5	8.3	0.4	70.7	20.5
家族成長前期	253	25.7	60.9	6.3	3.2	2.8	1.2	86.6	9.5
家族成長後期	194	17.5	49.5	24.2	4.1	4.6	－	67.0	28.4
家族成熟期	500	9.0	38.4	32.6	7.8	11.4	0.8	47.4	40.4
高齢期	384	9.9	34.6	28.6	12.8	12.8	1.3	44.5	41.4
その他	338	8.0	34.0	28.7	5.6	21.6	2.1	42.0	34.3

（２）不審者等の情報を受けた経験

◇受けたことが「ある」は36.5%

問12 あなたは、あなたの地域で起きた、子どもに声を掛ける不審者の情報や防犯情報を学校、警察、自治体から受けたことがありますか。



不審者情報や防犯情報を学校、警察、自治体から受けたことが「ある」（36.5％）人は3割台半ばである。

【属性別比較】

①地域別

受けたことが「ある」は秩父（50.0％）で半数と高い。＜図4－2＞

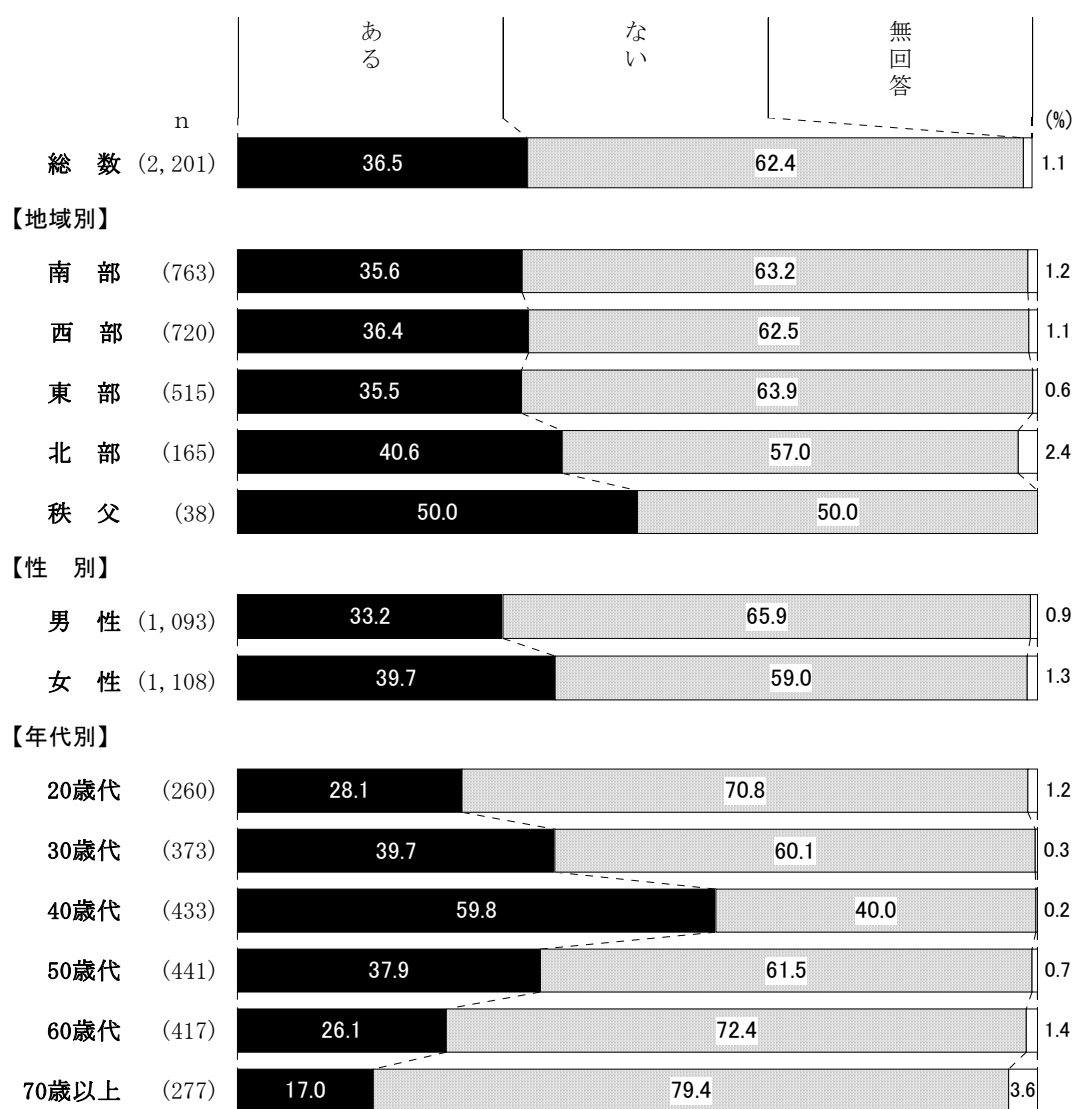
②性別

受けたことが「ある」は女性（39.7％）が男性（33.2％）よりも6.5ポイント高い。＜図4－2＞

③年代別

受けたことが「ある」は40歳代（59.8％）で6割と最も高く、それよりも低年代または高年代になるほど低くなっている。＜図4－2＞

＜図4－2＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

受けたことが「ある」は秩父都市圏（50.0%）、本庄都市圏（46.3%）、利根北部都市圏（45.2%）、比企都市圏（42.9%）で4割以上と高く、逆に入間東部都市圏（29.8%）では3割と低い。＜表4－2＞

⑤性・年代別

受けたことが「ある」は男女ともに40歳代が最も高く、70歳以上が最も低い。女性は40歳代以下が特に高く、同年代の男性との差が大きくなっている。＜表4－2＞

⑥職業別

受けたことが「ある」は無職（計）（32.1%）でやや低い。＜表4－2＞

⑦ライフステージ別

受けたことが「ある」は家族成長前期（85.4%）と家族成長後期（62.9%）で極めて高くなっている。＜表4－2＞

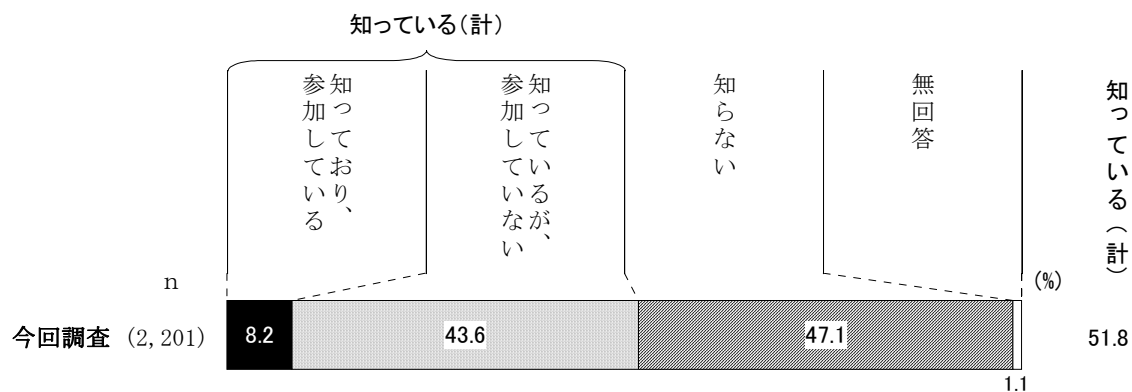
＜表4－2＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

		(%)		
	調査数	ある	ない	無回答
【総数】	2201	36.5	62.4	1.1
【都市圏別】				
（南部計）	763	35.6	63.2	1.2
中枢都市圏	458	35.6	63.3	1.1
県南5市圏	215	37.2	60.9	1.9
県央都市圏	90	32.2	67.8	-
（西部計）	720	36.4	62.5	1.1
南西部4市圏	142	39.4	59.9	0.7
入間東部都市圏	84	29.8	69.0	1.2
川越都市圏	211	35.1	63.0	1.9
所沢都市圏	213	36.2	62.9	0.9
比企都市圏	70	42.9	57.1	-
（東部計）	515	35.5	63.9	0.6
東部都市圏	302	33.1	65.9	1.0
利根南部都市圏	129	34.9	65.1	-
利根北部都市圏	84	45.2	54.8	-
（北部計）	165	40.6	57.0	2.4
県北都市圏	124	38.7	58.1	3.2
本庄都市圏	41	46.3	53.7	-
（秩父計） 秩父都市圏	38	50.0	50.0	-
【性・年代別】				
男性				
20歳代	123	21.1	78.9	-
30歳代	185	33.5	65.9	0.5
40歳代	224	52.7	46.9	0.4
50歳代	221	34.8	64.7	0.5
60歳代	207	27.1	72.0	1.0
70歳以上	133	18.0	78.2	3.8
女性				
20歳代	137	34.3	63.5	2.2
30歳代	188	45.7	54.3	-
40歳代	209	67.5	32.5	-
50歳代	220	40.9	58.2	0.9
60歳代	210	25.2	72.9	1.9
70歳以上	144	16.0	80.6	3.5
【職業別】				
自営業・家族従業（計）	278	39.2	60.1	0.7
雇用者（計）	1000	39.6	59.8	0.6
無職（計）	892	32.1	66.1	1.8
【ライフステージ別】				
独身期	303	25.7	73.3	1.0
家族形成期	229	23.6	76.0	0.4
家族成長前期	253	85.4	14.6	-
家族成長後期	194	62.9	37.1	-
家族成熟期	500	34.4	64.0	1.6
高齢期	384	25.5	72.9	1.6
その他	338	18.6	79.6	1.8

(3) 自主防犯グループの認知度

◇『知っている（計）』が51.8%

問13 あなたは、あなたのお住まいの地域で子どもの見守り活動に取り組んでいる自主防犯活動グループを知っていますか。



自主防犯活動グループに関しては、「知らない」（47.1%）が、「知っているが、参加していない」（43.6%）よりもわずかに高い。「知っているが、参加していない」（43.6%）と「知っており、参加している」（8.2%）を合わせた『知っている（計）』（51.8%）は半数を超えている。

【属性別比較】

①地域別

『知っている（計）』は東部（56.3%）と北部（55.8%）で比較的高い。＜図4－3＞

②性別

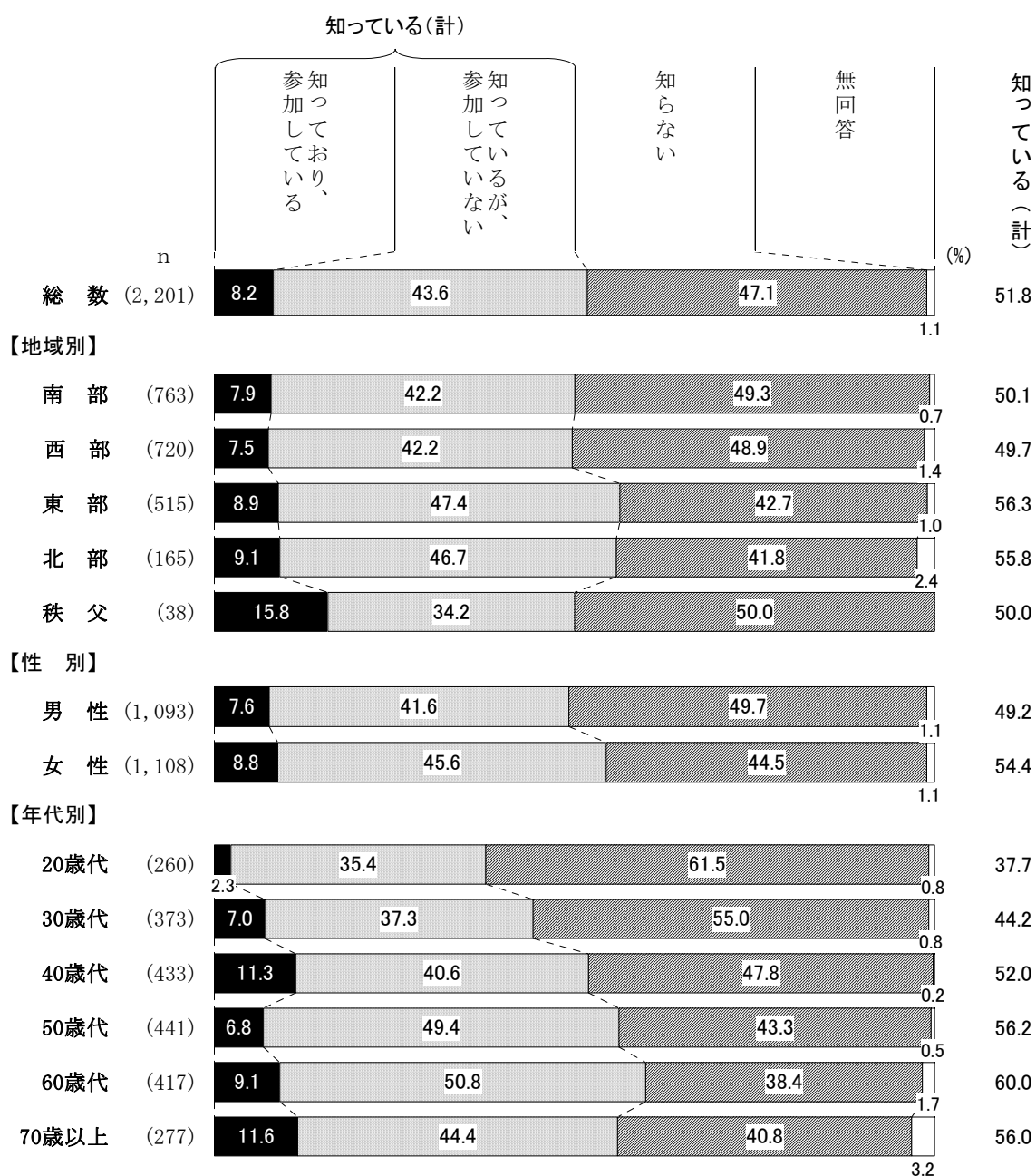
『知っている（計）』は女性（54.4%）が男性（49.2%）よりも5.2ポイント高くなっている。

＜図4－3＞

③年代別

『知っている（計）』は20歳代（37.7%）で4割弱と低いが、高年代になるほど高くなり、60歳代（60.0%）では6割と最も高くなっている。＜図4－3＞

＜図4－3＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『知っている（計）』は県央都市圏（71.1%）や利根北部都市圏（69.0%）で7割前後と高くなっている。一方、県南5市圏（42.3%）や南西部4市圏（43.0%）では4割強と低い。＜表4－3＞

⑤性・年代別

『知っている（計）』は70歳以上を除いた全ての年代で、女性の方が男性よりも高い。男性20歳代（35.0%）は特に低くなっている。＜表4－3＞

⑥職業別

『知っている（計）』は雇用者（計）（46.3%）で4割台半ばと低くなっている。＜表4－3＞

⑦ライフステージ別

『知っている（計）』は家族成長前期（71.1%）で高いが、独身期（36.0%）と家族形成期（32.8%）では低くなっている。＜表4－3＞

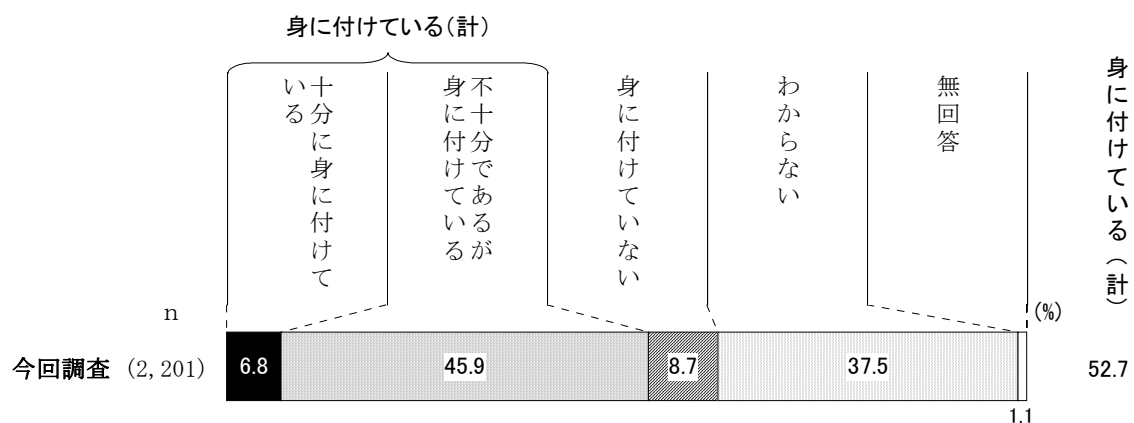
＜表4－3＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	てり知 い、つ る参 て加 おし	てが知 い、つ な参 て加 いし る	知 ら な い	無 回 答	(%) (計) 知 っ て い る
【総 数】	2201	8.2	43.6	47.1	1.1	51.8
【都市圏別】						
（南部計）	763	7.9	42.2	49.3	0.7	50.1
中枢都市圏	458	8.3	41.3	50.0	0.4	49.6
県南5市圏	215	7.0	35.3	56.3	1.4	42.3
県央都市圏	90	7.8	63.3	28.9	-	71.1
（西部計）	720	7.5	42.2	48.9	1.4	49.7
南西部4市圏	142	10.6	32.4	55.6	1.4	43.0
入間東部都市圏	84	6.0	40.5	52.4	1.2	46.4
川越都市圏	211	5.7	45.0	46.9	2.4	50.7
所沢都市圏	213	7.0	46.0	46.5	0.5	53.1
比企都市圏	70	10.0	44.3	44.3	1.4	54.3
（東部計）	515	8.9	47.4	42.7	1.0	56.3
東部都市圏	302	7.6	43.0	48.3	1.0	50.7
利根南部都市圏	129	10.9	50.4	37.2	1.6	61.2
利根北部都市圏	84	10.7	58.3	31.0	-	69.0
（北部計）	165	9.1	46.7	41.8	2.4	55.8
県北都市圏	124	10.5	44.4	42.7	2.4	54.8
本庄都市圏	41	4.9	53.7	39.0	2.4	58.5
（秩父計） 秩父都市圏	38	15.8	34.2	50.0	-	50.0
【性・年代別】						
男性						
20歳代	123	2.4	32.5	65.0	-	35.0
30歳代	185	4.9	35.1	58.4	1.6	40.0
40歳代	224	7.6	40.2	51.8	0.4	47.8
50歳代	221	7.2	44.3	48.0	0.5	51.6
60歳代	207	9.2	49.8	39.1	1.9	58.9
70歳以上	133	14.3	44.4	39.1	2.3	58.6
女性						
20歳代	137	2.2	38.0	58.4	1.5	40.1
30歳代	188	9.0	39.4	51.6	-	48.4
40歳代	209	15.3	41.1	43.5	-	56.5
50歳代	220	6.4	54.5	38.6	0.5	60.9
60歳代	210	9.0	51.9	37.6	1.4	61.0
70歳以上	144	9.0	44.4	42.4	4.2	53.5
【職業別】						
自営業・家族従業（計）	278	11.2	44.6	43.5	0.7	55.8
雇用者（計）	1000	6.3	40.0	52.8	0.9	46.3
無 職（計）	892	9.3	47.2	42.0	1.5	56.5
【ライフステージ別】						
独身期	303	2.0	34.0	63.4	0.7	36.0
家族形成期	229	0.4	32.3	66.4	0.9	32.8
家族成長前期	253	19.8	51.4	28.5	0.4	71.1
家族成長後期	194	14.4	40.2	45.4	-	54.6
家族成熟期	500	6.6	52.0	40.4	1.0	58.6
高齢期	384	12.0	53.1	33.6	1.3	65.1
その他	338	5.0	32.8	59.5	2.7	37.9

(4) 子どもが犯罪から身を守る力を身に付けているか

◇『身に付けている（計）』が52.7%

問14 あなたの地域の子どもたちは、「知らない人についていかない」など犯罪から自分の身を守る力を身に付けていると思いますか。



犯罪から自分の身を守る力について、「不十分であるが身に付けている」(45.9%) が4割台半ばでもっとも高い。これに「十分に身に付けている」(6.8%) を合わせた『身に付けている(計)』(52.7%) は半数を超える一方、「身に付けていない」(8.7%) は1割未満であり、「わからない」(37.5%) が高くなっている。

【属性別比較】

①地域別

『身に付けている（計）』は東部（56.5％）で特に高くなっている。＜図４－４＞

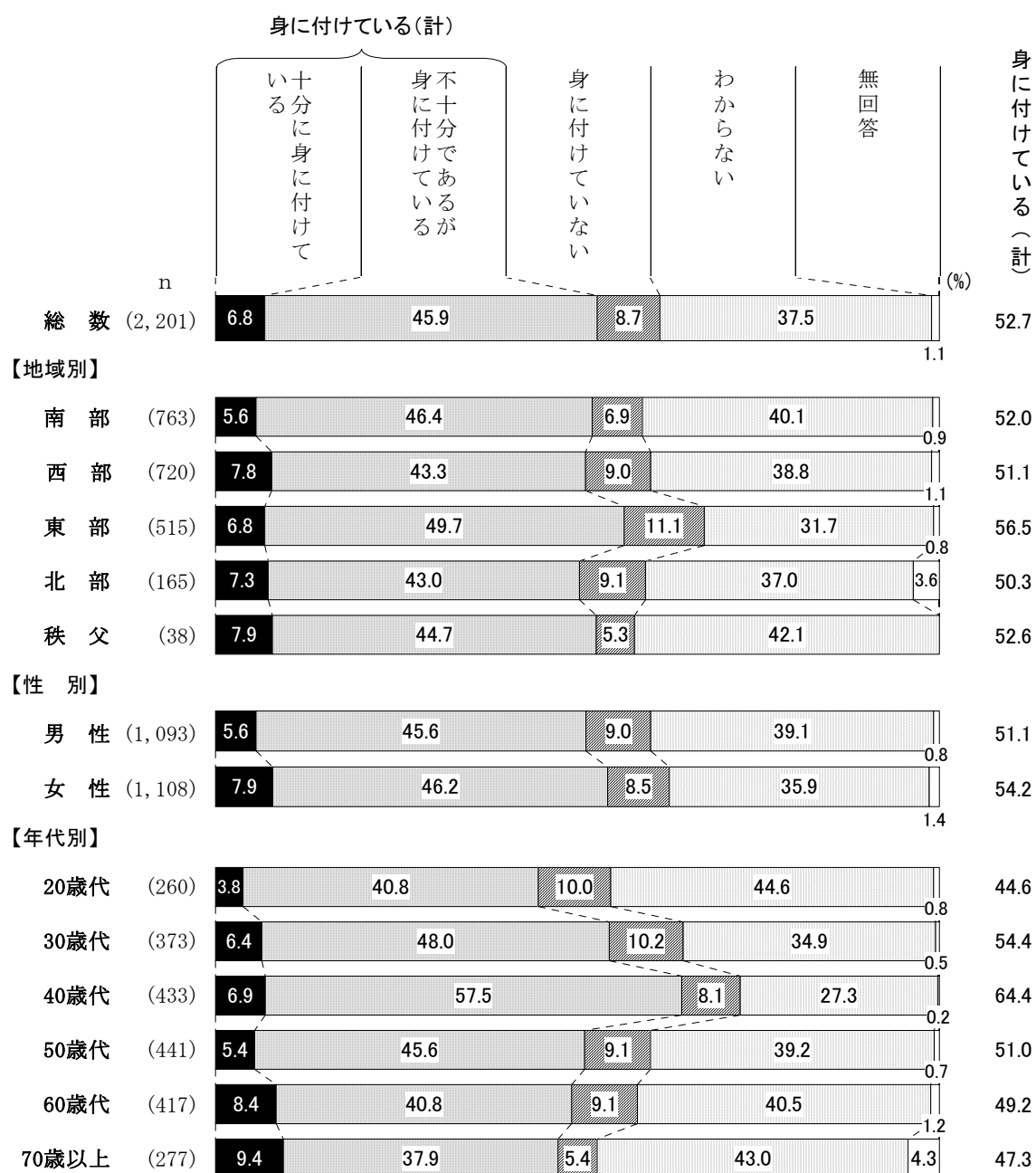
②性別

男女間で特に大きな差はない。＜図４－４＞

③年代別

『身に付けている（計）』は40歳代（64.4％）で最も高く、次いで30歳代（54.4％）が5割台半ばとなっている。＜図４－４＞

＜図４－４＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『身に付けている（計）』は利根南部都市圏（62.8％）で唯一6割を超え、南西部4市圏（59.2％）、県央都市圏（58.9％）でも6割近くと高い。一方、川越都市圏（45.5％）、県北都市圏（48.4％）、所沢都市圏（48.8％）は4割台と低くなっている。＜表4－4＞

⑤性・年代別

『身に付けている（計）』は男女とも40歳代が6割台半ばと高く、男性20歳代（39.0％）、女性70歳以上（42.4％）は4割前後で低くなっている。＜表4－4＞

⑥職業別

『身に付けている（計）』は自営業・家族従業（計）（55.8％）でわずかに高くなっている。＜表4－4＞

⑦ライフステージ別

『身に付けている（計）』は独身期（46.5％）と家族形成期（43.2％）では4割台と低いが、家族成長前期（81.0％）では極めて高くなっている。＜表4－4＞

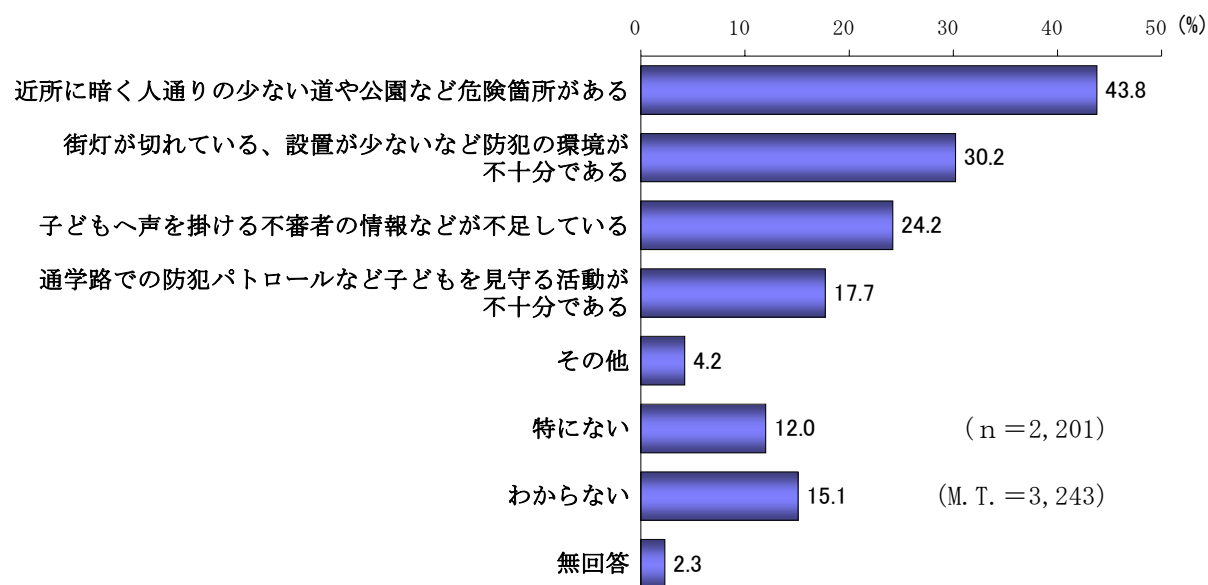
＜表４－４＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	十分に身に付けている	十分に付けているが	身に付けていない	わからない	無回答	(%) (身に付けている)
【総数】	2201	6.8	45.9	8.7	37.5	1.1	52.7
【都市圏別】							
(南部計)	763	5.6	46.4	6.9	40.1	0.9	52.0
中枢都市圏	458	5.2	45.0	6.1	43.0	0.7	50.2
県南５市圏	215	4.7	48.4	9.8	35.3	1.9	53.0
県央都市圏	90	10.0	48.9	4.4	36.7	－	58.9
(西部計)	720	7.8	43.3	9.0	38.8	1.1	51.1
南西部４市圏	142	6.3	52.8	10.6	28.9	1.4	59.2
入間東部都市圏	84	10.7	41.7	9.5	36.9	1.2	52.4
川越都市圏	211	5.7	39.8	7.6	46.0	0.9	45.5
所沢都市圏	213	7.5	41.3	11.3	38.5	1.4	48.8
比企都市圏	70	14.3	42.9	2.9	40.0	－	57.1
(東部計)	515	6.8	49.7	11.1	31.7	0.8	56.5
東部都市圏	302	5.3	48.3	12.3	32.8	1.3	53.6
利根南部都市圏	129	6.2	56.6	8.5	28.7	－	62.8
利根北部都市圏	84	13.1	44.0	10.7	32.1	－	57.1
(北部計)	165	7.3	43.0	9.1	37.0	3.6	50.3
県北都市圏	124	6.5	41.9	9.7	37.9	4.0	48.4
本庄都市圏	41	9.8	46.3	7.3	34.1	2.4	56.1
(秩父計) 秩父都市圏	38	7.9	44.7	5.3	42.1	－	52.6
【性・年代別】							
男性 20歳代	123	4.9	34.1	10.6	50.4	－	39.0
30歳代	185	5.4	46.5	8.6	38.4	1.1	51.9
40歳代	224	5.4	59.4	6.3	29.0	－	64.7
50歳代	221	4.5	43.9	11.8	39.4	0.5	48.4
60歳代	207	5.8	39.1	10.1	44.0	1.0	44.9
70歳以上	133	8.3	44.4	6.0	38.3	3.0	52.6
女性 20歳代	137	2.9	46.7	9.5	39.4	1.5	49.6
30歳代	188	7.4	49.5	11.7	31.4	－	56.9
40歳代	209	8.6	55.5	10.0	25.4	0.5	64.1
50歳代	220	6.4	47.3	6.4	39.1	0.9	53.6
60歳代	210	11.0	42.4	8.1	37.1	1.4	53.3
70歳以上	144	10.4	31.9	4.9	47.2	5.6	42.4
【職業別】							
自営業・家族従業（計）	278	6.8	48.9	8.6	34.9	0.7	55.8
雇用者（計）	1000	5.7	48.0	7.9	37.6	0.8	53.7
無職（計）	892	7.8	42.8	9.3	38.3	1.7	50.7
【ライフステージ別】							
独身期	303	5.0	41.6	9.2	43.6	0.7	46.5
家族形成期	229	3.1	40.2	7.4	48.5	0.9	43.2
家族成長前期	253	9.9	71.1	10.7	8.3	－	81.0
家族成長後期	194	7.2	55.2	9.8	27.8	－	62.4
家族成熟期	500	6.6	44.8	8.4	39.0	1.2	51.4
高齢期	384	9.1	43.5	7.0	38.5	1.8	52.6
その他	338	5.9	33.7	9.5	48.5	2.4	39.6

(5) 子どもの安全を脅かしていること

◇「近所に暗く人通りの少ない道や公園など危険箇所がある」が43.8%

問15 あなたの地域で、子どもの安全を脅かしていることは何だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



子どもの安全を脅かしていることとして、「近所に暗く人通りの少ない道や公園など危険箇所がある」(43.8%)が最も高く、以下「街灯が切れている、設置が少ないなど防犯の環境が不十分である」(30.2%)、「子どもへ声を掛ける不審者の情報などが不足している」(24.2%)と続いている。

【属性別比較】

①地域別

「近所に暗く人通りの少ない道や公園など危険箇所がある」では秩父（28.9％）が特に低い。秩父は「子どもへ声を掛ける不審者の情報などが不足している」（15.8％）や「通学路での防犯パトロールなど子どもを見守る活動が不十分である」（10.5％）でも低くなっている。「街灯が切れている、設置が少ないなど防犯の環境が不十分である」では北部（37.0％）と東部（35.7％）が3割台半ばで高い。

<表4－5>

②都市圏別

「近所に暗く人通りの少ない道や公園など危険箇所がある」では利根南部都市圏（51.2％）が唯一半数を超えて高くなっている。「街灯が切れている、設置が少ないなど防犯の環境が不十分である」では県北都市圏（39.5％）や東部都市圏（38.4％）が4割近くと高く、県南5市圏（20.5％）で低くなっている。「通学路での防犯パトロールなど子どもを見守る活動が不十分である」では利根北部都市圏（25.0％）が高く、比企都市圏（10.0％）や秩父都市圏（10.5％）が低い。<表4－5>

③市郡規模別

「近所に暗く人通りの少ない道や公園など危険箇所がある」で郡部（町村）（51.3％）がやや高くなっている。<表4－5>

<表4－5> 地域別／都市圏別／市郡規模別

(%)

	調査数	近所が暗く公園など危険箇所がある	近所が暗く公園など危険箇所がある	近所が暗く公園など危険箇所がある	近所が暗く公園など危険箇所がある	近所が暗く公園など危険箇所がある	近所が暗く公園など危険箇所がある	近所が暗く公園など危険箇所がある	近所が暗く公園など危険箇所がある
【総数】	2201	43.8	30.2	24.2	17.7	4.2	12.0	15.1	2.3
【地域別】									
南部	763	41.9	28.4	25.8	16.5	5.4	12.7	16.1	2.4
西部	720	42.8	26.8	23.5	17.5	4.0	12.6	14.9	2.8
東部	515	48.5	35.7	24.3	20.6	3.3	10.9	12.8	1.2
北部	165	46.1	37.0	21.8	16.4	3.0	9.1	16.4	3.6
秩父	38	28.9	26.3	15.8	10.5	2.6	15.8	26.3	-
【都市圏別】									
（南部計）	763	41.9	28.4	25.8	16.5	5.4	12.7	16.1	2.4
中枢都市圏	458	44.3	30.6	24.9	15.3	6.1	10.5	18.1	1.5
県南5市圏	215	37.2	20.5	28.4	20.5	5.6	15.8	12.6	4.2
県央都市圏	90	41.1	36.7	24.4	13.3	1.1	16.7	14.4	2.2
（西部計）	720	42.8	26.8	23.5	17.5	4.0	12.6	14.9	2.8
南西部4市圏	142	43.7	23.2	28.9	22.5	6.3	12.0	14.8	2.8
入間東部都市圏	84	38.1	26.2	17.9	20.2	2.4	14.3	15.5	2.4
川越都市圏	211	45.5	29.9	19.0	19.0	2.4	13.3	15.6	2.4
所沢都市圏	213	41.8	25.4	28.2	14.1	3.8	12.2	12.2	4.2
比企都市圏	70	41.4	30.0	18.6	10.0	7.1	11.4	20.0	-
（東部計）	515	48.5	35.7	24.3	20.6	3.3	10.9	12.8	1.2
東部都市圏	302	48.0	38.4	27.2	20.5	3.3	9.9	13.9	1.7
利根南部都市圏	129	51.2	28.7	18.6	17.8	3.9	13.2	11.6	0.8
利根北部都市圏	84	46.4	36.9	22.6	25.0	2.4	10.7	10.7	-
（北部計）	165	46.1	37.0	21.8	16.4	3.0	9.1	16.4	3.6
県北都市圏	124	46.0	39.5	19.4	16.1	3.2	6.5	18.5	2.4
本庄都市圏	41	46.3	29.3	29.3	17.1	2.4	17.1	9.8	7.3
（秩父計） 秩父都市圏	38	28.9	26.3	15.8	10.5	2.6	15.8	26.3	-
【市郡規模別】									
人口10万以上の市	1531	43.4	29.5	24.5	17.5	4.2	12.0	15.5	2.6
人口10万未満の市	444	41.4	32.9	24.5	19.4	4.7	13.1	14.6	1.8
郡部（町村）	226	51.3	29.6	21.7	15.5	3.5	10.6	13.7	0.9

④性別

「近所に暗く人通りの少ない道や公園など危険箇所がある」で女性（47.2%）が男性（40.4%）よりも6.8ポイント高い。＜表4－6＞

⑤年代別

「近所に暗く人通りの少ない道や公園など危険箇所がある」では40歳代以下が5割を超えて高くなっている。「街灯が切れている、設置が少ないなど防犯の環境が不十分である」は60歳代（19.9%）、「子どもへ声を掛ける不審者の情報などが不足している」は70歳以上（16.6%）でそれぞれ低くなっている。＜表4－6＞

⑥性・年代別

「近所に暗く人通りの少ない道や公園など危険箇所がある」は女性40歳代以下と男性40歳代（52.2%）で5割台と高く、男女の70歳以上および男性60歳代（29.5%）では低くなっている。「街灯が切れている、設置が少ないなど防犯の環境が不十分である」では女性20歳代（43.1%）が特に高く、男女とも60歳代以上は低くなっている。＜表4－6＞

⑦職業別

「近所に暗く人通りの少ない道や公園など危険箇所がある」は雇用者（計）（48.6%）でわずかに高くなっている。「街灯が切れている、設置が少ないなど防犯の環境が不十分である」では無職（計）（25.7%）が、「通学路での防犯パトロールなど子どもを見守る活動が不十分である」では自営業・家族従業（計）（11.9%）が低くなっている。＜表4－6＞

⑧住居形態別

「近所に暗く人通りの少ない道や公園など危険箇所がある」は持家以外（計）（49.3%）が持家（計）（42.8%）よりも高くなっている。＜表4－6＞

⑨ライフステージ別

「近所に暗く人通りの少ない道や公園など危険箇所がある」、「街灯が切れている、設置が少ないなど防犯の環境が不十分である」、「子どもへ声を掛ける不審者の情報などが不足している」、「通学路での防犯パトロールなど子どもを見守る活動が不十分である」はいずれも家族成長前期が最も高く、家族成長後期がこれに次いでいる。＜表4－6＞

＜表４－６＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

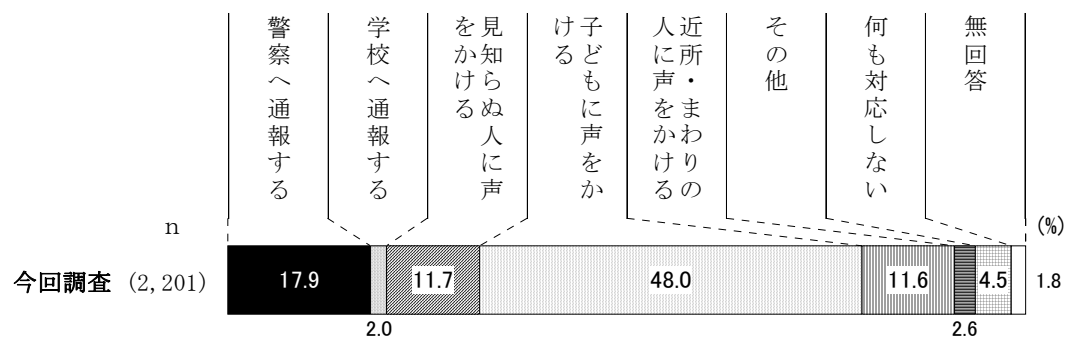
(%)

	調査数	簡便な所 がある	近所 に暗く 人通り の少ない	環境が 少ない 切れて いる	街灯が 少ない 切れて いる	子ども への情 報を掛 ける足 不	子ども の活動 が不十分 である	通学路 での防 犯を見 守る	その他	特 にない	わ か ら ない	無 回 答
【総 数】	2201	43.8	30.2	24.2	17.7	4.2	12.0	15.1	2.3			
【性別】												
男 性	1093	40.4	29.6	24.6	19.0	4.5	11.7	15.4	1.9			
女 性	1108	47.2	30.8	23.8	16.3	4.0	12.4	14.9	2.6			
【年代別】												
20歳代	260	50.4	37.7	21.5	18.5	6.9	4.6	18.1	0.4			
30歳代	373	51.2	33.0	25.5	18.8	6.7	8.6	12.3	0.8			
40歳代	433	55.0	37.0	30.9	18.2	4.4	6.2	11.3	1.2			
50歳代	441	42.4	30.6	26.5	16.6	2.5	13.2	12.5	2.0			
60歳代	417	33.6	19.9	20.4	17.5	4.1	17.0	18.9	4.6			
70歳以上	277	28.2	23.8	16.6	16.6	1.1	23.5	20.6	4.7			
【性・年代別】												
男性 20歳代	123	42.3	31.7	21.1	14.6	7.3	5.7	20.3	－			
30歳代	185	47.0	31.9	21.6	18.9	8.1	8.1	14.6	1.1			
40歳代	224	52.2	35.7	33.9	20.1	3.6	6.7	12.9	1.3			
50歳代	221	38.5	33.0	27.1	21.7	2.3	12.2	10.0	2.3			
60歳代	207	29.5	18.8	22.2	18.4	4.8	15.9	19.3	3.4			
70歳以上	133	30.1	25.6	15.8	18.0	1.5	23.3	18.8	3.0			
女性 20歳代	137	57.7	43.1	21.9	21.9	6.6	3.6	16.1	0.7			
30歳代	188	55.3	34.0	29.3	18.6	5.3	9.0	10.1	0.5			
40歳代	209	57.9	38.3	27.8	16.3	5.3	5.7	9.6	1.0			
50歳代	220	46.4	28.2	25.9	11.4	2.7	14.1	15.0	1.8			
60歳代	210	37.6	21.0	18.6	16.7	3.3	18.1	18.6	5.7			
70歳以上	144	26.4	22.2	17.4	15.3	0.7	23.6	22.2	6.3			
【職業別】												
自営業・家族従業（計）	278	43.2	30.2	25.2	11.9	4.0	13.7	14.0	2.5			
雇用者（計）	1000	48.6	34.3	25.5	18.9	4.5	8.2	14.1	1.3			
無 職（計）	892	39.0	25.7	22.4	17.8	4.0	15.7	16.7	3.1			
【住居形態別】												
持家（計）	1830	42.8	30.3	24.0	17.0	4.1	12.9	14.7	2.3			
持家（一戸建）	1610	41.7	30.6	23.6	16.4	3.9	13.3	14.9	2.4			
マンション（公団・公社）	22	45.5	27.3	18.2	18.2	－	9.1	9.1	13.6			
マンション（民間）	198	51.0	28.3	28.3	22.2	6.6	10.1	13.6	1.0			
持家以外（計）	359	49.3	28.7	24.8	20.3	5.0	7.8	17.3	1.9			
民間借家（一戸建）	58	46.6	27.6	25.9	29.3	－	10.3	22.4	－			
民間賃貸マンション・アパート	232	47.0	27.2	25.9	18.5	6.5	7.8	15.9	3.0			
公団・公社などの賃貸住宅	25	60.0	40.0	20.0	20.0	4.0	4.0	16.0	－			
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	25.0	25.0	25.0	12.5	25.0	－	50.0	－			
社宅、寮、公務員住宅など	25	80.0	36.0	28.0	20.0	－	8.0	－	－			
その他	11	36.4	27.3	－	18.2	－	9.1	36.4	－			
【ライフステージ別】												
独身期	303	46.5	37.6	20.1	18.2	6.3	5.9	19.1	0.7			
家族形成期	229	48.9	30.1	27.1	20.1	6.1	6.6	14.8	0.9			
家族成長前期	253	61.3	39.1	31.2	22.1	7.5	8.3	6.3	0.8			
家族成長後期	194	56.2	38.1	27.8	20.1	3.6	6.2	6.2	0.5			
家族成熟期	500	40.8	28.8	24.8	14.4	2.6	15.2	12.8	3.0			
高齢期	384	34.1	21.1	19.8	18.5	3.1	20.8	17.7	3.9			
その他	338	33.4	24.9	22.8	14.8	2.7	12.7	24.0	3.8			

（６）子どもが見知らぬ人に声を掛けられていた時の対応

◇「子どもに声をかける」が48.0%

問16 あなたは、地域の子どもが見知らぬ人から声を掛けられている場面に遭遇した場合、どのように対応しますか。次の中から1つだけ選んでください。



地域の子どもが見知らぬ人に声を掛けられている時、「子どもに声をかける」（48.0%）が半数近くを占め、「警察へ通報する」（17.9%）、「見知らぬ人に声をかける」（11.7%）、「近所・まわりの人に声をかける」（11.6%）が1割台で続いている。

【属性別比較】

①地域別

地域別では特に目立った差はない。＜図４－５＞

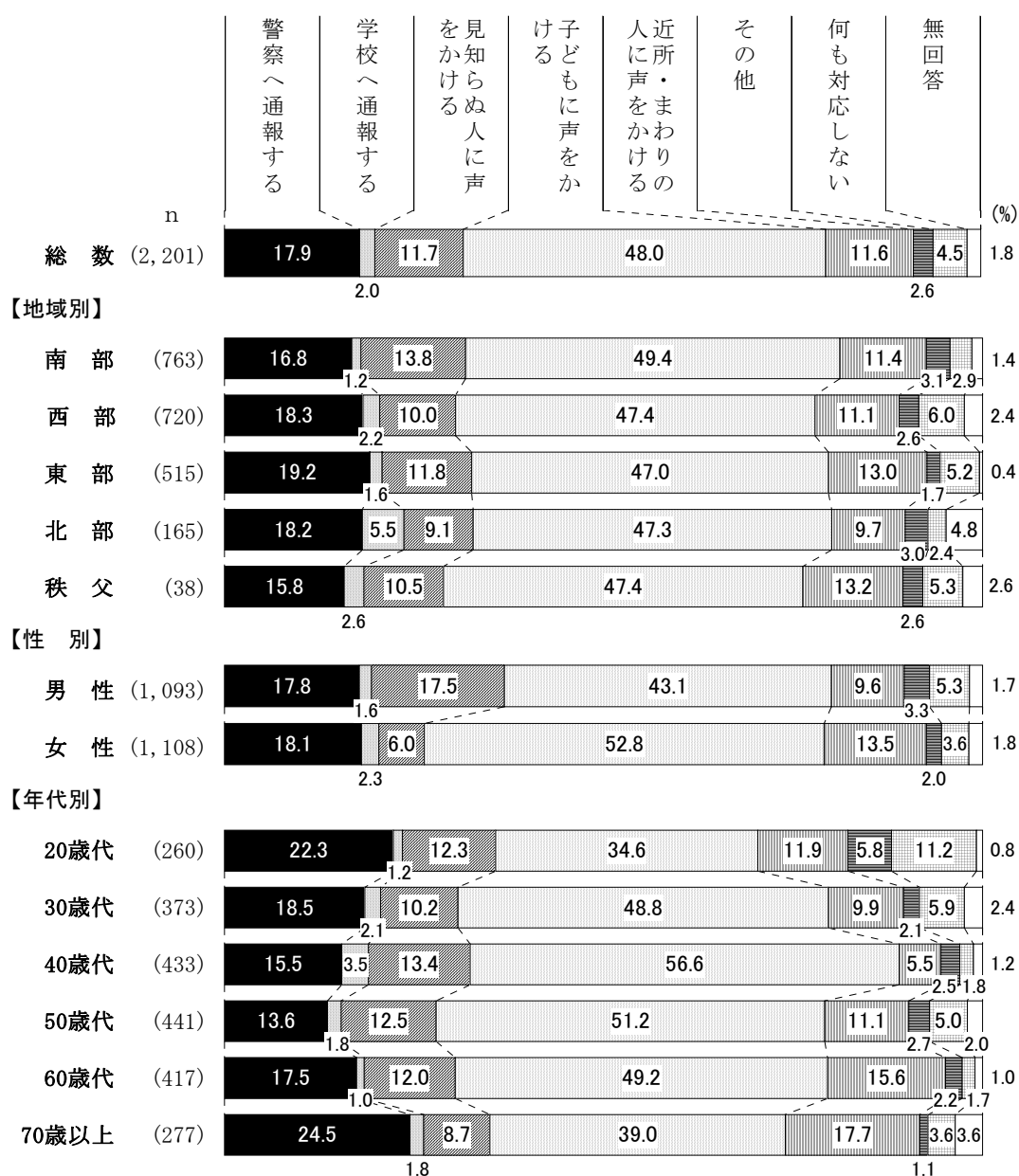
②性別

「子どもに声をかける」は女性（52.8%）が男性（43.1%）よりも9.7ポイント高く、「見知らぬ人に声をかける」は男性（17.5%）が女性（6.0%）よりも11.5ポイント高くなっている。＜図４－５＞

③年代別

「子どもに声をかける」は40歳代（56.6%）で5割台半ばと特に高く、20歳代（34.6%）や70歳以上（39.0%）では3割台となっている。「警察へ通報する」は70歳以上（24.5%）や20歳代（22.3%）が高い。＜図４－５＞

＜図４－５＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

「子どもに声をかける」は県央都市圏（58.9%）が特に高く、比企都市圏（35.7%）が低い。「警察へ通報する」では比企都市圏（22.9%）が高く、南西部4市圏（10.6%）が低い。＜表4－7＞

⑤性・年代別

「子どもに声をかける」では男性20歳代（27.6%）の低さが目立っている。「警察へ通報する」では女性70歳以上（26.4%）が高くなっている。＜表4－7＞

⑥職業別

無職（計）は「近所・まわりの人に声をかける」（14.8%）でやや高く、「見知らぬ人に声をかける」（9.2%）でやや低い。＜表4－7＞

⑦ライフステージ別

「子どもに声をかける」は家族形成期から家族成長後期にかけて5割台と高い。一方、「何も対応しない」では独身期（12.5%）が高くなっている。＜表4－7＞

＜表4－7＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

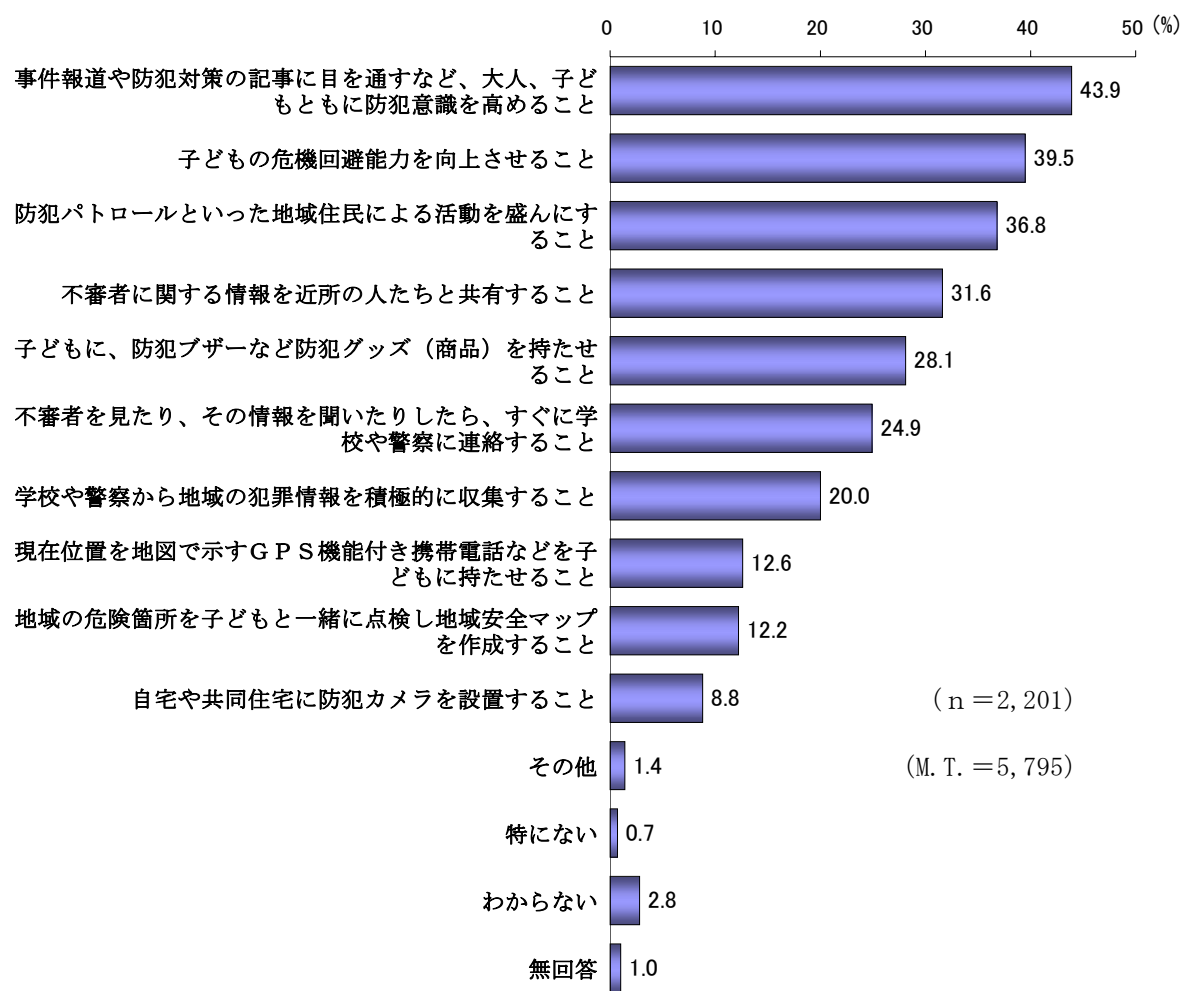
(%)

	調査数	警察へ通報する	学校へ通報する	見知らぬ人に声をかける	子どもに声をかける	近所・まわりの人に声をかける	その他	何も対応しない	無回答
【総数】	2201	17.9	2.0	11.7	48.0	11.6	2.6	4.5	1.8
【都市圏別】									
（南部計）	763	16.8	1.2	13.8	49.4	11.4	3.1	2.9	1.4
中枢都市圏	458	15.9	1.3	13.1	48.9	12.9	3.5	2.8	1.5
県南5市圏	215	18.1	0.9	17.7	46.5	9.3	2.8	3.3	1.4
県央都市圏	90	17.8	1.1	7.8	58.9	8.9	2.2	2.2	1.1
（西部計）	720	18.3	2.2	10.0	47.4	11.1	2.6	6.0	2.4
南西部4市圏	142	10.6	3.5	12.0	52.8	9.9	3.5	5.6	2.1
入間東部都市圏	84	19.0	1.2	8.3	48.8	13.1	1.2	6.0	2.4
川越都市圏	211	19.0	1.9	8.5	48.8	11.4	2.8	4.3	3.3
所沢都市圏	213	21.1	1.4	9.9	45.5	11.3	2.8	6.1	1.9
比企都市圏	70	22.9	4.3	12.9	35.7	10.0	1.4	11.4	1.4
（東部計）	515	19.2	1.6	11.8	47.0	13.0	1.7	5.2	0.4
東部都市圏	302	19.5	1.7	11.6	48.7	11.3	1.7	5.3	0.3
利根南部都市圏	129	17.8	1.6	12.4	45.7	13.2	1.6	7.0	0.8
利根北部都市圏	84	20.2	1.2	11.9	42.9	19.0	2.4	2.4	-
（北部計）	165	18.2	5.5	9.1	47.3	9.7	3.0	2.4	4.8
県北都市圏	124	18.5	6.5	8.9	46.8	8.1	3.2	2.4	5.6
本庄都市圏	41	17.1	2.4	9.8	48.8	14.6	2.4	2.4	2.4
（秩父計）	38	15.8	2.6	10.5	47.4	13.2	2.6	5.3	2.6
【性・年代別】									
男性 20歳代	123	22.8	0.8	22.0	27.6	8.1	5.7	12.2	0.8
30歳代	185	17.8	2.7	15.7	40.5	9.2	3.2	7.6	3.2
40歳代	224	15.2	2.2	21.0	50.9	4.5	2.7	1.8	1.8
50歳代	221	14.9	1.8	17.6	46.6	7.2	4.1	6.3	1.4
60歳代	207	17.9	1.0	15.0	44.0	15.5	3.9	2.4	0.5
70歳以上	133	22.6	0.8	13.5	40.6	15.0	-	4.5	3.0
女性 20歳代	137	21.9	1.5	3.6	40.9	15.3	5.8	10.2	0.7
30歳代	188	19.1	1.6	4.8	56.9	10.6	1.1	4.3	1.6
40歳代	209	15.8	4.8	5.3	62.7	6.7	2.4	1.9	0.5
50歳代	220	12.3	1.8	7.3	55.9	15.0	1.4	3.6	2.7
60歳代	210	17.1	1.0	9.0	54.3	15.7	0.5	1.0	1.4
70歳以上	144	26.4	2.8	4.2	37.5	20.1	2.1	2.8	4.2
【職業別】									
自営業・家族従業（計）	278	15.8	1.8	13.3	47.8	9.4	4.3	5.0	2.5
雇用者（計）	1000	19.5	2.0	13.7	47.4	8.8	2.7	4.4	1.5
無職（計）	892	16.9	1.9	9.2	49.0	14.8	2.0	4.5	1.7
【ライフステージ別】									
独身期	303	20.1	1.0	12.9	34.7	11.6	5.9	12.5	1.3
家族形成期	229	19.2	1.7	10.0	50.2	10.9	1.3	4.4	2.2
家族成長前期	253	16.6	2.8	11.5	59.7	5.5	2.0	0.8	1.2
家族成長後期	194	16.5	3.6	11.9	54.1	7.7	3.1	2.6	0.5
家族成熟期	500	17.8	2.0	11.6	49.4	11.6	2.2	4.0	1.4
高齢期	384	18.2	1.8	10.2	47.9	17.7	0.8	1.0	2.3
その他	338	16.9	1.5	13.6	44.1	11.8	3.6	5.6	3.0

(7) 子どもを犯罪から守るために効果的な取組

◇「事件報道や防犯対策の記事に目を通すなど、大人、子どもともに防犯意識を高めること」が43.9%

問17 あなたは、子どもを犯罪から守るために、地域や家庭の取り組みとしてどのようなものが効果があると思いますか。次の中から3つまで選んでください。



地域や家庭の効果的な取り組みとしては、「事件報道や防犯対策の記事に目を通すなど、大人、子どもともに防犯意識を高めること」（43.9%）が4割台半ばで最も高い。次いで「子どもの危機回避能力を向上させること」（39.5%）が4割、「防犯パトロールといった地域住民による活動を盛んにすること」（36.8%）が3割台半ばとなっている。

【属性別比較】

①地域別

秩父は「事件報道や防犯対策の記事に目を通すなど、大人、子どもともに防犯意識を高めること」（55.3%）と「不審者に関する情報を近所の人たちと共有すること」（39.5%）で高いが、「子どもの危機回避能力を向上させること」や「防犯パトロールといった地域住民による活動を盛んにすること」（いずれも28.9%）では低くなっている。＜表4－8＞

②都市圏別

「事件報道や防犯対策の記事に目を通すなど、大人、子どもともに防犯意識を高めること」は中枢都市圏（49.6%）や県北都市圏（49.2%）がやや高く、本庄都市圏（36.6%）や入間東部都市圏（38.1%）はやや低い。「子どもの危機回避能力を向上させること」と「防犯パトロールといった地域住民による活動を盛んにすること」では南西部4市圏と比企都市圏がともに低くなっている。「不審者に関する情報を近所の人たちと共有すること」は利根南部都市圏（41.1%）が特に高くなっている。＜表4－8＞

③市郡規模別

郡部（町村）は「事件報道や防犯対策の記事に目を通すなど、大人、子どもともに防犯意識を高めること」（48.2%）は高いが、「子どもの危機回避能力を向上させること」（28.8%）は低くなっている。＜表4－8＞

＜表４－８＞地域別／都市圏別／市郡規模別

															(%)
	調査数	事件報道や防犯対策の記事に目を通すなど、大人、子どもともに防犯意識を高めること	子どもの危機回避能力を向上させること	防犯パトロールといった地域住民による活動を盛んにすること	不審者に関する情報を近所の人たちと共有すること	子どもに、防犯ブザーなど防犯グッズ（商品）を持たせること	不審者を見たり、その情報を聞いたりしたら、すぐに学校や警察に連絡すること	学校や警察から地域の犯罪情報を積極的に収集すること	現在位置を地図で示すGPS機能付き携帯電話などを子どもに持たせること	地域の危険箇所を子どもと一緒に点検し地域安全マップを作成すること	自宅や共同住宅に防犯カメラを設置すること	その他	特になし	わからない	無回答
【総数】	2201	43.9	39.5	36.8	31.6	28.1	24.9	20.0	12.6	12.2	8.8	1.4	0.7	2.8	1.0
【地域別】															
南部	763	46.3	41.7	37.5	30.7	29.5	23.6	19.1	12.3	11.7	9.3	2.0	0.5	2.1	0.8
西部	720	41.7	37.4	35.3	30.6	25.7	26.9	23.1	11.7	12.8	7.8	1.5	0.7	2.6	1.5
東部	515	42.1	40.2	39.8	34.4	30.9	23.7	18.1	13.0	12.4	9.3	0.8	1.0	3.1	0.2
北部	165	46.1	39.4	33.3	29.7	22.4	26.1	17.0	15.2	12.7	10.3	0.6	0.6	6.1	1.8
秩父	38	55.3	28.9	28.9	39.5	31.6	21.1	18.4	18.4	7.9	2.6	－	2.6	－	－
【都市圏別】															
（南部計）	763	46.3	41.7	37.5	30.7	29.5	23.6	19.1	12.3	11.7	9.3	2.0	0.5	2.1	0.8
中核都市圏	458	49.6	42.4	35.4	30.8	30.8	26.4	20.3	10.9	12.7	8.1	2.0	0.2	1.7	0.4
県南５市圏	215	41.4	43.7	40.5	27.4	33.0	18.1	16.7	17.7	9.3	13.0	2.3	0.5	0.5	1.4
県央都市圏	90	41.1	33.3	41.1	37.8	14.4	22.2	18.9	6.7	12.2	6.7	1.1	2.2	7.8	1.1
（西部計）	720	41.7	37.4	35.3	30.6	25.7	26.9	23.1	11.7	12.8	7.8	1.5	0.7	2.6	1.5
南西部４市圏	142	40.8	32.4	31.7	34.5	32.4	30.3	26.1	13.4	10.6	4.9	2.8	1.4	0.7	1.4
入間東部都市圏	84	38.1	38.1	35.7	27.4	21.4	19.0	32.1	7.1	13.1	10.7	1.2	－	3.6	1.2
川越都市圏	211	43.6	37.0	35.5	29.4	24.2	26.5	20.9	11.4	14.2	7.1	0.5	0.5	4.3	2.8
所沢都市圏	213	41.3	42.3	39.4	29.1	23.9	27.2	18.3	11.7	13.6	9.4	1.9	0.9	1.4	0.5
比企都市圏	70	42.9	32.9	28.6	34.3	27.1	30.0	27.1	14.3	10.0	7.1	1.4	－	4.3	1.4
（東部計）	515	42.1	40.2	39.8	34.4	30.9	23.7	18.1	13.0	12.4	9.3	0.8	1.0	3.1	0.2
東部都市圏	302	40.4	43.0	39.7	32.1	32.1	24.2	17.9	10.9	14.9	9.9	1.0	1.7	3.0	－
利根南部都市圏	129	44.2	34.1	37.2	41.1	31.8	24.0	20.9	17.1	6.2	8.5	－	－	3.1	0.8
利根北部都市圏	84	45.2	39.3	44.0	32.1	25.0	21.4	14.3	14.3	13.1	8.3	1.2	－	3.6	－
（北部計）	165	46.1	39.4	33.3	29.7	22.4	26.1	17.0	15.2	12.7	10.3	0.6	0.6	6.1	1.8
県北都市圏	124	49.2	37.9	33.1	32.3	24.2	26.6	12.1	14.5	11.3	10.5	0.8	0.8	4.8	2.4
本庄都市圏	41	36.6	43.9	34.1	22.0	17.1	24.4	31.7	17.1	17.1	9.8	－	－	9.8	－
（秩父計） 秩父都市圏	38	55.3	28.9	28.9	39.5	31.6	21.1	18.4	18.4	7.9	2.6	－	2.6	－	－
【市郡規模別】															
人口10万以上の市	1531	44.3	41.7	37.2	30.0	28.2	23.8	19.3	12.1	12.7	9.5	1.6	0.9	2.4	0.9
人口10万未満の市	444	40.5	37.4	38.7	34.0	26.1	27.0	21.6	12.6	11.5	7.4	1.1	0.5	4.1	1.1
郡部（町村）	226	48.2	28.8	31.0	37.2	31.0	27.9	21.2	15.5	10.2	6.6	0.4	－	3.1	0.9

④性別

「子どもの危機回避能力を向上させること」で男性（41.5%）が女性（37.5%）よりも4.0ポイント、「不審者に関する情報を近所の人たちと共有すること」でも女性（33.8%）が男性（29.4%）よりも4.4ポイントとやや高くなっている。〈表4－9〉

⑤年代別

「事件報道や防犯対策の記事に目を通すなど、大人、子どもともに防犯意識を高めること」は40歳代（48.0%）がやや高く、逆に20歳代（38.8%）は4割未満と低くなっている。「子どもの危機回避能力を向上させること」と「不審者に関する情報を近所の人たちと共有すること」では70歳以上が最も低い。〈表4－9〉

⑥性・年代別

「事件報道や防犯対策の記事に目を通すなど、大人、子どもともに防犯意識を高めること」は男性の20歳代（37.4%）や70歳以上（37.6%）でやや低いが、女性はすべての年代が4割台となっている。

「子どもの危機回避能力を向上させること」は男性40歳代（47.3%）や女性30歳代（45.7%）でやや高い。「子どもに、防犯ブザーなど防犯グッズ（商品）を持たせること」は女性20歳代（37.2%）で高くなっている。〈表4－9〉

⑦職業別

「子どもの危機回避能力を向上させること」は雇用者（計）（41.7%）でやや高くなっている。〈表4－9〉

⑧住居形態別

「事件報道や防犯対策の記事に目を通すなど、大人、子どもともに防犯意識を高めること」は民間賃貸マンション・アパート（37.1%）やマンション（民間）（37.9%）でやや低い。「子どもの危機回避能力を向上させること」や「子どもに、防犯ブザーなど防犯グッズ（商品）を持たせること」ではマンション（民間）が高くなっている。〈表4－9〉

⑨ライフステージ別

「事件報道や防犯対策の記事に目を通すなど、大人、子どもともに防犯意識を高めること」と「子どもの危機回避能力を向上させること」で家族成長後期が最も高い。「不審者に関する情報を近所の人たちと共有すること」、「子どもに、防犯ブザーなど防犯グッズ（商品）を持たせること」、「現在位置を地図で示すGPS機能付き携帯電話などを子どもに持たせること」では家族形成期が最も高くなっている。〈表4－9〉

＜表４－９＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

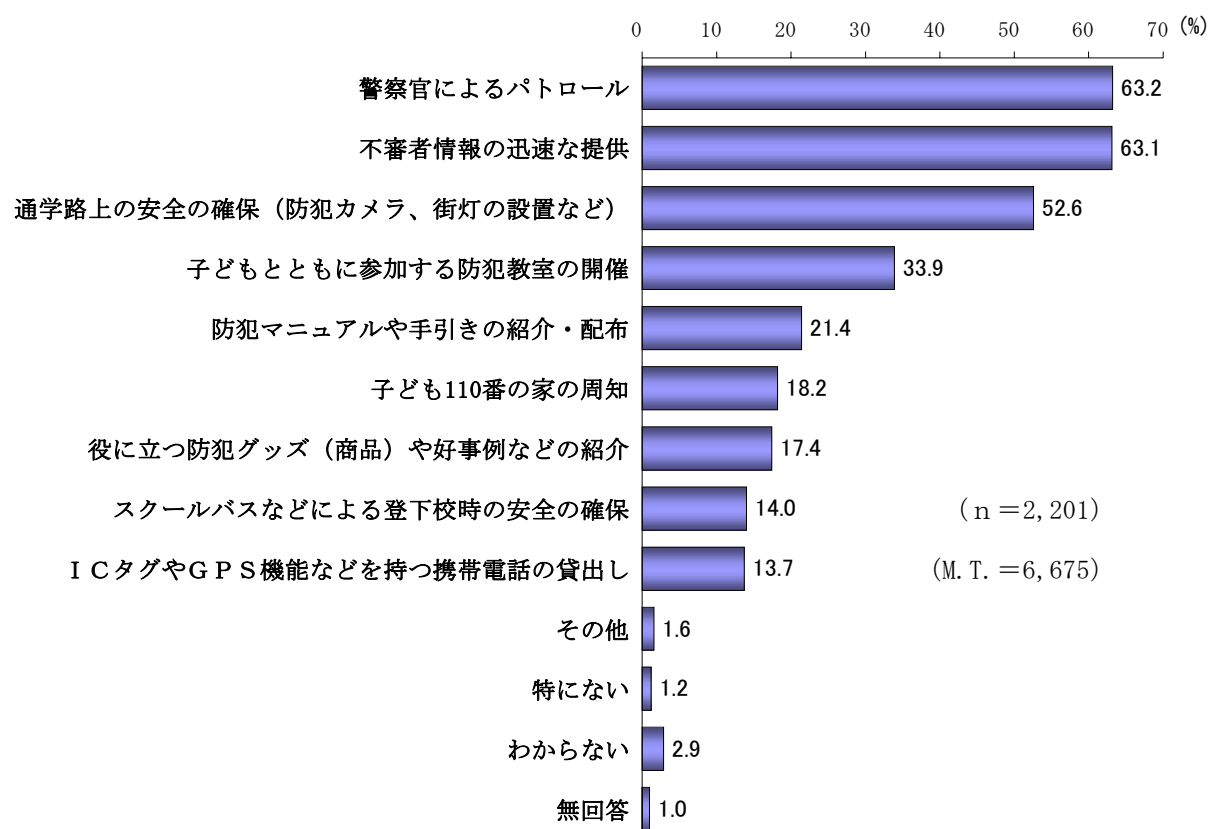
(%)

	調査数	大人、事件報道や子どもとも防犯意識を高めること	子どもの危機回避能力を向上させること	防犯パトロールといった地域住民による活動を盛んにすること	不審者に関する情報を近所の人たちと共有すること	子どもに、防犯ブザーなど防犯グッズ（商品）を持たせること	不審者を見たり、その情報を聞いたたりしたら、すぐに学校や警察に連絡すること	学校や警察から地域の犯罪情報を積極的に収集すること	現在位置を地図で示すGPS機能付き携帯電話などを子どもに持たせること	地域の危険箇所を子どもと一緒に点検し地域安全マップを作成すること	自宅や共同住宅に防犯カメラを設置すること	その他	特にな	わからない	無回答
【総 数】	2201	43.9	39.5	36.8	31.6	28.1	24.9	20.0	12.6	12.2	8.8	1.4	0.7	2.8	1.0
【性別】															
男 性	1093	42.8	41.5	36.1	29.4	28.0	24.0	19.4	12.4	12.7	8.9	1.6	0.7	2.8	0.8
女 性	1108	45.0	37.5	37.5	33.8	28.2	25.7	20.6	12.7	11.7	8.7	1.2	0.7	2.7	1.1
【年代別】															
20歳代	260	38.8	40.0	41.5	27.3	33.8	21.2	20.8	17.3	9.6	8.8	1.9	-	2.7	0.8
30歳代	373	40.8	44.2	36.5	32.4	30.0	24.4	20.1	16.6	8.8	8.3	1.3	0.3	1.9	1.3
40歳代	433	48.0	43.2	33.0	32.8	24.2	28.4	21.9	12.7	10.4	11.8	2.1	0.2	2.1	0.2
50歳代	441	43.1	41.5	38.8	35.8	27.0	22.4	21.5	11.1	14.7	8.6	2.3	0.7	1.6	1.1
60歳代	417	47.7	35.0	38.8	32.4	26.9	24.7	16.3	8.4	17.3	8.2	0.5	1.2	2.2	1.0
70歳以上	277	42.2	30.7	32.9	24.5	29.6	27.4	19.1	11.2	10.5	5.8	-	2.2	7.9	1.4
【性・年代別】															
男性 20歳代	123	37.4	39.8	40.7	21.1	30.1	23.6	20.3	13.8	11.4	9.8	2.4	-	3.3	0.8
30歳代	185	38.9	42.7	37.8	31.9	30.3	25.9	17.3	17.8	7.6	7.6	1.1	0.5	2.7	2.2
40歳代	224	47.8	47.3	33.0	29.0	27.2	26.8	18.3	12.5	10.3	13.4	2.2	-	2.7	-
50歳代	221	43.4	44.3	34.4	33.9	28.1	20.8	23.1	11.3	14.9	9.5	2.7	0.5	1.4	0.5
60歳代	207	46.9	39.1	36.2	30.0	24.6	21.3	17.9	8.2	17.9	6.3	1.0	1.0	2.4	0.5
70歳以上	133	37.6	30.8	37.6	25.6	29.3	26.3	19.5	12.0	13.5	5.3	-	3.0	6.0	1.5
女性 20歳代	137	40.1	40.1	42.3	32.8	37.2	19.0	21.2	20.4	8.0	8.0	1.5	-	2.2	0.7
30歳代	188	42.6	45.7	35.1	33.0	29.8	22.9	22.9	15.4	10.1	9.0	1.6	-	1.1	0.5
40歳代	209	48.3	38.8	33.0	36.8	21.1	30.1	25.8	12.9	10.5	10.0	1.9	0.5	1.4	0.5
50歳代	220	42.7	38.6	43.2	37.7	25.9	24.1	20.0	10.9	14.5	7.7	1.8	0.9	1.8	1.8
60歳代	210	48.6	31.0	41.4	34.8	29.0	28.1	14.8	8.6	16.7	10.0	-	1.4	1.9	1.4
70歳以上	144	46.5	30.6	28.5	23.6	29.9	28.5	18.8	10.4	7.6	6.3	-	1.4	9.7	1.4
【職業別】															
自営業・家族従業（計）	278	42.1	39.6	33.5	31.3	25.9	24.1	20.5	11.5	12.6	7.6	1.1	0.7	2.9	1.8
雇用者（計）	1000	44.6	41.7	38.0	32.1	28.0	23.0	20.5	13.4	11.6	9.1	2.1	0.6	1.9	0.6
無 職（計）	892	43.8	37.7	37.1	31.3	28.7	26.9	19.3	11.7	12.4	9.1	0.8	0.9	3.7	0.9
【住居形態別】															
持家（計）	1830	44.9	39.7	37.3	32.1	27.9	24.8	19.8	12.3	12.3	8.0	1.4	0.6	2.8	0.8
持家（一戸建）	1610	45.8	38.4	37.6	32.2	27.1	25.0	19.2	11.9	12.2	7.6	1.1	0.7	3.1	0.8
マンション（公団・公社）	22	40.9	40.9	18.2	45.5	18.2	18.2	36.4	27.3	13.6	4.5	-	-	-	4.5
マンション（民間）	198	37.9	50.5	37.4	29.3	35.4	23.7	23.2	14.6	12.6	11.6	4.0	-	1.0	-
持家以外（計）	359	39.6	38.7	34.0	29.5	29.2	25.1	21.2	14.2	11.7	12.8	1.4	1.4	2.2	1.7
民間借家（一戸建）	58	39.7	34.5	41.4	31.0	24.1	29.3	22.4	15.5	10.3	3.4	-	1.7	1.7	1.7
民間賃貸マンション・アパート	232	37.1	39.2	32.8	28.4	30.2	23.7	22.8	15.5	9.9	14.7	2.2	1.3	2.2	1.7
公団・公社などの賃貸住宅	25	48.0	56.0	40.0	20.0	20.0	28.0	12.0	8.0	24.0	12.0	-	4.0	-	-
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	12.5	25.0	-	-	25.0	37.5	37.5	-	25.0	25.0	-	-	25.0	12.5
社宅、寮、公務員住宅など	25	68.0	32.0	36.0	52.0	40.0	20.0	16.0	4.0	4.0	4.0	-	-	-	-
その他	11	27.3	36.4	27.3	36.4	36.4	27.3	-	27.3	36.4	36.4	-	-	-	-
【ライフステージ別】															
独身期	303	39.6	43.6	41.3	27.4	30.7	22.1	21.5	15.2	8.3	8.3	2.0	-	3.6	0.7
家族形成期	229	41.9	42.4	34.1	36.7	34.5	17.9	18.3	21.8	10.9	11.4	2.2	-	0.4	0.4
家族成長前期	253	44.7	43.9	38.7	32.0	23.3	32.0	21.7	12.3	9.9	8.7	1.6	0.4	0.4	1.6
家族成長後期	194	49.0	45.4	35.6	26.3	23.7	26.3	24.2	11.9	9.8	10.3	0.5	0.5	1.0	0.5
家族成熟期	500	45.2	36.6	38.8	35.6	26.6	23.6	21.6	10.4	15.0	8.6	1.8	1.2	1.8	1.0
高齢期	384	45.3	33.6	38.0	26.6	31.0	27.3	18.5	10.2	14.1	7.3	-	1.3	4.7	1.0
その他	338	42.3	38.5	29.9	34.3	26.3	24.9	15.4	10.7	13.6	8.6	1.8	0.9	5.6	1.2

（８）子どもの安全のために行政に取り組んでほしいこと

◇「警察官によるパトロール」が63.2%、「不審者情報の迅速な提供」が63.1%

問18 あなたが、子どもの安全のために、行政に取り組んでもらいたいと思うことは何ですか。
あてはまるものをすべて選んでください。



子どもの安全のために、行政に取り組んでもらいたいことは、「警察官によるパトロール」（63.2%）と「不審者情報の迅速な提供」（63.1%）が6割強、「通学路上の安全の確保（防犯カメラ、街灯の設置など）」（52.6%）が5割強で、この3つに回答が集中している。

【属性別比較】

①地域別

「防犯マニュアルや手引きの紹介・配布」で北部（13.9%）が低くなっている。秩父は「スクールバスなどによる登下校時の安全の確保」（23.7%）で高く、「通学路上の安全の確保（防犯カメラ、街灯の設置など）」（39.5%）で低い。＜表4－10＞

②都市圏別

「警察官によるパトロール」は本庄都市圏（53.7%）や県央都市圏（55.6%）で低く、「不審者情報の迅速な提供」は県央都市圏（50.0%）で低くなっている。「子どもとともに参加する防犯教室の開催」は入間東部都市圏（21.4%）で、「防犯マニュアルや手引きの紹介・配布」は本庄都市圏（12.2%）や県北都市圏（14.5%）で低い。一方、「子ども110番の家の周知」では利根北部都市圏（28.6%）、「スクールバスなどによる登下校時の安全の確保」では秩父都市圏（23.7%）や比企都市圏（22.9%）がそれぞれ高くなっている。＜表4－10＞

③市郡規模別

「子ども110番の家の周知」で人口10万人未満の市（21.8%）がやや高くなっている。＜表4－10＞

＜表4－10＞地域別／都市圏別／市郡規模別

	調査数	警察官によるパトロール	不審者情報の迅速な提供	カメラ、街灯の設置など（通学路上の安全の確保）	子どもとともに参加する防犯教室の開催	子ども110番の家の周知	防犯マニュアルや手引きの紹介・配布	子ども110番の家の周知	役・事例などの紹介（商品）	校時の安全の確保	スクールバスなどによる登下校時の安全の確保	ICタグやGPS機能などを携帯電話の貸出し	その他	特になし	わからない	無回答
【総数】	2201	63.2	63.1	52.6	33.9	21.4	18.2	17.4	14.0	13.7	1.6	1.2	2.9	1.0		
【地域別】																
南部	763	64.9	63.8	54.4	35.5	21.8	16.1	16.6	11.0	15.5	1.8	1.0	2.2	1.2		
西部	720	61.5	61.3	51.4	29.9	21.7	17.1	17.6	14.2	11.9	1.8	1.0	2.9	1.0		
東部	515	64.1	65.2	51.3	36.5	22.7	21.7	18.8	16.9	13.0	1.6	1.7	2.9	0.2		
北部	165	60.0	61.2	57.0	35.2	13.9	21.2	14.5	15.8	16.4	-	1.2	6.1	2.4		
秩父	38	65.8	63.2	39.5	36.8	26.3	21.1	21.1	23.7	10.5	-	-	-	-		
【都市圏別】																
（南部計）	763	64.9	63.8	54.4	35.5	21.8	16.1	16.6	11.0	15.5	1.8	1.0	2.2	1.2		
中枢都市圏	458	66.4	68.1	57.0	36.2	24.7	18.3	19.4	11.6	15.1	2.0	-	1.7	0.7		
県南5市圏	215	65.6	60.5	51.6	34.4	16.7	13.0	12.6	10.7	18.1	2.3	2.3	1.4	2.8		
県央都市圏	90	55.6	50.0	47.8	34.4	18.9	12.2	12.2	8.9	11.1	-	3.3	6.7	-		
（西部計）	720	61.5	61.3	51.4	29.9	21.7	17.1	17.6	14.2	11.9	1.8	1.0	2.9	1.0		
南西部4市圏	142	58.5	66.2	58.5	31.7	22.5	23.9	20.4	9.2	12.7	3.5	1.4	0.7	1.4		
入間東部都市圏	84	66.7	57.1	57.1	21.4	17.9	13.1	13.1	15.5	8.3	-	-	2.4	1.2		
川越都市圏	211	67.8	61.1	46.0	26.1	20.4	13.7	17.1	15.2	9.5	1.9	-	4.7	1.9		
所沢都市圏	213	56.3	58.7	52.1	34.7	23.9	18.3	16.9	13.1	13.6	1.9	1.9	2.3	-		
比企都市圏	70	58.6	64.3	44.3	32.9	21.4	14.3	21.4	22.9	17.1	-	1.4	4.3	-		
（東部計）	515	64.1	65.2	51.3	36.5	22.7	21.7	18.8	16.9	13.0	1.6	1.7	2.9	0.2		
東部都市圏	302	64.2	67.2	48.7	37.4	24.8	22.8	22.5	16.6	12.6	1.3	2.3	3.0	-		
利根南部都市圏	129	62.8	62.0	53.5	36.4	22.5	14.7	13.2	15.5	14.0	3.1	1.6	2.3	0.8		
利根北部都市圏	84	65.5	63.1	57.1	33.3	15.5	28.6	14.3	20.2	13.1	-	-	3.6	-		
（北部計）	165	60.0	61.2	57.0	35.2	13.9	21.2	14.5	15.8	16.4	-	1.2	6.1	2.4		
県北都市圏	124	62.1	59.7	59.7	35.5	14.5	22.6	13.7	16.1	12.9	-	0.8	5.6	3.2		
本庄都市圏	41	53.7	65.9	48.8	34.1	12.2	17.1	17.1	14.6	26.8	-	2.4	7.3	-		
（秩父計） 秩父都市圏	38	65.8	63.2	39.5	36.8	26.3	21.1	21.1	23.7	10.5	-	-	-	-		
【市郡規模別】																
人口10万以上の市	1531	63.2	63.2	53.6	34.0	21.2	17.3	17.9	12.9	12.9	1.5	1.4	2.5	1.1		
人口10万未満の市	444	63.1	62.2	51.6	33.8	21.8	21.8	16.4	16.7	15.5	1.8	0.7	4.1	0.7		
郡部（町村）	226	63.7	64.6	48.2	33.6	22.6	17.3	15.9	16.4	15.5	1.8	0.4	3.1	0.4		

④性別

「警察官によるパトロール」や「子どもとともに参加する防犯教室の開催」で、女性が男性よりもやや高くなっている。〈表4-11〉

⑤年代別

「不審者情報の迅速な提供」は40歳代（70.2%）が最も高い。「通学路上の安全の確保（防犯カメラ、街灯の設置など）」は30歳代から50歳代の間で高く、「スクールバスなどによる登下校時の安全の確保」と「ＩＣタグやＧＰＳ機能などを持つ携帯電話の貸出し」では30歳代が高くなっている。〈表4-11〉

⑥性・年代別

「不審者情報の迅速な提供」と「通学路上の安全の確保（防犯カメラ、街灯の設置など）」は女性40歳代が最も高くなっている。「子ども110番の家の周知」は女性20歳代（29.2%）が、「スクールバスなどによる登下校時の安全の確保」は男性30歳代（22.7%）がそれぞれ高い。また、「ＩＣタグやＧＰＳ機能などを持つ携帯電話の貸出し」は男女の30歳代と男性40歳代（21.9%）でやや高くなっている。〈表4-11〉

⑦職業別

「役に立つ防犯グッズ（商品）や好事例などの紹介」で自営業・家族従業（計）（12.9%）がやや低い。〈表4-11〉

⑧住居形態別

「不審者情報の迅速な提供」で民間借家（一戸建）（53.4%）がやや低い。「スクールバスなどによる登下校時の安全の確保」は持家以外（計）（20.9%）が持家（計）（12.7%）よりも8.2ポイント高くなっている。〈表4-11〉

⑨ライフステージ別

「通学路上の安全の確保（防犯カメラ、街灯の設置など）」では家族形成期（62.4%）と家族成長前期（65.6%）が高く、「スクールバスなどによる登下校時の安全の確保」と「ＩＣタグやＧＰＳ機能などを持つ携帯電話の貸出し」ではいずれも家族形成期が高くなっている。〈表4-11〉

＜表 4－11＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

(%)

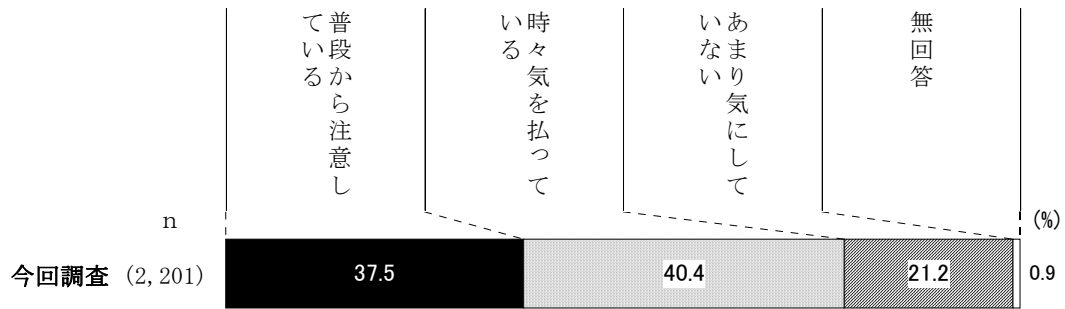
	調査数	警察官によるパトロール	不審者情報の迅速な提供	カメラ、街灯の設置など	通学路上の安全の確保（防犯教室の開催）	子どもとともに参加する防犯介・配布	防犯マニュアルや手引きの紹介	子ども110番の家の周知	役・立防犯グッズ（商品）	校時の安全の確保	スクールバスなどによる登下	ICタグやGPS機能などを 持つ携帯電話の貸出し	その他	特にな	わからない	無回答
【総 数】	2201	63.2	63.1	52.6	33.9	21.4	18.2	17.4	14.0	13.7	1.6	1.2	2.9	1.0		
【性別】																
男 性	1093	61.3	61.7	51.1	32.0	21.5	16.5	16.8	13.4	14.5	1.9	1.4	3.0	0.7		
女 性	1108	65.2	64.5	54.1	35.7	21.4	19.9	18.0	14.5	12.9	1.3	1.0	2.7	1.2		
【年代別】																
20歳代	260	60.8	59.6	48.1	27.3	21.9	22.3	15.8	16.9	17.3	2.7	1.5	3.5	0.8		
30歳代	373	67.6	63.0	57.9	36.7	20.1	17.2	18.0	21.2	23.6	1.1	0.3	2.7	0.8		
40歳代	433	67.7	70.2	60.3	31.6	22.4	16.4	15.7	14.5	19.4	2.1	0.5	1.2	0.2		
50歳代	441	62.1	64.2	54.4	37.4	22.2	17.7	17.0	10.9	10.2	0.9	0.5	1.8	0.7		
60歳代	417	61.9	60.4	47.0	37.9	20.4	18.9	18.9	10.8	5.5	2.6	1.4	2.4	1.0		
70歳以上	277	56.7	57.8	43.3	28.2	21.7	18.4	19.1	10.5	6.1	-	4.0	7.6	2.9		
【性・年代別】																
男性 20歳代	123	58.5	57.7	43.1	22.8	21.1	14.6	14.6	14.6	17.1	2.4	3.3	3.3	-		
30歳代	185	67.6	63.2	58.4	32.4	18.4	14.1	17.3	22.7	23.8	1.1	-	3.2	1.1		
40歳代	224	67.9	65.2	59.4	32.1	17.9	17.9	14.3	15.6	21.9	1.8	0.9	1.3	-		
50歳代	221	56.1	66.1	51.6	33.5	24.9	18.1	17.2	10.9	12.7	1.8	0.5	2.7	0.5		
60歳代	207	58.9	58.9	43.0	38.2	21.3	15.0	15.9	6.8	4.3	3.9	1.0	2.9	0.5		
70歳以上	133	56.4	54.1	46.6	27.8	27.1	18.8	23.3	10.5	6.0	-	4.5	6.0	3.0		
女性 20歳代	137	62.8	61.3	52.6	31.4	22.6	29.2	16.8	19.0	17.5	2.9	-	3.6	1.5		
30歳代	188	67.6	62.8	57.4	41.0	21.8	20.2	18.6	19.7	23.4	1.1	0.5	2.1	0.5		
40歳代	209	67.5	75.6	61.2	31.1	27.3	14.8	17.2	13.4	16.7	2.4	-	1.0	0.5		
50歳代	220	68.2	62.3	57.3	41.4	19.5	17.3	16.8	10.9	7.7	-	0.5	0.9	0.9		
60歳代	210	64.8	61.9	51.0	37.6	19.5	22.9	21.9	14.8	6.7	1.4	1.9	1.9	1.4		
70歳以上	144	56.9	61.1	40.3	28.5	16.7	18.1	15.3	10.4	6.3	-	3.5	9.0	2.8		
【職業別】																
自営業・家族従業（計）	278	64.0	62.6	51.8	30.2	17.6	15.1	12.9	10.8	13.7	2.5	1.4	3.2	1.4		
雇用者（計）	1000	64.0	64.1	54.3	34.0	22.5	18.1	18.1	15.1	16.3	1.7	1.1	2.1	0.2		
無 職（計）	892	62.2	62.8	51.2	35.2	21.6	19.5	17.9	13.9	10.7	1.2	1.2	3.6	1.2		
【住居形態別】																
持家（計）	1830	63.3	62.6	52.5	33.8	21.1	17.7	17.2	12.7	13.0	1.7	1.1	2.9	0.8		
持家（一戸建）	1610	63.7	61.7	51.4	33.5	20.9	17.5	17.1	12.8	12.7	1.5	1.2	3.1	0.9		
マンション（公団・公社）	22	63.6	63.6	59.1	22.7	31.8	27.3	9.1	22.7	18.2	-	-	-	-		
マンション（民間）	198	60.6	70.2	60.6	36.9	21.7	18.7	18.7	10.6	15.2	4.0	0.5	1.5	-		
持家以外（計）	359	63.0	65.7	53.8	34.3	23.4	20.3	18.7	20.9	16.7	0.8	1.1	2.5	1.4		
民間借家（一戸建）	58	56.9	53.4	50.0	34.5	19.0	20.7	22.4	19.0	15.5	-	1.7	3.4	1.7		
民間賃貸マンション・アパート	232	65.5	66.4	55.2	33.2	23.7	18.5	16.8	21.6	19.0	1.3	0.9	2.2	1.7		
公団・公社などの賃貸住宅	25	72.0	72.0	36.0	44.0	24.0	36.0	20.0	24.0	12.0	-	4.0	-	-		
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	50.0	50.0	62.5	25.0	25.0	25.0	25.0	-	12.5	-	-	25.0	-		
社宅、寮、公務員住宅など	25	64.0	80.0	56.0	32.0	36.0	24.0	20.0	24.0	8.0	-	-	-	-		
その他	11	27.3	81.8	72.7	45.5	9.1	9.1	27.3	18.2	9.1	-	-	-	-		
【ライフステージ別】																
独身期	303	61.1	59.1	45.5	29.7	24.4	20.5	15.5	14.2	15.2	1.7	1.7	4.6	0.3		
家族形成期	229	68.6	64.6	62.4	34.9	17.5	17.5	20.5	31.0	26.2	2.6	-	0.9	0.9		
家族成長前期	253	70.4	68.4	65.6	37.2	17.0	16.2	16.2	17.8	24.9	1.2	0.4	0.8	1.2		
家族成長後期	194	67.5	68.6	58.2	29.9	18.0	13.4	11.9	11.3	14.9	2.1	-	0.5	0.5		
家族成熟期	500	61.4	63.6	51.0	38.0	24.8	18.2	18.2	8.4	6.8	2.0	0.8	2.0	0.6		
高齢期	384	62.0	60.7	47.1	35.4	20.8	20.6	20.8	11.7	7.0	1.3	2.3	4.4	1.3		
その他	338	58.0	60.7	47.9	29.0	22.5	18.3	16.0	11.8	12.7	0.6	2.1	5.0	1.1		

5 県民のスポーツ振興

(1) 健康や体力への気遣い

◇「時々気を払っている」が40.4%、「普段から注意している」が37.5%

問19 あなたは、健康や体力に気をつけていますか。



健康や体力への気遣いに関して、「時々気を払っている」（40.4%）と「普段から注意している」（37.5%）が4割前後、「あまり気にしていない」（21.2%）が2割強となっている。

【属性別比較】

①地域別

秩父は「普段から注意している」(47.4%)が半数弱と高く、「時々気を払っている」(26.3%)は低くなっている。＜図5－1＞

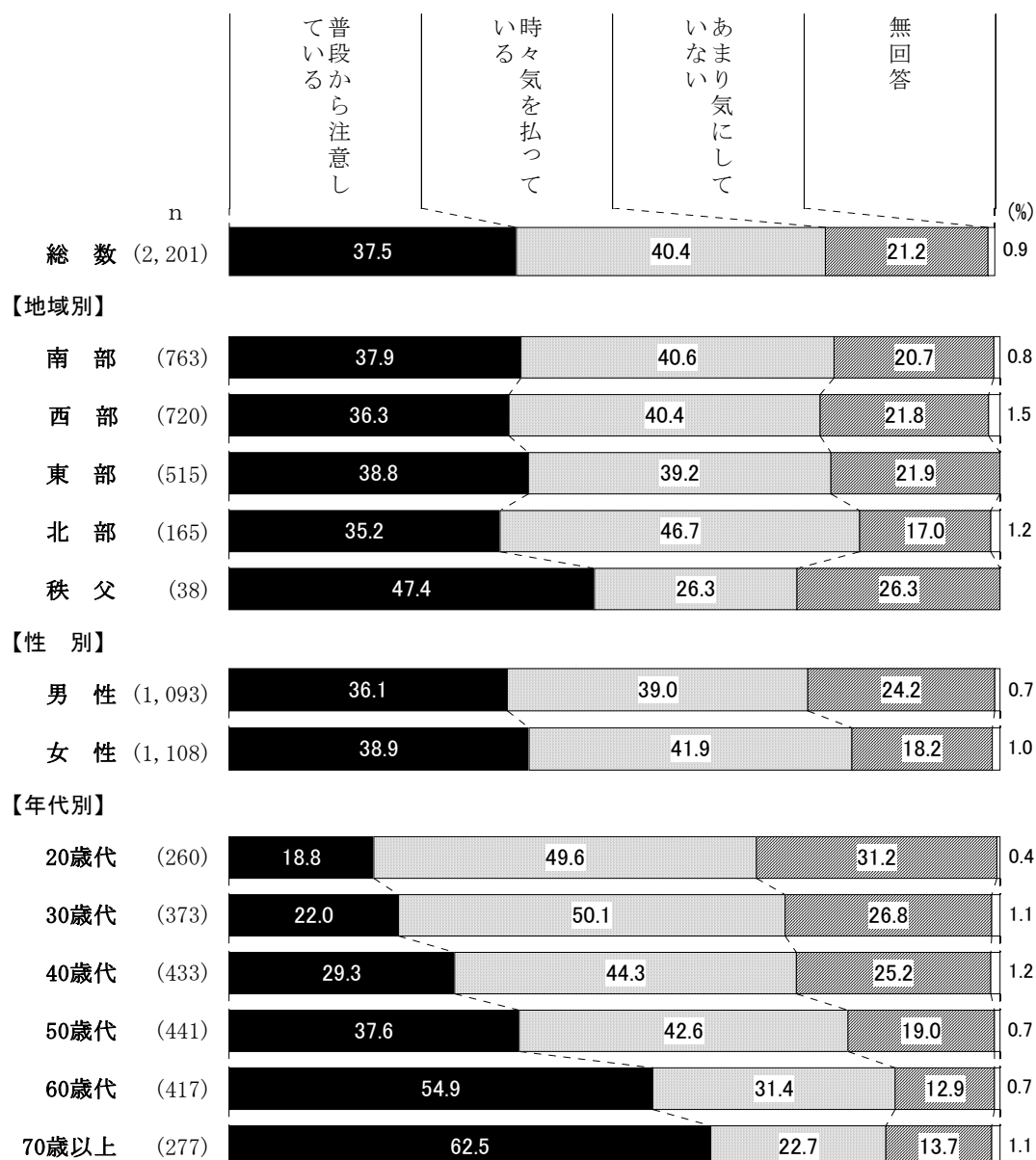
②性別

「あまり気にしていない」は男性(24.2%)が女性(18.2%)を6.0ポイント上回っている。＜図5－1＞

③年代別

「普段から注意している」は高年代ほど高くなっており、20歳代(18.8%)と70歳以上(62.5%)では43.7ポイントと顕著な差がみられる。「時々気を払っている」と「あまり気にしていない」は逆に、高年代ほど低くなる傾向がみられる。＜図5－1＞

＜図5－1＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

「時々気を払っている」は比企都市圏（22.9%）と秩父都市圏（26.3%）で2割台と比較的低く、それ以外の地域ではいずれも4割前後となっている。「あまり気にしていない」は比企都市圏（34.3%）で唯一3割を超えて高くなっている。＜表5－1＞

⑤性・年代別

「普段から注意している」は男女ともに高年代ほど高くなっており、男性70歳以上（69.2%）では7割と特に高い。＜表5－1＞

⑥職業別

「普段から注意している」は無職（計）（47.4%）で高く、「時々気を払っている」と「あまり気にしていない」は逆に、自営業・家族従業（計）と雇用者（計）で高くなっている。＜表5－1＞

⑦ライフステージ別

「普段から注意している」は高齢期（58.6%）で最も高く6割に近い。「時々気を払っている」は独身期（52.5%）で最も高く半数を超えている。＜表5－1＞

＜表５－１＞性別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

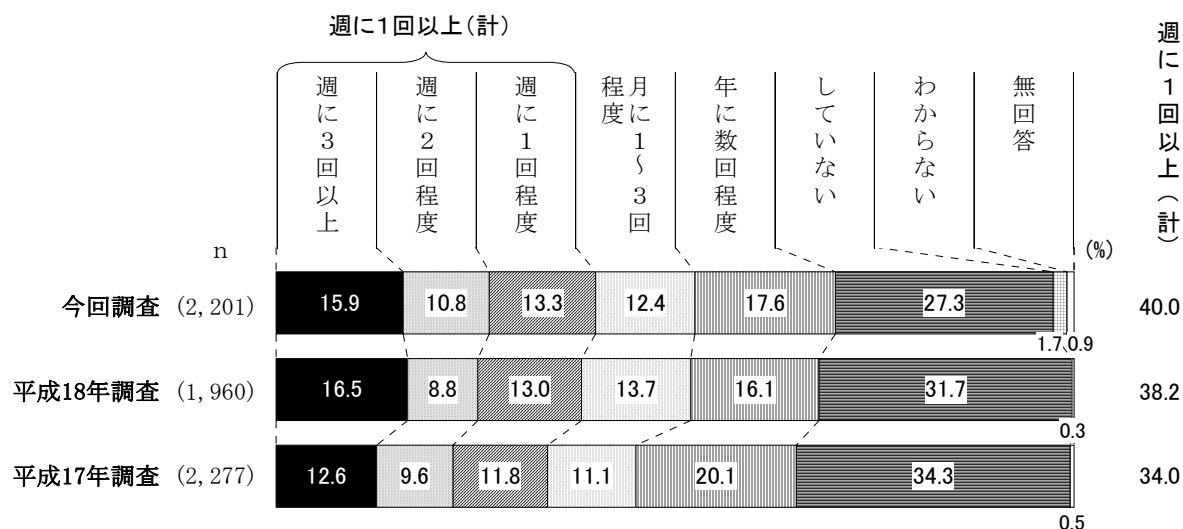
(%)

	調査数	て普 い段 るから 注意し	い時 る々 気を 払って	いあ なま いり 気に して	無 回 答
【総 数】	2201	37.5	40.4	21.2	0.9
【都市圏別】					
(南部計)	763	37.9	40.6	20.7	0.8
中樞都市圏	458	38.2	41.7	19.4	0.7
県南５市圏	215	36.3	38.6	23.7	1.4
県央都市圏	90	40.0	40.0	20.0	－
(西部計)	720	36.3	40.4	21.8	1.5
南西部４市圏	142	30.3	46.5	21.1	2.1
入間東部都市圏	84	32.1	46.4	21.4	－
川越都市圏	211	37.4	37.4	23.7	1.4
所沢都市圏	213	39.0	42.7	16.4	1.9
比企都市圏	70	41.4	22.9	34.3	1.4
(東部計)	515	38.8	39.2	21.9	－
東部都市圏	302	40.7	36.8	22.5	－
利根南部都市圏	129	33.3	47.3	19.4	－
利根北部都市圏	84	40.5	35.7	23.8	－
(北部計)	165	35.2	46.7	17.0	1.2
県北都市圏	124	33.1	46.8	18.5	1.6
本庄都市圏	41	41.5	46.3	12.2	－
(秩父計) 秩父都市圏	38	47.4	26.3	26.3	－
【性・年代別】					
男性 20歳代	123	15.4	51.2	32.5	0.8
30歳代	185	23.2	49.7	25.4	1.6
40歳代	224	26.3	42.9	30.4	0.4
50歳代	221	33.0	41.2	25.3	0.5
60歳代	207	52.7	29.0	17.9	0.5
70歳以上	133	69.2	18.0	12.0	0.8
女性 20歳代	137	21.9	48.2	29.9	－
30歳代	188	20.7	50.5	28.2	0.5
40歳代	209	32.5	45.9	19.6	1.9
50歳代	220	42.3	44.1	12.7	0.9
60歳代	210	57.1	33.8	8.1	1.0
70歳以上	144	56.3	27.1	15.3	1.4
【職業別】					
自営業・家族従業（計）	278	32.4	41.0	25.5	1.1
雇用者（計）	1000	30.2	46.1	23.2	0.5
無 職（計）	892	47.4	33.9	17.7	1.0
【ライフステージ別】					
独身期	303	19.1	52.5	27.7	0.7
家族形成期	229	23.6	46.3	30.1	－
家族成長前期	253	23.7	47.8	25.7	2.8
家族成長後期	194	32.0	43.3	24.7	－
家族成熟期	500	43.6	39.2	16.8	0.4
高齢期	384	58.6	28.6	12.0	0.8
その他	338	44.1	33.7	20.7	1.5

(2) スポーツをする機会

◇『週に1回以上（計）』は40.0%で、「していない」は27.3%

問20 あなたは、過去一年間に、ウォーキングや軽い体操、レクリエーション活動を含めて、スポーツをする機会がどのくらいありましたか。



過去1年間のスポーツをする機会は、「していない」(27.3%)が最も高く、「週に3回以上」(15.9%)から「年に数回程度」(17.6%)まですべて1割台となっている。また、『週に1回以上(計)』(「週に3回以上」(15.9%)、「週に2回以上」(10.8%)、「週に1回以上」(13.3%)の合計、40.0%)は4割を占める。

【過去2年間との比較】

『週に1回以上(計)』は前回(38.2%)から1.8ポイント増加しており、年々増加傾向にある。

【属性別比較】

①地域別

秩父は「週に3回以上」（31.6%）が3割を超えて最も高く、『週に1回以上（計）』（50.0%）では半数を占めている。「していない」は秩父（10.5%）を除いていずれの地域でも2割台半ばから3割となっている。＜図5－2＞

②性別

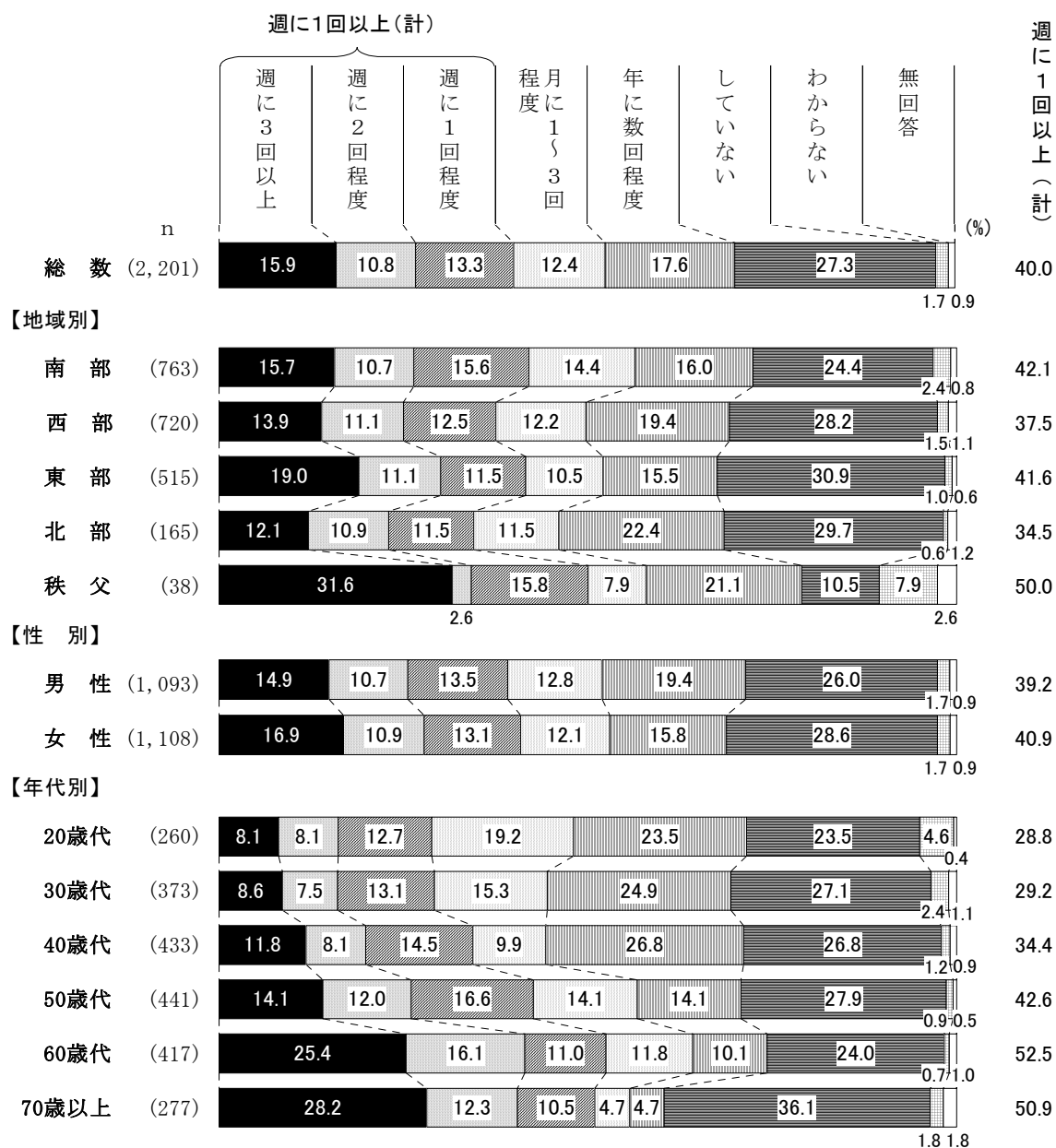
「していない」は女性（28.6%）の方が男性（26.0%）より2.6ポイント高くなっている。

＜図5－2＞

③年代別

『週に1回以上（計）』は高年代ほど高くなる傾向がみられ、60歳代以上では半数を超えている。また、「週に3回以上」でも60歳代以上は2割台半ばを超えている。一方で、「していない」は70歳以上（36.1%）で3割台半ばを超えて突出している。＜図5－2＞

＜図5－2＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『週に1回以上（計）』は秩父都市圏（50.0％）で半数を占めており、「週に3回以上」でも秩父都市圏（31.6％）で唯一3割を超えて最も高くなっている。一方、「していない」は本庄都市圏（36.6％）で最も高い。＜表5－2＞

⑤性・年代別

『週に1回以上（計）』は男女ともに高年代ほど高くなる傾向がみられ、男性の60歳代（52.7％）と70歳以上（53.4％）、女性60歳代（52.4％）で半数を超えている。＜表5－2＞

⑥職業別

『週に1回以上（計）』は無職（計）（47.6％）で半数に近く、それ以外の職業との差がみられる。＜表5－2＞

⑦ライフステージ別

『週に1回以上（計）』は高齢期（53.1％）で半数を超えており、「週に3回以上」でも高齢期（27.3％）が突出している。一方、「していない」では家族形成期（33.6％）が最も高く、高齢期（30.5％）がこれに次いでいる。＜表5－2＞

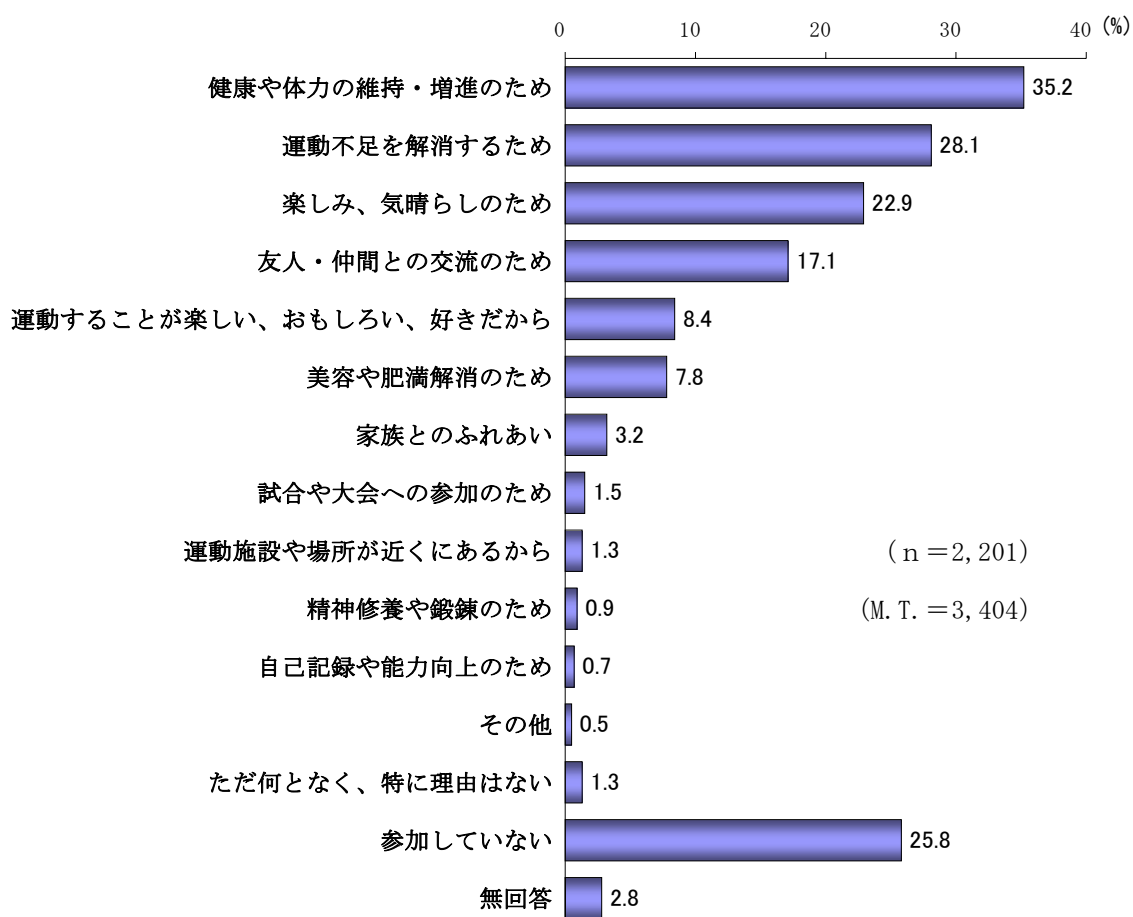
＜表５－２＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	週に ３回 以上	週に ２回 程度	週に １回 程度	月に １～ ３回 程度	年に 数回 程度	して いない	わ か ら ない	無 回 答	(%) 週に １回 以上 (計)
【総 数】	2201	15.9	10.8	13.3	12.4	17.6	27.3	1.7	0.9	40.0
【都市圏別】										
(南部計)	763	15.7	10.7	15.6	14.4	16.0	24.4	2.4	0.8	42.1
中枢都市圏	458	15.9	11.6	14.0	15.9	16.4	22.5	2.6	1.1	41.5
県南５市圏	215	15.3	9.3	17.7	10.7	13.5	31.6	1.4	0.5	42.3
県央都市圏	90	15.6	10.0	18.9	15.6	20.0	16.7	3.3	－	44.4
(西部計)	720	13.9	11.1	12.5	12.2	19.4	28.2	1.5	1.1	37.5
南西部４市圏	142	8.5	10.6	18.3	14.8	16.2	28.2	1.4	2.1	37.3
入間東部都市圏	84	7.1	10.7	6.0	13.1	27.4	34.5	1.2	－	23.8
川越都市圏	211	17.5	9.0	10.0	10.4	19.0	31.3	1.9	0.9	36.5
所沢都市圏	213	17.4	12.7	15.0	14.1	18.3	20.7	0.9	0.9	45.1
比企都市圏	70	11.4	14.3	8.6	5.7	21.4	34.3	2.9	1.4	34.3
(東部計)	515	19.0	11.1	11.5	10.5	15.5	30.9	1.0	0.6	41.6
東部都市圏	302	18.9	11.9	10.3	9.9	12.3	35.1	1.0	0.7	41.1
利根南部都市圏	129	18.6	11.6	10.9	7.0	23.3	27.1	0.8	0.8	41.1
利根北部都市圏	84	20.2	7.1	16.7	17.9	15.5	21.4	1.2	－	44.0
(北部計)	165	12.1	10.9	11.5	11.5	22.4	29.7	0.6	1.2	34.5
県北都市圏	124	12.1	12.9	11.3	11.3	22.6	27.4	0.8	1.6	36.3
本庄都市圏	41	12.2	4.9	12.2	12.2	22.0	36.6	－	－	29.3
(秩父計) 秩父都市圏	38	31.6	2.6	15.8	7.9	21.1	10.5	7.9	2.6	50.0
【性・年代別】										
男性 20歳代	123	8.9	7.3	13.0	21.1	24.4	21.1	4.1	－	29.3
30歳代	185	7.0	9.2	14.6	14.6	25.9	24.9	2.2	1.6	30.8
40歳代	224	10.7	7.1	14.3	10.3	30.4	25.4	1.3	0.4	32.1
50歳代	221	9.5	10.9	17.2	17.2	15.4	28.5	0.9	0.5	37.6
60歳代	207	25.6	16.4	10.6	10.6	11.1	24.2	1.0	0.5	52.7
70歳以上	133	30.8	12.8	9.8	3.0	6.8	31.6	2.3	3.0	53.4
女性 20歳代	137	7.3	8.8	12.4	17.5	22.6	25.5	5.1	0.7	28.5
30歳代	188	10.1	5.9	11.7	16.0	23.9	29.3	2.7	0.5	27.7
40歳代	209	12.9	9.1	14.8	9.6	23.0	28.2	1.0	1.4	36.8
50歳代	220	18.6	13.2	15.9	10.9	12.7	27.3	0.9	0.5	47.7
60歳代	210	25.2	15.7	11.4	12.9	9.0	23.8	0.5	1.4	52.4
70歳以上	144	25.7	11.8	11.1	6.3	2.8	40.3	1.4	0.7	48.6
【職業別】										
自営業・家族従業 (計)	278	15.8	9.0	13.3	10.1	18.0	30.9	1.8	1.1	38.1
雇用者 (計)	1000	9.3	10.4	14.2	15.7	23.8	24.7	1.4	0.5	33.9
無 職 (計)	892	23.5	11.9	12.2	9.5	10.8	29.0	1.9	1.1	47.6
【ライフステージ別】										
独身期	303	11.2	8.3	13.5	18.2	23.1	20.8	4.3	0.7	33.0
家族形成期	229	3.5	6.6	12.7	15.7	27.1	33.6	0.9	－	22.7
家族成長前期	253	12.3	6.7	11.5	14.2	29.6	20.6	2.4	2.8	30.4
家族成長後期	194	10.3	11.9	20.1	9.3	18.0	29.9	0.5	－	42.3
家族成熟期	500	17.8	12.6	14.2	14.0	12.8	27.2	1.0	0.4	44.6
高齢期	384	27.3	15.4	10.4	7.8	6.5	30.5	1.0	1.0	53.1
その他	338	18.6	10.7	13.0	8.6	16.6	29.0	2.1	1.5	42.3

(3) スポーツ・レクリエーション活動へ参加する理由

◇「健康や体力の維持・増進のため」が35.2%で最も高い

問21 あなたがスポーツ・レクリエーション活動へ参加する理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



スポーツ・レクリエーション活動へ参加する理由は、「健康や体力の維持・増進のため」(35.2%)が3割台半ばで最も高く、「運動不足を解消するため」(28.1%)と「楽しみ、気晴らしのため」(22.9%)が2割台となっている。

【属性別比較】

①地域別

「楽しみ、気晴らしのため」は南部（25.4%）と西部（25.3%）で4人に1人とやや高くなっている。また、「参加していない」は東部（29.5%）で3割と最も高い。＜表5－3＞

②都市圏別

「健康や体力の維持・増進のため」は利根北部都市圏（42.9%）、中枢都市圏（41.9%）、利根南部都市圏（40.3%）で4割を超えている。＜表5－3＞

③市郡規模別

「健康や体力の維持・増進のため」は人口10万以上の市（37.4%）で比較的高く、「運動不足を解消するため」は郡部（町村）（31.4%）と人口10万以上の市（28.7%）でやや高くなっている。＜表5－3＞

＜表5－3＞地域別／都市圏別／市郡規模別

(%)

	調査数	健康や体力の維持・増進のため	運動不足を解消するため	楽しみ、気晴らしのため	友人・仲間との交流のため	運動することが楽しい、おもしろい、好きだから	美容や肥満解消のため	家族とのふれあい	試合や大会への参加のため	運動施設や場所が近くにあるから	精神修養や鍛錬のため	自己記録や能力向上のため	その他	ただ何となく、特に理由は	参加していない	無回答
【総数】	2201	35.2	28.1	22.9	17.1	8.4	7.8	3.2	1.5	1.3	0.9	0.7	0.5	1.3	25.8	2.8
【地域別】																
南部	763	37.7	27.0	25.4	16.5	7.7	9.3	3.0	1.6	1.4	1.0	0.7	0.8	1.3	23.3	3.1
西部	720	31.4	26.8	25.3	17.6	9.6	7.6	2.9	1.3	1.1	1.1	1.0	0.6	0.8	26.4	2.6
東部	515	37.3	30.3	18.4	16.1	8.2	6.2	3.9	0.6	1.4	0.2	－	0.4	1.4	29.5	1.6
北部	165	33.3	32.1	15.8	19.4	6.1	6.1	3.6	4.8	1.2	0.6	1.2	－	3.0	23.0	6.1
秩父	38	36.8	28.9	21.1	21.1	10.5	7.9	2.6	2.6	－	2.6	2.6	－	－	26.3	－
【都市圏別】																
（南部計）	763	37.7	27.0	25.4	16.5	7.7	9.3	3.0	1.6	1.4	1.0	0.7	0.8	1.3	23.3	3.1
中枢都市圏	458	41.9	28.4	25.5	17.2	7.9	10.3	3.5	0.4	1.3	1.3	1.1	0.9	1.5	19.2	3.5
県南5市圏	215	32.6	26.0	24.7	13.0	7.9	9.3	2.8	3.3	1.4	0.9	－	0.9	0.9	29.3	3.3
県央都市圏	90	28.9	22.2	26.7	21.1	6.7	4.4	1.1	3.3	2.2	－	－	－	1.1	30.0	1.1
（西部計）	720	31.4	26.8	25.3	17.6	9.6	7.6	2.9	1.3	1.1	1.1	1.0	0.6	0.8	26.4	2.6
南西部4市圏	142	28.2	25.4	22.5	9.9	8.5	7.7	6.3	2.1	0.7	1.4	1.4	0.7	－	28.9	6.3
入間東部都市圏	84	23.8	26.2	25.0	22.6	10.7	7.1	1.2	1.2	2.4	－	1.2	－	1.2	31.0	2.4
川越都市圏	211	30.8	22.3	28.0	16.6	10.4	7.1	1.9	0.5	0.5	0.5	0.9	0.9	1.4	30.3	0.9
所沢都市圏	213	39.9	31.5	23.0	20.2	8.9	9.9	3.3	0.9	1.4	2.3	0.5	0.5	0.9	18.8	1.4
比企都市圏	70	22.9	30.0	30.0	22.9	10.0	2.9	－	2.9	1.4	－	1.4	－	－	27.1	4.3
（東部計）	515	37.3	30.3	18.4	16.1	8.2	6.2	3.9	0.6	1.4	0.2	－	0.4	1.4	29.5	1.6
東部都市圏	302	34.4	28.8	17.2	15.9	10.3	6.3	3.0	1.0	1.3	－	－	0.3	1.0	32.5	2.0
利根南部都市圏	129	40.3	31.0	21.7	14.0	4.7	7.8	4.7	－	0.8	0.8	－	0.8	2.3	27.1	1.6
利根北部都市圏	84	42.9	34.5	17.9	20.2	6.0	3.6	6.0	－	2.4	－	－	－	1.2	22.6	－
（北部計）	165	33.3	32.1	15.8	19.4	6.1	6.1	3.6	4.8	1.2	0.6	1.2	－	3.0	23.0	6.1
県北都市圏	124	35.5	34.7	12.1	20.2	8.1	5.6	3.2	4.8	1.6	－	1.6	－	2.4	22.6	4.0
本庄都市圏	41	26.8	24.4	26.8	17.1	－	7.3	4.9	4.9	－	2.4	－	－	4.9	24.4	12.2
（秩父計） 秩父都市圏	38	36.8	28.9	21.1	21.1	10.5	7.9	2.6	2.6	－	2.6	2.6	－	－	26.3	－
【市郡規模別】																
人口10万以上の市	1531	37.4	28.7	21.9	17.1	8.2	8.2	3.0	1.3	1.2	1.0	0.7	0.7	1.3	25.0	2.9
人口10万未満の市	444	29.5	24.3	25.5	15.8	8.1	7.0	5.2	2.5	1.1	0.7	0.9	0.2	1.4	27.9	2.9
郡部（町村）	226	31.9	31.4	25.2	19.5	10.2	6.6	0.9	0.9	1.8	0.4	0.4	0.4	0.9	27.4	1.8

④性別

「美容や肥満解消のため」は女性（11.1％）が男性（4.4％）よりも6.7ポイント高い。逆に、「楽しみ、気晴らしのため」では男性（25.9％）が女性（20.0％）よりも5.9ポイント高くなっている。＜表5－4＞

⑤年代別

「健康や体力の維持・増進のため」は50歳代以上で4割前後と高くなっている。「楽しみ、気晴らしのため」は高年代ほど低くなる傾向がみられる。また、「参加していない」は70歳以上（37.9％）で4割に近く特に高い。＜表5－4＞

⑥性・年代別

「健康や体力の維持・増進のため」は男性では高年代ほど高くなる傾向がみられ、60歳代以上では4割を超えている。「楽しみ、気晴らしのため」は男女ともに高年代ほど低くなる傾向がみられる。「友人・仲間との交流のため」は男性20歳代（30.9％）で3割と特に高くなっている。「美容や肥満解消のため」は女性で低年代ほど高い傾向がみられ、女性20歳代（21.2％）では2割を超えている。＜表5－4＞

⑦職業別

「健康や体力の維持・増進のため」は自営業・家族従業（計）（28.8％）のみ3割を下回り低くなっている。「楽しみ、気晴らしのため」は雇用者（計）（28.9％）で3割弱と高くなっている。＜表5－4＞

⑧住居形態別

「健康や体力の維持・増進のため」は持家（計）（37.8％）が持家以外（計）（23.4％）よりも14.4ポイント高く、顕著な差がみられる。＜表5－4＞

⑨ライフステージ別

「健康や体力の維持・増進のため」は家族成熟期（42.0％）と高齢期（42.7％）で4割を超えて高く、次いで家族成長後期（39.7％）が4割となっている。また、「参加していない」は高齢期（32.0％）とその他（31.1％）で3割を超えて高くなっている。＜表5－4＞

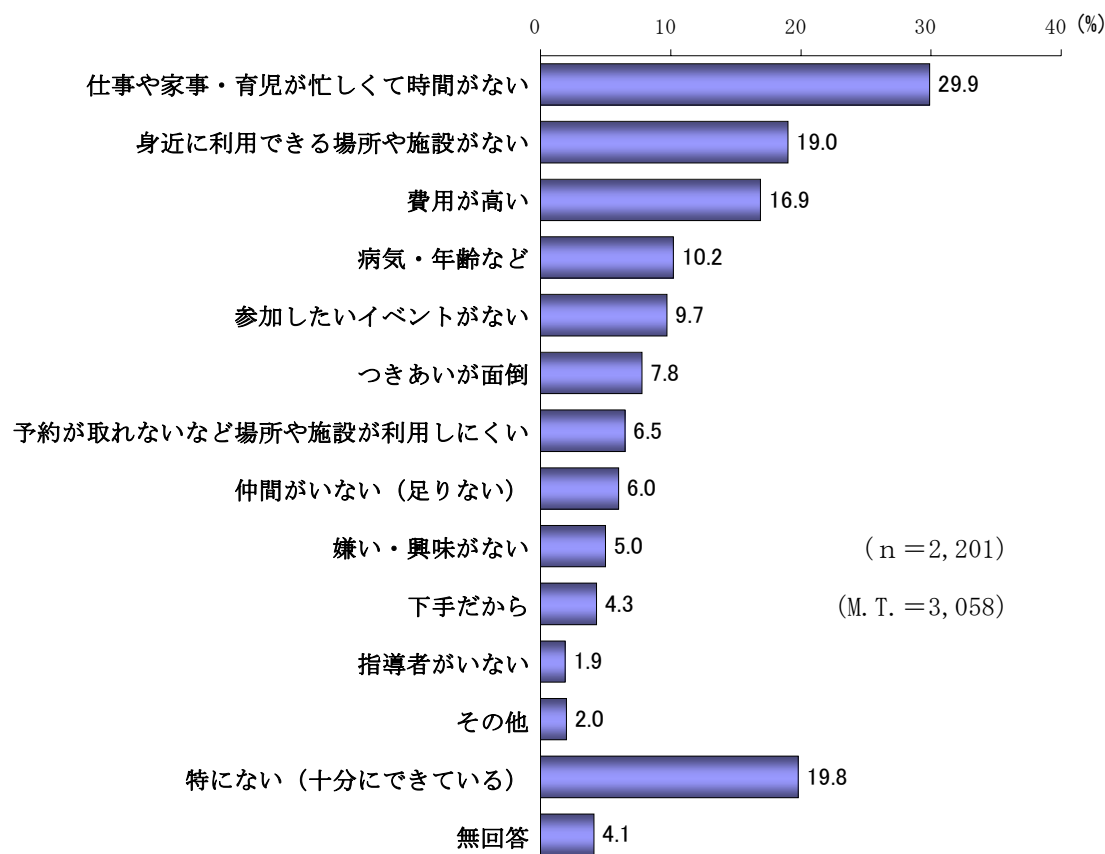
＜表５－４＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

																	(%)
	調査数	ため健康や体力の維持・増進のため	運動不足を解消するため	楽しみ、気晴らしのため	友人・仲間との交流のため	運動することが楽しい、おもしろい、好きだから	美容や肥満解消のため	家族とのふれあい	試合や大会への参加のため	運動施設や場所が近くにあるから	精神修養や鍛錬のため	自己記録や能力向上のため	その他	ない	ただ何となく、特に理由は	参加していない	無回答
【総 数】	2201	35.2	28.1	22.9	17.1	8.4	7.8	3.2	1.5	1.3	0.9	0.7	0.5	1.3	25.8	2.8	
【性別】																	
男 性	1093	35.4	27.3	25.9	17.7	9.2	4.4	2.9	2.0	1.4	1.0	1.1	0.5	1.1	25.5	2.1	
女 性	1108	35.0	29.0	20.0	16.5	7.5	11.1	3.5	1.0	1.2	0.7	0.3	0.5	1.4	26.1	3.4	
【年代別】																	
20歳代	260	21.9	23.8	32.3	23.5	12.7	13.1	2.3	1.5	－	1.5	1.5	0.8	1.5	22.3	1.5	
30歳代	373	24.7	27.9	29.8	16.6	10.7	11.8	6.7	2.4	1.1	0.5	0.8	1.1	1.6	22.8	1.3	
40歳代	433	35.6	26.6	26.3	13.6	6.9	8.3	6.2	2.1	1.2	1.2	0.7	0.7	1.4	24.7	2.5	
50歳代	441	42.0	29.5	22.0	17.5	6.8	6.6	2.0	0.9	1.4	0.7	0.5	－	1.1	24.7	3.4	
60歳代	417	42.4	33.6	15.6	17.0	8.4	4.3	1.0	1.4	2.6	0.7	0.2	0.5	0.7	24.9	5.0	
70歳以上	277	39.7	24.5	12.3	16.6	5.8	3.6	－	0.4	0.7	0.7	0.7	0.4	1.4	37.9	1.8	
【性・年代別】																	
男性 20歳代	123	20.3	24.4	36.6	30.9	16.3	4.1	1.6	3.3	－	2.4	3.3	0.8	1.6	16.3	2.4	
30歳代	185	31.4	23.2	30.3	18.4	14.6	7.0	4.9	3.2	1.6	－	1.6	1.1	－	23.2	1.6	
40歳代	224	33.5	24.6	32.1	13.8	6.7	4.5	8.0	2.7	1.8	1.8	0.4	0.4	1.3	25.0	1.3	
50歳代	221	39.4	31.7	24.4	18.1	5.9	4.1	1.4	0.5	0.5	0.9	0.9	－	1.4	25.3	3.2	
60歳代	207	41.1	33.8	18.8	14.0	9.2	3.4	－	1.9	2.4	－	0.5	0.5	1.0	26.6	2.4	
70歳以上	133	42.9	22.6	12.8	15.8	5.3	3.0	－	0.8	1.5	1.5	0.8	0.8	1.5	36.8	1.5	
女性 20歳代	137	23.4	23.4	28.5	16.8	9.5	21.2	2.9	－	－	0.7	－	0.7	1.5	27.7	0.7	
30歳代	188	18.1	32.4	29.3	14.9	6.9	16.5	8.5	1.6	0.5	1.1	－	1.1	3.2	22.3	1.1	
40歳代	209	37.8	28.7	20.1	13.4	7.2	12.4	4.3	1.4	0.5	0.5	1.0	1.0	1.4	24.4	3.8	
50歳代	220	44.5	27.3	19.5	16.8	7.7	9.1	2.7	1.4	2.3	0.5	－	－	0.9	24.1	3.6	
60歳代	210	43.8	33.3	12.4	20.0	7.6	5.2	1.9	1.0	2.9	1.4	－	0.5	0.5	23.3	7.6	
70歳以上	144	36.8	26.4	11.8	17.4	6.3	4.2	－	－	－	－	0.7	－	1.4	38.9	2.1	
【職業別】																	
自営業・家族従業（計）	278	28.8	27.0	19.4	15.5	8.3	6.5	3.2	1.4	1.4	1.1	1.8	1.1	0.4	30.2	3.2	
雇用者（計）	1000	36.0	28.3	28.9	17.9	8.8	8.7	3.9	2.0	0.6	0.8	0.5	0.5	1.6	21.9	1.6	
無 職（計）	892	36.4	28.4	17.7	17.3	8.1	7.3	2.4	1.0	1.8	0.9	0.6	0.4	1.1	28.6	3.5	
【住居形態別】																	
持家（計）	1830	37.8	28.9	23.3	17.3	8.4	7.8	3.1	1.3	1.4	0.9	0.6	0.4	0.8	24.9	2.6	
持家（一戸建）	1610	37.4	28.4	23.2	17.7	8.4	7.7	3.2	1.3	1.4	0.9	0.6	0.5	0.9	25.3	2.3	
マンション（公団・公社）	22	31.8	40.9	18.2	13.6	4.5	13.6	－	－	4.5	－	－	－	－	18.2	13.6	
マンション（民間）	198	41.4	31.8	24.7	14.6	8.6	7.6	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	－	－	21.7	3.5	
持家以外（計）	359	23.4	24.8	21.2	15.9	8.1	7.5	3.6	2.8	0.8	0.8	1.1	1.1	3.9	30.1	3.3	
民間借家（一戸建）	58	24.1	25.9	17.2	19.0	8.6	3.4	5.2	1.7	－	3.4	－	1.7	6.9	31.0	1.7	
民間賃貸マンション・アパート	232	22.8	27.2	23.7	14.7	7.8	9.1	3.9	2.2	0.9	－	0.9	1.3	2.6	27.6	3.9	
公団・公社などの賃貸住宅	25	28.0	8.0	12.0	24.0	－	4.0	－	－	－	－	4.0	－	4.0	52.0	4.0	
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	－	12.5	－	12.5	－	－	－	12.5	－	－	－	－	12.5	62.5	－	
社宅、寮、公務員住宅など	25	20.0	20.0	24.0	16.0	20.0	8.0	4.0	12.0	－	4.0	4.0	－	8.0	20.0	－	
その他	11	45.5	27.3	18.2	9.1	9.1	9.1	－	－	9.1	－	－	－	－	27.3	9.1	
【ライフステージ別】																	
独身期	303	25.1	24.8	32.3	22.8	11.6	16.2	1.0	0.3	0.7	2.0	1.7	0.7	1.3	21.8	1.0	
家族形成期	229	22.3	28.8	27.5	16.6	12.2	7.9	9.2	2.6	1.3	0.4	0.4	0.9	1.7	24.5	1.3	
家族成長前期	253	28.9	26.5	33.6	15.0	8.3	6.7	10.3	4.0	0.4	0.8	0.4	1.2	2.8	18.6	3.2	
家族成長後期	194	39.7	29.4	25.3	12.9	3.6	10.8	4.1	1.0	0.5	1.0	－	0.5	－	24.7	3.1	
家族成熟期	500	42.0	31.6	21.4	17.6	8.0	6.4	1.6	1.8	1.8	0.2	0.4	0.2	1.2	24.6	2.4	
高齢期	384	42.7	30.5	11.5	17.7	7.0	3.1	0.8	0.8	1.8	1.0	0.5	0.8	1.0	32.0	2.6	
その他	338	36.7	23.4	17.5	14.8	7.7	6.5	0.6	0.6	1.5	0.9	1.2	－	0.9	31.1	5.6	

(4) スポーツ・レクリエーション活動時の苦労や問題

◇「仕事や家事・育児が忙しくて時間がない」が29.9%

問22 あなたがスポーツ・レクリエーション活動へ参加するとき、苦労することがありますか。または参加するとしたとき、どういう問題がありますか。次の中から2つまで選んでください。



スポーツ・レクリエーション参加時の苦労や問題点は、「仕事や家事・育児が忙しくて時間がない」(29.9%) が3割で特に高い。以下「身近に利用できる場所や施設がない」(19.0%) と「費用が高い」(16.9%) が1割台で続く。一方、「特にない (十分にできている)」(19.8%) は2割となっている。

【属性別比較】

①地域別

秩父では「費用が高い」（2.6％）で特に低くなっている一方で、「病気・年齢など」（23.7％）で高くなっている。また、「特にない（十分にできている）」は東部（22.9％）と西部（20.4％）で2割を超えている。＜表5－5＞

②都市圏別

「身近に利用できる場所や施設がない」は利根北部都市圏（25.0％）と利根南部都市圏（23.3％）で2割台半ば前後と比較的高い。「病気・年齢など」は秩父都市圏（23.7％）で2割台半ばに近く特に高い。また、「特にない（十分にできている）」は利根南部都市圏（27.1％）、所沢都市圏（25.4％）、東部都市圏（24.2％）で2割台半ば前後となっている。＜表5－5＞

③市郡規模別

「身近に利用できる場所や施設がない」は郡部（町村）（23.5％）で比較的高くなっている。

＜表5－5＞

＜表5－5＞地域別／都市圏別／市郡規模別

	調査数	て仕事や家事・育児が忙しくない	設身が近に利用できる場所や施設がない	費用が高い	病気・年齢など	参加したいイベントがない	つきあいが面倒	施設が利用しにくいなど場所や予約が取れない	仲間がいらない（足りない）	嫌い・興味がない	下手だから	指導者がいらない	その他	る特にない（十分にできている）	無回答
【総数】	2201	29.9	19.0	16.9	10.2	9.7	7.8	6.5	6.0	5.0	4.3	1.9	2.0	19.8	4.1
【地域別】															
南部	763	29.5	19.8	19.4	9.4	9.6	7.6	7.7	6.3	5.6	3.3	2.4	1.7	17.6	5.4
西部	720	30.7	17.6	17.8	9.0	9.7	8.1	6.5	5.0	4.9	3.6	1.7	2.2	20.4	3.1
東部	515	28.9	19.8	14.0	10.7	9.3	7.2	5.6	6.8	4.3	6.0	1.2	2.7	22.9	3.3
北部	165	32.1	20.0	13.3	13.9	10.9	9.7	3.0	5.5	4.8	6.7	3.0	0.6	18.2	6.7
秩父	38	28.9	15.8	2.6	23.7	13.2	7.9	5.3	10.5	5.3	5.3	－	－	15.8	－
【都市圏別】															
（南部計）	763	29.5	19.8	19.4	9.4	9.6	7.6	7.7	6.3	5.6	3.3	2.4	1.7	17.6	5.4
中枢都市圏	458	29.0	21.0	20.1	10.7	10.3	7.4	8.7	6.3	5.5	3.5	2.2	1.3	16.6	4.6
県南5市圏	215	31.6	18.1	19.5	5.6	7.9	7.0	7.0	4.7	6.0	1.9	1.9	1.4	20.0	9.3
県央都市圏	90	26.7	17.8	15.6	12.2	10.0	10.0	4.4	10.0	5.6	5.6	4.4	4.4	16.7	－
（西部計）	720	30.7	17.6	17.8	9.0	9.7	8.1	6.5	5.0	4.9	3.6	1.7	2.2	20.4	3.1
南西部4市圏	142	34.5	19.0	21.1	4.9	11.3	9.2	7.7	7.7	4.2	1.4	1.4	2.1	14.8	4.9
入間東部都市圏	84	31.0	15.5	16.7	16.7	9.5	9.5	3.6	3.6	2.4	6.0	1.2	－	15.5	3.6
川越都市圏	211	28.0	18.5	15.6	10.4	10.4	9.0	5.2	4.3	5.7	3.3	0.9	4.7	22.3	1.9
所沢都市圏	213	31.0	16.9	18.3	6.6	8.5	5.2	8.5	4.7	3.8	2.8	2.3	1.4	25.4	3.3
比企都市圏	70	30.0	17.1	17.1	11.4	8.6	10.0	5.7	4.3	10.0	8.6	2.9	－	17.1	1.4
（東部計）	515	28.9	19.8	14.0	10.7	9.3	7.2	5.6	6.8	4.3	6.0	1.2	2.7	22.9	3.3
東部都市圏	302	29.1	16.9	16.2	10.3	8.6	6.6	4.6	5.6	6.6	7.0	1.0	3.0	24.2	4.3
利根南部都市圏	129	24.8	23.3	8.5	9.3	8.5	10.1	8.5	5.4	0.8	2.3	1.6	3.1	27.1	3.1
利根北部都市圏	84	34.5	25.0	14.3	14.3	13.1	4.8	4.8	13.1	1.2	8.3	1.2	1.2	11.9	－
（北部計）	165	32.1	20.0	13.3	13.9	10.9	9.7	3.0	5.5	4.8	6.7	3.0	0.6	18.2	6.7
県北都市圏	124	31.5	20.2	12.1	12.9	10.5	10.5	3.2	5.6	5.6	8.1	2.4	0.8	18.5	4.8
本庄都市圏	41	34.1	19.5	17.1	17.1	12.2	7.3	2.4	4.9	2.4	2.4	4.9	－	17.1	12.2
（秩父計） 秩父都市圏	38	28.9	15.8	2.6	23.7	13.2	7.9	5.3	10.5	5.3	5.3	－	－	15.8	－
【市郡規模別】															
人口10万以上の市	1531	29.5	18.7	17.7	9.7	10.1	7.6	7.1	5.5	5.0	3.9	2.0	1.8	19.8	4.6
人口10万未満の市	444	32.9	17.8	15.3	9.7	8.3	8.3	5.9	8.8	5.0	5.0	1.6	2.3	20.3	2.9
郡部（町村）	226	27.4	23.5	14.2	14.2	9.7	8.4	3.5	4.0	5.3	6.2	1.8	2.7	18.6	3.5

④性別

性別では特に目立った差はない。＜表5－6＞

⑤年代別

「仕事や家事・育児が忙しくて時間がない」は若年層で高く、中でも30歳代（52.3%）は半数を超えて特に高くなっている。「病気・年齢など」は70歳以上（30.7%）で3割を占めている。また、「特にない（十分にできている）」は60歳代以上で高くなっている。＜表5－6＞

⑥性・年代別

「仕事や家事・育児が忙しくて時間がない」は男女ともに若年層で高く、特に男性30歳代（56.8%）で5割台半ばを超えて最も高い。「病気・年齢など」は男女とも70歳以上で3割前後を占めている。また、「特にない（十分にできている）」は男性の60歳代以上で3割台半ば前後と高くなっている。

＜表5－6＞

⑦職業別

「仕事や家事・育児が忙しくて時間がない」は雇用者（計）（41.0%）と自営業・家族従業（計）（38.5%）で4割前後を占めている一方で、無職（計）（15.1%）は1割台半ばと低さが目立つ。「費用が高い」は雇用者（計）（21.1%）で2割を超え比較的高い。「病気・年齢など」は無職（計）（17.4%）で高くなっている。＜表5－6＞

⑧住居形態別

「仕事や家事・育児が忙しくて時間がない」は持家以外（計）（37.9%）が持家（計）（28.5%）よりも9.4ポイント高い。「特にない（十分にできている）」は持家（計）（21.2%）が持家以外（計）（12.8%）よりも8.4ポイント高くなっている。＜表5－6＞

⑨ライフステージ別

「仕事や家事・育児が忙しくて時間がない」は家族形成期（59.8%）で6割、次いで家族成長前期（53.4%）で5割台半ば弱となっており、この2つで特に高くなっている。また、高齢期では「特にない（十分にできている）」（31.5%）と「病気・年齢など」（25.8%）で高さが目立つ。＜表5－6＞

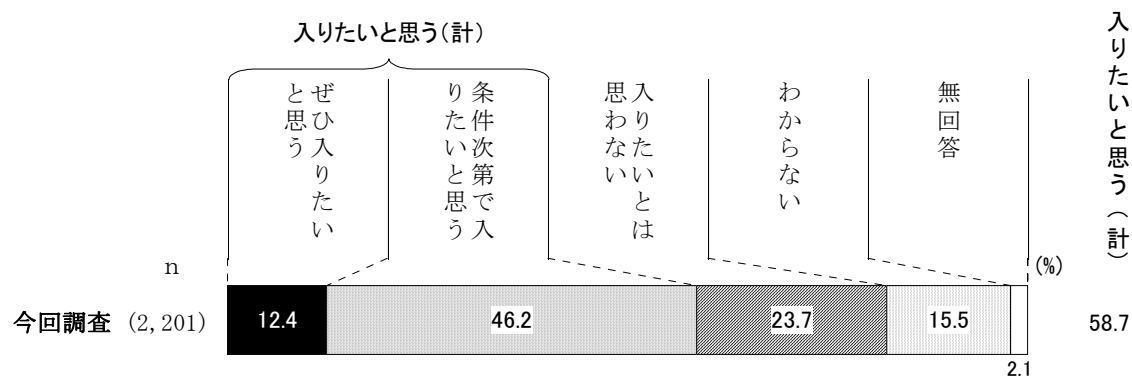
＜表５－６＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

																(%)
	調査数	仕事や家事・育児が忙しく時間がない	設けられない利用できる場所や施設がない	費用が高い	病気・年齢など	参加したいイベントがない	つきあいが面倒	施設が利用しにくいなど場所や予約が取れないなど	仲間がいない（足りない）	嫌い・興味がでない	下手だから	指導者がいない	その他	特にな（十分にできていない）	無回答	
【総 数】	2201	29.9	19.0	16.9	10.2	9.7	7.8	6.5	6.0	5.0	4.3	1.9	2.0	19.8	4.1	
【性別】																
男 性	1093	30.7	20.4	16.5	8.9	9.4	7.3	7.8	7.0	4.9	2.9	1.9	1.6	20.6	3.1	
女 性	1108	29.2	17.7	17.2	11.5	10.0	8.3	5.1	5.0	5.1	5.7	1.8	2.3	19.0	5.1	
【年代別】																
20歳代	260	40.0	21.9	24.6	1.2	10.4	8.1	8.1	6.9	4.2	3.5	1.5	1.9	15.8	1.2	
30歳代	373	52.3	20.4	18.8	2.1	9.7	8.6	7.0	7.5	4.6	3.5	1.1	1.9	9.4	2.1	
40歳代	433	41.8	18.9	24.9	5.1	10.6	9.2	4.6	6.0	5.5	4.4	1.8	1.6	13.6	3.5	
50歳代	441	26.3	20.9	15.2	9.5	12.0	7.7	7.3	4.5	5.0	7.0	2.0	1.1	19.5	5.9	
60歳代	417	11.5	18.7	10.8	15.3	8.4	8.2	6.5	6.5	5.3	3.4	2.6	3.1	29.3	6.2	
70歳以上	277	5.4	12.3	6.1	30.7	6.1	4.0	5.8	4.7	5.1	3.2	1.8	2.5	33.2	4.7	
【性・年代別】																
男性 20歳代	123	39.0	25.2	21.1	0.8	8.9	5.7	10.6	9.8	3.3	1.6	2.4	3.3	16.3	0.8	
30歳代	185	56.8	21.1	17.3	1.1	7.0	7.6	9.2	9.2	4.9	2.7	-	1.6	9.2	1.6	
40歳代	224	42.9	20.1	24.6	4.9	12.9	8.5	4.9	6.3	4.9	3.1	1.3	0.9	13.8	2.7	
50歳代	221	27.1	23.1	15.8	10.0	13.1	8.6	9.5	5.9	5.4	3.6	2.3	-	16.7	5.0	
60歳代	207	9.7	18.4	11.6	12.1	7.2	8.7	7.2	5.8	5.8	3.4	2.4	2.9	34.8	3.9	
70歳以上	133	5.3	14.3	6.0	27.1	4.5	2.3	6.0	6.8	4.5	2.3	3.8	2.3	36.1	3.8	
女性 20歳代	137	40.9	19.0	27.7	1.5	11.7	10.2	5.8	4.4	5.1	5.1	0.7	0.7	15.3	1.5	
30歳代	188	47.9	19.7	20.2	3.2	12.2	9.6	4.8	5.9	4.3	4.3	2.1	2.1	9.6	2.7	
40歳代	209	40.7	17.7	25.4	5.3	8.1	10.0	4.3	5.7	6.2	5.7	2.4	2.4	13.4	4.3	
50歳代	220	25.5	18.6	14.5	9.1	10.9	6.8	5.0	3.2	4.5	10.5	1.8	2.3	22.3	6.8	
60歳代	210	13.3	19.0	10.0	18.6	9.5	7.6	5.7	7.1	4.8	3.3	2.9	3.3	23.8	8.6	
70歳以上	144	5.6	10.4	6.3	34.0	7.6	5.6	5.6	2.8	5.6	4.2	-	2.8	30.6	5.6	
【職業別】																
自営業・家族従業（計）	278	38.5	12.2	14.4	6.5	9.7	8.3	4.0	4.7	3.6	6.1	2.5	2.2	19.8	5.4	
雇用者（計）	1000	41.0	22.6	21.1	4.8	9.6	7.8	7.4	6.4	4.1	3.3	1.2	1.7	15.9	2.3	
無 職（計）	892	15.1	17.3	13.1	17.4	10.1	7.7	6.4	5.8	6.1	4.7	2.4	2.4	24.4	5.2	
【住居形態別】																
持家（計）	1830	28.5	18.9	16.0	10.2	9.8	7.2	6.7	6.0	5.2	4.2	1.9	2.0	21.2	4.1	
持家（一戸建）	1610	28.4	18.6	15.0	10.8	9.6	7.3	6.5	5.7	5.3	4.3	1.8	2.2	22.0	3.9	
マンション（公団・公社）	22	27.3	9.1	22.7	4.5	9.1	4.5	9.1	4.5	4.5	9.1	-	4.5	18.2	9.1	
マンション（民間）	198	29.8	22.7	23.2	6.1	12.1	6.6	8.1	8.6	4.0	2.5	2.5	0.5	15.2	5.6	
持家以外（計）	359	37.9	20.3	21.2	9.5	9.2	10.6	5.3	5.8	4.2	5.0	1.9	1.9	12.8	3.6	
民間借家（一戸建）	58	31.0	19.0	15.5	6.9	10.3	12.1	1.7	1.7	1.7	8.6	1.7	1.7	24.1	5.2	
民間賃貸マンション・アパート	232	43.1	20.7	21.1	6.9	6.5	10.8	6.5	6.9	5.2	3.0	1.7	2.6	10.3	3.4	
公団・公社などの賃貸住宅	25	12.0	16.0	32.0	28.0	16.0	16.0	-	8.0	4.0	4.0	8.0	-	8.0	8.0	
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	-	25.0	25.0	12.5	50.0	12.5	-	-	-	-	-	-	25.0	-	
社宅、寮、公務員住宅など	25	40.0	20.0	28.0	12.0	8.0	4.0	12.0	4.0	4.0	16.0	-	-	12.0	-	
その他	11	45.5	27.3	9.1	27.3	18.2	-	-	9.1	-	9.1	-	-	9.1	-	
【ライフステージ別】																
独身期	303	35.0	23.8	25.4	2.0	11.9	8.3	8.9	7.3	5.0	4.0	1.7	1.7	15.5	1.3	
家族形成期	229	59.8	19.2	16.6	0.4	7.4	7.0	6.6	7.4	3.1	4.8	0.9	3.1	8.7	2.2	
家族成長前期	253	53.4	17.4	24.1	4.0	10.7	9.9	5.5	3.6	3.6	2.4	0.8	0.4	10.7	3.6	
家族成長後期	194	33.0	19.6	24.2	6.2	7.2	5.7	6.7	9.3	6.2	5.2	2.6	1.5	13.9	4.6	
家族成熟期	500	23.2	20.2	13.8	8.8	10.8	7.0	7.2	4.0	5.0	6.2	2.6	3.0	23.8	5.0	
高齢期	384	9.1	14.1	7.8	25.8	6.8	6.5	5.5	6.3	5.2	3.1	2.1	1.6	31.5	5.2	
その他	338	19.5	19.5	14.5	15.4	11.8	10.4	4.7	6.5	6.5	3.8	1.8	2.1	21.9	5.6	

（５）総合型地域スポーツクラブへの入会意向

◇『入りたいと思う（計）』は58.7%、「入りたいとは思わない」は23.7%

問23 あなたは、総合型地域スポーツクラブが身近にあれば入りたいと思いますか。



総合型地域スポーツクラブへの入会意向は、「条件次第で入りたいと思う」(46.2%)が最も高く、「ぜひ入りたいと思う」(12.4%)と合わせた『入りたいと思う（計）』(58.7%)は6割近くとなっている。一方、「入りたいとは思わない」(23.7%)は2割台半ばである。

【属性別比較】

①地域別

『入りたいと思う（計）』は南部（62.3％）で6割を超えて最も高い。一方、「入りたいとは思わない」は秩父（42.1％）で4割を超えて突出している。＜図5－3＞

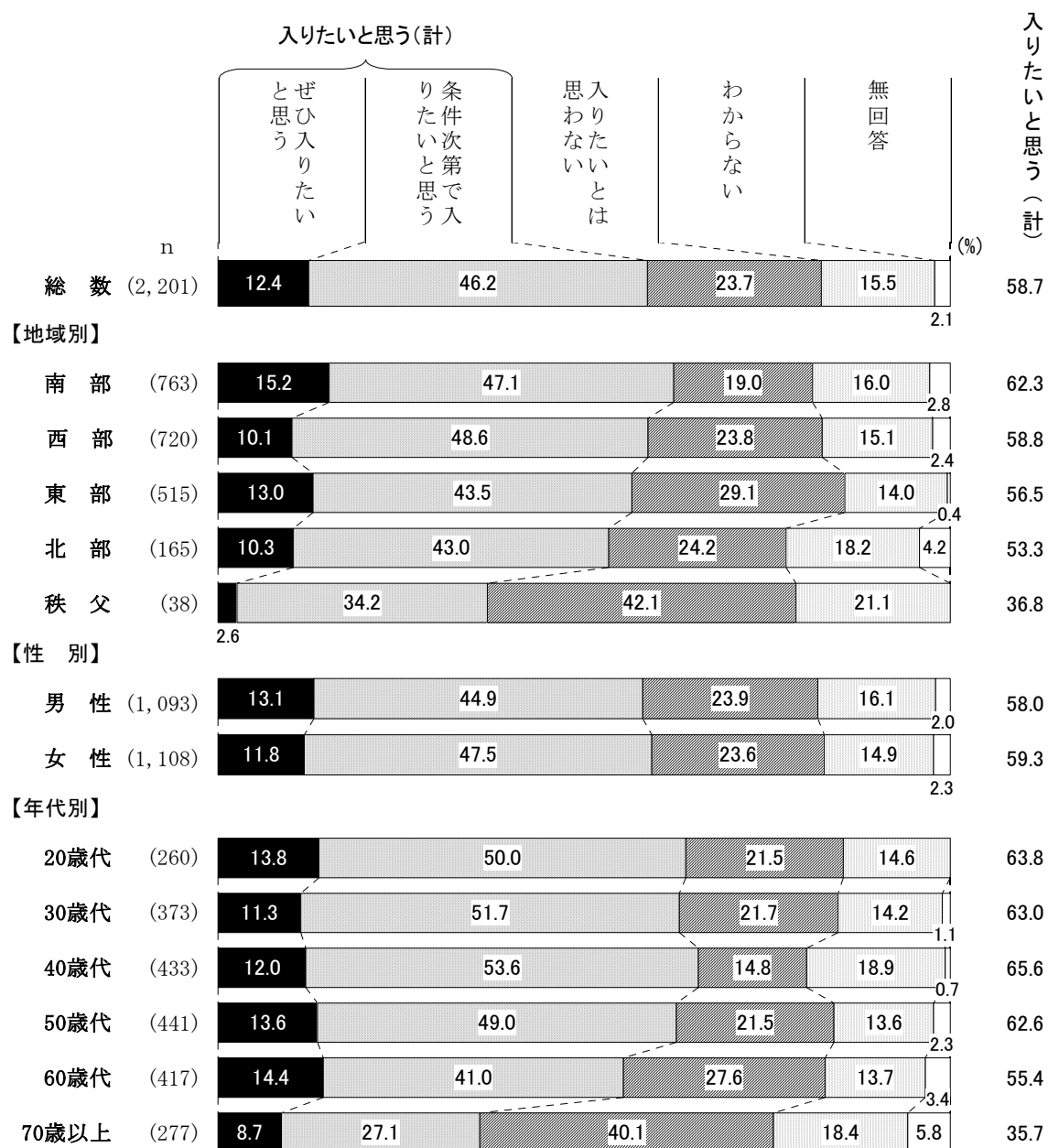
②性別

性別では特に目立った差はない。＜図5－3＞

③年代別

『入りたいと思う（計）』は50歳代以下の年代でいずれも6割を超えている。一方、「入りたいとは思わない」は70歳以上（40.1％）で4割を占めており、突出している。＜図5－3＞

＜図5－3＞地域別／性別／年代別



④都市圏別

『入りたいと思う（計）』は利根北部都市圏（66.7%）で最も高く、次いで中枢都市圏（65.7%）となっている。一方、秩父都市圏（36.8%）は3割台半ば強と唯一半数を下回っている。＜表5－7＞

⑤性・年代別

『入りたいと思う（計）』は男女とも50歳代以下の年代でいずれも6割を超えている。一方、男女とも70歳以上で低く、4割を下回っている。＜表5－7＞

⑥職業別

『入りたいと思う（計）』は雇用者（計）（65.6%）で6割台半ばと高くなっている。＜表5－7＞

⑦ライフステージ別

『入りたいと思う（計）』は家族形成期（70.3%）で7割を占め高くなっている。一方、高齢期（44.0%）では唯一半数を下回っている。＜表5－7＞

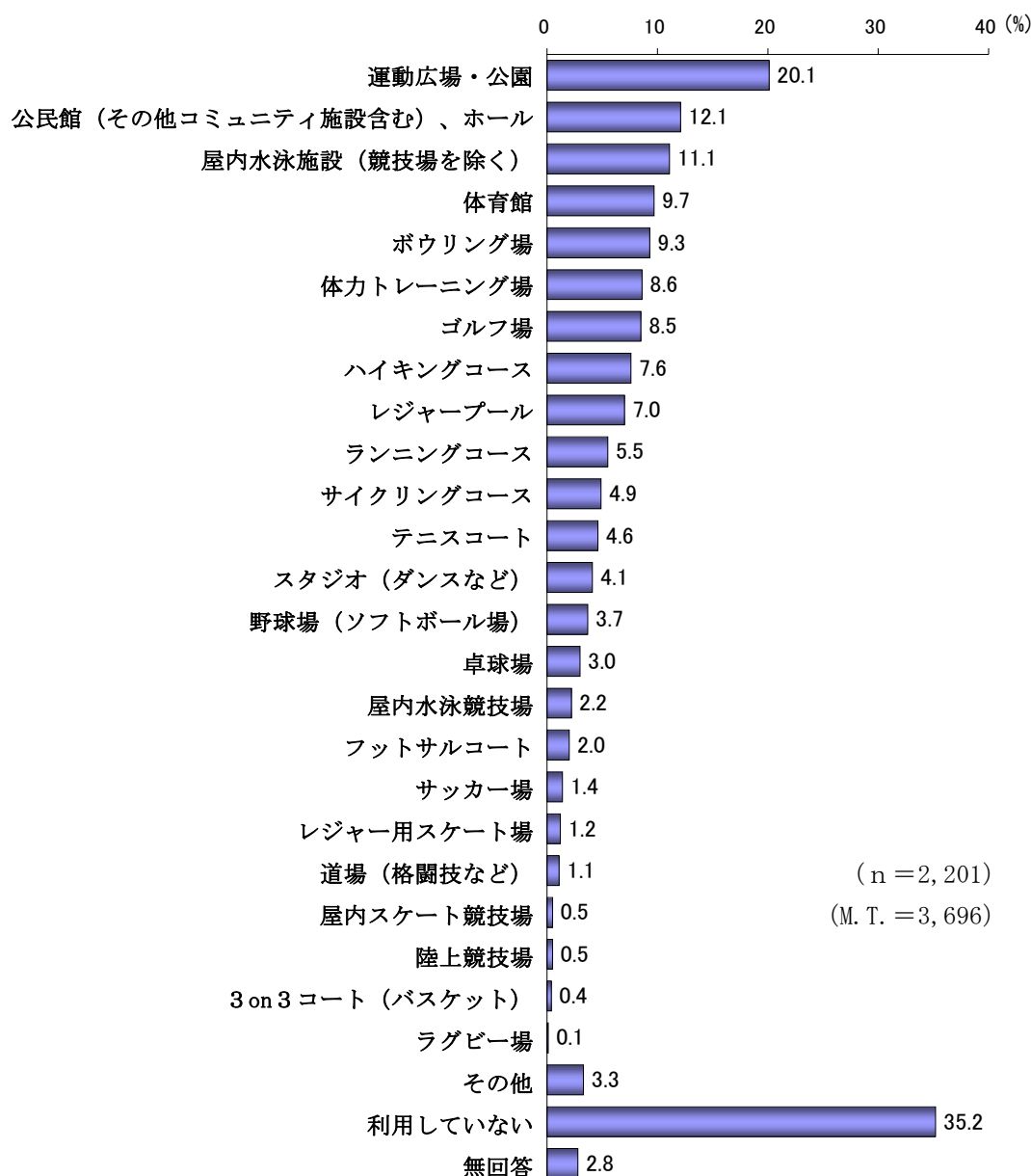
＜表5－7＞都市圏別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	い ぜ と ひ 思 入 う り た	思 入 条 う り 件 た 次 い 第 と で	は 入 り 思 わ た な い と	わ か ら な い	無 回 答	(%) 思 入 う り た い と (計)
【総 数】	2201	12.4	46.2	23.7	15.5	2.1	58.7
【都市圏別】							
（南部計）	763	15.2	47.1	19.0	16.0	2.8	62.3
中枢都市圏	458	15.5	50.2	17.7	14.4	2.2	65.7
県南5市圏	215	14.4	43.3	20.9	17.7	3.7	57.7
県央都市圏	90	15.6	40.0	21.1	20.0	3.3	55.6
（西部計）	720	10.1	48.6	23.8	15.1	2.4	58.8
南西部4市圏	142	9.2	52.8	20.4	15.5	2.1	62.0
入間東部都市圏	84	4.8	48.8	23.8	21.4	1.2	53.6
川越都市圏	211	11.8	43.1	28.9	14.2	1.9	55.0
所沢都市圏	213	11.7	51.6	20.2	13.1	3.3	63.4
比企都市圏	70	8.6	47.1	25.7	15.7	2.9	55.7
（東部計）	515	13.0	43.5	29.1	14.0	0.4	56.5
東部都市圏	302	10.6	43.7	33.8	11.9	-	54.3
利根南部都市圏	129	14.7	40.3	24.8	18.6	1.6	55.0
利根北部都市圏	84	19.0	47.6	19.0	14.3	-	66.7
（北部計）	165	10.3	43.0	24.2	18.2	4.2	53.3
県北都市圏	124	10.5	42.7	25.8	18.5	2.4	53.2
本庄都市圏	41	9.8	43.9	19.5	17.1	9.8	53.7
（秩父計） 秩父都市圏	38	2.6	34.2	42.1	21.1	-	36.8
【性・年代別】							
男性 20歳代	123	17.9	43.1	23.6	15.4	-	61.0
30歳代	185	13.0	47.0	21.6	16.8	1.6	60.0
40歳代	224	12.9	52.7	15.6	18.3	0.4	65.6
50歳代	221	10.4	51.6	21.3	14.0	2.7	62.0
60歳代	207	15.0	39.6	29.5	13.0	2.9	54.6
70歳以上	133	10.5	27.8	36.8	20.3	4.5	38.3
女性 20歳代	137	10.2	56.2	19.7	13.9	-	66.4
30歳代	188	9.6	56.4	21.8	11.7	0.5	66.0
40歳代	209	11.0	54.5	13.9	19.6	1.0	65.6
50歳代	220	16.8	46.4	21.8	13.2	1.8	63.2
60歳代	210	13.8	42.4	25.7	14.3	3.8	56.2
70歳以上	144	6.9	26.4	43.1	16.7	6.9	33.3
【職業別】							
自営業・家族従業（計）	278	10.4	44.6	28.4	14.7	1.8	55.0
雇用者（計）	1000	12.9	52.7	19.0	14.8	0.6	65.6
無 職（計）	892	12.7	39.8	27.7	16.3	3.6	52.5
【ライフステージ別】							
独身期	303	11.9	47.2	24.4	16.2	0.3	59.1
家族形成期	229	13.5	56.8	17.5	11.8	0.4	70.3
家族成長前期	253	15.0	51.8	16.2	14.6	2.4	66.8
家族成長後期	194	12.4	52.6	12.9	21.6	0.5	64.9
家族成熟期	500	13.6	49.0	24.2	11.2	2.0	62.6
高齢期	384	9.6	34.4	37.0	15.6	3.4	44.0
その他	338	11.8	39.6	23.4	20.7	4.4	51.5

（６）スポーツ・レクリエーション活動をする際の利用施設

◇「運動広場・公園」が20.1%、「利用していない」が35.2%

問24 あなたは、スポーツ・レクリエーション活動をする際、どのような施設を利用していますか。あてはまるものをすべて選んでください。



スポーツ・レクリエーション活動で利用する施設に関しては、「利用していない」（35.2%）が3割台半ばを占める。利用されているものの中では「運動広場・公園」（20.1%）が2割、「公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール」（12.1%）と「屋内水泳施設（競技場を除く）」（11.1%）が1割強となっており、その他はいずれも1割未満となっている。

【属性別比較】

①地域別

「利用していない」はいずれの地域でも高く、北部（40.0％）と秩父（39.5％）で4割を占め比較的高い。＜表5－8＞

②都市圏別

「運動広場・公園」は利根北部都市圏（29.8％）で3割と高くなっている。「公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール」は県央都市圏（21.1％）で唯一2割を超えている。また、「利用していない」は所沢都市圏（23.9％）で唯一2割台と低くなっている。＜表5－8＞

③市郡規模別

「運動広場・公園」は郡部（町村）（14.2％）でやや低くなっている。＜表5－8＞

＜表5－8＞地域別／都市圏別／市郡規模別

	調査数	運動広場・公園	公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール	屋内水泳施設（競技場を除く）	体育館	ボウリング場	体力トレーニング場	ゴルフ場	ハイキングコース	レジャープール	ランニングコース	サイクリングコース	テニスコート	スタジオ（ダンスなど）
【総数】	2201	20.1	12.1	11.1	9.7	9.3	8.6	8.5	7.6	7.0	5.5	4.9	4.6	4.1
【地域別】														
南部	763	21.1	12.5	12.6	8.8	10.1	8.9	10.9	7.7	8.4	6.6	6.0	5.9	6.0
西部	720	19.7	12.5	10.4	10.1	9.2	8.9	7.6	7.8	6.8	5.0	5.0	5.1	3.8
東部	515	20.2	11.7	11.3	10.9	8.0	8.3	7.0	7.0	5.8	5.6	3.9	3.1	2.1
北部	165	17.6	12.1	6.7	7.9	10.3	6.1	6.7	7.3	6.7	3.0	3.0	2.4	3.0
秩父	38	15.8	2.6	10.5	13.2	10.5	10.5	7.9	10.5	2.6	－	－	－	5.3
【都市圏別】														
（南部計）	763	21.1	12.5	12.6	8.8	10.1	8.9	10.9	7.7	8.4	6.6	6.0	5.9	6.0
中枢都市圏	458	22.3	12.2	13.3	7.9	11.8	9.6	11.1	8.5	9.0	5.2	5.5	5.9	5.9
県南5市圏	215	19.1	9.3	13.5	7.0	7.4	8.4	8.4	5.1	8.8	10.2	6.0	7.0	6.5
県央都市圏	90	20.0	21.1	6.7	17.8	7.8	6.7	15.6	10.0	4.4	4.4	8.9	3.3	5.6
（西部計）	720	19.7	12.5	10.4	10.1	9.2	8.9	7.6	7.8	6.8	5.0	5.0	5.1	3.8
南西部4市圏	142	20.4	11.3	14.8	9.9	13.4	6.3	9.2	7.7	8.5	4.9	4.9	5.6	6.3
入間東部都市圏	84	20.2	14.3	1.2	6.0	10.7	9.5	8.3	4.8	7.1	1.2	－	3.6	3.6
川越都市圏	211	16.6	10.0	10.4	3.8	6.2	5.2	6.2	7.1	4.7	3.8	9.0	2.4	1.4
所沢都市圏	213	22.5	14.6	11.7	16.0	8.0	11.3	8.0	9.4	6.6	8.9	4.7	8.5	4.7
比企都市圏	70	18.6	14.3	8.6	17.1	11.4	17.1	7.1	8.6	10.0	1.4	－	4.3	2.9
（東部計）	515	20.2	11.7	11.3	10.9	8.0	8.3	7.0	7.0	5.8	5.6	3.9	3.1	2.1
東部都市圏	302	17.2	11.6	10.6	9.6	8.3	7.0	7.6	7.0	6.6	4.6	3.3	4.3	2.3
利根南部都市圏	129	20.9	11.6	14.0	12.4	9.3	12.4	6.2	9.3	7.0	7.0	6.2	1.6	2.3
利根北部都市圏	84	29.8	11.9	9.5	13.1	4.8	7.1	6.0	3.6	1.2	7.1	2.4	1.2	1.2
（北部計）	165	17.6	12.1	6.7	7.9	10.3	6.1	6.7	7.3	6.7	3.0	3.0	2.4	3.0
県北都市圏	124	19.4	12.9	6.5	8.1	10.5	6.5	4.0	8.9	4.0	3.2	3.2	3.2	1.6
本庄都市圏	41	12.2	9.8	7.3	7.3	9.8	4.9	14.6	2.4	14.6	2.4	2.4	－	7.3
（秩父計） 秩父都市圏	38	15.8	2.6	10.5	13.2	10.5	10.5	7.9	10.5	2.6	－	－	－	5.3
【市郡規模別】														
人口10万以上の市	1531	20.8	12.5	11.8	8.6	9.1	8.0	8.6	7.6	6.9	5.9	5.0	5.4	4.2
人口10万未満の市	444	20.5	12.2	9.2	11.9	10.6	9.5	8.8	6.8	8.3	4.5	5.2	3.2	4.3
郡部（町村）	226	14.2	9.3	9.7	13.3	8.0	11.1	7.5	8.8	5.3	4.0	3.1	2.7	3.1

(%)

野球場 (ソフトボール場)	卓球場	屋内水泳競技場	フットサルコート	サッカー場	レジャー用スケート場	道場(格闘技など)	屋内スケート競技場	陸上競技場	3on3コート (バスケット)	ラグビー場	その他	利用していない	無回答
3.7	3.0	2.2	2.0	1.4	1.2	1.1	0.5	0.5	0.4	0.1	3.3	35.2	2.8
4.5	2.9	2.9	2.2	1.3	2.0	1.4	0.5	0.7	0.5	-	4.6	32.2	2.8
3.3	4.0	2.2	2.5	2.1	1.1	1.4	0.8	0.7	0.6	0.1	2.9	35.3	2.9
3.7	1.6	1.6	1.4	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4	0.2	-	2.7	37.7	1.9
1.2	3.0	1.2	1.2	0.6	-	-	-	-	-	0.6	1.2	40.0	5.5
7.9	7.9	-	-	-	2.6	2.6	-	-	-	-	-	39.5	-
4.5	2.9	2.9	2.2	1.3	2.0	1.4	0.5	0.7	0.5	-	4.6	32.2	2.8
3.5	3.3	1.7	2.6	1.5	1.7	1.3	0.9	0.7	0.4	-	5.5	31.2	2.2
6.0	1.9	5.1	2.3	0.9	2.8	1.9	-	0.5	0.9	-	3.7	34.9	5.1
5.6	3.3	3.3	-	1.1	1.1	1.1	-	1.1	-	-	2.2	31.1	-
3.3	4.0	2.2	2.5	2.1	1.1	1.4	0.8	0.7	0.6	0.1	2.9	35.3	2.9
2.8	3.5	2.1	2.8	2.8	1.4	2.1	2.1	2.1	0.7	0.7	3.5	33.8	5.6
6.0	8.3	1.2	1.2	2.4	2.4	1.2	-	-	-	-	-	42.9	1.2
2.8	1.9	2.8	1.4	1.4	0.5	1.4	0.9	-	0.5	-	3.8	43.6	1.9
2.8	4.2	2.8	3.8	2.3	0.9	0.5	0.5	0.9	0.9	-	3.3	23.9	2.8
4.3	5.7	-	2.9	1.4	1.4	2.9	-	-	-	-	1.4	38.6	2.9
3.7	1.6	1.6	1.4	1.0	0.6	0.6	0.4	0.4	0.2	-	2.7	37.7	1.9
3.3	1.7	2.3	2.3	0.3	0.7	0.3	0.3	-	0.3	-	3.0	35.4	2.3
3.1	0.8	0.8	-	3.1	0.8	0.8	0.8	-	-	-	3.1	42.6	2.3
6.0	2.4	-	-	-	-	1.2	-	2.4	-	-	1.2	38.1	-
1.2	3.0	1.2	1.2	0.6	-	-	-	-	-	0.6	1.2	40.0	5.5
1.6	3.2	1.6	1.6	0.8	-	-	-	-	-	0.8	1.6	38.7	4.8
-	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43.9	7.3
7.9	7.9	-	-	-	2.6	2.6	-	-	-	-	-	39.5	-
3.7	3.1	2.5	2.3	1.3	1.0	1.2	0.6	0.6	0.4	0.1	3.5	33.8	2.9
5.2	2.5	2.0	1.6	1.1	2.0	0.7	0.5	0.5	0.7	0.2	2.9	37.8	2.5
1.3	4.0	-	0.9	2.7	0.9	1.8	0.4	0.4	-	-	2.2	39.8	2.2

④性別

「公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール」は女性（16.8%）が男性（7.3%）よりも9.5ポイント高い。一方、「ゴルフ場」は男性（14.2%）が女性（3.0%）よりも11.2ポイント、「野球場（ソフトボール場）」は男性（6.9%）が女性（0.6%）よりも6.3ポイント高くなっている。

<表5－9>

⑤年代別

「運動広場・公園」は若年層で高く、特に30歳代（28.2%）で3割に近い。「体育館」、「ボウリング場」、「体カトレーニング場」は高年代ほど低くなる傾向がみられる。また、「利用していない」は70歳以上（52.7%）で半数を超えて特に高い。<表5－9>

⑥性・年代別

「運動広場・公園」は女性30歳代（30.3%）で3割と最も高く、男性の20歳代から40歳代でも4人に1人の割合となっている。「公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール」は女性60歳代（26.7%）で2割台半ばと特に高い。「ゴルフ場」は男性の40歳代から60歳代で2割弱と高くなっている。「フットサルコート」は男性20歳代（18.7%）で2割弱と、この性・年代に集中している。また、「利用していない」は女性70歳以上（56.3%）で5割台半ばを超えている。<表5－9>

⑦職業別

雇用者（計）は「ボウリング場」（12.5%）と「体カトレーニング場」（11.7%）で比較的高くなっている。無職（計）は「公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール」（16.7%）と「利用していない」（40.1%）で比較的高くなっている。<表5－9>

⑧住居形態別

「運動広場・公園」は持家以外（計）（24.0%）が持家（計）（19.3%）よりも4.7ポイント高い。また、「利用していない」でも持家以外（計）（40.1%）が持家（計）（34.2%）よりも5.9ポイント高くなっている。<表5－9>

⑨ライフステージ別

「運動広場・公園」は家族形成期（34.1%）と家族成長前期（30.4%）でいずれも3割を超え突出している。「レジャープール」は家族成長前期（22.5%）で2割強と高くなっている。また、「利用していない」は高齢期とその他（ともに43.8%）で4割を超えて高さが目立っている。

<表5－9>

＜表５－９＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

(%)

	調査数	運動広場・公園	公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール	屋内水泳施設（競技場を除く）	体育館	ボウリング場	体力トレーニング場	ゴルフ場	ハイキングコース	レジャープール	ランニングコース	サイクリングコース	テニスコート	スタジオ（ダンスなど）
【総数】	2201	20.1	12.1	11.1	9.7	9.3	8.6	8.5	7.6	7.0	5.5	4.9	4.6	4.1
【性別】														
男性	1093	21.3	7.3	10.8	8.3	10.8	9.3	14.2	8.4	7.4	6.9	6.4	4.1	2.3
女性	1108	18.9	16.8	11.4	11.1	7.9	7.9	3.0	6.8	6.7	4.1	3.3	5.1	6.0
【年代別】														
20歳代	260	20.0	4.6	10.0	15.0	16.5	12.7	3.1	3.1	10.4	4.6	1.5	6.5	5.8
30歳代	373	28.2	9.9	14.5	13.1	10.7	12.3	6.4	4.3	13.4	6.4	5.4	5.6	4.0
40歳代	433	21.9	10.6	12.0	9.9	14.5	9.7	10.9	6.7	13.4	6.7	6.2	6.9	5.8
50歳代	441	18.8	12.7	11.6	9.3	8.8	9.1	12.0	11.1	2.5	6.3	6.3	6.3	4.3
60歳代	417	17.0	18.5	9.4	8.2	3.8	5.3	10.8	12.2	1.0	4.8	5.0	1.2	2.6
70歳以上	277	13.0	13.7	7.9	2.9	1.4	2.2	4.0	5.1	1.8	2.5	2.5	0.4	2.2
【性・年代別】														
男性 20歳代	123	22.0	3.3	8.9	17.1	22.8	13.0	6.5	2.4	8.9	3.3	1.6	5.7	2.4
30歳代	185	25.9	6.5	13.5	11.9	7.0	17.3	10.3	4.3	13.0	7.0	8.1	4.3	1.1
40歳代	224	24.1	8.0	13.8	8.0	17.4	9.8	17.9	8.5	16.1	8.9	7.6	4.9	4.0
50歳代	221	19.9	6.3	10.9	5.9	10.4	7.7	18.1	10.4	2.7	9.0	7.2	7.7	3.2
60歳代	207	18.8	10.1	7.2	6.8	5.3	6.3	18.8	13.0	1.0	6.3	7.2	0.5	1.4
70歳以上	133	15.8	8.3	9.0	2.3	3.0	1.5	6.8	9.0	1.5	3.8	3.8	0.8	0.8
女性 20歳代	137	18.2	5.8	10.9	13.1	10.9	12.4	—	3.6	11.7	5.8	1.5	7.3	8.8
30歳代	188	30.3	13.3	15.4	14.4	14.4	7.4	2.7	4.3	13.8	5.9	2.7	6.9	6.9
40歳代	209	19.6	13.4	10.0	12.0	11.5	9.6	3.3	4.8	10.5	4.3	4.8	9.1	7.7
50歳代	220	17.7	19.1	12.3	12.7	7.3	10.5	5.9	11.8	2.3	3.6	5.5	5.0	5.5
60歳代	210	15.2	26.7	11.4	9.5	2.4	4.3	2.9	11.4	1.0	3.3	2.9	1.9	3.8
70歳以上	144	10.4	18.8	6.9	3.5	—	2.8	1.4	1.4	2.1	1.4	1.4	—	3.5
【職業別】														
自営業・家族従業（計）	278	18.7	7.2	11.2	9.0	9.7	5.0	10.1	6.8	5.8	7.2	4.0	4.3	4.0
雇用者（計）	1000	21.9	9.5	13.1	11.6	12.5	11.7	11.4	7.8	9.0	6.0	5.8	5.8	4.2
無職（計）	892	18.3	16.7	9.1	8.0	5.7	6.4	4.9	7.7	5.3	4.5	4.0	3.6	4.3
【住居形態別】														
持家（計）	1830	19.3	12.7	11.2	10.1	8.9	8.5	8.9	8.1	6.6	5.4	5.0	4.3	4.3
持家（一戸建）	1610	19.1	13.2	10.6	10.0	8.6	8.1	8.6	8.4	6.1	5.4	5.0	4.0	4.3
マンション（公団・公社）	22	22.7	18.2	13.6	13.6	9.1	9.1	—	9.1	9.1	4.5	9.1	9.1	4.5
マンション（民間）	198	20.7	8.1	15.7	10.1	11.1	11.1	11.6	6.1	10.1	5.6	4.0	6.1	4.0
持家以外（計）	359	24.0	8.4	10.3	7.5	11.7	9.2	7.2	5.0	9.2	5.3	4.2	6.1	3.3
民間借家（一戸建）	58	29.3	6.9	12.1	5.2	13.8	8.6	10.3	3.4	12.1	1.7	3.4	3.4	1.7
民間賃貸マンション・アパート	232	23.3	8.6	9.1	6.9	11.6	9.9	8.2	5.2	9.9	4.3	3.4	6.0	2.6
公団・公社などの賃貸住宅	25	8.0	4.0	12.0	4.0	12.0	4.0	—	8.0	—	4.0	4.0	8.0	—
公営住宅（県営・市営住宅など）	8	12.5	12.5	—	25.0	12.5	—	—	—	—	—	—	—	—
社宅、寮、公務員住宅など	25	36.0	16.0	12.0	20.0	8.0	12.0	4.0	4.0	12.0	20.0	12.0	12.0	16.0
その他	11	27.3	—	27.3	—	9.1	9.1	—	9.1	—	18.2	9.1	9.1	9.1
【ライフステージ別】														
独身期	303	16.5	4.6	9.9	11.9	14.9	13.2	3.6	4.6	8.6	5.0	3.3	5.6	6.3
家族形成期	229	34.1	8.3	14.0	13.5	10.9	13.5	7.4	4.4	13.1	6.1	5.7	7.4	4.8
家族成長前期	253	30.4	14.6	16.2	13.4	17.8	7.5	10.7	3.6	22.5	5.1	4.3	5.5	4.3
家族成長後期	194	18.6	8.2	12.4	9.8	14.4	10.3	10.8	6.7	8.8	6.7	3.1	8.8	5.2
家族成熟期	500	18.6	15.2	9.6	9.4	7.2	8.6	12.8	11.8	2.2	6.2	5.8	4.2	4.4
高齢期	384	14.6	19.8	9.6	5.2	1.3	3.9	5.2	8.9	1.6	3.4	2.9	0.8	1.8
その他	338	15.4	8.3	9.5	8.0	6.2	6.2	8.3	8.3	2.4	6.2	8.0	3.8	3.3

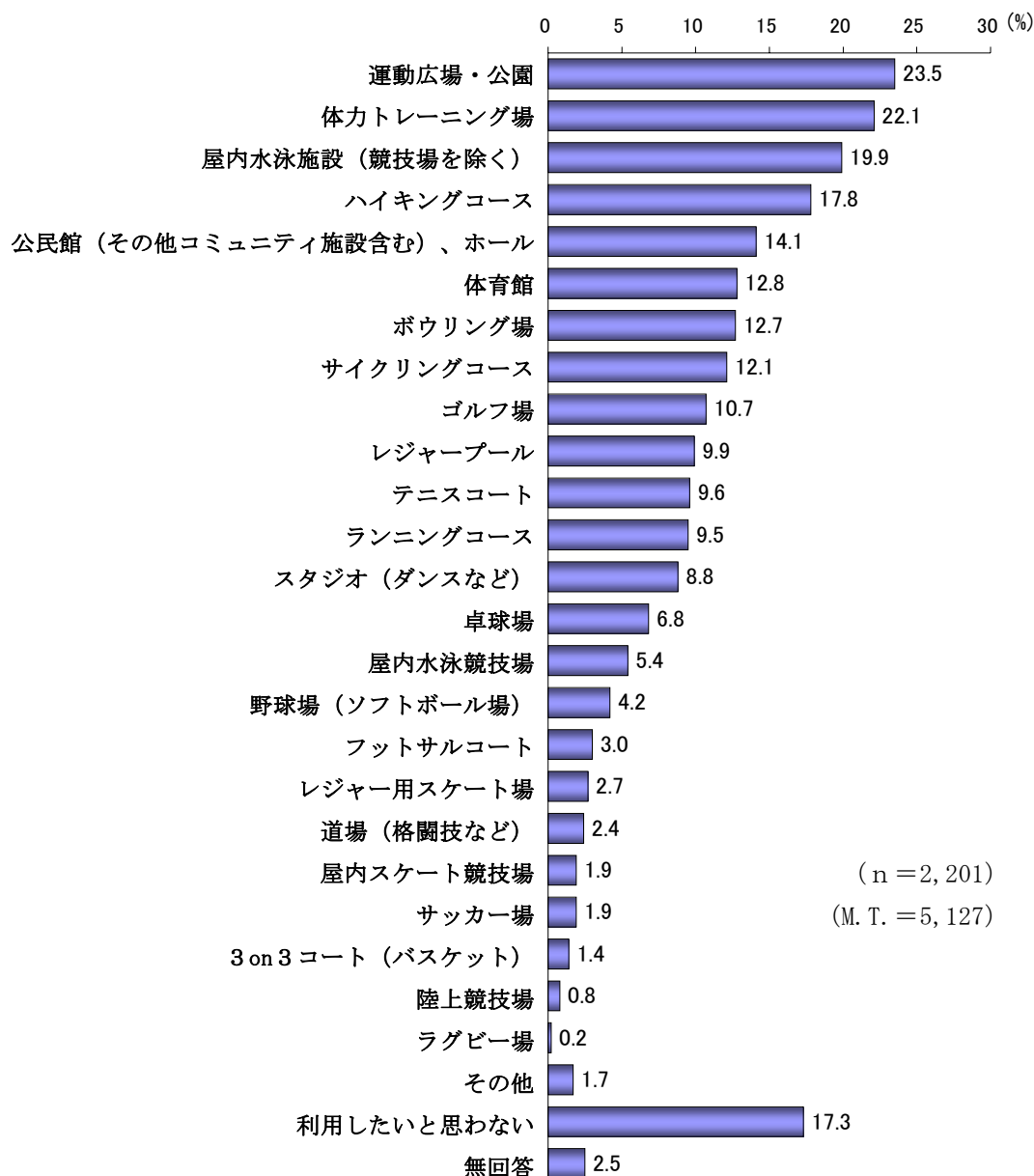
(%)

野球場 (ソフトボール場)	卓球場	屋内水泳競技場	フットサルコート	サッカー場	レジャー用スケート場	道場(格闘技など)	屋内スケート競技場	陸上競技場	3on3コート (バスケット)	ラグビー場	その他	利用していない	無回答
3.7	3.0	2.2	2.0	1.4	1.2	1.1	0.5	0.5	0.4	0.1	3.3	35.2	2.8
6.9 0.6	2.7 3.4	1.7 2.6	3.8 0.3	2.4 0.5	1.4 1.1	1.6 0.7	0.4 0.7	0.9 0.2	0.6 0.2	0.2 -	3.6 3.0	33.6 36.8	2.2 3.3
5.8 6.2 5.1 2.3 1.7 1.8	4.6 3.2 3.0 3.9 2.2 1.4	2.3 2.1 2.8 2.3 1.9 1.4	9.6 4.0 0.7 - - 0.4	3.5 3.5 1.6 0.2 - 0.4	0.4 2.1 2.8 1.1 0.2 -	1.9 1.9 0.7 1.1 1.0 0.4	- 1.1 1.4 0.5 - -	1.2 0.3 0.5 0.7 0.5 0.4	1.5 0.3 0.5 - 0.5 -	0.4 - 0.2 - - -	3.1 2.7 3.0 3.2 5.3 1.8	30.8 32.4 33.3 31.1 35.3 52.7	1.9 0.5 2.3 3.2 5.5 2.5
11.4 10.8 9.4 4.5 3.4 2.3 0.7 1.6 0.5 - - 1.4	4.1 2.7 3.1 3.2 1.4 1.5 5.1 3.7 2.9 4.5 2.9 1.4	2.4 2.7 1.8 2.3 0.5 0.8 2.2 1.6 3.8 2.3 3.3 2.1	18.7 7.6 1.3 - - 0.8 1.5 0.5 - - - -	7.3 5.9 1.8 0.5 - 0.8 - 1.1 2.4 - - -	- 1.1 3.1 2.3 0.5 - 0.7 3.2 0.5 - - -	2.4 2.7 0.9 1.4 1.4 0.8 1.5 1.1 1.1 0.9 0.5 -	- 0.5 0.9 0.5 - - - 1.6 1.9 0.5 - -	2.4 0.5 0.9 0.9 0.5 0.8 - - - 0.5 0.5 -	2.4 0.5 0.9 - 0.5 0.7 - - - - 0.5 0.5 -	0.8 - 0.4 - - - - - - - - -	3.3 1.6 3.6 4.5 5.8 1.5 2.9 3.7 2.4 1.8 4.8 2.1	22.8 31.4 30.4 31.2 38.2 48.9 38.0 33.5 36.4 30.9 32.4 56.3	2.4 0.5 1.3 3.6 2.9 2.3 1.5 0.5 3.3 2.7 8.1 2.8
4.0 5.6 1.6	3.2 3.5 2.5	1.8 2.7 1.8	1.1 3.2 1.0	1.1 2.2 0.7	0.4 1.9 0.8	1.4 1.2 1.0	0.4 0.3 0.9	0.7 0.6 0.4	- 0.4 0.4	- 0.2 -	2.2 3.0 3.8	37.8 30.2 40.1	3.6 1.5 3.3
3.7 3.8 - 3.0 4.2 6.9 3.4 4.0 - 8.0 -	2.8 3.1 - 0.5 3.6 3.4 3.9 8.0 - - -	2.2 1.9 4.5 5.1 1.9 - 2.6 - - 4.0 -	1.4 1.2 4.5 2.0 5.3 3.4 4.7 - - 24.0 -	1.2 1.2 - 1.5 2.5 3.4 1.7 - - 12.0 -	1.2 1.1 - 2.5 1.1 1.7 1.3 - - - -	0.9 0.9 - 1.5 2.2 - 2.6 4.0 - 4.0 -	0.7 0.7 - 0.5 - - - - - -	0.5 0.5 - 1.0 0.6 1.7 - - 4.0 -	0.4 0.4 - 0.5 0.6 - 0.4 - - 4.0 -	0.1 0.1 - - 0.3 - - - 12.5 -	3.7 3.7 - 3.5 1.4 - 1.3 - 12.5 4.0 -	34.2 34.8 22.7 30.3 40.1 37.9 39.7 60.0 75.0 20.0 36.4	2.6 2.5 9.1 3.0 3.1 3.4 3.9 - - - -
5.0 7.0 5.9 6.7 3.2 1.3 0.6	2.6 3.9 4.3 5.2 2.6 1.6 3.0	1.7 3.9 2.8 2.1 1.8 1.6 2.4	8.6 5.2 1.6 - - 0.3 0.3	3.6 2.6 4.0 - - 0.3 0.9	0.7 0.9 4.7 3.1 0.6 - 0.6	2.0 0.9 2.0 - 1.4 - 1.5	- 0.9 1.6 - 0.6 - 0.9	1.3 - - 0.5 0.8 0.5 0.3	1.7 - - - 0.2 - 0.9	- 0.4 - - - - 0.3	3.3 2.6 1.6 5.2 2.0 3.9 5.0	34.0 30.6 25.7 29.9 32.6 43.8 43.8	1.7 - 2.4 2.6 3.2 3.9 4.1

(7) スポーツ・レクリエーション活動をする際に利用したい施設

◇「運動広場・公園」が23.5%、「体カトレーニング場」が22.1%

問25 あなたは、今後、スポーツ・レクリエーション活動をする際、どのような施設を利用したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



スポーツ・レクリエーション活動で利用したい施設は、「運動広場・公園」（23.5%）と「体カトレーニング場」（22.1%）が2割強で高く、「屋内水泳施設（競技場を除く）」（19.9%）、「ハイキングコース」（17.8%）、「公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール」（14.1%）、「体育館」（12.8%）、「ボウリング場」（12.7%）と続いている。

【属性別比較】

①地域別

「運動広場・公園」は秩父（15.8％）では1割台半ばと低いが、それ以外の地域では2割台半ば前後となっている。「ボウリング場」は逆に、秩父（18.4％）で2割に近いが、それ以外の地域では1割前後である。「利用したいと思わない」は秩父（28.9％）と東部（24.5％）で高い。＜表5－10＞

②都市圏別

「運動広場・公園」は本庄都市圏（31.7％）と利根南部都市圏（30.2％）で3割強と高い。「利用したいと思わない」は秩父都市圏（28.9％）が3割弱で最も高く、次いで東部都市圏（26.8％）が2割台半ば強となっている。＜表5－10＞

③市郡規模別

「利用したいと思わない」は人口10万以上の市（15.5％）で1割台半ばとやや低くなっている。

＜表5－10＞

＜表5－10＞地域別／都市圏別／市郡規模別

(%)

	調査数	運動広場・公園	体力トレーニング場	屋内水泳施設（競技場を除く）	ハイキングコース	公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール	体育館	ボウリング場	サイクリングコース	ゴルフ場	レジャープール	テニスコート	ランニングコース	スタジオ（ダンスなど）
【総数】	2201	23.5	22.1	19.9	17.8	14.1	12.8	12.7	12.1	10.7	9.9	9.6	9.5	8.8
【地域別】														
南部	763	24.1	24.6	21.1	19.8	15.1	12.7	13.8	13.8	13.4	12.7	10.7	11.0	10.2
西部	720	22.6	21.9	19.2	16.7	15.8	13.5	14.3	12.2	11.4	9.0	10.6	9.0	9.2
東部	515	23.3	18.4	19.2	14.8	12.2	13.4	9.1	10.9	7.4	7.6	7.4	9.1	6.8
北部	165	26.7	23.0	19.4	21.8	10.3	9.7	10.3	9.1	6.7	9.1	7.9	7.3	7.3
秩父	38	15.8	18.4	18.4	23.7	2.6	7.9	18.4	7.9	7.9	2.6	5.3	2.6	5.3
【都市圏別】														
（南部計）	763	24.1	24.6	21.1	19.8	15.1	12.7	13.8	13.8	13.4	12.7	10.7	11.0	10.2
中枢都市圏	458	25.1	25.5	22.1	19.4	15.7	12.2	13.3	13.3	14.0	12.7	11.1	9.8	9.8
県南5市圏	215	22.3	24.2	23.3	18.1	13.0	11.2	16.3	13.0	11.6	12.6	12.6	14.9	11.2
県央都市圏	90	23.3	21.1	11.1	25.6	16.7	18.9	10.0	17.8	14.4	13.3	4.4	7.8	10.0
（西部計）	720	22.6	21.9	19.2	16.7	15.8	13.5	14.3	12.2	11.4	9.0	10.6	9.0	9.2
南西部4市圏	142	27.5	23.9	21.1	16.9	11.3	10.6	19.7	12.7	11.3	12.7	10.6	13.4	11.3
入間東部都市圏	84	15.5	26.2	20.2	8.3	19.0	13.1	17.9	8.3	9.5	3.6	14.3	6.0	9.5
川越都市圏	211	21.8	15.2	16.6	18.5	15.2	8.5	10.4	13.7	9.5	7.6	6.6	6.2	6.2
所沢都市圏	213	23.0	24.4	21.1	19.2	18.8	17.4	13.1	13.1	13.1	8.0	12.2	10.3	9.4
比企都市圏	70	22.9	25.7	15.7	12.9	14.3	22.9	14.3	8.6	14.3	15.7	12.9	8.6	12.9
（東部計）	515	23.3	18.4	19.2	14.8	12.2	13.4	9.1	10.9	7.4	7.6	7.4	9.1	6.8
東部都市圏	302	20.5	16.2	18.2	14.9	13.6	11.6	9.3	8.9	7.3	7.6	7.6	8.3	6.6
利根南部都市圏	129	30.2	22.5	23.3	13.2	10.9	13.2	11.6	17.1	8.5	8.5	7.8	11.6	6.2
利根北部都市圏	84	22.6	20.2	16.7	16.7	9.5	20.2	4.8	8.3	6.0	6.0	6.0	8.3	8.3
（北部計）	165	26.7	23.0	19.4	21.8	10.3	9.7	10.3	9.1	6.7	9.1	7.9	7.3	7.3
県北都市圏	124	25.0	24.2	17.7	21.0	9.7	11.3	11.3	5.6	4.8	6.5	8.1	7.3	6.5
本庄都市圏	41	31.7	19.5	24.4	24.4	12.2	4.9	7.3	19.5	12.2	17.1	7.3	7.3	9.8
（秩父計） 秩父都市圏	38	15.8	18.4	18.4	23.7	2.6	7.9	18.4	7.9	7.9	2.6	5.3	2.6	5.3
【市郡規模別】														
人口10万以上の市	1531	23.8	22.9	21.0	17.6	15.1	11.9	12.2	11.7	10.6	9.2	10.3	9.8	8.9
人口10万未満の市	444	22.3	19.4	16.0	18.9	11.0	15.5	14.6	12.6	11.7	12.4	7.9	9.2	9.5
郡部（町村）	226	23.9	21.7	19.9	16.8	13.3	13.7	11.9	14.2	9.7	9.3	8.4	8.0	6.2

(%)

卓球場	屋内水泳競技場	野球場 (ソフトボール場)	フットサルコート	レジャー用スケート場	道場(格闘技など)	屋内スケート競技場	サッカー場	3on3コート (バスケット)	陸上競技場	ラグビー場	その他	利用したいと思わない	無回答
6.8	5.4	4.2	3.0	2.7	2.4	1.9	1.9	1.4	0.8	0.2	1.7	17.3	2.5
8.3	5.6	4.5	3.5	3.5	2.9	2.8	2.4	0.9	0.9	-	2.9	12.6	3.0
8.2	5.7	4.2	3.3	2.5	3.2	1.3	2.1	1.7	0.8	0.4	1.3	16.9	2.4
3.3	5.6	4.3	2.3	2.3	1.2	1.9	1.2	1.2	1.0	-	1.0	24.5	1.4
4.8	3.0	2.4	1.8	1.2	0.6	-	1.2	3.6	-	0.6	1.2	15.2	4.2
5.3	2.6	5.3	-	-	-	2.6	2.6	-	-	-	-	28.9	2.6
8.3	5.6	4.5	3.5	3.5	2.9	2.8	2.4	0.9	0.9	-	2.9	12.6	3.0
7.6	6.1	3.7	3.5	2.0	3.1	2.0	2.2	0.9	0.7	-	3.1	11.4	3.1
11.2	5.6	6.0	3.7	6.0	3.3	4.7	2.8	1.4	1.4	-	2.8	14.0	4.2
4.4	3.3	4.4	3.3	5.6	1.1	2.2	2.2	-	1.1	-	2.2	15.6	-
8.2	5.7	4.2	3.3	2.5	3.2	1.3	2.1	1.7	0.8	0.4	1.3	16.9	2.4
7.7	6.3	4.9	5.6	2.1	3.5	1.4	2.1	1.4	1.4	-	2.8	12.7	4.2
8.3	1.2	2.4	1.2	1.2	2.4	1.2	1.2	1.2	-	-	2.4	17.9	1.2
6.2	7.6	2.8	1.4	2.4	2.8	2.4	1.9	1.4	-	0.9	0.9	24.6	1.9
8.5	6.6	5.2	4.2	2.8	2.8	0.5	2.8	1.9	1.4	-	0.5	9.4	1.9
14.3	1.4	5.7	4.3	4.3	5.7	-	1.4	2.9	1.4	1.4	-	24.3	2.9
3.3	5.6	4.3	2.3	2.3	1.2	1.9	1.2	1.2	1.0	-	1.0	24.5	1.4
2.3	6.6	4.6	2.3	1.7	1.0	2.0	1.3	1.7	-	-	0.3	26.8	1.7
6.2	5.4	3.9	3.9	3.1	1.6	1.6	1.6	0.8	1.6	-	2.3	20.9	1.6
2.4	2.4	3.6	-	3.6	1.2	2.4	-	-	3.6	-	1.2	21.4	-
4.8	3.0	2.4	1.8	1.2	0.6	-	1.2	3.6	-	0.6	1.2	15.2	4.2
5.6	3.2	2.4	2.4	1.6	-	-	1.6	3.2	-	0.8	0.8	13.7	5.6
2.4	2.4	2.4	-	-	2.4	-	-	4.9	-	-	2.4	19.5	-
5.3	2.6	5.3	-	-	-	2.6	2.6	-	-	-	-	28.9	2.6
7.0	5.9	4.0	2.9	2.3	2.5	1.8	1.9	1.6	0.7	0.1	1.4	15.5	3.1
5.9	5.0	5.6	2.9	4.1	1.8	2.0	1.8	1.4	1.4	0.2	2.3	22.3	1.6
7.1	3.1	2.7	3.5	2.7	2.2	2.2	2.2	0.4	0.4	0.4	2.7	19.0	0.4

④性別

男性が女性を上回る項目としては「ゴルフ場」（11.6ポイント差）と「体カトレーニング場」（6.3ポイント差）がある。一方、女性が男性よりも高いものは「公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール」（11.8ポイント差）、「スタジオ（ダンスなど）」（8.7ポイント差）がある。＜表5－11＞

⑤年代別

「運動広場・公園」は30歳代から50歳代で2割台半ばを超えて比較的高い。「体カトレーニング場」は30歳代（29.5%）と40歳代（31.4%）で3割前後と高くなっている。「利用したいと思わない」は70歳以上（37.9%）で4割に近く突出して高い。＜表5－11＞

⑥性・年代別

「運動広場・公園」は男女とも30歳代から50歳代で2割台半ば前後と比較的高い。「体カトレーニング場」は男性30歳代（36.2%）で3割台半ばを超えて高く、男女とも40歳代で3割強となっている。「公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール」は女性の高年代で高く、女性60歳代（31.9%）では3割を超えている。「ボウリング場」は男性の20歳代と40歳代で、「レジャープール」と「スタジオ（ダンスなど）」は女性20歳代でそれぞれ2割を超えている。また、「フットサルコート」は男性20歳代（19.5%）で特に高い。「利用したいと思わない」は男女とも70歳以上で高くなっている。

＜表5－11＞

⑦職業別

「体カトレーニング場」は雇用者（計）（28.4%）で3割に近く高い。「公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール」は無職（計）（19.7%）で2割と高くなっている。「利用したいと思わない」は雇用者（計）（12.3%）で1割強と低くなっている。＜表5－11＞

⑧住居形態別

「公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール」は持家（計）（15.1%）が持家以外（計）（8.6%）よりも高くなっているが、「ボウリング場」や「レジャープール」では持家以外（計）が持家（計）よりも高い。＜表5－11＞

⑨ライフステージ別

「運動広場・公園」、「体カトレーニング場」、「レジャープール」はいずれも家族形成期と家族成長前期で高くなっている。「公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール」は高齢期（21.9%）と家族成熟期（19.2%）で高い。「利用したいと思わない」は高齢期（31.8%）で高くなっている。

＜表5－11＞

＜表５－11＞性別／年代別／性・年代別／職業別／住居形態別／ライフステージ別

(%)

	調査数	運動広場・公園	体力トレーニング場	屋内水泳施設 (競技場を除く)	ハイキングコース	公民館(その他 施設含む)、 ホール、 コミュニティ	体育館	ボウリング場	サイクリングコース	ゴルフ場	レジャープール	テニスコート	ランニングコース	スタジオ(ダンスなど)
【総数】	2201	23.5	22.1	19.9	17.8	14.1	12.8	12.7	12.1	10.7	9.9	9.6	9.5	8.8
【性別】														
男性	1093	24.4	25.3	19.3	18.1	8.1	12.2	14.3	13.7	16.6	10.4	8.5	11.8	4.4
女性	1108	22.6	19.0	20.4	17.5	19.9	13.4	11.1	10.6	5.0	9.3	10.6	7.2	13.1
【年代別】														
20歳代	260	17.7	23.5	21.2	8.1	5.0	17.3	20.8	8.8	7.3	19.6	14.6	10.4	14.2
30歳代	373	27.1	29.5	25.7	13.1	11.3	14.5	14.5	11.3	9.7	17.7	16.6	10.7	10.7
40歳代	433	26.1	31.4	19.2	19.2	11.1	14.8	17.8	17.8	14.1	12.9	12.2	12.7	12.0
50歳代	441	27.9	22.4	19.3	26.3	16.3	13.6	11.3	13.8	12.7	4.3	9.3	8.6	7.9
60歳代	417	21.8	14.1	18.5	22.5	21.6	11.5	8.4	12.5	11.8	3.8	3.1	8.9	4.6
70歳以上	277	15.5	7.6	14.8	10.5	16.2	4.0	3.2	4.3	5.4	3.2	1.4	4.3	3.6
【性・年代別】														
男性 20歳代	123	18.7	26.8	17.1	7.3	5.7	20.3	25.2	8.9	9.8	13.0	10.6	13.8	3.3
30歳代	185	25.4	36.2	27.6	11.4	9.7	15.1	12.4	10.8	15.1	19.5	15.1	11.9	4.9
40歳代	224	27.7	31.3	20.1	18.3	7.1	12.5	21.0	20.1	21.9	16.1	10.3	14.3	6.7
50歳代	221	27.6	23.5	16.7	24.9	5.9	11.3	13.1	14.9	17.6	5.0	8.6	10.9	5.0
60歳代	207	23.2	18.8	18.4	25.1	11.1	10.1	9.2	15.9	19.8	4.3	3.9	13.0	2.9
70歳以上	133	19.5	11.3	14.3	15.0	9.0	4.5	5.3	6.0	9.0	4.5	1.5	5.3	2.3
女性 20歳代	137	16.8	20.4	24.8	8.8	4.4	14.6	16.8	8.8	5.1	25.5	18.2	7.3	24.1
30歳代	188	28.7	22.9	23.9	14.9	12.8	13.8	16.5	11.7	4.3	16.0	18.1	9.6	16.5
40歳代	209	24.4	31.6	18.2	20.1	15.3	17.2	14.4	15.3	5.7	9.6	14.4	11.0	17.7
50歳代	220	28.2	21.4	21.8	27.7	26.8	15.9	9.5	12.7	7.7	3.6	10.0	6.4	10.9
60歳代	210	20.5	9.5	18.6	20.0	31.9	12.9	7.6	9.0	3.8	3.3	2.4	4.8	6.2
70歳以上	144	11.8	4.2	15.3	6.3	22.9	3.5	1.4	2.8	2.1	2.1	1.4	3.5	4.9
【職業別】														
自営業・家族従業(計)	278	24.1	20.5	18.0	15.8	10.4	11.5	10.4	9.4	12.9	10.1	7.9	9.0	7.2
雇用者(計)	1000	25.4	28.4	22.7	18.6	10.4	14.7	15.9	14.6	14.4	11.8	11.8	10.6	9.5
無職(計)	892	21.4	15.8	17.5	17.7	19.7	11.4	9.8	10.3	5.8	7.8	8.0	8.3	8.5
【住居形態別】														
持家(計)	1830	23.4	21.6	19.2	18.6	15.1	13.0	11.8	12.5	11.1	8.9	8.8	9.5	9.1
持家(一戸建)	1610	23.3	20.7	18.9	19.1	15.2	12.7	11.8	12.4	11.0	8.4	8.2	8.9	8.6
マンション(公団・公社)	22	18.2	13.6	13.6	18.2	22.7	13.6	4.5	13.6	9.1	4.5	9.1	4.5	9.1
マンション(民間)	198	24.7	29.8	22.7	15.2	13.6	14.6	12.6	12.6	12.6	12.6	13.6	14.1	13.6
持家以外(計)	359	24.2	25.1	23.1	13.9	8.6	12.0	17.3	10.6	8.9	14.5	13.6	9.5	7.2
民間借家(一戸建)	58	29.3	19.0	25.9	8.6	6.9	10.3	10.3	5.2	12.1	17.2	8.6	3.4	5.2
民間賃貸マンション・アパート	232	22.4	27.2	22.4	14.7	7.8	12.1	20.3	11.2	9.5	15.5	15.9	9.5	8.2
公団・公社などの賃貸住宅	25	20.0	24.0	32.0	12.0	4.0	8.0	16.0	12.0	-	8.0	8.0	8.0	8.0
公営住宅(県営・市営住宅など)	8	-	12.5	-	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-	12.5	-
社宅、寮、公務員住宅など	25	40.0	24.0	16.0	16.0	20.0	20.0	16.0	20.0	4.0	16.0	16.0	20.0	4.0
その他	11	27.3	27.3	36.4	27.3	27.3	9.1	9.1	9.1	18.2	-	9.1	18.2	9.1
【ライフステージ別】														
独身期	303	17.8	24.1	21.1	10.6	4.6	14.9	18.8	9.6	9.2	12.9	13.9	11.6	16.5
家族形成期	229	32.8	29.7	26.6	15.3	11.4	17.9	17.9	11.4	7.0	24.9	19.7	11.4	7.4
家族成長前期	253	28.5	35.6	24.5	12.3	14.6	17.4	19.8	19.4	14.6	21.3	13.8	9.5	10.3
家族成長後期	194	23.7	23.2	18.0	21.6	5.2	12.4	12.4	13.4	14.4	8.8	12.4	10.8	11.3
家族成熟期	500	25.0	22.8	18.8	25.2	19.2	12.2	11.0	12.0	13.4	4.0	7.2	8.2	7.2
高齢期	384	18.0	8.6	17.7	15.6	21.9	7.8	3.9	7.8	7.3	3.6	1.8	6.3	2.9
その他	338	22.5	18.6	15.7	19.5	12.7	10.9	10.9	13.9	9.5	4.7	6.5	11.2	9.2

(%)

卓球場	屋内水泳競技場	野球場 (ソフトボール場)	フットサルコート	レジャー用スケート場	道場(格闘技など)	屋内スケート競技場	サッカ―場	3on3コート (バスケット)	陸上競技場	ラグビー場	その他	利用したいと思わない	無回答
6.8	5.4	4.2	3.0	2.7	2.4	1.9	1.9	1.4	0.8	0.2	1.7	17.3	2.5
6.2	6.2	8.0	4.8	2.4	3.3	1.9	3.3	2.0	1.5	0.4	1.7	17.7	1.6
7.3	4.6	0.5	1.3	3.0	1.4	1.8	0.5	0.8	0.2	-	1.7	16.9	3.3
8.1	5.0	5.8	11.2	6.2	6.2	3.1	5.8	5.0	0.8	0.4	1.2	10.0	0.8
5.4	6.7	6.2	6.4	4.3	3.8	4.6	3.5	2.7	1.1	0.3	1.6	14.5	1.6
6.9	8.8	7.2	1.2	4.2	3.5	2.3	2.3	1.6	0.9	0.5	0.9	12.7	1.8
7.5	3.9	2.7	1.1	1.6	0.5	0.9	0.2	-	1.1	-	2.3	13.2	2.7
8.2	4.8	1.7	0.5	0.5	0.7	0.2	0.5	-	0.7	-	2.6	19.7	3.1
4.0	2.2	1.4	0.4	-	0.7	0.4	0.4	0.4	-	-	1.4	37.9	5.1
6.5	5.7	11.4	19.5	4.1	9.8	3.3	10.6	7.3	1.6	0.8	-	8.9	0.8
4.9	8.6	10.3	10.3	2.2	3.8	3.8	6.5	3.8	2.2	0.5	0.5	16.2	0.5
5.8	10.3	13.8	1.8	4.5	5.4	2.7	3.1	2.2	1.3	0.9	0.4	13.8	0.4
6.8	4.1	5.4	1.4	2.3	0.5	1.4	0.5	-	1.8	-	2.7	15.4	2.7
8.2	4.3	3.4	0.5	1.0	1.0	0.5	1.0	-	1.4	-	3.9	19.8	1.9
4.5	3.0	3.0	0.8	-	1.5	-	0.8	0.8	-	-	2.3	34.6	3.8
9.5	4.4	0.7	3.6	8.0	2.9	2.9	1.5	2.9	-	-	2.2	10.9	0.7
5.9	4.8	2.1	2.7	6.4	3.7	5.3	0.5	1.6	-	-	2.7	12.8	2.7
8.1	7.2	-	0.5	3.8	1.4	1.9	1.4	1.0	0.5	-	1.4	11.5	3.3
8.2	3.6	-	0.9	0.9	0.5	0.5	-	-	0.5	-	1.8	10.9	2.7
8.1	5.2	-	0.5	-	0.5	-	-	-	-	-	1.4	19.5	4.3
3.5	1.4	-	-	-	-	0.7	-	-	-	-	0.7	41.0	6.3
6.5	4.3	5.0	1.4	1.8	1.8	2.2	1.4	0.7	0.4	-	0.7	20.1	3.2
6.7	7.2	6.2	4.7	3.5	3.4	2.3	2.9	1.9	1.3	0.4	1.1	12.3	1.0
7.1	3.9	1.7	1.7	2.1	1.3	1.3	1.0	1.1	0.4	-	2.8	21.7	3.5
6.6	5.2	3.8	2.5	2.3	1.9	1.9	1.7	1.1	0.8	0.2	1.9	17.2	2.4
6.8	4.8	3.7	2.2	2.1	2.0	1.7	1.4	1.1	0.7	0.2	1.9	17.8	2.1
4.5	4.5	-	9.1	4.5	-	-	4.5	4.5	-	-	-	13.6	13.6
5.1	8.6	5.1	4.5	4.0	1.5	3.5	3.5	1.0	2.0	-	2.0	12.6	3.5
7.5	6.7	6.1	5.6	4.2	4.7	1.9	3.1	3.1	0.8	0.3	0.8	17.0	2.5
6.9	3.4	10.3	1.7	3.4	3.4	-	1.7	1.7	1.7	-	-	15.5	1.7
7.8	8.6	5.6	6.0	4.7	5.2	3.0	3.0	3.9	0.4	-	1.3	17.2	3.0
8.0	-	4.0	4.0	4.0	4.0	-	-	-	-	-	-	24.0	-
12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-	50.0	12.5
4.0	8.0	8.0	16.0	4.0	8.0	-	8.0	4.0	4.0	-	-	4.0	-
9.1	-	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-	-	9.1	-
6.3	5.6	4.6	11.2	4.3	5.0	3.6	5.9	3.3	1.3	0.3	0.7	12.9	1.0
6.1	8.3	7.4	6.6	5.7	3.9	3.9	3.5	4.8	0.9	0.4	2.2	9.2	0.9
9.9	6.7	7.5	2.4	7.1	5.5	4.3	3.2	2.4	0.8	0.8	0.8	10.3	2.8
6.7	5.2	6.7	-	3.6	0.5	2.1	-	-	-	-	3.1	13.4	4.1
7.0	4.6	3.0	0.8	0.8	0.8	1.0	0.4	0.4	1.6	-	1.4	14.4	2.8
6.0	3.4	1.0	0.5	-	0.3	-	0.3	-	0.3	-	2.1	31.8	3.1
5.9	5.9	3.0	1.5	1.2	2.4	0.3	1.5	0.6	0.3	-	2.4	21.9	2.7

6 県政への要望 (問26)

- 「県政への要望」は、昭和43年度の第1回県政世論調査から、概ね継続して実施してきました。

平成16年度調査において、社会状況等の変化を踏まえ、平成7年度から平成15年度まで継続していた選択肢を一部見直しました。

分析において、平成15年度以前の調査結果と比較する場合は、見直し前の対応する選択肢についての結果を使用しています。

6 県政への要望

◇「高齢者の福祉を充実する」が27.9%、「医療サービス体制を整備する」が22.7%で上位

問26 埼玉県の行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、この中から3つまで選んでください。

(n=2,201)

(M.T=6,153)

県政への要望で高かったものの上位10位と、前回（平成18年）の順位は次のようになっている。

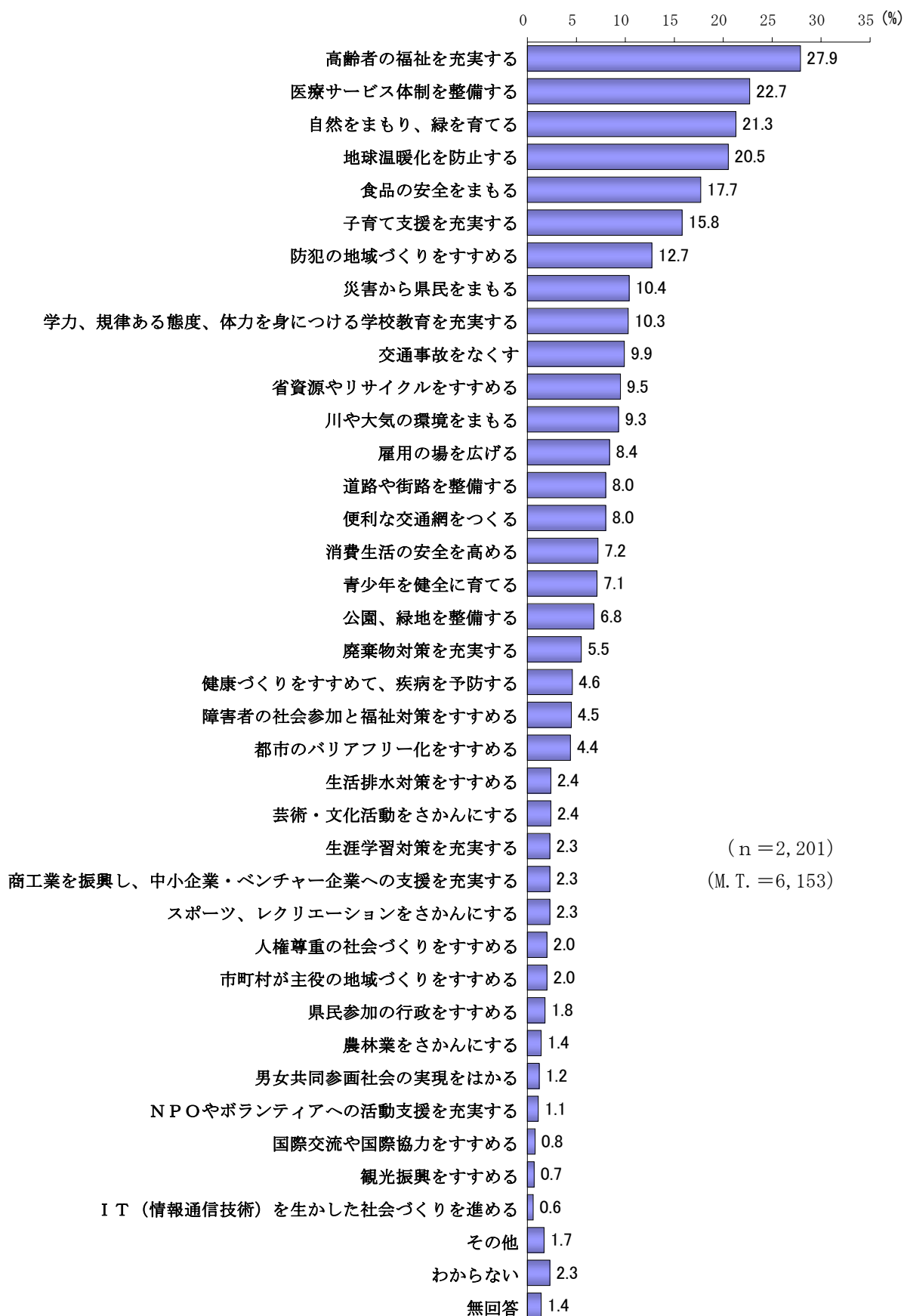
	今 回	前 回	(増減差)
1位 高齢者の福祉を充実する	27.9%	27.0% (1位)	0.9
2位 医療サービス体制を整備する	22.7	20.7 (3位)	2.0
3位 自然をまもり、緑を育てる	21.3	20.4 (4位)	0.9
4位 地球温暖化を防止する	20.5	10.8 (8位)	9.7
5位 食品の安全をまもる	17.7	8.6 (13位)	9.1
6位 子育て支援を充実する	15.8	19.3 (5位)	△3.5
7位 防犯の地域づくりをすすめる	12.7	24.5 (2位)	△11.8
8位 災害から県民をまもる	10.4	13.1 (6位)	△2.7
9位 学力、規律ある態度、体力を身に付ける学校教育を充実する	10.3	8.5 (15位)	1.8
10位 交通事故をなくす	9.9	11.1 (7位)	△1.2

【前回（平成18年）調査との比較】

今回の上位10項目と前回は比較すると、「高齢者の福祉を充実する」が前回に引き続き1位となっている。それ以外の項目ではいずれも順位が入れ替わっており、4位の「地球温暖化を防止する」、5位の「食品の安全をまもる」、9位の「学力、規律ある態度、体力を身に付ける学校教育を充実する」は大きく順位を上げている。一方で、前回2位の「防犯の地域づくりをすすめる」が7位へ大きく順位を下げており、特に下落が目立っている。

前回との増減をみると、増加したのは「地球温暖化を防止する」（9.7ポイント増）と「食品の安全をまもる」（9.1ポイント増）がそれぞれ大きく増加しており、また、「医療サービス体制を整備する」も2.0ポイント増加している。

一方、前回より減少したのは、「防犯の地域づくりをすすめる」の11.8ポイント減が特に大きく、次いで「子育て支援を充実する」（3.5ポイント減）、「災害から県民をまもる」（2.7ポイント減）となっている。



【上位10項目の属性別比較】

□第1位／「高齢者の福祉を充実する」

都市圏別では川越都市圏（37.0%）と本庄都市圏（34.1%）で3割台半ば前後と高くなっている一方で、利根北部都市圏（15.5%）では唯一2割を下回り最も低い。年代別では高年代ほど高くなっており、60歳代（40.8%）で4割を占め、70歳以上（47.3%）では半数に近い。性・年代別でも同様に、男女とも高年代ほど高くなる傾向がみられる。職業別では無職（計）（33.9%）で唯一3割を超えている。ライフステージ別では高齢期（43.2%）で4割を超えて特に高い。

□第2位／「医療サービス体制を整備する」

都市圏別では入間東部都市圏（38.1%）と利根北部都市圏（32.1%）で3割を超えて高くなっている一方で、南西部4市圏（14.1%）と比企都市圏（14.3%）では1割台半ばと低くなっている。性・年代別では男性は高年代になるほど高くなる傾向がみられる。ライフステージ別では家族成長前期（27.7%）と高齢期（27.6%）で3割に近い。

□第3位／「自然をまもり、緑を育てる」

地域別では秩父（31.6%）で唯一3割を超えて高くなっている。都市圏別では秩父都市圏（31.6%）で最も高く、本庄都市圏（12.2%）で最も低い。ライフステージ別では高齢期（24.5%）と独身期（24.4%）で4人に1人を占めている一方で、家族成長前期（14.6%）では1割台半ばにとどまっている。

□第4位／「地球温暖化を防止する」

都市圏別では南西部4市圏（26.1%）、利根南部都市圏（25.6%）、県北都市圏（24.2%）で2割台半ば前後となっている。市郡規模別では郡部（町村）（26.1%）で2割台半ばとやや高い。年代別では50歳代以上でいずれも2割を超えており、60歳代（26.1%）で最も高くなっている。ライフステージ別では家族成長後期以降で2割を超え、高齢期（25.8%）で最も高い。

□第5位／「食品の安全をまもる」

地域別では秩父（28.9%）で3割に近く最も高い。性・年代別では女性の50歳代以上で高く、女性60歳代（29.0%）では3割弱を占める。職業別では雇用者（計）（14.1%）が他の職業と比べてやや低くなっている。

□第6位／「子育て支援を充実する」

地域別では秩父（7.9%）で唯一1割を下回り低い。都市圏別でも秩父都市圏（7.9%）で1割を下回り低くなっている。年代別では30歳代（32.7%）で3割を超えて高くなっている一方で、50歳代以上ではいずれも1割を下回り低くなっている。性・年代別でも同様に、男女とも30歳代で最も高い一方で、50歳代以上ではいずれも1割を下回り、特に女性70歳以上では2.8%にとどまる。職業別では雇用者（計）（20.2%）で2割と高くなっている。ライフステージ別では家族形成期（46.7%）で4割台半ばを超え、次いで家族成長前期（34.0%）で3割台半ばとなっており、この2つが突出して高くなっている。

□第7位／「防犯の地域づくりをすすめる」

地域別では南部（15.6％）で比較的高くなっている。市郡規模別では規模が大きいほど高い傾向がみられる。年代別では20歳代から40歳代では1割台半ば前後を占めているのに対して、50歳代以上ではいずれも1割に満たない。ライフステージ別では家族形成期（20.1％）と家族成長前期（22.9％）で2割を超えて高くなっている。

□第8位／「災害から県民をまもる」

性・年代別では女性70歳以上（4.9％）が特に低い。

□第9位／「学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する」

年代別では40歳代（16.4％）でやや高く、性・年代別では女性40歳代（18.2％）で最も高い。ライフステージ別では家族成長前期（21.7％）で2割を超えて最も高く、次いで家族成長後期（18.6％）が2割に近い。

□第10位／「交通事故をなくす」

性・年代別では男性20歳代（13.8％）でやや高い。

＜表 6－1＞地域別／都市圏別／市郡規模別

(%)

順位		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	17	
	調査数	高齢者の福祉を充実する	医療サービス体制を整備する	自然をまもり、緑を育てる	地球温暖化を防止する	食品の安全をまもる	子育て支援を充実する	防犯の地域づくりをすすめる	災害から県民をまもる	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する	交通事故をなくす	省資源やリサイクルをすすめる	川や大気環境をまもる	雇用の場を広げる	道路や街路を整備する	利便な交通網をつくる	消費生活の安全を高める	青少年を健全に育てる
【総 数】	2201	27.9	22.7	21.3	20.5	17.7	15.8	12.7	10.4	10.3	9.9	9.5	9.3	8.4	8.0	8.0	7.2	7.1
【地域別】																		
南 部	763	26.0	21.0	21.2	19.9	15.7	16.8	15.6	11.5	12.3	10.0	7.5	8.7	6.8	8.3	8.4	7.3	6.2
西 部	720	30.3	22.9	23.8	19.7	16.1	16.9	10.6	9.2	9.2	9.0	9.4	8.6	9.9	7.4	7.6	7.6	8.6
東 部	515	27.0	24.7	19.6	21.6	21.2	14.0	12.8	11.7	9.3	10.3	11.8	11.5	7.8	7.6	8.3	6.6	6.6
北 部	165	29.1	24.2	13.3	22.4	20.6	13.9	11.5	7.3	10.3	12.1	10.3	8.5	10.9	10.9	6.1	8.5	7.3
秩 父	38	26.3	18.4	31.6	23.7	28.9	7.9	-	10.5	5.3	10.5	18.4	7.9	7.9	7.9	10.5	-	2.6
【都市圏別】																		
(南部計)	763	26.0	21.0	21.2	19.9	15.7	16.8	15.6	11.5	12.3	10.0	7.5	8.7	6.8	8.3	8.4	7.3	6.2
中枢都市圏	458	24.0	19.2	23.8	21.6	15.5	16.6	16.6	12.7	11.6	10.9	6.6	8.1	7.0	8.3	7.6	8.3	5.7
県南5市圏	215	27.9	23.7	17.2	18.1	16.7	18.1	16.7	11.6	13.0	9.8	9.3	10.2	5.1	7.4	7.9	5.1	7.0
県央都市圏	90	31.1	23.3	17.8	15.6	14.4	14.4	7.8	5.6	14.4	5.6	7.8	7.8	10.0	10.0	13.3	7.8	6.7
(西部計)	720	30.3	22.9	23.8	19.7	16.1	16.9	10.6	9.2	9.2	9.0	9.4	8.6	9.9	7.4	7.6	7.6	8.6
南西部4市圏	142	25.4	14.1	19.0	26.1	16.9	19.0	14.1	13.4	12.7	7.7	11.3	5.6	10.6	9.2	3.5	6.3	9.2
入間東部都市圏	84	29.8	38.1	28.6	13.1	15.5	13.1	7.1	9.5	8.3	7.1	6.0	8.3	13.1	3.6	7.1	9.5	11.9
川越都市圏	211	37.0	24.6	25.1	17.1	17.5	15.2	10.4	8.1	9.5	11.4	8.1	10.4	5.2	7.6	6.6	8.1	7.1
所沢都市圏	213	26.8	23.9	24.4	21.1	16.9	19.2	10.8	8.0	5.2	8.0	10.8	9.4	10.3	8.5	10.8	6.6	8.0
比企都市圏	70	31.4	14.3	21.4	18.6	8.6	15.7	7.1	7.1	14.3	10.0	10.0	7.1	17.1	4.3	10.0	10.0	10.0
(東部計)	515	27.0	24.7	19.6	21.6	21.2	14.0	12.8	11.7	9.3	10.3	11.8	11.5	7.8	7.6	8.3	6.6	6.6
東部都市圏	302	30.1	23.2	22.2	20.9	19.2	13.6	13.2	13.2	7.9	9.3	13.2	11.9	8.3	5.6	7.0	7.6	7.0
利根南部都市圏	129	27.1	23.3	17.1	25.6	24.0	10.9	9.3	8.5	11.6	10.1	10.1	12.4	6.2	10.9	10.1	6.2	4.7
利根北部都市圏	84	15.5	32.1	14.3	17.9	23.8	20.2	16.7	10.7	10.7	14.3	9.5	8.3	8.3	9.5	10.7	3.6	8.3
(北部計)	165	29.1	24.2	13.3	22.4	20.6	13.9	11.5	7.3	10.3	12.1	10.3	8.5	10.9	10.9	6.1	8.5	7.3
県北都市圏	124	27.4	25.0	13.7	24.2	19.4	12.1	12.9	8.1	11.3	10.5	10.5	9.7	13.7	11.3	5.6	8.1	7.3
本庄都市圏	41	34.1	22.0	12.2	17.1	24.4	19.5	7.3	4.9	7.3	17.1	9.8	4.9	2.4	9.8	7.3	9.8	7.3
(秩父計) 秩父都市圏	38	26.3	18.4	31.6	23.7	28.9	7.9	-	10.5	5.3	10.5	18.4	7.9	7.9	7.9	10.5	-	2.6
【市郡規模別】																		
人口10万以上の市	1531	28.5	23.1	22.2	20.2	17.3	15.6	14.3	10.6	10.2	9.6	8.9	9.4	8.0	7.2	7.3	7.7	6.7
人口10万未満の市	444	25.2	23.4	18.5	18.7	17.3	16.4	10.4	11.0	9.7	11.0	12.2	7.7	9.0	9.2	8.3	5.6	9.0
郡部(町村)	226	28.8	18.1	20.4	26.1	21.2	15.9	6.6	8.4	12.4	9.7	8.8	11.5	9.7	11.1	11.9	7.1	5.8

(%)

18	19	20	21	22	23		25			28		30	31	32	33	34	35	36			
公園、緑地を整備する	廃棄物対策を充実する	健康づくりをすすめて、疾病を予防する	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる	都市のバリアフリー化をすすめる	生活排水対策をすすめる	芸術・文化活動をさかんにする	生涯学習対策を充実する	商業企業への支援を充実する	スポーツ、レクリエーションをさかんにする	人権尊重の社会づくりをすすめる	市町村が主役の地域づくりをすすめる	県民参加の行政をすすめる	農林業をさかんにする	男女共同参画社会の実現をはかる	NPOやボランティアへの活動支援を充実する	国際交流や国際協力をすすめる	観光振興をすすめる	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める	その他	わからない	無回答
6.8	5.5	4.6	4.5	4.4	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.0	2.0	1.8	1.4	1.2	1.1	0.8	0.7	0.6	1.7	2.3	1.4
6.4	4.7	4.8	4.1	5.2	2.2	2.8	2.8	2.9	1.8	2.1	1.6	2.8	1.2	0.7	1.2	1.0	0.8	1.0	2.1	2.5	2.0
6.8	5.3	3.6	5.0	4.2	1.8	2.6	1.9	1.4	2.9	2.2	2.2	1.5	1.3	1.0	0.8	1.1	0.7	0.4	1.7	2.4	1.3
7.4	6.0	4.9	4.9	3.3	3.7	1.9	1.6	2.3	2.1	1.7	1.7	1.4	1.7	2.1	1.4	0.4	0.8	-	1.7	1.7	0.8
8.5	7.3	6.7	3.6	4.8	1.2	1.8	2.4	2.4	2.4	1.2	3.0	-	1.2	1.8	1.2	-	-	0.6	-	2.4	1.2
-	10.5	5.3	2.6	2.6	2.6	-	7.9	5.3	-	5.3	5.3	-	2.6	2.6	-	-	-	2.6	-	2.6	-
6.4	4.7	4.8	4.1	5.2	2.2	2.8	2.8	2.9	1.8	2.1	1.6	2.8	1.2	0.7	1.2	1.0	0.8	1.0	2.1	2.5	2.0
6.6	4.4	5.0	3.7	4.8	2.4	3.1	2.6	3.1	1.7	2.8	1.1	1.7	1.3	1.1	1.7	1.1	0.2	0.9	3.1	2.2	2.0
5.6	4.7	2.8	4.2	7.0	1.4	1.4	2.8	1.9	2.3	0.9	1.9	5.1	0.5	-	0.5	1.4	2.3	1.9	0.9	2.3	2.3
7.8	6.7	8.9	5.6	3.3	3.3	4.4	3.3	4.4	1.1	1.1	3.3	2.2	2.2	-	-	-	-	-	-	4.4	1.1
6.8	5.3	3.6	5.0	4.2	1.8	2.6	1.9	1.4	2.9	2.2	2.2	1.5	1.3	1.0	0.8	1.1	0.7	0.4	1.7	2.4	1.3
7.0	3.5	4.9	6.3	4.9	2.1	3.5	2.1	2.1	2.8	3.5	0.7	0.7	1.4	1.4	0.7	0.7	0.7	-	2.1	0.7	2.8
10.7	3.6	2.4	7.1	4.8	2.4	1.2	1.2	-	2.4	2.4	6.0	1.2	2.4	-	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	2.4
5.2	5.2	3.8	5.2	4.3	2.8	2.4	1.9	0.9	2.8	1.9	2.4	1.4	1.4	0.9	0.5	0.9	-	0.5	-	3.8	0.5
7.0	7.0	3.8	3.8	3.3	0.9	2.3	2.3	0.9	3.3	2.3	1.4	2.3	0.9	0.5	1.4	1.4	0.9	0.5	2.8	1.4	-
5.7	5.7	1.4	2.9	4.3	-	4.3	1.4	4.3	2.9	-	2.9	1.4	-	2.9	-	1.4	1.4	-	2.9	5.7	2.9
7.4	6.0	4.9	4.9	3.3	3.7	1.9	1.6	2.3	2.1	1.7	1.7	1.4	1.7	2.1	1.4	0.4	0.8	-	1.7	1.7	0.8
7.6	6.3	5.3	5.6	3.3	3.3	1.0	1.3	1.7	2.0	1.3	1.3	1.3	1.7	2.3	1.7	0.7	0.7	-	1.3	2.0	1.0
6.2	5.4	2.3	2.3	4.7	4.7	4.7	3.1	3.9	2.3	3.9	3.1	1.6	3.1	1.6	1.6	-	0.8	-	2.3	1.6	0.8
8.3	6.0	7.1	6.0	1.2	3.6	1.2	-	2.4	2.4	-	1.2	1.2	-	2.4	-	-	1.2	-	2.4	1.2	-
8.5	7.3	6.7	3.6	4.8	1.2	1.8	2.4	2.4	2.4	1.2	3.0	-	1.2	1.8	1.2	-	-	0.6	-	2.4	1.2
6.5	6.5	6.5	4.0	4.0	0.8	1.6	3.2	2.4	2.4	0.8	2.4	-	1.6	2.4	1.6	-	-	-	-	1.6	1.6
14.6	9.8	7.3	2.4	7.3	2.4	2.4	-	2.4	2.4	2.4	4.9	-	-	-	-	-	-	2.4	-	4.9	-
-	10.5	5.3	2.6	2.6	2.6	-	7.9	5.3	-	5.3	5.3	-	2.6	2.6	-	-	-	2.6	-	2.6	-
6.9	5.4	4.6	4.3	4.5	2.0	2.4	2.3	2.1	2.2	2.0	1.6	1.8	1.4	1.1	1.0	0.8	0.6	0.7	1.8	2.2	1.7
7.2	5.9	5.4	5.6	4.5	4.1	2.5	2.0	2.7	2.3	2.0	2.3	2.0	1.4	1.6	1.1	0.9	0.9	0.5	1.8	2.0	0.7
5.8	5.8	3.1	3.5	3.1	1.8	2.2	2.7	2.7	3.1	2.7	4.0	0.9	1.3	1.3	1.3	0.4	0.9	-	0.9	3.5	0.4

＜表６－２＞性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

(%)

順位		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	17	
	調査数	高齢者の福祉を充実する	医療サービス体制を整備する	自然をまもり、緑を育てる	地球温暖化を防止する	食品の安全をまもる	子育て支援を充実する	防犯の地域づくりをすすめる	災害から県民をまもる	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する	交通事故をなくす	省資源やリサイクルをすすめる	川や大気環境をまもる	雇用の場を広げる	道路や街路を整備する	便利な交通網をつくる	消費生活の安全を高める	青少年を健全に育てる
【総数】	2201	27.9	22.7	21.3	20.5	17.7	15.8	12.7	10.4	10.3	9.9	9.5	9.3	8.4	8.0	8.0	7.2	7.1
【性別】																		
男性	1093	26.4	23.0	21.6	18.2	14.4	15.6	13.5	10.7	9.8	10.9	8.9	11.9	8.8	9.1	8.2	6.9	7.2
女性	1108	29.2	22.4	20.9	22.7	21.0	16.1	11.9	10.2	10.8	8.9	10.2	6.7	7.9	6.9	7.8	7.6	6.9
【年代別】																		
20歳代	260	12.7	17.3	22.3	17.7	15.0	26.9	14.6	11.2	5.4	10.8	10.4	11.2	14.6	8.5	11.9	5.0	6.2
30歳代	373	14.7	22.5	21.4	16.4	13.1	32.7	16.6	8.8	12.1	9.4	8.6	7.0	7.8	7.8	9.1	7.0	9.4
40歳代	433	23.6	22.4	17.6	18.2	14.5	19.4	18.5	11.1	16.4	11.5	9.5	10.4	6.5	11.1	8.8	7.2	7.9
50歳代	441	27.7	21.5	20.9	22.4	19.7	7.7	9.8	11.1	8.2	8.4	11.6	8.8	13.2	8.4	7.7	7.5	7.3
60歳代	417	40.8	24.9	24.0	26.1	21.6	6.2	7.7	11.8	8.6	9.4	9.1	10.1	6.2	4.1	7.2	8.2	6.5
70歳以上	277	47.3	26.7	22.4	20.6	22.4	4.3	9.0	7.9	9.0	10.5	7.6	8.3	1.8	8.3	3.2	7.9	4.3
【性・年代別】																		
男性 20歳代	123	13.8	15.4	18.7	15.4	14.6	24.4	10.6	7.3	6.5	13.8	13.8	13.8	17.1	10.6	9.8	4.9	6.5
30歳代	185	11.9	21.6	21.1	16.8	13.5	29.7	15.1	9.7	10.8	9.7	6.5	10.8	7.6	7.6	13.0	7.0	11.4
40歳代	224	18.8	22.3	23.2	16.1	13.4	21.4	22.8	9.8	14.7	10.7	10.7	13.4	7.6	10.7	7.6	7.1	8.0
50歳代	221	25.8	24.0	20.8	19.5	14.9	7.2	11.3	10.4	6.8	11.3	10.0	9.0	12.7	10.9	9.5	6.3	6.8
60歳代	207	43.5	25.1	23.7	22.7	14.0	6.3	9.2	14.5	7.2	9.2	7.7	13.5	6.8	3.9	6.8	6.8	6.8
70歳以上	133	45.9	27.8	20.3	17.3	16.5	6.0	9.0	11.3	12.0	12.0	4.5	11.3	1.5	12.0	1.5	9.0	2.3
女性 20歳代	137	11.7	19.0	25.5	19.7	15.3	29.2	18.2	14.6	4.4	8.0	7.3	8.8	12.4	6.6	13.9	5.1	5.8
30歳代	188	17.6	23.4	21.8	16.0	12.8	35.6	18.1	8.0	13.3	9.0	10.6	3.2	8.0	8.0	5.3	6.9	7.4
40歳代	209	28.7	22.5	11.5	20.6	15.8	17.2	13.9	12.4	18.2	12.4	8.1	7.2	5.3	11.5	10.0	7.2	7.7
50歳代	220	29.5	19.1	20.9	25.5	24.5	8.2	8.2	11.8	9.5	5.5	13.2	8.6	13.6	5.9	5.9	8.6	7.7
60歳代	210	38.1	24.8	24.3	29.5	29.0	6.2	6.2	9.0	10.0	9.5	10.5	6.7	5.7	4.3	7.6	9.5	6.2
70歳以上	144	48.6	25.7	24.3	23.6	27.8	2.8	9.0	4.9	6.3	9.0	10.4	5.6	2.1	4.9	4.9	6.9	6.3
【職業別】																		
自営業・家族従業（計）	278	24.8	18.0	19.8	20.5	18.3	14.4	9.4	11.9	8.6	11.9	10.4	7.6	6.8	8.3	6.1	7.2	11.5
雇用者（計）	1000	23.7	22.7	21.4	19.3	14.1	20.2	15.0	10.9	10.5	9.0	9.4	10.3	10.6	8.6	10.3	7.7	6.8
無職（計）	892	33.9	24.0	22.0	21.7	21.7	11.7	11.2	9.3	10.7	10.4	9.2	8.9	6.4	7.2	6.1	6.6	5.9
【ライフステージ別】																		
独身期	303	17.2	17.2	24.4	15.5	12.2	14.9	10.6	10.6	5.6	9.9	10.2	10.2	14.9	8.9	13.5	7.9	7.6
家族形成期	229	10.0	23.6	21.4	18.3	16.2	46.7	20.1	9.6	9.2	7.0	9.6	9.2	7.4	9.2	9.2	3.9	7.4
家族成長前期	253	16.6	27.7	14.6	16.2	13.0	34.0	22.9	6.7	21.7	12.6	8.3	7.5	5.5	9.9	7.5	5.9	9.5
家族成長後期	194	25.3	22.7	17.0	20.6	18.0	11.9	15.5	11.9	18.6	12.4	11.9	8.2	10.3	7.7	8.8	7.7	4.6
家族成熟期	500	33.2	19.0	22.8	22.2	19.8	7.8	9.2	11.4	8.2	9.2	9.4	9.8	10.4	8.0	8.0	8.4	9.2
高齢期	384	43.2	27.6	24.5	25.8	22.4	7.0	7.8	9.1	8.9	9.6	8.1	9.9	2.6	5.7	4.9	8.6	4.7
その他	338	34.0	23.1	19.8	21.0	18.6	6.2	11.2	13.0	6.8	9.8	10.4	8.9	7.7	7.7	5.6	6.2	5.6

(%)

18	19	20	21	22	23		25			28		30	31	32	33	34	35	36			
公園、緑地を整備する	廃棄物対策を充実する	健康づくりをすすめて、疾病を予防する	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる	都市のバリアフリー化をすすめる	生活排水対策をすすめる	芸術・文化活動をさかんにする	生涯学習対策を充実する	商業企業への支援を充実する	スポーツ、レクリエーションをさかんにする	人権尊重の社会づくりをすすめる	市町村が主役の地域づくりをすすめる	県民参加の行政をすすめる	農林業をさかんにする	男女共同参画社会の実現をはかる	NPOやボランティアへの活動支援を充実する	国際交流や国際協力をすすめる	観光振興をすすめる	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりを進める	その他	わからない	無回答
6.8	5.5	4.6	4.5	4.4	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.0	2.0	1.8	1.4	1.2	1.1	0.8	0.7	0.6	1.7	2.3	1.4
7.0 6.6	5.5 5.5	3.8 5.3	3.8 5.1	4.0 4.7	2.6 2.2	2.9 1.9	2.5 2.1	3.3 1.3	3.5 1.1	2.3 1.8	2.2 1.8	1.6 2.0	1.6 1.1	0.8 1.6	0.9 1.3	1.0 0.6	0.6 0.7	0.8 0.4	1.6 1.8	2.0 2.5	1.6 1.1
8.5 12.6 7.9 4.8 4.8 2.2	4.2 3.2 5.3 7.3 6.5 5.8	1.9 0.5 3.7 6.3 7.4 6.9	5.4 2.7 4.2 6.3 4.3 4.0	6.2 4.0 3.9 4.3 4.1 4.3	1.5 2.4 2.1 2.3 1.4 5.1	3.1 2.9 1.6 4.1 1.4 1.1	1.5 1.1 1.8 2.3 3.4 3.6	0.4 3.8 3.2 2.5 1.7 1.1	3.8 2.4 2.1 1.6 2.6 1.4	3.1 0.3 1.2 1.6 2.9 2.2	1.9 1.6 2.1 1.6 2.9 2.5	1.2 1.1 0.8 1.8 2.6 1.4	1.5 0.8 1.2 2.7 1.0 0.7	1.9 1.9 0.7 1.1 0.5 1.8	1.5 0.3 1.2 1.1 1.7 0.7	1.5 1.3 0.7 0.9 0.2 0.4	0.8 0.8 0.9 0.7 0.5 0.4	2.7 0.5 0.7 0.2 - -	3.5 3.8 1.8 0.5 1.0 -	2.3 1.9 1.6 2.3 1.7 4.7	1.2 2.7 0.7 1.6 0.5 1.8
10.6 10.3 8.0 5.0 5.3 3.8 6.6 14.9 7.7 4.5 4.3 0.7	3.3 4.3 4.9 6.3 8.2 4.5 5.1 2.1 5.7 8.2 4.8 6.9	1.6 0.5 3.6 5.9 5.8 4.5 2.2 0.5 3.8 6.8 9.0 9.0	5.7 1.1 2.2 6.8 4.3 3.0 7.3 4.3 6.2 5.9 4.3 4.9	4.9 3.8 2.2 5.0 3.4 6.0 7.3 3.2 5.7 3.6 4.8 2.8	0.8 1.6 0.9 2.7 1.4 9.8 2.2 3.2 3.3 1.8 1.4 0.7	1.6 3.2 1.3 5.9 2.9 1.5 4.4 2.7 1.9 2.3 - 0.7	2.4 1.1 1.8 1.8 2.9 3.0 0.7 1.1 1.9 2.7 1.4 4.2	0.8 5.9 3.6 3.6 2.9 1.5 - 1.6 2.9 1.4 0.5 0.7	6.5 3.8 2.7 2.7 3.9 2.3 1.5 1.1 1.4 2.7 3.8 1.4	4.1 - 2.2 3.2 1.9 3.0 2.2 0.5 - 1.4 2.7 3.8 1.4	3.3 1.6 1.8 0.9 4.3 1.5 0.7 1.6 2.9 1.8 2.9 3.5	2.4 1.1 1.8 4.1 0.5 - 1.1 1.1 2.9 1.4 2.9 1.4	1.6 0.5 1.8 0.9 0.5 1.5 2.2 2.7 0.5 1.4 1.4 2.1	0.8 - 0.4 0.9 0.5 1.5 2.2 0.5 1.9 1.4 0.5 -	1.6 1.6 0.9 0.9 0.5 0.8 1.5 1.1 0.5 1.9 0.9 -	1.6 1.1 - 0.5 0.5 0.8 - 0.5 1.9 0.9 -	1.6 1.1 0.4 0.5 - - 1.5 - 1.0 - -	4.1 1.1 0.5 0.5 - - 1.5 - 1.0 - -	1.6 3.8 1.8 0.5 1.4 - 5.1 3.7 1.9 0.5 0.5 -	2.4 2.2 1.8 1.8 1.0 3.8 2.2 1.6 1.4 2.7 2.4 5.6	1.6 3.2 0.4 2.3 0.5 2.3 0.7 2.1 1.0 0.9 0.5 1.4
6.8 7.7 5.8	8.3 4.5 5.8	4.7 3.0 6.4	5.8 3.8 4.8	5.0 3.8 4.8	1.4 2.4 2.6	2.9 2.8 1.8	1.4 2.4 2.5	7.9 2.0 0.8	3.6 2.6 1.6	2.2 2.0 2.0	2.9 1.7 2.0	1.4 1.4 2.2	3.6 1.3 0.8	1.1 1.4 1.1	0.7 1.0 1.3	0.7 0.7 1.0	0.7 0.9 0.4	- 0.9 0.4	1.1 2.4 1.1	2.5 1.3 3.3	1.1 1.4 1.1
7.9 14.8 9.9 4.1 4.8 3.9 5.9	4.6 3.9 3.2 5.2 7.2 6.3 5.9	1.3 0.9 2.0 4.6 6.8 7.0 5.9	5.6 1.7 2.8 5.2 6.6 3.6 4.1	6.9 3.5 1.2 3.6 3.8 4.9 5.6	1.7 1.3 2.4 3.6 2.0 3.6 2.1	5.0 1.3 0.4 1.5 3.6 1.3 2.4	2.0 0.4 1.2 3.6 3.4 2.6 1.8	1.3 3.1 2.4 3.6 2.6 1.3 2.4	3.3 3.1 1.6 3.6 2.4 0.8 2.1	3.0 - 0.8 0.5 2.6 3.1 2.4	1.7 0.9 1.6 1.0 2.4 2.1 3.3	1.3 0.9 1.2 2.1 1.6 3.1 1.8	1.0 1.3 1.2 2.1 1.8 0.8 1.5	2.6 1.3 0.8 0.5 1.0 1.0 1.2	1.3 0.4 - 1.5 1.2 1.0 1.0 1.8	2.0 0.4 1.2 - 1.0 - 0.6 0.9	1.0 0.4 0.8 0.5 0.6 - 0.3 0.6	2.6 0.9 0.4 0.5 - - 0.3 0.3	3.6 3.1 2.4 1.5 0.4 0.3 2.1	3.0 0.9 1.6 1.0 1.6 2.6 4.4	3.0 0.4 1.6 1.0 1.0 1.0 1.5

【平成15年以降の上位10項目の推移】

過去5年間の上位10項目の推移をみると、今回1位の「高齢者の福祉を充実する」（1位→2位→2位→1位→1位）と、2位の「医療サービス体制を整備する」（2位→3位→3位→3位→2位）はほぼ上位で固定している。3位の「自然をまもり、緑を育てる」（4位→4位→4位→4位→3位。ただし、15年の選択肢は「緑をまもり育てる」）は4位を続けていたが、今回は順位を1つ上げている。4位の「地球温暖化を防止する」（5位→5位→8位→4位）は、前回順位を下げていたが、今回大きく上昇している。5位の「食品の安全をまもる」（8位→9位→13位→5位）は、新設された16年の8位以来下降を続け、18年には13位まで順位を下げていたが、今回大きく上昇している。6位の「子育て支援を充実する」（10位→9位→6位→5位→6位。ただし、15年の選択肢は「家庭、児童福祉を充実する」）は、15年から18年まで上昇を続けていたが、今回は順位を1つ下げている。7位の「防犯の地域づくりをすすめる」（3位→1位→1位→2位→7位。ただし、15年の選択肢は「犯罪から県民をまもる」）は前回までは3位以上にあげられていたが、今回調査では大きく順位を下げており、特に下降が目立っている。

順位	15年	16年	17年	18年	19年
1	高齢者の福祉を充実する 25.6%	防犯の地域づくりをすすめる 26.5%	防犯の地域づくりをすすめる 25.5%	高齢者の福祉を充実する 27.0%	高齢者の福祉を充実する 27.9%
2	医療サービス体制を整備する 25.0%	高齢者の福祉を充実する 24.3%	高齢者の福祉を充実する 23.3%	防犯の地域づくりをすすめる 24.5%	医療サービス体制を整備する 22.7%
3	犯罪から県民をまもる 24.8%	医療サービス体制を整備する 19.5%	医療サービス体制を整備する 17.9%	医療サービス体制を整備する 20.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%
4	緑をまもり育てる 14.9%	自然をまもり、緑を育てる 18.0%	自然をまもり、緑を育てる 16.9%	自然をまもり、緑を育てる 20.4%	地球温暖化を防止する 20.5%
5	青少年を健全に育てる 14.8%	（新規）地球温暖化を防止する 15.2%	地球温暖化を防止する 16.0%	子育て支援を充実する 19.3%	食品の安全をまもる 17.7%
6	廃棄物対策を充実する（ゴミ処理など） 13.2%	青少年を健全に育てる 13.7%	子育て支援を充実する 15.3%	災害から県民をまもる 13.1%	子育て支援を充実する 15.8%
7	公害をなくす 11.4%	（新規）雇用の場を広げる 13.6%	青少年を健全に育てる 13.4%	交通事故をなくす 11.1%	防犯の地域づくりをすすめる 12.7%
8	便利な交通網を作る 10.1%	（新規）食品の安全をまもる 13.0%	雇用の場を広げる 11.7%	地球温暖化を防止する 10.8%	災害から県民をまもる 10.4%
9	省資源やリサイクルをすすめる 9.7%	子育て支援を充実する 12.5%	食品の安全をまもる 11.4%	雇用の場を広げる 9.7%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.3%
10	家庭、児童福祉を充実する 9.6%	川や大気環境をまもる 10.9%	災害から県民をまもる 10.0%	道路や街路を整備する 9.2%	交通事故をなくす 9.9%

【上位4項目の10年間の推移】

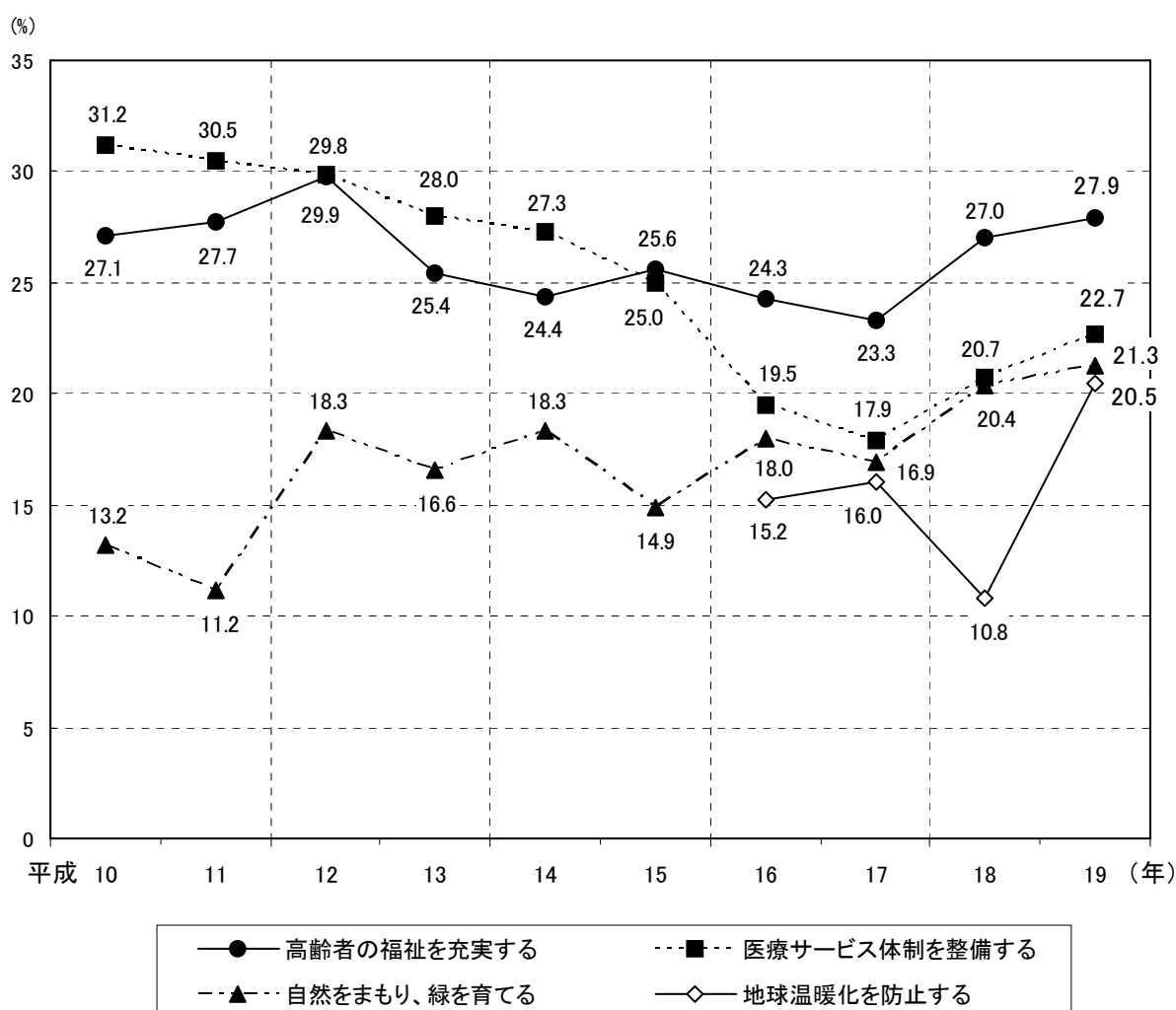
今回の調査で上位となった「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」と「自然をまもり、緑を育てる」（ただし、15年以前の選択肢は「緑をまもり育てる」）、それに「地球温暖化を防止する」の4項目について、平成10年以降の10年間の推移をみると次のようになっている。

まず、1位の「高齢者の福祉を充実する」は平成13年以降は2割台半ばを推移し、わずかながら減少傾向がみられていたが、17年以降増加傾向を示しており、今回は3割に近づいている。

2位の「医療サービス体制を整備する」は平成10年から17年まで下降傾向を示していたが、18年からは2割を超えて、増加傾向を示している。

3位の「自然をまもり、緑を育てる」は平成17年までは1割台で上下していたが、18年以降は2割台となり、上昇傾向にある。

4位の「地球温暖化を防止する」は平成16年から17年にかけては1割台半ばで推移し、18年には1割に下降したものの、今回は2割と大きく上昇している。



【属性別の上位5項目】

■地域別

(%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
地域別	南部 (n=763)	高齢者の福祉を充実する (26.0)	自然をまもり、緑を育てる (21.2)	医療サービス体制を整備する (21.0)	地球温暖化を防止する (19.9)	子育て支援を充実する (16.8)
	西部 (n=720)	高齢者の福祉を充実する (30.3)	自然をまもり、緑を育てる (23.8)	医療サービス体制を整備する (22.9)	地球温暖化を防止する (19.7)	子育て支援を充実する (16.9)
	東部 (n=515)	高齢者の福祉を充実する (27.0)	医療サービス体制を整備する (24.7)	地球温暖化を防止する (21.6)	食品の安全をまもる (21.2)	自然をまもり、緑を育てる (19.6)
	北部 (n=165)	高齢者の福祉を充実する (29.1)	医療サービス体制を整備する (24.2)	地球温暖化を防止する (22.4)	食品の安全をまもる (20.6)	子育て支援を充実する (13.9)
	秩父 (n=38)	自然をまもり、緑を育てる (31.6)	食品の安全をまもる (28.9)	高齢者の福祉を充実する (26.3)	地球温暖化を防止する (23.7)	医療サービス体制を整備する／省資源やりサイクルをすすめる (18.4)

■市郡規模別

(%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
市郡規模別	人口10万以上の市 (n=1531)	高齢者の福祉を充実する (28.5)	医療サービス体制を整備する (23.1)	自然をまもり、緑を育てる (22.2)	地球温暖化を防止する (20.2)	食品の安全をまもる (17.3)
	人口10万未満の市 (n=444)	高齢者の福祉を充実する (25.2)	医療サービス体制を整備する (23.4)	地球温暖化を防止する (18.7)	自然をまもり、緑を育てる (18.5)	食品の安全をまもる (17.3)
	郡部(町村) (n=226)	高齢者の福祉を充実する (28.8)	地球温暖化を防止する (26.1)	食品の安全をまもる (21.2)	自然をまもり、緑を育てる (20.4)	医療サービス体制を整備する (18.1)

■性別

(%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
性別	男性 (n=1093)	高齢者の福祉を充実する (26.4)	医療サービス体制を整備する (23.0)	自然をまもり、緑を育てる (21.6)	地球温暖化を防止する (18.2)	子育て支援を充実する (15.6)
	女性 (n=1108)	高齢者の福祉を充実する (29.2)	地球温暖化を防止する (22.7)	医療サービス体制を整備する (22.4)	食品の安全をまもる (21.0)	自然をまもり、緑を育てる (20.9)

■年代別

(%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
年代別	20歳代 (n=260)	子育て支援を充実する (26.9)	自然をまもり、緑を育てる (22.3)	地球温暖化を防止する (17.7)	医療サービス体制を整備する (17.3)	食品の安全をまもる (15.0)
	30歳代 (n=373)	子育て支援を充実する (32.7)	医療サービス体制を整備する (22.5)	自然をまもり、緑を育てる (21.4)	防犯の地域づくりをすすめる (16.6)	地球温暖化を防止する (16.4)
	40歳代 (n=433)	高齢者の福祉を充実する (23.6)	医療サービス体制を整備する (22.4)	子育て支援を充実する (19.4)	防犯の地域づくりをすすめる (18.5)	地球温暖化を防止する (18.2)
	50歳代 (n=441)	高齢者の福祉を充実する (27.7)	地球温暖化を防止する (22.4)	医療サービス体制を整備する (21.5)	自然をまもり、緑を育てる (20.9)	食品の安全をまもる (19.7)
	60歳代 (n=417)	高齢者の福祉を充実する (40.8)	地球温暖化を防止する (26.1)	医療サービス体制を整備する (24.9)	自然をまもり、緑を育てる (24.0)	食品の安全をまもる (21.6)
	70歳以上 (n=277)	高齢者の福祉を充実する (47.3)	医療サービス体制を整備する (26.7)	自然をまもり、緑を育てる／食品の安全をまもる (22.4)		地球温暖化を防止する (20.6)

■性・年代別

(%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
性・年代別	男性	20歳代 (n=123)	子育て支援を充実する (24.4)	自然をまもり、緑を育てる (18.7)	雇用を広げる (17.1)	医療サービス体制を整備する／地球温暖化を防止する (15.4)
		30歳代 (n=185)	子育て支援を充実する (29.7)	医療サービス体制を整備する (21.6)	自然をまもり、緑を育てる (21.1)	地球温暖化を防止する (16.8)
		40歳代 (n=224)	自然をまもり、緑を育てる (23.2)	防犯の地域づくりをすすめる (22.8)	医療サービス体制を整備する (22.3)	子育て支援を充実する (21.4)
		50歳代 (n=221)	高齢者の福祉を充実する (25.8)	医療サービス体制を整備する (24.0)	自然をまもり、緑を育てる (20.8)	地球温暖化を防止する (19.5)
		60歳代 (n=207)	高齢者の福祉を充実する (43.5)	医療サービス体制を整備する (25.1)	自然をまもり、緑を育てる (23.7)	地球温暖化を防止する (22.7)
		70歳以上 (n=133)	高齢者の福祉を充実する (45.9)	医療サービス体制を整備する (27.8)	自然をまもり、緑を育てる (20.3)	地球温暖化を防止する (17.3)
	女性	20歳代 (n=137)	子育て支援を充実する (29.2)	自然をまもり、緑を育てる (25.5)	地球温暖化を防止する (19.7)	医療サービス体制を整備する (19.0)
		30歳代 (n=188)	子育て支援を充実する (35.6)	医療サービス体制を整備する (23.4)	自然をまもり、緑を育てる (21.8)	防犯の地域づくりをすすめる (18.1)
		40歳代 (n=209)	高齢者の福祉を充実する (28.7)	医療サービス体制を整備する (22.5)	地球温暖化を防止する (20.6)	学力、規律ある態度、体力を身につける (18.2)
		50歳代 (n=220)	高齢者の福祉を充実する (29.5)	地球温暖化を防止する (25.5)	食品の安全をまもる (24.5)	自然をまもり、緑を育てる (20.9)
		60歳代 (n=210)	高齢者の福祉を充実する (38.1)	地球温暖化を防止する (29.5)	食品の安全をまもる (29.0)	医療サービス体制を整備する (24.8)
		70歳以上 (n=144)	高齢者の福祉を充実する (48.6)	食品の安全をまもる (27.8)	医療サービス体制を整備する (25.7)	自然をまもり、緑を育てる (24.3)

■ライフステージ別

(%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
ライフ ス テ ー ジ 別	独身期 (n=303)	自然をまもり、緑を 育てる (24.4)	高齢者の福祉を充実する／医療サービ ス体制を整備する (17.2)	地球温暖化を防止す る (15.5)	子育て支援を充実する ／雇用の場を広げる (14.9)	
	家族形成期 (n=229)	子育て支援を充実す る (46.7)	医療サービス体制を 整備する (23.6)	自然をまもり、緑を 育てる (21.4)	防犯の地域づくりを すすめる (20.1)	地球温暖化を防止す る (18.3)
	家族成長前期 (n=253)	子育て支援を充実す る (34.0)	医療サービス体制を 整備する (27.7)	防犯の地域づくりを すすめる (22.9)	学力、規律ある態度、 体力を身につける学校 教育を充実する (21.7)	高齢者の福祉を充実 する (16.6)
	家族成長後期 (n=194)	高齢者の福祉を充実 する (25.3)	医療サービス体制を 整備する (22.7)	地球温暖化を防止す る (20.6)	学力、規律ある態度、 体力を身につける学校 教育を充実する (18.6)	食品の安全をまもる (18.0)
	家族成熟期 (n=500)	高齢者の福祉を充実 する (33.2)	自然をまもり、緑を 育てる (22.8)	地球温暖化を防止す る (22.2)	食品の安全をまもる (19.8)	医療サービス体制を 整備する (19.0)
	高齢期 (n=384)	高齢者の福祉を充実 する (43.2)	医療サービス体制を 整備する (27.6)	地球温暖化を防止す る (25.8)	自然をまもり、緑を 育てる (24.5)	食品の安全をまもる (22.4)
	その他 (n=338)	高齢者の福祉を充実 する (34.0)	医療サービス体制を 整備する (23.1)	地球温暖化を防止す る (21.0)	自然をまもり、緑を 育てる (19.8)	食品の安全をまもる (18.6)

県政への要望10年間の推移(平成10年～平成19年)

	H10	H11	H12	H13	H14
1	医療サービス体制を整備する 31.2%	医療サービス体制を整備する 30.5%	医療サービス体制を整備する 29.9%	医療サービス体制を整備する 28.0%	医療サービス体制を整備する 27.3%
2	高齢者の福祉を充実する 27.1%	高齢者の福祉を充実する 27.7%	高齢者の福祉を充実する 29.8%	高齢者の福祉を充実する 25.4%	高齢者の福祉を充実する 24.4%
3	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 25.1%	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 23.2%	犯罪から県民をまもる 18.6%	犯罪から県民をまもる 21.6%	犯罪から県民をまもる 18.5%
4	公害をなくす 20.9%	公害をなくす 20.0%	緑をまもり育てる 18.3%	緑をまもり育てる 16.6%	緑をまもり育てる 18.3%
5	省資源やリサイクルをすすめる 19.1%	省資源やリサイクルをすすめる 16.9%	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 14.6%	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 16.3%	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 17.7%
6	緑をまもり育てる 13.2%	犯罪から県民をまもる 12.1%	青少年を健全に育てる 14.1%	省資源やリサイクルをすすめる 16.2%	省資源やリサイクルをすすめる 14.1%
7	道路や街路を整備する 10.7%	緑をまもり育てる 11.2%	公害をなくす 13.7%	公害をなくす 14.1%	青少年を健全に育てる 12.9%
8	犯罪から県民をまもる 10.4%	交通事故をなくす 10.2%	省資源やリサイクルをすすめる 11.8%	青少年を健全に育てる 11.4%	公害をなくす 12.1%
9	便利な交通網をつくる 10.2%	便利な交通網をつくる 9.9%	下水道を整備する 11.7%	交通事故をなくす 10.6%	交通事故をなくす 12.0%
10	交通事故をなくす 8.9%	道路や街路を整備する 9.6%	公園、緑地を整備する 9.8%	便利な交通網をつくる 9.1%	道路や街路を整備する 11.2%
11	働く人たちの福祉をたかめる 8.6%	青少年を健全に育てる 8.6%	道路や街路を整備する 8.6%	公園、緑地を整備する 8.8%	下水道を整備する 10.5%
12	青少年を健全に育てる 8.0%	個性を生かす学校教育を充実する/ 下水道を整備する 8.5%	交通事故をなくす 8.5%	働く人たちの福祉をたかめる 8.1%	便利な交通網をつくる 10.1%
13	下水道を整備する 7.5%		働く人たちの福祉をたかめる 7.7%	個性を生かす学校教育を充実する 7.9%	働く人たちの福祉をたかめる 10.0%
14	家庭、児童福祉を充実する 7.2%	公園、緑地を整備する 7.4%	便利な交通網をつくる 7.5%	下水道を整備する 7.7%	公園、緑地を整備する 8.1%
15	個性を生かす学校教育を充実する 6.6%	家庭、児童福祉を充実する/ 働く人たちの福祉をたかめる 7.1%	個性を生かす学校教育を充実する 6.7%	道路や街路を整備する 7.4%	家庭、児童福祉を充実する 7.0%
16	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる 6.3%		健康づくりをすすめて、 疾病を予防する 6.5%	家庭、児童福祉を充実する 7.0%	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 6.8%
17	消費者を保護する 6.0%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる 6.9%	家庭、児童福祉を充実する 6.4%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる 6.4%	衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 6.1%
18	健康づくりをすすめて、 疾病を予防する/ 公園、緑地を整備する 5.5%	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 6.0%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる 6.3%	生涯学習対策を充実する 5.3%	個性を生かす学校教育を充実する 5.9%
19		健康づくりをすすめて、 疾病を予防する 4.9%	衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 6.2%	健康づくりをすすめて、 疾病を予防する 5.2%	消費者を保護する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 5.1%
20	県民参加の行政をすすめる 4.6%	消費者を保護する 4.8%	消費者を保護する 4.4%	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 5.1%	
21	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 4.3%	県民参加の行政をすすめる 4.5%	火災や災害から県民をまもる 4.0%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 4.9%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて 疾病を予防する 5.0%
22	土地対策を推進する(土地利用の適正 化、地価の安定など) 3.5%	火災や災害から県民をまもる 4.2%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 3.8%	消費者を保護する 4.8%	
23	住宅対策をすすめる/ 県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大) 3.2%	生涯学習対策を充実する 3.3%	飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 3.7%	県民参加の行政をすすめる 4.4%	県民参加の行政をすすめる 4.7%
24		住宅対策をすすめる/ 衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 3.1%	県民参加の行政をすすめる/ 商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 3.4%	火災や災害から県民をまもる 3.6%	火災や災害から県民をまもる 4.3%
25	火災や災害から県民をまもる/ 飲料水や工業用水、 農業用水を確保する/ 生涯学習対策を充実する 2.9%	土地対策を推進する(土地利用の適正 化、地価の安定など)/ 県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大) 3.0%	生涯学習対策を充実する 3.1%	住宅対策をすすめる/ 情報システムの整備、 活用をすすめる 2.8%	県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大) 3.3%
26			情報システムの整備、 活用をすすめる 3.0%	県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大)/ 衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 2.7%	生涯学習対策を充実する 3.0%
27		男女平等社会の実現をはかる/ 地域の文化をたかめる 2.5%	県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大) 2.5%	コミュニティづくりをすすめる/ 地域の文化をたかめる/ 男女平等社会の実現をはかる 2.5%	情報システムの整備、 活用をすすめる 2.9%
28	スポーツ、レクリエーションを さかんにする 2.6%		土地対策を推進する(土地利用の適正 化、地価の安定など) 2.6%		地域の文化をたかめる 2.6%
29	衛生対策をすすめる/ (食品の安全確保など) 男女平等社会の実現をはかる 2.2%				飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 2.5%
30			住宅対策をすすめる 2.3%		コミュニティづくりをすすめる 2.2%
31	コミュニティづくりをすすめる 2.1%	国際化をすすめる 2.0%	地域の文化をたかめる 2.2%	男女平等社会の実現をはかる 2.5%	土地対策を推進する(土地利用の適正 化、地価の安定など)/ 住宅対策をすすめる 2.0%
32	情報システムの整備、 活用をすすめる 2.0%	情報システムの整備、 活用をすすめる/ 飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 1.8%	コミュニティづくりをすすめる 2.1%	土地対策を推進する(土地利用の適正 化、地価の安定など) 2.2%	
33	地域の文化をたかめる 1.7%		男女平等社会の実現をはかる 1.8%	国際化をすすめる 2.1%	男女共同参画社会の実現をはかる/ 国際化をすすめる 1.9%
34	国際化をすすめる 1.3%	コミュニティづくりをすすめる 1.7%	農林業をさかんにする 1.5%	農林業をさかんにする 1.8%	
35	農林業をさかんにする 1.1%	同和問題を解決する/ 農林業をさかんにする 1.0%	国際化をすすめる 1.4%	飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 1.7%	農林業をさかんにする 1.7%
36	同和問題を解決する 1.0%		同和問題を解決する 0.8%	同和問題を解決する 1.1%	同和問題を解決する 0.7%

	H15	H16	H17	H18	H19
1	高齢者の福祉を充実する 25.6%	防犯の地域づくりをすすめる 26.5%	防犯の地域づくりをすすめる 25.5%	高齢者の福祉を充実する 27.0%	高齢者の福祉を充実する 27.9%
2	医療サービス体制を整備する 25.0%	高齢者の福祉を充実する 24.3%	高齢者の福祉を充実する 23.3%	防犯の地域づくりをすすめる 24.5%	医療サービス体制を整備する 22.7%
3	犯罪から県民をまもる 24.8%	医療サービス体制を整備する 19.5%	医療サービス体制を整備する 17.9%	医療サービス体制を整備する 20.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%
4	緑をまもり育てる 14.9%	自然をまもり、緑を育てる 18.0%	自然をまもり、緑を育てる 16.9%	自然をまもり、緑を育てる 20.4%	地球温暖化を防止する 20.5%
5	青少年を健全に育てる 14.8%	地球温暖化を防止する 15.2%	地球温暖化を防止する 16.0%	子育て支援を充実する 19.3%	食品の安全をまもる 17.7%
6	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 13.2%	青少年を健全に育てる 13.7%	子育て支援を充実する 15.3%	災害から県民をまもる 13.1%	子育て支援を充実する 15.8%
7	公害をなくす 11.4%	雇用の場を広げる 13.6%	青少年を健全に育てる 13.4%	交通事故をなくす 11.1%	防犯の地域づくりをすすめる 12.7%
8	便利な交通網をつくる 10.1%	食品の安全をまもる 13.0%	雇用の場を広げる 11.7%	地球温暖化を防止する 10.8%	災害から県民をまもる 10.4%
9	省資源やリサイクルをすすめる 9.7%	子育て支援を充実する 12.5%	食品の安全をまもる 11.4%	雇用の場を広げる 9.7%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.3%
10	家庭、児童福祉を充実する 9.6%	川や大気環境をまもる 10.9%	災害から県民をまもる 10.0%	道路や街路を整備する 9.2%	交通事故をなくす 9.9%
11	道路や街路を整備する 8.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.8%	川や大気環境をまもる 9.4%	川や大気環境をまもる 9.1%	省資源やリサイクルをすすめる 9.5%
12	交通事故をなくす 8.4%	省資源やリサイクルをすすめる 10.0%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.1%	省資源やリサイクルをすすめる 8.9%	川や大気環境をまもる 9.3%
13	働く人たちの福祉をたかめる 7.9%	交通事故をなくす 9.9%	便利な交通網をつくる 8.5%	食品の安全をまもる/ 青少年を健全に育てる 8.6%	雇用の場を広げる 8.4%
14	公園、緑地を整備する 7.6%	廃棄物対策を充実する 8.3%	省資源やリサイクルをすすめる 8.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.5%	道路や街路を整備する/ 便利な交通網をつくる 8.0%
15	下水道を整備する 7.3%	便利な交通網をつくる 7.3%	交通事故をなくす/ 消費生活の安全をたかめる 8.2%	便利な交通網をつくる 8.4%	消費生活の安全を高める 7.2%
16	個性を生かす学校教育を充実する 6.1%	災害から県民をまもる 7.2%	道路や街路を整備する 7.9%	廃棄物対策を充実する 7.8%	青少年を健全に育てる 7.1%
17	消費者を保護する 5.7%	消費生活の安全をたかめる 6.3%	廃棄物対策を充実する 6.4%	公園、緑地を整備する/ 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 6.5%	公園、緑地を整備する 6.8%
18	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 5.6%	道路や街路を整備する 5.7%	公園、緑地を整備する 5.9%	生活排水対策をすすめる 3.8%	生活排水対策をすすめる 2.4%
19	火災や災害から県民をまもる 4.4%	公園、緑地を整備する 5.5%	公園、緑地を整備する 5.9%	生活排水対策をすすめる 3.8%	生活排水対策をすすめる 2.4%
20	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる/ 県民参加の行政をすすめる 4.2%	都市のバリアフリー化をすすめる 5.1%	都市のバリアフリー化をすすめる 4.6%	都市のバリアフリー化をすすめる 5.9%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 4.6%
21	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 3.7%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する/ 市町村が主役の 地域づくりをすすめる 4.2%	生活排水対策をすすめる 4.1%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 5.6%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる 4.5%
22	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 3.3%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 4.0%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて 疾病を予防する 4.0%	消費生活の安全をたかめる 5.5%	都市のバリアフリー化をすすめる 4.4%
23	衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 3.2%	障害者の社会参加 と福祉対策をすすめる 3.9%	商工業を振興し、中小企業・ベンチ ャー企業への支援を充実する 3.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 4.2%	芸術・文化活動をさかんにする/ 生活排水対策をすすめる 2.4%
24	地域の文化をたかめる 2.6%	人権尊重の社会づくりをすすめる 3.0%	県民参加の行政をすすめる 3.0%	生活排水対策をすすめる 3.8%	生活排水対策をすすめる 2.4%
25	生涯学習対策を充実する 2.5%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.7%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.9%	商工業を振興し、中小企業・ベンチ ャー企業への支援を充実する/ 芸術・文化活動をさかんにする 3.0%	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチ ャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%
26	県や市町村が独自に行える仕事の 範囲を広くする(自治権の拡大) 2.4%	県民参加の行政をすすめる/ 芸術・文化活動をさかんにする 2.5%	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.8%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.9%	人権尊重の社会づくりをすすめる/ 市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.0%
27	コミュニティづくりをすすめる 2.2%	生活排水対策をすすめる/ 生涯学習対策を充実する 1.9%	生涯学習対策を充実する 2.1%	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.4%	県民参加の行政をすすめる 1.8%
28	住宅対策をすすめる 2.1%	生涯学習対策を充実する 1.9%	農林業をさかんにする 1.7%	生涯学習対策を充実する 2.3%	農林業をさかんにする 1.4%
29	土地対策を推進する(土地利用の 適正化、地価の安定など)/ 情報システムの整備、 活用をすすめる 2.0%	農林業をさかんにする 1.6%	芸術・文化活動をさかんにする 1.4%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める 1.9%	農林業をさかんにする 1.4%
30	飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 1.6%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める/ NPO やボランティアへの 活動支援を充実する 1.4%	男女共同参画社会の実現をはかる / NPO やボランティアへの 活動支援を充実する 1.2%	男女共同参画社会の実現をはかる / 農林業をさかんにする/ 国際交流や国際協力をすすめる 1.3%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.2%
31	農林業をさかんにする/ 国際化をすすめる 1.5%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.0%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める 0.9%	国際交流や国際協力をすすめる 1.3%	国際交流や国際協力をすすめる 0.8%
32	男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%	国際交流や国際協力をすすめる 0.7%	国際交流や国際協力をすすめる 0.7%	NPO やボランティアへの 活動支援を充実する 1.1%	観光振興をすすめる 0.7%
33	同和問題を解決する 0.3%	観光振興をすすめる 0.4%	観光振興をすすめる 0.4%	観光振興をすすめる 1.0%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりを進める 0.6%

Ⅲ 調査票・単純集計結果

埼玉県政世論調査

(平成19年7月)

調査実施主体 埼 玉 県

【担当 総務部 広聴広報課】

【048(830)2850(直通)】

調査実施機関

株式会社 サーベイリサーチセンター

東京都荒川区西日暮里2-40-10

0120(227)244(フリーダイヤル)

I 生活意識

問1 さっそくですが、お宅の暮らし向きは、昨年の中ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。(カード1提示)

1.1 楽になった	48.3 変わらない	24.4 苦しくなった
3.8 少し楽になった	20.1 少し苦しくなった	2.2 わからない
		0.2 無回答

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに属すると思いますか。

(カード2提示)

0.1 上の上	25.7 中の上	13.7 下の上	18.7 わからない
1.4 上の下	34.8 中の下	5.0 下の下	0.6 無回答

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。(カード3提示)

2.4 大変満足している	38.6 やや不満である	5.5 わからない
40.3 まあ満足している	12.7 大変不満である	0.7 無回答

問4 では、次にあげる5つの生活面について、あなたはどの程度満足していますか。

(カード4提示)

	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答
(1) 自分や家族の健康について	9.3	56.3	25.4	6.3	2.1	0.5
(2) 近所や職場での人間関係について	5.7	63.7	20.1	3.9	5.8	0.8
(3) 家庭内の夫婦・親子関係について	19.8	60.8	12.4	2.2	3.5	1.3
(4) 収入や預貯金など経済的な面について	1.4	27.5	41.2	25.0	4.0	0.9
(5) 精神的な充実感について	4.8	48.0	34.0	8.2	4.4	0.6

Ⅱ 日常生活

問5 次に、あなたの日常生活などについておたずねいたします。

- (1) あなたは、過去1年間に、自治会活動（清掃活動、防犯パトロール又は地域運動会への参加など）や子ども会活動、障害者や高齢者の方々のための活動、青少年健全育成のための活動、まちづくりの推進を図るための活動など、ボランティア活動や地域社会のための活動に参加したことがありますか。

37.2 ある

62.4 ない

0.4 無回答

- (2) あなたは、現在、自主的な芸術・文化活動を行っていますか。芸術・文化活動とは、文芸・音楽・歌唱・美術・写真・映画・演劇・舞踊・漫画・伝統芸能・民俗芸能・茶道・華道・書道などです。

24.7 行っている

74.8 行っていない

0.5 無回答

- (3) 子育ては「楽しい」と思いますか。（子育て経験が無い方は予想で、また、既に子育てが終わった方は、経験からお答えください。）（カード5（3）提示）

23.9 楽しい

5.9 どちらかといえば楽しいとは思わない

38.7 どちらかといえば楽しい

2.5 楽しいとは思わない

27.7 どちらともいえない

1.4 無回答

- (4) あなたが、子育てに関して大変と感じるのは、具体的にどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。（子育て経験が無い方は予想で、また、既に子育てが終わった方は、経験からお答えください。）（カード5（4）提示）

27.8 子どもの世話で肉体的に疲れる

24.9 子どもにかかりきりで、時間的な余裕がない

11.8 子どもと向き合っていなければならず、気が休まらない

19.4 子どもがいるために、趣味等を気軽に楽しめない

16.6 親同士のつきあいや人間関係がわずらわしい

7.5 配偶者等が子育ての大変さを理解してくれない

4.3 子育てについて相談する相手がいない

3.6 自分や配偶者等の親や親戚の口出しが多い

12.7 子どもがいるために思いきり仕事ができない

53.3 子どもにかかる金銭的な負担が大きい

6.0 その他（

）

9.9 わからない

5.2 無回答

(5) 子どもを安心して生み、育てることができ、子どもがいる幸せを誰もが実感できる社会を実現させるためには、どのようなことが大切だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

(カード5 (5) 提示)

- | | |
|------|---|
| 20.5 | 子育てに関する教育や相談など地域における子育て家庭への支援を充実する |
| 20.3 | 子どもと親の保健医療を充実する |
| 8.4 | 児童虐待防止をはじめとした要保護児童対策を充実する |
| 44.7 | 児童手当の引上げ、税金の優遇など子育て家庭への経済的支援を進める |
| 20.8 | 保育所の待機児童の解消や多様な保育サービスの充実を進める |
| 17.4 | 男性・女性がともに仕事と生活が調和する働き方を進める |
| 9.0 | 男性の育児参加を進める |
| 20.9 | 確かな学力を定着させるとともに、社会性や人間性を育む学校教育を推進する |
| 28.6 | 子どもたちが、生命の大切さ、家庭の役割等について学ぶ機会の提供を進める |
| 25.7 | 子どもが遊べる公園や児童館、歩道の整備など安心して子育てができるまちづくりを進める |
| 26.0 | 社会全体で子どもを生み育てることを応援する取組を進める |
| 21.4 | 子どもを犯罪から守るための取組を進める |
| 2.8 | その他 () |
| 3.1 | 無回答 |

(6) あなたは、食品の安全性に不安がありますか。(カード5 (6) 提示)

- | | | | |
|------|-----------|-----|--------|
| 34.8 | 非常にある | 6.5 | あまりない |
| 50.9 | 多少ある | 2.1 | ほとんどない |
| 5.1 | どちらともいえない | 0.5 | 無回答 |

(7) 県内の外国人住民は10万人を超えており、今後も増えていくことが予想されています。あなたは、お住まいの地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。(カード5 (7) 提示)

- | | | | |
|------|------------------|------|-------|
| 5.6 | よいことだと思う | 26.3 | わからない |
| 23.2 | どちらかといえばよいことだと思う | 0.5 | 無回答 |
| 37.9 | あまり、よいことだとは思わない | | |
| 6.5 | よいことだとは思わない | | |

→ (7) で「3」～「4」のいずれかを答えた方に)

(7) - 1 その理由は何ですか。この中から2つまで選んでください。(カード5 (8) 提示)

- | | | | |
|------|------------------------------------|------|-----------------|
| 60.6 | 言葉や習慣、生活ルール(ゴミ出しなど)などの問題で、トラブルが起こる | 78.3 | 治安が悪化する(犯罪が増える) |
| 10.9 | 自治会などの地域活動が難しくなる | 1.9 | その他 () |
| 2.9 | 地域の伝統や文化が損なわれる | 0.6 | 特にない |
| 12.4 | 日本人の雇用機会が奪われる | 0.4 | わからない |
| | | 0.7 | 無回答 |

Ⅲ 消費生活について

問6 あなたは次のような事例で過去一年間に、困ったり、嫌な思いをした経験がありますか。
あてはまるものをすべて選んでください。（カード6提示）

- 16.9 自宅を訪問され商品などの購入を勧誘された
- 4.0 「当選しました！あなたは選ばれました！」と呼び出され、英会話教材やパソコンなどの購入を勧誘された
- 3.9 アンケートと言われて路上で呼び止められ、チケットや商品などの購入を勧誘された
- 8.0 インターネット、携帯電話、郵便で身に覚えのない支払い請求を受けた
- 40.1 電話により商品やサービスなどの購入を勧誘された
- 0.8 仮設テントのような閉め切った会場で台所用品などをもらい、興奮状態になったところで、最後に高額の商品を売りつけられた
- 2.5 友達を誘って商品を売れば、マージンが入り儲かると言われ、入会や商品の購入を勧誘された
- 11.7 新聞、雑誌、広告、インターネットなどの通信販売で商品などを購入した
- 1.3 高額の入金をうたい文句に、その仕事に必要なものであるとして商品等の勧誘をされた
- 1.0 自宅に突然、申込みもしていない商品が送りつけられてきた
- 1.9 その他（ ）
- 42.8 困ったことはなかった ⇒ 問7へ
- 3.1 無回答

→(問6で「1」～「11」のいずれかを答えた方に)

問6-1 あなたが、困ったり、嫌な思いをしたのは、どのようなことからですか。あてはまるものをすべて選んでください。（カード6-1提示）

- 52.9 しつこくなかなか終わらなかった
- 8.4 威圧的で怖かった
- 7.9 不安になるようなことを言われた
- 30.2 はじめに、商品等の勧誘と言わないで説明が始まった
- 25.8 一度勧誘を断ったのに、再び連絡（電話や訪問）があった
- 4.9 仕事先に電話してきた
- 28.9 個人情報勝手に使われている
- 1.5 説明された金額が、はじめより高額になっていた
- 2.9 会社の名前や連絡先を教えてもらえなかった
- 1.6 後日、連絡したが通じなかった
- 1.3 解約などの話に一切応じなかった
- 4.4 その他（ ）
- 8.1 無回答

→ 問6-2にもお答えください

(問6で「1」～「11」のいずれかを答えた方に)

問6-2 あなたは、困ったり、嫌な思いをしたとき、どうしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。(カード6-2提示)

55.1 自分で解決した	2.6 仕方なく商品等を購入した
19.3 家族や友人などに相談した	1.1 弁護士など法律の専門家に相談した
6.5 消費生活センター(又は消費生活の相談窓口など)に相談した	3.1 その他()
3.6 警察に相談した	19.7 特に相談などの対処はしなかった
	5.1 無回答

問7 あなたは、過去一年間に携帯電話やインターネットなどの通信機器を通じたトラブルを経験したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(カード7提示)

4.9 身に覚えのない料金督促メール・電話	0.7 音楽ダウンロードサービスやオンラインゲームでの高額な請求
2.9 ワンクリック請求※1	0.3 フィッシング詐欺メール※3
8.0 一方的な商業広告・勧誘メール	0.4 ネットオークション詐欺
3.7 多数の人への転送を要請するチェーンメール※2	0.6 アダルトサイトや出会い系サイトによるトラブル
2.0 開いただけで勝手に電話やメールをされる悪質メール	0.8 その他()
3.6 個人情報の流出	72.7 特にない
	7.0 無回答

※1 ワンクリック請求・・・ホームページや送信されてきた電子メールに記載されているURL(インターネットにおける情報の住所)などを1回クリックすると、「ご入会ありがとうございます。」などと表示され一方的に契約したことにされて、多額の料金の支払を求められること。

※2 チェーンメール・・・不幸の手紙のように、不特定多数の人々の間を増殖しながら転送されていくことを目的とした電子メールのこと。メールの最後に「このメールを○人の人に送ってください」といった内容のことが書かれている。

※3 フィッシング詐欺メール・・・有名企業等を装った偽のホームページへのURL(インターネットにおける情報の住所)リンクを貼り、クレジットカードの会員番号といった個人情報や、各種サービスのIDやパスワードの獲得を目的とする電子メールのこと。

問8 あなたは、過去一年間に以下のような商品・サービスの広告や表示で、虚偽・誇大だと思ったものがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(カード8提示)

26.0 食肉、加工食品(偽装、原産国表示)	17.8 美容・整形外科
11.4 食品の消費期限	5.0 結婚紹介サービス
8.9 語学教室	7.7 学習塾、家庭教師
38.5 健康食品(ダイエット、滋養強壮)	3.8 温泉
17.2 金融・保険商品	1.2 その他()
7.9 高齢者・介護サービス	37.8 特にない
7.5 携帯電話、インターネット	2.9 無回答

問9 あなたは、消費者支援のためにどのような取組が必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。（カード9提示）

71.2 悪質な事業者の取締りや事業者名の公表	19.5 商品に関する危害や商品テスト等情報提供の充実
37.0 法律による規制の強化	4.8 各種広報媒体による情報提供の強化
40.1 事業者に対する罰則の強化	6.1 消費者教育の充実
20.5 誇大広告の取締りや表示の適正化	23.9 商品の調査や検査体制の充実
11.7 相談受付体制の強化	0.2 その他（ ）
18.4 消費者被害救済のための支援体制の整備	4.4 特になし
1.1 事業者団体の自主行動基準策定への支援	1.9 無回答

問10 今後、情報提供や学習活動の分野で、さらに力を入れていく必要があると思われるものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。（カード10提示）

67.4 テレビ・ラジオを利用した情報提供
40.0 新聞などを利用した情報提供
28.7 印刷物（生活情報誌、高齢者・若者向けパンフレットなど）による情報提供
20.7 インターネットを利用した情報提供
7.6 消費生活フェア等のイベント
9.5 消費者に対する講座・教室等の開催
20.4 学校での消費者教育の充実・促進
8.0 教員に対する講座の実施及び情報提供
9.0 地域・職域で活動する消費生活リーダー等の人材育成
5.0 消費者団体や消費者問題を学習しようとするグループに対する講師の派遣・紹介や学習室の提供
5.4 消費生活について体系的に学習できる講座の実施（消費者大学など）
0.6 その他（ ）
8.8 特になし
2.9 無回答

Ⅳ 子どもの安全対策について

子どもの防犯についてお聞きします。主に小学生を念頭においてお答えください。

問11 あなたは、あなたの地域の子どもたちが、何らかの犯罪に巻き込まれるかもしれないという不安を感じることがありますか。（カード11提示）

13.0 よくある	24.6 あまりない	11.9 わからない
42.4 ときどきある	7.1 ほとんどない	1.0 無回答

問12 あなたは、あなたの地域で起きた、子どもに声を掛ける不審者の情報や防犯情報を学校、警察、自治体から受けたことがありますか。

36.5 ある	62.4 ない	1.1 無回答
---------	---------	---------

問13 あなたは、あなたのお住まいの地域で子どもの見守り活動に取り組んでいる自主防犯活動グループを知っていますか。（カード13提示）

8.2 知っており、参加している	47.1 知らない
43.6 知っているが、参加していない	1.1 無回答

問14 あなたの地域の子どもたちは、「知らない人についていかない」など犯罪から自分の身を守る力を身に付けていると思いますか。（カード14提示）

6.8 十分に身に付けている	8.7 身に付けていない
45.9 不十分であるが身に付けている	37.5 わからない
	1.1 無回答

問15 あなたの地域で、子どもの安全を脅かしていることは何だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。（カード15提示）

- 43.8 近所に暗く人通りの少ない道や公園など危険箇所がある
- 30.2 街灯が切れている、設置が少ないなど防犯の環境が不十分である
- 17.7 通学路での防犯パトロールなど子どもを見守る活動が不十分である
- 24.2 子どもへ声を掛ける不審者の情報などが不足している
- 4.2 その他（ ）
- 12.0 特にない
- 15.1 わからない
- 2.3 無回答

問16 あなたは、地域の子どもの見知らぬ人から声を掛けられている場面に遭遇した場合、どのように対応しますか。次の中から1つだけ選んでください。（カード16提示）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 17.9 警察へ通報する | 11.6 近所・まわりの人に声をかける |
| 2.0 学校へ通報する | 2.6 その他（ ） |
| 11.7 見知らぬ人に声をかける | 4.5 何も対応しない |
| 48.0 子どもに声をかける | 1.8 無回答 |

問17 あなたは、子どもを犯罪から守るために、地域や家庭の取り組みとしてどのようなものが効果があると思いますか。次の中から3つまで選んでください。（カード17提示）

- 43.9 事件報道や防犯対策の記事に目を通すなど、大人、子どもともに防犯意識を高めること
- 20.0 学校や警察から地域の犯罪情報を積極的に収集すること
- 28.1 子どもに、防犯ブザーなど防犯グッズ（商品）を持たせること
- 12.6 現在位置を地図で示すGPS機能付き携帯電話などを子どもに持たせること
- 39.5 子どもの危機回避能力を向上させること
- 8.8 自宅や共同住宅に防犯カメラを設置すること
- 31.6 不審者に関する情報を近所の人たちと共有すること
- 24.9 不審者を見たり、その情報を聞いたりしたら、すぐに学校や警察に連絡すること
- 36.8 防犯パトロールといった地域住民による活動を盛んにすること
- 12.2 地域の危険箇所を子どもと一緒に点検し地域安全マップを作成すること
- 1.4 その他（ ）
- 0.7 特にない
- 2.8 わからない
- 1.0 無回答

問18 あなたが、子どもの安全のために、行政に取り組んでもらいたいと思うことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。（カード18提示）

- 63.1 不審者情報の迅速な提供
- 17.4 役に立つ防犯グッズ（商品）や好事例などの紹介
- 21.4 防犯マニュアルや手引きの紹介・配布
- 33.9 子どもとともに参加する防犯教室の開催
- 52.6 通学路上の安全の確保（防犯カメラ、街灯の設置など）
- 63.2 警察官によるパトロール
- 18.2 子ども110番の家の周知
- 13.7 ICタグ※やGPS機能などを持つ携帯電話の貸出し
- 14.0 スクールバスなどによる登下校時の安全の確保
- 1.6 その他（ ）
- 1.2 特にない
- 2.9 わからない
- 1.0 無回答

※情報を記録するためのICチップとアンテナ配線からなる小型の装置

V 県民のスポーツ振興

問19 あなたは、健康や体力に気をつけていますか。(カード19提示)

37.5 普段から注意している	21.2 あまり気にしていない
40.4 時々気を払っている	0.9 無回答

問20 あなたは、過去一年間に、ウォーキングや軽い体操、レクリエーション活動※を含めて、スポーツをする機会がどのくらいありましたか。(カード20提示)

15.9 週に3回以上	12.4 月に1～3回程度	1.7 わからない
10.8 週に2回程度	17.6 年に数回程度	0.9 無回答
13.3 週に1回程度	27.3 していない	

※レクリエーション活動・・・・・・余暇に自ら楽しむために行う活動。具体的には、キャンプ、オリエンテーリング、フォークダンス、ゲートボール、グラウンドゴルフなど。

問21 あなたがスポーツ・レクリエーション活動へ参加する理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。(カード21提示)

35.2 健康や体力の維持・増進のため	1.3 運動施設や場所が近くにあるから
22.9 楽しみ、気晴らしのため	1.5 試合や大会への参加のため
28.1 運動不足を解消するため	0.9 精神修養や鍛錬のため
8.4 運動することが楽しい、おもしろい、好きだから	0.7 自己記録や能力向上のため
17.1 友人・仲間との交流のため	0.5 その他 ()
7.8 美容や肥満解消のため	1.3 ただ何となく、特に理由はない
3.2 家族とのふれあい	25.8 参加していない
	2.8 無回答

問22 あなたがスポーツ・レクリエーション活動へ参加するとき、苦勞することがありますか。または参加するとしたとき、どういう問題がありますか。次の中から2つまで選んでください。

(カード22提示)

29.9 仕事や家事・育児が忙しくて時間がない	10.2 病気・年齢など
19.0 身近に利用できる場所や施設がない	5.0 嫌い・興味がない
16.9 費用が高い	9.7 参加したいイベントがない
6.0 仲間がいない(足りない)	4.3 下手だから
6.5 予約が取れないなど場所や施設が利用しにくい	7.8 つきあいが面倒
1.9 指導者がいない	2.0 その他 ()
	19.8 特にない(十分にできている)
	4.1 無回答

問23 あなたは、総合型地域スポーツクラブ※が身近にあれば入りたいと思いますか。（カード23提示）

12.4 ぜひ入りたいと思う	23.7 入りたいとは思わない	2.1 無回答
46.2 条件次第で入りたいと思う	15.5 わからない	

※総合型地域スポーツクラブ・・・・・・地域住民が主体となり、会員の会費で運営され、地域のスポーツ施設（学校や公共体育施設のグラウンド、テニスコート、体育館）などを中心に、子どもから高齢者まで多世代にわたり、さまざまなスポーツを楽しんだり、競技力を高めたりするクラブです。そこでは、スポーツを通じて家族や仲間が集まり地域の人たちと交流したり、種目ごとに専門のコーチがついて、子どもや初心者の方たちにもそれぞれのレベルに応じて親切に教えてくれます。

問24 あなたは、スポーツ・レクリエーション活動をする際、どのような施設を利用していますか。あてはまるものをすべて選んでください。（カード24提示）

5.5 ランニングコース	1.4 サッカー場
7.6 ハイキングコース	0.1 ラグビー場
4.9 サイクリングコース	3.7 野球場（ソフトボール場）
8.6 体力トレーニング場	0.5 陸上競技場
4.6 テニスコート	0.4 3 on 3 コート（バスケット）
2.2 屋内水泳競技場	2.0 フットサルコート
11.1 屋内水泳施設（競技場を除く）	9.3 ボウリング場
7.0 レジャープール	8.5 ゴルフ場
0.5 屋内スケート競技場	12.1 公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール
1.2 レジャー用スケート場	1.1 道場（格闘技など）
3.0 卓球場	4.1 スタジオ（ダンスなど）
9.7 体育館	3.3 その他（施設名
20.1 運動広場・公園	35.2 利用していない
	2.8 無回答

問25 あなたは、今後、スポーツ・レクリエーション活動をする際、どのような施設を利用したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。（カード24提示）

9.5 ランニングコース	1.9 サッカー場
17.8 ハイキングコース	0.2 ラグビー場
12.1 サイクリングコース	4.2 野球場（ソフトボール場）
22.1 体力トレーニング場	0.8 陸上競技場
9.6 テニスコート	1.4 3 on 3 コート（バスケット）
5.4 屋内水泳競技場	3.0 フットサルコート
19.9 屋内水泳施設（競技場を除く）	12.7 ボウリング場
9.9 レジャープール	10.7 ゴルフ場
1.9 屋内スケート競技場	14.1 公民館（その他コミュニティ施設含む）、ホール
2.7 レジャー用スケート場	2.4 道場（格闘技など）
6.8 卓球場	8.8 スタジオ（ダンスなど）
12.8 体育館	1.7 その他（施設名
23.5 運動広場・公園	17.3 利用したいと思わない
	2.5 無回答

県政への要望

問26 埼玉県の行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、この中から3つまで選んでください。（カード26提示）

9.5 省資源やリサイクルをすすめる	17.7 食品の安全をまもる
20.5 地球温暖化を防止する	1.2 男女共同参画社会の実現をはかる
21.3 自然をまもり、緑を育てる	2.0 人権尊重の社会づくりをすすめる
9.3 川や大気環境をまもる	2.3 生涯学習対策を充実する
5.5 廃棄物対策を充実する	10.3 学力、規律ある態度、体力を身につける 学校教育を充実する
9.9 交通事故をなくす	7.1 青少年を健全に育てる
10.4 災害から県民をまもる	1.4 農林業をさかんにする
7.2 消費生活の安全を高める	0.7 観光振興をすすめる
12.7 防犯の地域づくりをすすめる	2.3 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー 企業への支援を充実する
8.0 道路や街路を整備する	8.4 雇用の場を広げる
2.4 生活排水対策をすすめる	2.0 市町村が主役の地域づくりをすすめる
6.8 公園、緑地を整備する	1.8 県民参加の行政をすすめる
8.0 便利な交通網をつくる	1.1 NPOやボランティアへの活動支援を充 実する
4.4 都市のバリアフリー化をすすめる	2.4 芸術・文化活動をさかんにする
0.6 IT（情報通信技術）を生かした社会づ くりを進める	2.3 スポーツ、レクリエーションをさかんに する
27.9 高齢者の福祉を充実する	0.8 国際交流や国際協力をすすめる
4.5 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる	1.7 その他（ ）
15.8 子育て支援を充実する	2.3 わからない
22.7 医療サービス体制を整備する	1.4 無回答
4.6 健康づくりをすすめて、疾病を予防する	

フェースシート

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、統計解析に必要な事項を少し伺わせてください。

F 1 【性別】

49.7 男 性

50.3 女 性

F 2 【年齢】あなたのお年は満でいくつですか。（カードF 2 提示）

5.9 20～24歳

8.8 35～39歳

9.0 50～54歳

9.6 65～69歳

5.9 25～29歳

10.0 40～44歳

11.0 55～59歳

12.6 70歳以上

8.2 30～34歳

9.7 45～49歳

9.3 60～64歳

F 3 【職業】あなたのお仕事は何ですか。（カードF 3 提示）

0.6 農林漁業自営者

0.4 農林漁業家族従事者

7.6 商工サービス業・自由業の自営者（商店、飲食店、理髪店、工事店など。
開業医、弁護士、芸術家など）

4.0 商工サービス業・自由業の家族従事者（商店、飲食店、理髪店、工事店など。
開業医、弁護士、芸術家など）

5.7 管理職（民間会社・団体の部長級以上、官公庁の課長級以上）

23.4 事務職・専門技術職（一般事務員、教員、看護師、オペレーター、技師、研究員など）

16.4 労務職（工場などの生産工程従事者、商店などの販売サービス従業者、調理師、運転士など）

1.9 無職の学生

22.3 無職の主婦・主夫

16.4 その他の無職（年金、配当、仕送りなどで暮らしている人。無職の人）

1.4 無回答

▶（F 3で3～8いずれかに○がついた方に）

F 3－1 職場（学校）はどこにありますか。このように分けるとどれにあたりますか。

（カードF 3－1 提示）

33.3 住まいの市町村

27.7 東京都

19.3 住まいの隣接市町村（県内）

4.3 埼玉県・東京都以外

13.3 埼玉県（1・2以外）

2.1 無回答

F 4 【県内居住年数】あなたは、埼玉県にお住まいになって何年になりますか。（カードF 4 提示）

0.7 1年未満

5.8 5年～10年未満

22.0 20年～30年未満

2.8 1年～3年未満

8.2 10年～15年未満

50.6 30年以上

1.6 3年～5年未満

7.5 15年～20年未満

0.8 無回答

F 5 【出生地】あなたは、埼玉県のお生まれですか。

41.8 はい（埼玉県）	57.7 いいえ（埼玉県外）	0.5 無回答
--------------	----------------	---------

F 6 【家族人数】いま一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。

5.7 1人	25.7 3人	11.2 5人	2.0 7人以上
25.1 2人	24.2 4人	5.0 6人	1.0 無回答

F 7 【結婚】あなたは結婚していますか。（カードF 7 提示）

18.6 未婚 ⇒ F 8 へ	71.7 既婚・有配偶	8.2 既婚・離死別	1.5 無回答
-----------------	-------------	------------	---------

（F 7 で2 か3 に○がついた方に）

F 7－1 お子さんは何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。

19.0 1人	15.6 3人	0.5 5人以上	10.6 いない
51.1 2人	2.2 4人		0.9 無回答

（F 7－1 で1～5 いずれかに○がついた方に）

F 7－1－1 お子さんはそれぞれどんな段階ですか。（カードF 7－1 提示）

10.1 0～3歳	2.1 短大生・専門学校生
7.0 4歳以上で小学校入学前	9.1 大学生・大学院生
16.2 小学生	34.0 学校教育終了・未婚
11.3 中学生	36.6 学校教育終了・既婚
10.2 高校生	2.0 その他（ ）
	1.9 無回答

F 8 【家族形態】お宅の家族形態は、このように分けるとどれにあたりますか。（カードF 8 提示）

5.5 単身	57.1 二世帯世帯（親と子）	1.9 その他（ ）
21.4 夫婦のみ	12.7 三世帯世帯（親と子と孫）	1.5 無回答

F 9 【居住形態】お宅のお住まいはこの中のどれにあたりますか。（カードF 9 提示）

73.1 一戸建ての持家	1.1 公団・公社などの賃貸住宅
1.0 公団・公社の分譲マンション	0.4 公営住宅（県営・市営住宅など）
9.0 民間の分譲マンション	1.1 社宅、寮、公務員住宅など
2.6 一戸建ての民間借家	0.5 その他（ ）
10.5 民間の賃貸マンション・アパート	0.5 無回答

長時間にわたりご協力いただきまして、ありがとうございました。

(参考資料)

世論調査実施状況

- 本県では、昭和43年度から世論調査を実施しており、今回が43回目となります。参考資料に、過去の調査実施状況をまとめました。

(参考資料)

世論調査実施状況

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
1	昭和 43 年度	8 月 16 日～9 月 2 日	県政全般(県政への関心、暮らし向き、青少年、教育、保健、スポーツ、社会福祉、住宅、環境等)	1,500	個別面接聴取法	84.0%
2	昭和 44 年度	7 月 15 日～31 日	県政全般(自治意識、暮らし向き、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、環境、消費生活等)	1,500	個別面接聴取法	81.3%
3	昭和 45 年度	9 月 20 日～10 月 10 日	県政全般(自治意識、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、公害、消費生活、農業等)	1,500	個別面接聴取法	86.5%
4		11 月 9 日～24 日	広報、具体的な広報の媒体、広聴	1,500	個別面接聴取法	89.1%
5	昭和 46 年度	9 月 20 日～10 月 3 日	近隣社会、居住環境	1,500	個別面接聴取法	90.7%
6		11 月 26 日～12 月 9 日	大災害に関すること(一般的関心、地震、防火、避難、近隣組織、職場・外出先での対策、地震に対する備えについて)	1,500	個別面接聴取法	86.6%
7	昭和 47 年度	10 月 26 日～11 月 4 日	県政全般(公害・交通問題、県民の健康とくらし、教育・文化・スポーツを伸ばす等)	1,500	個別面接聴取法	82.5%
8	昭和 48 年度	11 月 14 日～26 日	県政全般(広報、自然環境と開発、福祉、消費生活、ゴミ処理、保健、商工、農林、労働、都市環境、教育等)	1,500	個別面接聴取法	84.7%
9	昭和 49 年度	8 月 15 日～27 日	県政全般(現在の住まい、広報、公害、交通、健康、県民のくらし、学校教育、自然保護等)	1,500	個別面接聴取法	80.9%
10	昭和 50 年度	8 月上旬～中旬	県政全般(公害、交通安全、災害、警察、医療、福祉、教育、自然保護と開発、水、住宅、ゴミ、商工、農林等)	1,500	個別面接聴取法	77.1%
11		3 月 9 日～18 日	学校教育、生活環境、自然環境	1,500	個別面接聴取法	83.0%
12	昭和 51 年度	7 月 20 日～31 日	水問題、福祉問題、コミュニティ問題	1,500	個別面接聴取法	83.9%
13	昭和 52 年度	6 月 15 日～30 日	地域社会、地域福祉、文化活動、医療、献血、暴走族、県政への満足度、県民討論会、県政全般	1,500	個別面接聴取法	83.6%
14	昭和 53 年度	7 月 14 日～26 日	文化の問題、婦人の問題、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.1%
15	昭和 54 年度	7 月 10 日～26 日	みどりの環境、地震災害、県政全般	1,500	個別面接聴取法	81.9%
16	昭和 55 年度	7 月 25 日～8 月 11 日	老人福祉、21 世紀のまちづくり、地価及び宅地問題、県政全般	1,500	留置記入依頼法	87.5%
17	昭和 56 年度	7 月 25 日～8 月 14 日	水問題、障害者福祉、県政全般	1,500	個別面接聴取法	84.1%
18	昭和 57 年度	7 月 23 日～8 月 12 日	交通安全、行政改革、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	82.5%
19	昭和 58 年度	7 月 20 日～8 月 14 日	21 世紀の県民生活、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.7%
20	昭和 59 年度	7 月 20 日～8 月 12 日	みどり、快適な環境、文化活動、サービス業、県税、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	80.4%
21	昭和 60 年度	7 月 18 日～8 月 11 日	高齢化社会、コミュニティ、学校教育、平和、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	78.4%
22	昭和 61 年度	7 月 9 日～8 月 14 日	国際交流、健康、快適な環境、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.1%
23	昭和 62 年度	6 月 1 日～6 月 30 日	住環境、景観、交通網、生涯学習、ボランティア活動、社会意識、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	80.2%
24	昭和 63 年度	7 月 1 日～7 月 31 日	県民生活、土地問題、ごみ処理、文化活動、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.7%
25	平成元年度	6 月 23 日～7 月 23 日	高度情報化施策、男女平等意識、青少年健全育成、埼玉コロシアム・埼玉メッセ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
26	平成 2 年度	7 月 4 日～7 月 29 日	環境保全、交通安全、県税、お墓、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	78.1%
27	平成 3 年度	7 月 5 日～8 月 4 日	スポーツ・レクリエーション活動、道路整備、ペット問題、商品包装、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.5%
28	平成 4 年度	6 月 26 日～7 月 26 日	住宅問題、防災、高度情報化施策、個人情報の保護、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.0%
29	平成 5 年度	7 月 9 日～8 月 4 日	新しくにづくり、人と環境にやさしいリサイクル県づくり、国際化とまちづくり、住みよさ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.2%
30	平成 6 年度	7 月 8 日～8 月 10 日	消費生活、ボランティア活動・福祉活動への参加について、子どもと家族、県の広報について、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
31	平成 7 年度	7 月 1 日～7 月 31 日	21 世紀の彩の国さいたまの将来像、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	78.3%
32	平成 8 年度	7 月 10 日～8 月 11 日	ごみ減量化について、身近な自然について、健康と医療サービスについて、高度情報化施策について、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.3%
33	平成 9 年度	8 月 16 日～9 月 15 日	県政情報、安全な暮らし(防災、高齢者の交通安全、犯罪)、墓地、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.8%
34	平成 10 年度	7 月 10 日～8 月 9 日	国民体育大会、青少年問題、公園、高齢者福祉、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.9%
35	平成 11 年度	7 月 9 日～8 月 8 日	埼玉県の緑、子育て支援、ボランティア活動、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
36	平成 12 年度	7 月 8 日～8 月 7 日	環境全般・環境学習について、公害問題について、廃棄物問題・リサイクルについて、有害な化学物質について、地球温暖化について、環境保全活動について、今後の県の取り組み、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.7%
37	平成 13 年度	6 月 30 日～7 月 30 日	保健・医療、文化・芸術、国際交流・国際協力、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.2%
38	平成 14 年度	7 月 6 日～8 月 5 日	農林業の役割、屋外照明による生活環境への影響、日常生活、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
39	平成 15 年度	7 月 15 日～8 月 5 日	防犯、水環境、食の安全、日常生活、生活意識、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	67.3%
40	平成 16 年度	7 月 13 日～8 月 10 日	生活意識、日常生活、森林環境、地球温暖化、子どもの虐待、スポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.4%
41	平成 17 年度	7 月 2 日～8 月 1 日	生活意識、日常生活、子育て支援、みどりの環境税制、消費生活、まちづくり・住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.9%
42	平成 18 年度	7 月 8 日～8 月 14 日	生活意識、日常生活、生活規範とまちづくり、外国人との共生、団塊世代等の人材活用、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	65.3%
43	平成 19 年度	7 月 13 日～8 月 6 日	生活意識、日常生活、消費生活、子どもの安全対策、県民のスポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.4%



埼玉県のマスコット「コバトン」